

●日本語教育史参考文献—論文編—

- 1) 山口喜一郎(1950)「話言葉とその教習について」『信濃教育』第 758 号 信濃教育会
- 2) 吉田昇(1950)「伊沢修二」海後宗臣他(1950)『近代日本教育の開拓者』野間教育研究所
- 3) 芦田恵之助(1951)「国語教育の回顧と展望 四」国語教育講座編集委員会編(1951)『国語教育講座 第五巻 国語教育問題史』刀江書院
- 4) 麻生磯次(1951)「藤村作先生」『国文学解釈と鑑賞』第 16 巻 12 号 至文堂
- 5) 山口喜一郎(1951)「言語教育上のもやもや」実践国語研究所編『実践国語』12 巻 131 号 穂波出版社
- 6) 山口喜一郎(1951)「国語教育の回顧と展望 五—話言葉の教育について—」国語教育講座編集委員会編(1951)『国語教育講座 第五巻 国語教育問題史』刀江書院
- 7) 山口喜一郎(1951)「言葉についての断想(1)」実践国語研究所編『実践国語』12 巻 134 号 穂波出版社
- 8) 山口喜一郎(1951)「言葉についての断想(2)」実践国語研究所編『実践国語』12 巻 135 号 穂波出版社
- 9) 青山広志(1952)「わが「随意選題」—開眼の師父芦田恵之助先生—」実践国語研究所編『実践国語』13 巻 142 号 穂波出版社
- 10) 石井庄司(1952)「芦田恵之助先生を憶う」実践国語研究所編『実践国語』13 巻 142 号 穂波出版社
- 11) 石井庄司(1952)「山口喜一郎先生の思い出」『教育研究』第 7 巻第 6 号 初等教育研究会
- 12) 石黒修(1952)「芦田恵之助先生のこと」実践国語研究所編『実践国語』13 巻 142 号 穂波出版社
- 13) 石黒修(1952)「日本語教師山口喜一郎氏—私の知っている山口さん—」実践国語研究所編『実践国語』13 巻 143 号 穂波出版社
- 14) 石森延男(1952)「あの夜は—山口喜一郎さんを偲ぶ—」実践国語研究所編『実践国語』13 巻 143 号 穂波出版社
- 15) 市原豊太他(1952)「追憶の芦田恵之助先生」『教育研究』第 7 巻第 3 号 初等教育研究会

- 16) 片岡弥吉(1952)「吉利支丹の外国語教育」『純心女子短期大学紀要』1 輯 純心女子短期大学
- 17) 釘本久春(1952)「外国語教育としての日本語教育の教えるもの—山口喜一郎氏を思う—」『言語生活』1952年5月号 筑摩書房
- 18) 志波末吉(1952)「芦田先生と教壇」実践国語研究所編『実践国語』13巻142号 穂波出版社
- 19) 上甲幹一(1952)「晩年の山口喜一郎先生」実践国語研究所編『実践国語』13巻143号 穂波出版社
- 20) 高野明(1952)「ロシヤにおける日本語学校と伝兵衛」日本歴史学会編『日本歴史』第50号 吉川弘文館
- 21) 田中豊太郎(1952)「芦田先生をしのぶ」実践国語研究所編『実践国語』13巻142号 穂波出版社
- 22) 永井算巳(1952)「所謂清国留学生取締規則事件の性格—清末留日学生の一動向—」『信州大学紀要』第2号 信州大学教育学部
- 23) 滑川道夫(1952)「師父・芦田恵之助論—対友納論争を中心に—」実践国語研究所編『実践国語』13巻142号 穂波出版社
- 24) 西尾実(1952)「芦田先生の足跡」実践国語研究所編『実践国語』13巻142号 穂波出版社
- 25) 西尾実(1952)「山口喜一郎先生を偲ぶ」実践国語研究所編『実践国語』13巻143号 穂波出版社
- 26) 西原慶一(1952)「故芦田恵之助氏の実践的性格-1-」実践国語研究所編『実践国語』13巻142号 穂波出版社
- 27) 西村庚(1952)「「和魯通言比考」と橘耕斎」『ソ連研究』第1巻第9号 ソ連問題研究会
- 28) 古田祐(1952)「芦田先生をかたる—主として教式を—」実践国語研究所編『実践国語』13巻142号 穂波出版社
- 29) 森田武(1952)「捷解新語の国語について—その資料性の考察—」『国文学攷』10号 広島大学国語国文学会
- 30) 天野敬太郎(1953)「エリセエフ氏とその業績」『学鑑』第50巻第7号 丸善

- 31) エリセーフ、小宮豊隆、大内兵衛、田中耕太郎、上野直昭、辰野隆、安倍能成(1953)「座談会・エリセーフ君を迎えて」『心』第6巻第7号 平凡社
- 32) 高野明(1953)「「ロシアにおける日本語学校と伝兵衛」補遺」日本歴史学会編『日本歴史』第59号 吉川弘文館
- 33) 永井算巳(1953)「所謂呉孫事件に就て—清末留日学生史の一断面—」史学会編『史學雑誌』第62編7号 山川出版社
- 34) マルタ・ケラヴオリ(1953)「日本と私」玉川学園編『全人』52号 玉川大学出版部
- 35) 赤城さかえ(1954)「藤村作博士追悼」東京大学国語国文学会編『国語と国文学』第31巻2号 至文堂
- 36) 荻原浅男編(1954)「藤村作博士の年譜」東京大学国語国文学会編『国語と国文学』第31巻2号 至文堂
- 37) 高野明(1954)「東洋学院(浦塩斯徳)に於ける日本研究について」日本歴史学会編『日本歴史』第77号 吉川弘文館
- 38) 三沢光博(1954)「馬場辰猪の「日本文典初歩」に就いて」『語文』第3輯 日本大学国文学会
- 39) 森田武(1955)「「捷解新語」成立の時期について」京都大学文学部国語学国文学研究室編『国語国文』24巻3号 中央図書出版社
- 40) 吉屋信子(1955)「下田歌子」松島栄一編(1955)『女の歴史』河出書房
- 41) 石井庄司(1956)「山口喜一郎先生とグァン言語教授方策」『国語研究』22号 愛媛国語研究会
- 42) 石川松太郎(1956)「植民地教育政策」海後勝雄・広岡亮蔵編(1956)『近代教育史 第3 市民社会の危機と教育』誠文堂新光社
- 43) 小川利雄(1956)「国語科教育と日本語教育の間(一)」『学校教育』第459号 広島大学附属小学校学校教育研究会
- 44) 小川利雄(1956)「国語科教育と日本語教育の間(二)」『学校教育』第461号 広島大学附属小学校学校教育研究会
- 45) 輿水實(1956)「日本語教育の歴史」『言語生活』1956年11月号 筑摩書房

- 46)上甲幹一(1956)「日本語教授と日本語学習の参考書一覧」『言語生活』1956年11月号 筑摩書房
- 47)高村平一郎(1956)「台湾の日本語」『国語教室』61号 大修館書店
- 48)塚本哲人(1956)「『日本語』と『日本精神』—ブラジル在留邦人の子弟教育—」教育科学研究会編『教育』第6巻第13号 国土社
- 49)土山欣子(1956)「国語教育の歴史的概観」『神学と人文』2号 大阪キリスト教短期大学
- 50)角田柳作(1956)「『回顧在米47年』—角田柳作講演要旨—」現代学校事務研究所編『学校事務』第7巻第1号 学事出版
- 51)東京教育大学国語国文学会(1956)「保科孝一先生略年譜・著作目録」東京教育大学国語国文学会編『國語』第4巻第3号 西東社
- 52)西尾実(1956)「藤村作先生の足跡」『日本文学』第5巻第3号 日本文学協会
- 53)大友信一(1957)「『捷解新語』の成立時期私見」『文芸研究』26集 日本文芸研究会
- 54)永井算巳(1957)「光緒末年に於ける留日学生界の趨勢」歴史学研究会編『歴史学研究』No.206 青木書店
- 55)立命館大学人文学会(1957)「小泉荃三博士の訃・年譜・著作」『立命館文學』第140号 立命館大学人文学会
- 56)亀井孝(1958)「『捷解新語』小考」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第39巻第1号 日本評論社
- 57)志波末吉(1958)「国語教育の戦前戦後」日本ローマ字教育協議会編集部編『ことばの教育』20巻4号 日本ローマ字教育協議会
- 58)田中礼子(1958)「芦田恵之助の綴方教育思想の成立過程について」『教育学研究』第25巻第3号 日本教育学会
- 59)清水慶秀(1959)「朝鮮に於ける日本の植民地教育(Ⅲ)—国語教育政策を中心として—」『広島女学院大学論集』第9集 広島女学院大学
- 60)吉町義雄(1959)「『亜弗亜旅行記』瑞日語彙」『文学研究』第57輯 九州大学文学部
- 61)菊田茂男(1960)「土居光知」『國文學 解釈と教材の研究』第5巻第13号 學燈社

- 62)清水慶秀(1960)「朝鮮に於ける日本の植民地教育(IV)—改正朝鮮教育令(大正11年)施行までを中心として—」『広島女学院大学論集』第10集 広島女学院大学
- 63)石井庄司(1961)「山口喜一郎先生の国語教育研究の展開」『国語研究』37号 愛媛国語研究会
- 64)黒滝チカラ(1961)「戦前の国語教育(史)」教育科学研究会編『教育』第11巻第2号 国土社
- 65)国府種武(1961)「台湾における日本語教育にあらわれた国権思想」『日本文学』第10巻第9号 日本文学協会
- 66)国分一太郎(1961)「戦後の国語教育(史)」教育科学研究会編『教育』第11巻第2号 国土社
- 67)中村栄孝(1961)「『捷解新語』の成立・改修および『倭語類解』成立の時期について」『朝鮮学報』第19輯 朝鮮学会
- 68)西村庚(1961)「ソ連の日本学者コンラード博士」『月刊共産圏問題』第5巻第3号 欧ア協会
- 69)野地潤家(1961)「国語教育実践の深化過程—芦田恵之助先生のばあい—」『広島大学教育学部紀要 第一部』第9号 広島大学教育学部
- 70)野村篤司(1961)「芦田恵之助『読み方教授』について」教育科学研究会編『教育』第11巻第2号 国土社
- 71)石黒修(1962)「日本語教育と私」『日本語教育』1号 日本語教育学会
- 72)小沢有作・土屋忠雄(1962)「植民地の教育」海老原治善他(1962)『岩波講座現代教育学 第5巻 日本近代教育史』岩波書店
- 73)釘本久春(1962)「外国人に対する日本語教育小史覚え書」『日本語教育』創刊準備号 日本語教育学会
- 74)国府種武(1962)「山口喜一郎とグアン法」実践国語教育研究所編『実践国語教育』23巻268号 穂波出版社
- 75)国府種武(1962)「山口喜一郎とグアン法」実践国語教育研究所編『実践国語教育』23巻269号 穂波出版社

- 76)清水慶秀(1962)「日本統治下の朝鮮の教育」『日本教育学会第21回大会発表要旨集録』日本教育学会
- 77)上甲幹一(1962)「山がら先生物語」『日本語教育』1号 日本語教育学会
- 78)西村庚(1962)「埋れた明治の露語学者—嵯峨寿安と黒野義文—」『ソ連研究』第11巻第5号 ソ連問題研究会
- 79)石綿敏雄(1963)「湯沢幸吉郎著述論文目録」『国語学』第54集 国語学会
- 80)岡一男、金本源之助(1963)「ペトローフ教授編著 A・タタリーノフ「露日辞典」」『国文学研究』27集 早稲田大学国文学会
- 81)釘本久春(1963)「日本語教師と外国人生徒—日本語の先生としての、中島敦の場合—」『日本語教育』2号 日本語教育学会
- 82)浜田敦(1963)「捷解新語とその改修本—「日本」と「看品」—」『国文学攷』30号 広島大学国語国文学会
- 83)村山七郎(1963)「ア・タターリノフの「レクシコン」の東北方言について—オ・ペ・ペトローフさんに与える—」『国語学』第52集 国語学会
- 84)村山七郎(1963)「ア・タターリノフの「レクシコン」の会話篇」『国語学』第55集 国語学会
- 85)森田武(1963)「キリシタンの日本語学習—マノエル・バレットの注解を中心に—」『国語教育研究』No.8 広島大学教育学部光葉会
- 86)吉田澄夫(1963)「湯沢幸吉郎博士の人と業績」『国語学』第54集 国語学会
- 87)岩崎玄(1964)「台湾における日本語」『言語生活』1964年11月号 筑摩書房
- 88)土居光知(1964)「ロンドン大学東方学院」『東北学院大学論集 英語・英文学』第45/46号 東北学院大学学術研究会
- 89)西村庚(1964)「レニングラードにのこる日本人講師の伝統」『窓』第10巻5号 ナウカ
- 90)外間守善(1964)「沖縄の言語教育史—明治以降—」『言語生活』1964年8月号 筑摩書房
- 91)三沢光博(1964)「ホフマン日本語文典(翻訳)-1-」『日本大学文理学部(三島)研究年報』第12輯 日本大学三島学園

- 92)村山七郎(1964)「薩摩漂流民ゴンザ(権左)の事蹟」日本歴史学会編(1964)『日本歴史』第192号 吉川弘文館
- 93)安倍勇(1965)「ハワイと日本語」『言語生活』1965年8月号 筑摩書房
- 94)魚返善雄(1965)「台湾日本語教育の秘密—宇井英著「国語入門」の新しさ—」『言語生活』1965年9月号 筑摩書房
- 95)上沼八郎(1965)「伊沢修二の人と思想」東洋館出版社編集部編(1965)『近代日本の教育を育てた人びと』東洋館出版社
- 96)千住克己(1965)「下田歌子と女子教育」東洋館出版社編集部編(1965)『近代日本の教育を育てた人びと』東洋館出版社
- 97)西村庚(1965)「黒野義文に関する聞き書きその他」『文献』第10号 特殊文庫連合協議会
- 98)野地潤家(1965)「伊沢修二の話しことばの教育」『広島大学教育学部紀要 第一部』第14号 広島大学教育学部
- 99)平林たい子(1965)「下田歌子」読売新聞社編(1965)『人物再発見 続』人物往来社
- 100)三沢光博(1965)「アストン「日本文語文法」(A GRAMMAR OF THE JAPANESE WRITTEN LANGUAGE)における動詞論」『日本大学文理学部(三島)研究年報』第14輯 日本大学文理学部
- 101)八木朝治(1965)「朱村日本語学校」週刊朝日編(1965)『父の戦記』朝日新聞社
- 102)安田章(1965)「朝鮮資料覚書—「捷解新語」の改訂—」『論究日本文学』第24号 立命館大学日本文学会
- 103)木村萬寿夫(1966)「台湾における日本語教育」『鳥取大学教育学部研究報告 教育科学』第8巻 鳥取大学教育学部
- 104)国府種武(1966)「台湾高砂族の教育」『法政大学文学部紀要』第11号 法政大学文学部
- 105)馬場明(1966)「興亜院設置問題-1-」『外務省調査月報』vol.7, No.7・8 外務省第一国際情報官室
- 106)三沢光博(1966)「ホフマンの日本語敬語説について」『日本大学文理学部(三島)研究年報』第15輯 日本大学三島学園

- 107)吉原保(1966)「台湾における国語教育の思い出」『言語生活』1966年4月号 筑摩書房
- 108)小田切正(1967)「芦田恵之助研究—大正期を中心として—」『教育学研究』第34巻第1号  
日本教育学会
- 109)河村一夫(1967)「対支文化事業関係史—官制上より見たる—」歴史教育研究会編『歴史教育』第15巻第8号 日本書院
- 110)木村萬寿夫(1967)「伊沢修二と台湾教育の創業」『鳥取大学教育学部研究報告 教育科学』第9巻 鳥取大学教育学部
- 111)馬場明(1967)「大東亜省設置問題-1-」『外務省調査月報』vol.8, No.10 外務省第一国際情報官室
- 112)馬場明(1967)「大東亜省設置問題-2-」『外務省調査月報』vol.8, No.11 外務省第一国際情報官室
- 113)大石初太郎(1968)「国語教育の人々 その人と業績(6)山口喜一郎」『国語の教育』8 国土社
- 114)高橋一夫(1968)「戦中戦後あれこれ」『日本語教育』11号 日本語教育学会
- 115)寺内清之助(1968)「明治百年国語教育思想の回顧」『相愛女子大学・相愛女子短期大学研究論集』第16巻 相愛女子大学・相愛女子短期大学
- 116)寺延澄子(1968)「日本帝国主義下の朝鮮における教育」『寧楽史苑』16号 奈良女子大学
- 117)土居光知(1968)「(インタビュー)基礎日本語をめぐって」『思想の科学』No.72 思想の科学社
- 118)日本語教育学会編集委員会(1968)「釘本久春氏主要著作論文目録」『日本語教育』12号 日本語教育学会
- 119)橋川時雄・小野忍・目加田誠(1968)「座談会・学問の思い出—橋川時雄先生を囲んで—」『東方学』第35輯 東方学会
- 120)平野健一郎(1968)「満州における日本の教育政策—1906年～1931年—」『アジア研究』第15巻第3号 アジア政経学会
- 121)矢吹勝二(1968)「外国人の日本語研究—関係図書の歴史的展望と、日本語のローマ字綴り・抑揚表現について—」調布学園女子短期大学諸学研究会編『紀要』第1号 調布学園女子短期大学



- 122)山口典子(1968)「下田歌子の結婚前後—父・夫・歌子の書簡をめぐって—」『実践女子大学文学部紀要』第11集 実践女子大学
- 123)小沢有作(1969)「太平洋戦争下の日本語教育—「東亜語としての日本語」という意識状況の批判—」教育科学研究会編『教育』第19巻第7号 国土社
- 124)国府種武(1969)「北京興亜高級中学校の歴史」『法政大学文学部紀要』第14号 法政大学文学部
- 125)杉本つとむ(1969)「台湾における日本語教育の方法と歴史」『武蔵野女子大学紀要』vol.4 武蔵野女子大学文化学会
- 126)槻木瑞生(1969)「山口喜一郎著「外国語としての我が国語教授法」の意味について—外国語教育史へのアプローチ—」『名古屋大學教育學部紀要—教育学科—』第15巻 名古屋大学教育学部
- 127)長沼直兄・浅野鶴子(1969)「〈対談〉長沼直兄先生と日本語教育」日本語教師連盟編『たより』第34号 (財)言語文化研究所
- 128)三沢光博(1969)「「日本語文法例証」から「日本語文典」へ—ホフマンの場合・1—」『日本大学文理学部(三島)研究年報』第17輯 日本大学三島学園
- 129)渡辺正文(1969)「外地における日本語教授法の変遷」『日本語教育』13号 日本語教育学会
- 130)上沼八郎(1970)「「伊沢修二と Luther Whiting Mason」小稿—L. W. Mason の書翰を中心として—」『藤村学園東京女子体育大学紀要』第6号 東京女子体育大学
- 131)熊沢精次(1970)「キリシタンの日本語学習」『日本語と日本語教育』第2号 慶應義塾大学国際センター
- 132)国府種武(1970)「北京、広東の教育」『法政大学文学部紀要』第15号 法政大学文学部
- 133)佐藤三郎(1970)「中島裁之の北京東文学社について—近代日中交渉史上の一齣として—」『山形大学紀要 人文科学』第7巻第2号 山形大学
- 134)田中宏(1970)「アジア留日学生年史」『朝日アジアレビュー』第1巻第4号 朝日新聞社
- 135)土居光知他(1970)「座談会 世界における日本語」『心』23巻10号 平凡社
- 136)長沼直兄・浅野鶴子(1970)「〈対談〉長沼直兄先生と日本語教育—日本語教育者の横顔・「大東亜共栄圏」の日本語教育—」『日本語教育研究』第1号 (財)言語文化研究所

- 137)長沼直兄・浅野鶴子(1970)「〈対談〉長沼直兄先生と日本語教育—日本語教育者の横顔・「大東亜共栄圏」の日本語教育—」『日本語教育研究』第2号 (財)言語文化研究所
- 138)中村喜和(1970)「橋耕斎伝」『一橋論叢』第63巻第4号 日本評論社
- 139)日野資純(1970)「馬場辰猪の「日本文典初歩」と、それに影響を与えた英文典」『人文論集』21号 静岡大学
- 140)古田拡(1970)「芦田恵之助をめぐって」『国語科教育』第17集 全国大学国語教育学会
- 141)増田史郎亮(1970)「清末、中国人日本留学界の一側面—二、三の留学生名簿による分析をめぐって—」『長崎大学教育学部教育科学研究報告』第17号 長崎大学教育学部
- 142)三沢光博(1970)「「日本語文法例証」から「日本語文典」へ—ホフマンの場合・2—」『日本大学文理学部(三島)研究年報』第18輯 日本大学三島学園
- 143)望月久貴(1970)「芦田恵之助の師承について」『国語科教育』第17集 全国大学国語教育学会
- 144)石森延男(1971)「満州国文教政策に思う」『日本児童文学』17巻8号 日本児童文学者協会
- 145)太田晶二郎(1971)「大矢透博士の著書稿本刊本及び蔵書—伝記的書目—」『東京大学史料編纂所報』第5号 東京大学史料編纂所
- 146)小沢有作(1971)「日本植民地教育政策論—日本語教育政策を中心に—」『人文学報』No.82 東京都立大学人文学部
- 147)木村宗男(1971)「日本語教育史ノート(1)」『日本語教育研究』第4号 (財)言語文化研究所
- 148)土岐善麿(1971)「田丸卓郎博士」岩倉具実教授退職記念論文集出版後援会編(1971)『言語学と日本語問題—岩倉具実教授退職記念論文集—』くろしお出版
- 149)長沼直兄・浅野鶴子(1971)「〈対談〉長沼直兄先生と日本語教育」『日本語教育研究』第3号 (財)言語文化研究所
- 150)長沼直兄・浅野鶴子(1971)「〈対談〉長沼直兄先生と日本語教育」『日本語教育研究』第4号 (財)言語文化研究所
- 151)野間一正(1971)「ファン・デ・ヘスースの日本語文典—徳川鎖国期における一スペイン人の日本語研究—」『海外事情』19巻9号 拓殖大学海外事情研究所

- 152) 細野浩二(1971)「東京専門学校と邦語教授」『早稲田大学史記要』vol.IV 早稲田大学大学史編集所
- 153) 三沢光博(1971)「ホフマンに依る和歌の独訳 [J. J. Hoffman; Japanische Studien 1878] と助詞“や”に関するその説明」『日本大学文理学部(三島)研究年報』第20輯 日本大学三島学園
- 154) 山田健二(1971)「満鉄と児童文化—日満綴方使節のこと—」『日本児童文学』第17巻8号 日本児童文学者協会
- 155) 太田雅天(1972)「近代日本と中国-21-清水安三と沢崎堅造」『朝日ジャーナル』第14巻第26号 朝日新聞社
- 156) 小瀬仁作(1972)「芦田恵之助について」『山梨大學教育學部研究報告 第一分冊 人文社会科学系』第23号 山梨大学教育学部
- 157) 河合忠信・長縄光男(1972)「ニコライ・ネフスキー遺文抄(一)—露文書翰を中心として—」『ビブリア』No.52 天理大学出版部
- 158) 木村宗男(1972)「日本語教育史ノート(2)」『日本語教育研究』第5号 (財)言語文化研究所
- 159) 佐藤文樹(1972)「レオン・ド・ロニー—フランスにおける日本研究の先駆者—」『上智大学仏語・仏文学論集』第7号 上智大学フランス文学科
- 160) 槻木瑞生(1972)「外国語教授理論にあらわれた「民族と言語」意識について—日中戦争期を中心として—」『名古屋大學教育學部紀要—教育学科—』第18巻 名古屋大学教育学部
- 161) 中島誠(1972)「戦後と日本語の戦争責任」『新日本文学』303号(1972年10月号) 新日本文学会
- 162) 浜川勝彦(1972)「中島敦の南洋行」京都大学文学部国語学国文学研究室編『国語国文』41巻12号 中央図書出版社
- 163) 黄福慶(1972)「清末における留日学生の特質と派遣政策の問題点」『東洋学報』第54巻第4号 東洋文庫
- 164) 黄福慶(1972)「清末における留日学生派遣政策の成立とその展開」史学会編『史學雜誌』第81編7号 山川出版社
- 165) 三沢光博(1972)「ホフマンに依る和歌の独訳と助詞“や”に関するその説明・2」『日本大学文理学部(三島)研究年報』第21輯 日本大学三島学園

- 166)三沢光博(1972)「ホフマンの日蘭辞典について—その編纂事情を中心に—」『語文』第37輯 日本大学国文学会
- 167)水谷修(1972)「回顧と展望—外国人のための日本語教育学会成立十年にあたり—」『日本語教育』16号 日本語教育学会
- 168)石井庄司(1973)「里見弴氏に聞く—山口喜一郎先生の台湾行—」『国語教室』23号 青玄会
- 169)榎たかし(1973)「日本統治下における朝鮮の教育」広島平和教育研究所編『戦前の教育と私』朝日新聞社
- 170)木村晟・李俊生(1973)『『東語入門』略注』『駒澤大學外国語部研究紀要』第2号 駒澤大學外国語部
- 171)木村宗男(1973)「日本語教育史ノート(3)」『日本語教育研究』第8号 (財)言語文化研究所
- 172)木村宗男(1973)「山口喜一郎の日本語教授法について—対訳法から直接法へ—」『早稲田大学語学教育研究所10周年記念論文集』早稲田大学語学教育研究所
- 173)熊沢精次(1973)「ロドリゲスの日本語教育観」『日本研究』第3号 慶應義塾大学国際センター
- 174)高橋一夫・森清・斎藤修一・小出詞子(1973)「故長沼直兄先生追悼」『日本語教育』19号 日本語教育学会
- 175)高橋一夫(1973)「長沼先生のおもいで」『日本語教育』19号 日本語教育学会
- 176)細野浩二(1973)「中国対日留学史に関する一問題—清末における留学生派遣政策の成立過程の再検討—」『史観』第86・87冊 早稲田大学史学会
- 177)松井幸子(1973)「矢野竜溪論—「浮城物語」と文学観—」名古屋大学国語国文学会編(1973)『国語国文学論集：松村博司教授定年退官記念』名古屋大学国語国文学会
- 178)三沢光博(1973)「ホフマンに依る和歌の独訳 [J. J. Hoffman; Japanische Studien 1878] と助詞“や”に関するその説明・3」『日本大学文理学部(三島)研究年報』第22輯 日本大学三島学園
- 179)山本みち(1973)「退官にさいして—大阪外大の日本語教育をふりかえる—」『日本語・日本文化』第3号 大阪外国語大学研究留学生別科

- 180)生田美智子(1974)「ニコライ・ネフスキー遺文抄(二)ーネフスキー宛コンラド書翰ー」『ピブリア』No.56 天理大学出版部
- 181)木村宗男(1974)「日本語教育史ノート(4)」『日本語教育研究』第9号 (財)言語文化研究所
- 182)木村宗男(1974)「日本語教育の歴史と展望」『言語生活』1974年12月号 筑摩書房
- 183)近藤純子(1974)「侵略と日本語教師」『日本語教育』25号 日本語教育学会
- 184)桜井良平(1974)「ペテルブルグの日本人教師 黒野義文」『窓』8号 ナウカ
- 185)鈴木忍(1974)「日本語学校紹介」『日本語学校論集』1号 東京外国語大学
- 186)ダグラス・エドガー・ミルズ(1974)「欧米における日本語教育と日本研究」『関西大学東西学術研究所紀要』7 関西大学東西学術研究所
- 187)千葉大学人文学部図書・紀要編集委員会編(1974)「荻原浅男教授略年譜、主要論文・著書目録」『千葉大学人文研究：人文学部紀要』第3号 千葉大学人文学部
- 188)槻木瑞生(1974)「日本旧植民地における教育ー1920年代の「満州」における中国人教育を中心としてー」『名古屋大学教育學部紀要ー教育学科ー』第20巻 名古屋大学教育学部
- 189)古田東朔(1974)「アストンの敬語研究ー人称との関連についてー」『国語学』第96集 国語学会
- 190)別府貫一郎(1974)「ヴェネツィアの緒方惟直とその周辺」『SPAZIO』8号 日本オリベッティ株式会社広報室
- 191)松原秀一(1974)「フランス東洋学とレオン・ド・ロニーー福沢諭吉との関連においてー」『福澤手帳』2号 福澤諭吉協会
- 192)三沢光博(1974)「ホフマンの日本語研究と「和訓栞」」『語文』第39輯 日本大学国文学会
- 193)渡部宗助(1974)「アジア留学生と日本の大学・高等教育ー明治末期の山口高商の事例よりー」『月刊アジアの友』第119号 (財)アジア学生文化協会
- 194)渡部宗助(1974)「アジア留学生と日本の大学・高等教育ー明治末期の山口高商の事例より(続)ー」『月刊アジアの友』第120号 (財)アジア学生文化協会
- 195)渡部宗助(1974)「アジア留学生と日本の大学・高等教育ー植民地・台湾からの留学生の場合ー」『月刊アジアの友』第124号 (財)アジア学生文化協会

- 196)荒木雅実(1975)「「捷解新語」並書方について」『国語研究』38号 國學院大學国語研究会
- 197)李淑子(1975)「日本統治下朝鮮における日本語教育—朝鮮教育令との関連において—」『朝鮮学報』第75輯 朝鮮学会
- 198)川原尚武(1975)「芦田恵之助「随意選題論」の研究—綴方教育改革論の構造—」『京都大学教育学部紀要』第21号 京都大学教育学部
- 199)木村宗男(1975)「日本語教育における問題点 日本語教授法の基本問題—対訳法・直接法—」『講座日本語教育 第11分冊』早稲田大学語学教育研究所
- 200)熊沢精次(1975)「幕末、明治期の欧米人の日本語学習—チェンバレンを中心にして—」『日本語と日本語教育』第4号 慶應義塾大学国際センター
- 201)近藤純子(1975)「日本語の現場から—侵略と日本語教師—」『月刊アジアの友』第135号 (財)アジア学生文化協会
- 202)桜井良平(1975)「ロシアの日本語研究—1870年以降のペテルブルグ—」『日本語教育』26号 日本語教育学会
- 203)実藤恵秀(1975)「早稲田大学における中国留学生教育—特に清国留学生部を中心に—」『早稲田フォーラム』No.8 早稲田大学出版部
- 204)鈴木忍(1975)「高橋一夫先生と日本語教育」『日本語学校論集』2号 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
- 205)田中宏(1975)「日本語教育の<八・一五>」『月刊アジアの友』第135号 (財)アジア学生文化協会
- 206)槻木瑞生(1975)「日本旧植民地における教育—「満州」および間島における朝鮮人教育—」『名古屋大學教育學部紀要—教育学科—』第21巻 名古屋大学教育学部
- 207)鶴見俊輔(1975)「芦田恵之助」鶴見俊輔(1975)『鶴見俊輔著作集 2』筑摩書房
- 208)中西一弘(1975)「明治38年の芦田恵之助」『国語科教育』第22集 全国大学国語教育学会
- 209)細野浩二(1975)「所謂「支那保全」論と清国留日学生教育の様態—同仁会・東京同仁医薬学校を例にして—」『早稲田大学史記要』第8巻 早稲田大学大学史編集所
- 210)三沢光博(1975)「フィッツマイヤー(Pfizmaier)の「日本語の起源」に就いて」『日本大学文理学部(三島)研究年報 人文・社会科学編』第23輯 日本大学三島学園

- 211)渡邊修(1975)「アストンの日本語文典初版ーその書誌ー」『大妻女子大学文学部紀要』7号 大妻女子大学
- 212)庵途巖(1976)「芦田恵之助の読書観」『読書科学』第20巻第1号 日本読書学会
- 213)稲葉継雄(1976)「韓国における日本語教育ーその推移と展望ー」筑波大学文芸・言語学系内外国人に対する日本語教育プロジェクト編『外国人と日本語』2 筑波大学
- 214)草薙正典(1976)「私にとっての「日本語」ービルマの少年が突きつけた問いー」『朝日ジャーナル』1976年8月27日号 朝日新聞社
- 215)ケネス・D・バトラー(1976)「外国人の見た日本語教育ー過去・現在・将来ー」文部省編『文部時報』第1184号 ぎょうせい
- 216)後藤春吉(1976)「満洲国の文教政策と人」『満洲と日本人』第4号 大湊書房
- 217)小堀郁夫(1976)「日本の大学を目指してー国際学友会日本語学校ー」『厚生補導』124号 第一法規出版
- 218)桜井義之(1976)「『官立仁川日語学校』について」『朝鮮学報』第81輯 朝鮮学会
- 219)桜井良平(1976)「スペインの日本語小史」『日本語教育研究』第14号 (財)言語文化研究所
- 220)二見剛史(1976)「戦前日本における中国人留学生の教育ー特設予科制度の成立と改編ー」『日本大学精神文化研究所・教育制度研究所紀要』第7集 日本大学精神文化研究所
- 221)増田澄子(1976)「中世における欧州人・宣教師の日本語学力に関する考察」『岐阜女子大学国文学会会誌』5集 岐阜女子大学
- 222)三沢光博(1975)「フィッツマイヤーの日本語研究と諸家集の研究」鈴木知太郎博士の古稀を祝う会編(1975)『鈴木知太郎博士古稀記念国文学論攷』桜楓社
- 223)宮山平八郎・山代昌希(1976)「戦後日本におけるアジア人留学生の受入れ」『国立教育研究所紀要』第89集 国立教育研究所
- 224)三好公代(1976)「大正期における読みの指導観についてー芦田恵之助氏の場合ー」『ノートルダム清心女子大学国文学科紀要』第9号 ノートルダム清心女子大学
- 225)山中恒(1976)「大東亜共栄圏語」『現代詩手帳』19巻7号 思潮社

- 226)李淑子(1977)「第二次朝鮮教育令下言語教育教科書の内容」『朝鮮学報』第83輯 朝鮮学会
- 227)穎田島一二郎(1977)「小泉荃三」『短歌研究』34巻11号 短歌研究社
- 228)川路賢一郎(1977)「メキシコ拓殖に賭けた青春—照井亮次郎の思想と生涯—」『移住研究』No.14 国際協力事業団
- 229)河野伊都子(1977)「日本とオーストラリア—日本語教育のこと〔含兼松房次郎氏年譜〕—」『英学史研究』10号 日本英学史学会
- 230)岐阜女子短期大学紀要編集委員会(1977)「各務虎雄学長略歴および著書・論文」『岐阜女子短期大学研究紀要』27輯 岐阜女子短期大学
- 231)遠山茂樹(1977)「方言矯正と植民地教育」『岩波講座日本語 月報5』岩波書店
- 232)古田東朔(1977)「ホフマンの「日蘭辞典」「日英辞典」」『国語学』第108集 国語学会
- 233)増田澄子(1977)「中世における欧州人・宣教師の日本語学力に関する考察(その二)」『岐阜女子大学国文学会会誌』6集 岐阜女子大学
- 234)松原秀一(1977)「ペレール街の老学者—エリセエフ氏と語る—」『季刊芸術』11-3 季刊芸術出版
- 235)村松定孝(1977)「思い出のエリセーエフ」『学苑』昭和52年5月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 236)阿部洋(1978)「「対支文化事業」の成立過程」『日本の教育史学』第21集 教育史学会
- 237)阿部洋(1978)「二十世紀初頭における朝鮮人の日本留学—「韓国皇室特派留学生」の場合—」『国立教育研究所紀要』第94集 国立教育研究所
- 238)庵途巖(1978)「嶽尾来尚の禅風—芦田恵之助における教師の修養(二)—」『国語科教育』第25集 全国大学国語教育学会
- 239)伊高浩昭(1978)「琉球処分 沖縄語 共通語」『思想の科学』No.87 思想の科学社
- 240)伊藤芳照(1978)「鈴木忍先生と東外大附属日本語学校」『日本語学校論集』5号 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
- 241)榎一雄(1978)「三人の日本学者の逝去—エリセーエフ・ムッチョーリ・アグノーエルー—」『東洋学報』第59巻第3/4号 東洋文庫



- 242)上沼八郎(1978)「日本統治下における台湾留学生—同化政策と留学生問題の展望—」『国立教育研究所紀要』第94集 国立教育研究所
- 243)川瀬生郎(1978)「鈴木忍先生と日本語教育」『日本語学校論集』5号 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
- 244)小山いと子(1978)「下田歌子」円地文子監修(1978)『人物日本の女性史 第12巻—教育・文学への黎明—』集英社
- 245)斎藤秋男(1978)「彭湃—中国人日本留学生の一典型—」『国立教育研究所紀要』第94集 国立教育研究所
- 246)桜井美智子(1978)「言語学の明治草創期における B.H.Chamberlain」『東京女子大学附属比較文化研究所紀要』第39巻 東京女子大学附属比較文化研究所
- 247)谷口巖(1978)「レオン・ド・ロニー年譜及び著作目録ノート—その出生より明治6年まで(1837~1873)—」『愛知教育大学研究報告 人文科学・社会科学』27輯 愛知教育大学
- 248)二見剛史(1978)「戦前日本における中国人留学生予備教育の成立と展開」『国立教育研究所紀要』第94集 国立教育研究所
- 249)二見剛史(1978)「第一高等学校における中国人留学生教育」『国立教育研究所紀要』第95集 国立教育研究所
- 250)古田東朔(1978)「アストンの日本文法研究」東京大学国語国文学会編(1978)『国語と国文学』第55巻第8号 至文堂
- 251)細野浩二(1978)「清末留日極盛期の形成とその論理構造—西太后新政の指導理念と「支那保全」論的対応をめぐって—」『国立教育研究所紀要』第94集 国立教育研究所
- 252)本多勝一(1978)「国民教育としての外国語教育を—黒川泰男、鳥居次好の両氏との座談—」新英語教育研究会(1978)『新英語教育』1978年11月号 三友社
- 253)増田澄子(1978)「中世における欧州人・宣教師の日本語学力に関する考察(その三)」『岐阜女子大学国文学会会誌』7集 岐阜女子大学
- 254)水谷修(1978)「外国人に対する日本語教育」大野晋・柴田武編(1978)『岩波講座日本語 別巻—日本語研究の周辺—』岩波書店
- 255)村田翼夫(1978)「戦前における日・タイ間の人的交流—タイ人の日本留学を中心として—」『国立教育研究所紀要』第94集 国立教育研究所

- 256)山口正(1978)「占領地域で体験したことー古典仮名遣いと現代仮名遣いとー」『日本語教育研究』第17号 (財)言語文化研究所
- 257)山本信男(1978)「図書館人としての角田柳作先生」『早稲田大学図書館紀要』第19号 早稲田大学図書館
- 258)アジ・スマルナ・マルタウィジャヤ(1979)「戦後の日本語教育」早稲田大学社会科学研究所インドネシア研究部会編(1979)『インドネシア その文化社会と日本』早稲田大学出版部
- 259)伊澤平八郎(1979)「『清国人留学生』についての一史料」『キリスト教史学』第33集 キリスト教史学会
- 260)岩井憲幸(1979)「ゴシケービチ、橘耕斎「和魯通言比考」覚書」『早稲田大学図書館紀要』第20号 早稲田大学図書館
- 261)漆畑弥一(1979)「橘耕斎と「和魯通信比考」」『日本古書通信』44巻11号 日本古書通信社
- 262)大石智良・坂本志げ子(1979)「中国における日本語教育の体験ー黒竜江大学日本語学部'74～'76年ー」『中国研究月報』371号 (社)中国研究所
- 263)大石初太郎(1979)「西尾先生と山口喜一郎翁のことなど」『言語生活』1979年6月号 筑摩書房
- 264)河原尚武(1979)「「教式」の思想ー芦田恵之助の思想と実践ー」『関西教育学会年報』3号 関西教育学会
- 265)木村栄一郎(1979)「軍政期の教育制度と日本語教育」早稲田大学社会科学研究所インドネシア研究部会編『インドネシアーその文化社会と日本ー』早稲田大学出版部
- 266)木村宗男・浅野鶴子(1979)「東京日本語学校の創設期ー木村宗男先生に聴くー」『日本語教育研究』第18号 (財)言語文化研究所
- 267)杉田洋(1979)「ミクロネシア諸語に与えた日本語の影響ー予備調査報告ー」『東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学』第30集 東京学芸大学
- 268)根上剛士(1979)「芦田恵之助の戦後における一足跡ー教壇行脚の教えからー」『埼玉大学紀要 教育学部 人文・社会科学』第28巻 埼玉大学教育学部
- 269)本間繁輝(1979)「日本語の教育方法の問題ー文革前の体験と最近の見聞からー」『中国研究月報』371号 (社)中国研究所

- 270)牧田英二・大山沙里(1979)「最近の日本語教育の動向―'76.4～'78.2 上海―」『中国研究月報』371号 (社)中国研究所
- 271)増田澄子(1979)「中世における欧州人・宣教師の日本語学力に関する考察(四)」『岐阜女子大学国文学会会誌』8集 岐阜女子大学
- 272)石井庄司(1980)「芦田恵之助先生の綴り方教育の実際」『国語科教育』第27集 全国大学国語教育学会
- 273)生地竹郎(1980)「土居光知先生小伝」『英語青年』第126巻第1号 研究社出版
- 274)蔭山雅博(1980)「宏文学院における中国人留学生教育―清末期留日教育の一端―」『日本の教育史学』第23集 教育史学会
- 275)上沼八郎(1980)「下田歌子と中国女子留学生―実践女学校中国留学生部を中心として―」『日本教育学会第39回大会発表要旨集録』 日本教育学会
- 276)河原宏(1980)「アジア主義の制度化―対満事務局、興亜院、大東亜省の設置―」『社会科学研究』第25巻第2号 早稲田大学アジア太平洋研究センター
- 277)河村一夫(1980)「外交官としての矢野竜溪―清国留学生招聘策について―」『政治経済史学』167 日本政治経済史学研究所
- 278)川本彰(1980)「太平洋戦争と文学者―軍政下における火野葦平・井伏鱒二について―」『明治学院論叢』第291号 明治学院大学
- 279)木村宗男・浅野鶴子(1980)「東京日本語学校の創設期―木村宗男先生に聴く―」『日本語教育研究』第19号 (財)言語文化研究所
- 280)左藤正範(1980)「インドネシアにおける日本軍政の言語政策 (その1)」『太平洋学会誌』第6号 太平洋学会
- 281)左藤正範(1980)「インドネシアにおける日本軍政の言語政策 (その2)」『太平洋学会誌』第7号 太平洋学会
- 282)左藤正範(1980)「インドネシアにおける日本軍政の言語政策 (その3)」『太平洋学会誌』第8号 太平洋学会
- 283)佐藤有(1980)「昭和期(戦前)における現代日本語教育の系譜―教育科学研究会(戦後)との連続性・非連続性を中心に―」『日本教育学会第39回大会発表要旨集録』 日本教育学会

- 284)島田正郎(1980)「私立明治大学経緯学堂始末記－清朝の対留日学生政策をめぐって－」『法律論叢別冊 明治大学法学部創立 100 周年記念論文集』 明治大学法律研究所
- 285)長尾影義(1980)「王照と伊沢修二－清末文字改革家の日本との交渉－」『集刊東洋學』 43 号 東北大学中国文史哲研究会
- 286)中村孝志(1980)「小竹徳吉伝試説－台湾のペスタロッター－」『南方文化』 第 7 輯 天理南方文化研究会
- 287)中村孝志(1980)「東亜書院と東文学堂－台湾総督府華南教育施設の濫觴－」『天理大学学报』 第 124 輯 天理大学学術研究会
- 288)中村孝志(1980)「福州東瀛学堂と廈門旭瀛書院－台湾総督府華南教育施設の開始－」『天理大学学报』 第 128 輯 天理大学学術研究会
- 289)増田澄子(1980)「中世における欧州人宣教師の日本語学力に関する考察(五)」『岐阜女子大学国文学会会誌』 9 集 岐阜女子大学
- 290)松崎碩子(1980)「パリにおける日本語図書所蔵図書館－その歴史と現状－」『びぶろす』 Vol.31, No.5 国立国会図書館連絡部
- 291)山根幸夫(1980)「上海日本近代科学図書館について」『史論』 第 33 集 東京女子大学学会史学研究室
- 292)容応莢(1980)「清末近代化における対日留学生の派遣」『アジア研究』 第 26 巻第 4 号 アジア政経学会
- 293)アレクサンダー・スラヴィーク(1981)「私の日本研究 50 年」『∞無限大』 52 号 日本アイ・ビー・エム
- 294)江湖山恒明(1981)「思い出の人々－釘本さんと片桐君－」『日本語』 21 巻 8 号 国語を愛する会
- 295)亀谷了(1981)「釘本久春さんのこと」『日本語』 21 巻 8 号 国語を愛する会
- 296)木村宗男・浅野鶴子(1981)「東京日本語学校の創設期－木村宗男先生に聴く－」『日本語教育研究』 第 20 号 (財)言語文化研究所
- 297)左藤正範(1981)「インドネシア語の中の日本語語源の語彙－日本軍政のインパクトに関する予備的データとして－」東京外国語大学インドネシア語学科研究室編『伊東定典教授・洪沢元則教授退官記念論集 インドネシア研究論叢』 東京外国語大学インドネシア語学科研究室

- 298)高木きよ子(1981)「蛍の光窓の雪」『アメリカ・カナダ十一大学日本研究センター紀要』4号 アメリカ・カナダ十一大学日本研究センター
- 299)高梨健吉(1981)「チェンバレン「ローマ字日本語読本」」『日吉紀要』23号 慶応義塾大学工学部
- 300)田中圭治郎(1981)「アメリカに於ける日本語学校序説—その文化的背景—」『関西教育学会年報』5号 関西教育学会
- 301)成田勝(1981)「宣教師の日本語理解力について」『大分縣地方史』102号 大分県地方史研究会
- 302)馬場明(1981)「興亜院設置問題と宇垣一成」軍事史学会編『軍事史学』第17巻第1号 錦正社
- 303)平松幹夫(1981)「日本語教育の思い出」『日本語教育』44号 日本語教育学会
- 304)増田澄子(1981)「中世における欧州人宣教師の日本語学力に関する考察(六)」『岐阜女子大学国文学会会誌』10集 岐阜女子大学
- 305)武藤辰男(1981)「釘本久春先生と中村誠司先生」『日本語』21巻8号 国語を愛する会
- 306)村井万里子(1981)「山口喜一郎氏の言語観」『月刊国語教育研究』105号 日本国語教育学会
- 307)阿部賢一(1982)「清末、中国人留日学生の動向と進化論(I)」『政治経済史学』195 日本政治経済史学研究所
- 308)阿部賢一(1982)「清末、中国人留日学生の動向と進化論(II)」『政治経済史学』196 日本政治経済史学研究所
- 309)石井均(1982)「日本軍政下におけるフィリピンの文教政策」『研究紀要』26号 岡山県立短期大学
- 310)乾英一(1982)「スペインにおける日本語教育」『ILT NEWS』82号 早稲田大学語学教育研究所
- 311)木村宗男(1982)「日本語教育の変遷の中で」『木村宗男先生記念論文集』早稲田大学語学教育研究所
- 312)熊沢精次・斎藤修一編(1982)「日本語教育年表」日本語教育学会編『日本語教育事典』大修館書店

- 313)佐藤洋子(1982)「ベルリンにおける日本語教育の開始」早稲田大学語学教育研究所編(1982)『木村宗男先生記念論文集』早稲田大学語学教育研究所
- 314)中川隆(1982)「ブリッジウォータ師範学校と伊沢修二(伊沢史料の発見)」『亜細亜大学教養部紀要』26号 亜細亜大学教養部
- 315)馬場明(1982)「対支文化事業特別会計の設置」『國學院雑誌』第83巻第11号 國學院大學綜合企画部
- 316)平高史也(1982)「外国語教育の初源—ヴェトナムの外国語教育論—」『1982年度日本語教育学会大会予稿集』 日本語教育学会
- 317)増田澄子(1982)「中世における欧州人宣教師の日本語学力に関する考察(七)」『岐阜女子大学国文学会会誌』11集 岐阜女子大学
- 318)松岡弘(1982)「中国赴日留学生予備学校における日本語教育」『日本語学校論集』9号 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
- 319)南塚信吾(1982)「日本とハンガリーの文化交流—A 日本=ハンガリー文化交流の歴史と現状」日本東欧関係研究会編『日本と東欧諸国の文化交流に関する基礎的研究』 日本東欧関係研究会
- 320)森田芳夫(1982)「韓国における日本語教育の歴史」『日本語教育』48号 日本語教育学会
- 321)渡邊修(1982)「アストン「日本語口語文典」初版影印」『大妻女子大学文学部紀要』14号 大妻女子大学
- 322)石井洋子(1983)「辛亥革命期の留日女子学生」『史論』第36号 東京女子大学学会史学研究室
- 323)小川芳男(1983)「日本語教育のあゆみ」『日本語教育』50号 日本語教育学会
- 324)小野次男(1983)「伊沢修二・高嶺秀夫のアメリカ留学」『教育學雑誌』第17号 日本大学教育学会
- 325)上沼八郎(1983)「下田歌子と中国女子留学生—実践女学校「中国留学生部」を中心として—」『実践女子大学文学部紀要』第25集 実践女子大学
- 326)川瀬生郎他(1983)「学会の20年と日本語教育」『日本語教育』50号 日本語教育学会
- 327)北條淳子(1983)「日本語教育学会20年の歩み(1961年度—82年度)」『日本語教育』50号 日本語教育学会

- 328) 権在淑(1983)「戦前の日本語教育における言語観の問題—国語対策協議会議事録を中心に—」『日本教育学会第42回大会発表要旨集録』 日本教育学会
- 329) 熊沢精次(1983)「日本語学習書としての「ロドリゲス日本大文典」の価値」『日本語と日本語教育』第11号 慶應義塾大学国際センター
- 330) 倉持保男(1983)「日本語教育の現状と今後の展望」『日本語教育』50号 日本語教育学会
- 331) 坂口至(1983)「漂流民ゴンザのアクセント(上)」『文献探究』13 文献探究の会
- 332) 左藤正範(1983)「インドネシアにおける日本軍政期の言語・教育政策—日本海軍支配地域の場合—」『京都産業大学論集』第12巻第4号(外国語と外国文学系列 第10号) 京都産業大学
- 333) 佐藤有(1983)「(昭和)戦前における国語国字運動の一断片—現代日本語教育の思想との関連で—」『北海道教育大学紀要 第一部 C 教育科学編』第34巻第1号 北海道教育大学
- 334) 林大他(1983)「〈座談会〉学会の20年と日本語教育」『日本語教育』50号 日本語教育学会
- 335) 藤原政行(1983)「芦田恵之助の読み方教授—七変化の教式について—」『教育学雑誌』第17号 日本大学教育学会
- 336) 前田貞昭(1983)「井伏鱒二・その戦時下抵抗のかたち—「花の町」を軸にして—」『近代文学試論』第20号 広島大学近代文学研究会
- 337) 増田澄子(1983)「中世における欧州人宣教師の日本語学力に関する考察(八)」『岐阜女子大学国文学会会誌』12集 岐阜女子大学
- 338) 松崎正治(1983)「昭和十年代における西尾実の言語活動主義」『国語科教育』第30集 全国大学国語教育学会
- 339) 武藤辰男(1983)「釘本久春さんとの出会い」『日本語』23巻2号 国語を愛する会
- 340) 村井万里子(1983)「山口喜一郎氏の言語活動観—円環モデルの考察—」『月刊国語教育研究』129号 日本国語教育学会
- 341) 村上兵衛(1983)「ヒロシマの南方特別留学生」『海外事情』第31巻11号 拓殖大学海外事情研究所
- 342) 森川甫(1983)「ロニの東洋語学校日本語講座開講講演(1863年)」『関西学院大学社会学部紀要』第47号 関西学院大学社会学部

- 343)渡邊修(1983)「アストン日本語口語文典(仏訳本)附録」『大妻国文』第14号 大妻女子大学国文学会
- 344)阿部由美子(1984)「日本の朝鮮支配と文教政策—普通学校国語読本の分析を通して—」『学校教育論集』第5巻 筑波大学教育学系朴研究室
- 345)李元植(1984)「朝鮮通信使に随行した倭学訳官について—捷解新語の成立時期に関する確証を中心に—」『朝鮮学報』第111輯 朝鮮学会
- 346)石井均(1984)「日本軍政下における東南アジア地域の教育—日本語教育について—」『研究紀要』28号 岡山県立短期大学
- 347)井下理(1984)「国際センター日本語教授法講座に関する修了生の追跡調査」『日本語と日本語教育』第12号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 348)太田孝子(1984)「排日運動下における布哇の日本語学校—1920年の外国語学校取締法を中心として—」『お茶の水女子大学人文科学紀要』第37巻 お茶の水女子大学
- 349)岡部匠一(1984)「ロシアが日本を知ったとき—漂着した日本語教師—」『金沢大学大学教育開放センター紀要』第4号 金沢大学大学教育開放センター
- 350)北山晴一(1984)「パリ東洋語学校日本学科の憂鬱」『中央公論』1984年8月号 中央公論社
- 351)坂口至(1984)「漂流民ゴンザのアクセント(下)」『文献探究』14 文献探究の会
- 352)田中圭治郎(1984)「戦後アメリカにおける日本語学校—カリフォルニア州の日本語学園協同システムとハワイ教育会を中心として—」東京学芸大学海外子女教育センター西村研究室編『国際教育研究』第5号 東京学芸大学
- 353)増田澄子(1984)「中世における欧州人宣教師の日本語学力に関する考察(九)」『岐阜女子大学国文学会会誌』13集 岐阜女子大学
- 354)宮永孝(1984)「ヨハン・ヨゼフ・ホフマン—ライデンの日本語学者—」『法政大学教養部紀要』第50号 法政大学教養部
- 355)村井万里子(1984)「国語教育基礎論研究—山口喜一郎氏の日本語教授法の考察を通して—」『広島大学教育学部紀要 第二部』第33号 広島大学教育学部
- 356)村井万里子(1984)「山口喜一郎氏の言語活動論」『国語科教育』第31集 全国大学国語教育学会



- 357)村井万里子(1984)「山口喜一郎氏の日本語教授法—その体系と展開—」『月刊国語教育研究』141号 日本国語教育学会
- 358)渡邊修(1984)「アストン日本語口語文典(3本対校)その一」『大妻女子大学文学部紀要』16号 大妻女子大学
- 359)飯田千穂子(1985)「日本統治下の初等教育」『季刊三千里』第41号 三千里社
- 360)池上貞一(1985)「長谷川雄太郎と広州同文館(上)」『紀要』80号 愛知大学国際問題研究所
- 361)伊藤聰(1985)「アイヌ民族と言語教育 I—神保小虎の「アイヌ教育に要する教員の養成」について—」『研究紀要』第23号 名古屋短期大学
- 362)稲葉継雄(1985)「光州実業学校について—旧韓末「日語学校」の一事例—」『外国語教育論集』第7号 筑波大学外国語センター
- 363)稲葉継雄(1985)「韓南学堂について—旧韓末「日語学校」の一事例—」『文藝言語研究 言語篇』第10巻 筑波大学文芸・言語学系
- 364)今井輝子・村川庸子(1985)「米国太平洋岸諸州における日本語教育およびその文化的変容に関する一覚書—大戦間期の排日運動を背景に—」『津田塾大学紀要』No.17 津田塾女子大学
- 365)岩熊幸男(1985)「一九世紀の西洋日本語学—アストンとチェンバレン—」吉田光邦編(1985)『一九世紀日本の情報と社会変動』京都大学人文科学研究所
- 366)川瀬生郎(1985)「国内に於ける日本語教育の歴史・現状・将来、国立国語研究所日本語教育センター」『日本語学』第4巻第7号 明治書院
- 367)窪田富男(1985)「国内に於ける日本語教育の歴史・現状・将来、日本語教育学会」『日本語学』第4巻第7号 明治書院
- 368)後藤乾一(1985)「インドネシアで初めて日本語を教えた人—長島弘とD・デッケルのクサトリア学院—」東南アジア史学会編『東南アジア 歴史と文化』14 平凡社
- 369)小森陽一(1985)「国定国語教科書における植民地教材」『成城学園教育研究所研究年報』8集 成城学園教育研究所
- 370)坂口至(1985)「漂流民ゴンザのアクセント—追考—」『宮崎大学教育学部紀要 人文科学』57号 宮崎大学教育学部

- 371)坂口至(1985)「ゴンザ『新スラブ・日本語辞典』のアクセント」『文献探究』16 文献探究の会
- 372)崎村弘文(1985)「ゴンザのアクセント・私考」『文献探究』15 文献探究の会
- 373)高橋達明(1985)「ストコヴォーイの「仏日語彙」」『京都女子大学人文論叢』第33号 京都女子大学人文学会
- 374)武田祈(1985)「日本語教育(戦後編)略年表」『国文学解釈と鑑賞』第50巻3号 至文堂
- 375)田中圭治郎(1985)「アメリカにおける日本語学校成立過程(黎明期)」『関西教育学会年報』9号 関西教育学会
- 376)蔡茂豊(1985)「台湾における日本語教育」『日本語学』第4巻第7号 明治書院
- 377)蔡茂豊(1985)「台湾における日本語教育」補述」『日本語学』第4巻第8号 明治書院
- 378)土岐哲(1985)「日本語音声教育の変遷」『日本語学』第4巻第7号 明治書院
- 379)西尾瑛子(1985)「国際日本語普及協会の歩み」『日本語学』第4巻第7号 明治書院
- 380)根本正義(1985)『国語文化講座』総目次：国語教育に関する資料の紹介」『学芸国語国文学』20号 東京学芸大学国語科教育研究室
- 381)野村章(1985)「旧日本植民地の形成と「満洲」の教育」『成城学園教育研究所研究年報』8集 成城学園教育研究所
- 382)樋口靖(1985)「台湾「国語」をめぐる二三の問題について」『外国語教育論集』7号 筑波大学外国語センター
- 383)二見剛史(1985)「日中文化交流に関する一考察—松本亀次郎を中心として—」『日本比較教育学会紀要』第11号 日本比較教育学会
- 384)古田啓(1985)「西洋人が学ぼうとしたのはどのような日本語か」『国文学解釈と鑑賞』第50巻3号 至文堂
- 385)古田啓(1985)「ホフマンの日本文法研究における〈格〉」『国語と国文学』第62巻第1号 至文堂
- 386)堀口純子(1985)「筑波大学における日本語教育その十年」『筑波大学留学生教育センター日本語論集』第1号 筑波大学留学生教育センター

- 387)松本洋一郎(1985)「周恩来、魯迅の師、松本亀次郎」『知識』第40号 アートプロダクション・ノア『知識』出版部
- 388)村井万里子(1985)「明治期の台湾における国語科(日本語)教育—その生成過程と理念を中心に—」『広島大学教育学部紀要 第二部』第34号 広島大学教育学部
- 389)村上嘉英(1985)「旧植民地台湾における言語政策の一考察」『天理大学学報』第144輯 天理大学学術研究会
- 390)森田富美子(1985)「国際学友会」『日本語学』第4巻第7号 明治書院
- 391)文部省学術国際局国際教育文化課(1985)「日本語教員養成の拡充と日本語教育検定制度の創設」『大学と学生』233号 第一法規出版
- 392)安田章(1985)「捷解新語の木板本」京都大学文学部国語学国文学研究室編『国語国文』54巻12号 中央図書出版社
- 393)池上貞一(1986)「長谷川雄太郎と広州同文館(下)」『紀要』83号 愛知大学国際問題研究所
- 394)石川健(1986)「支那派遣教員の記録—日記による経緯と随想—」宮城県教職員組合編『戦争と教師たち』宮城友栄社
- 395)石黒寛(1986)「ロシアにおける最初の日本語学校」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 396)市原靖久(1986)「旧制関西大学に入学した朝鮮人学生—入学前の教育および入学動機を中心に—」『関西大学人権問題研究室紀要』第13号 関西大学人権問題研究室
- 397)伊藤聰(1986)「アイヌ民族と言語教育Ⅱ—いわゆる「和土混合教育」について—」『研究紀要』第24号 名古屋短期大学
- 398)稲葉継雄(1986)「仁川日語学校について—旧韓末「日語学校」の一事例—」『文藝言語研究言語篇』第11巻 筑波大学文芸・言語学系
- 399)稲葉継雄(1986)「韓国における日本語教育史」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 400)稲葉継雄(1986)「京城学堂について—旧韓末「日語学校」の一事例—」『日本の教育史学』第29集 教育史学会
- 401)稲葉継雄(1986)「達城学校について—旧韓末「日語学校」の一事例—」『外国語教育論集』8号 筑波大学外国語センター

- 402)稲葉継雄(1986)「釜山開成学校について―旧韓末「日語学校」の一事例―」『筑波大学地域研究』4 筑波大学大学院地域研究研究科
- 403)今井幹夫(1986)「矢野隆山と4人の宣教師―幕末における日本語学習の一断面―」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 404)岩本祐生子(1986)「伊沢修二と日本語教育」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 405)エディ・ヘルマワン(1986)「インドネシアにおける日本語教育」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 406)太田弘毅(1986)「フィリピンにおける日本軍政と日本語教育」『政治経済史学』238 日本政治経済史学研究所
- 407)加藤信明(1986)「アストン『日本口語文典』四版の性格」『上智大学国文学論集』19 上智大学国文学会
- 408)川瀬生郎(1986)「高橋一夫先生、鈴木忍先生と日本語教育」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 409)木村宗男(1986)「山口喜一郎―人物日本語教育史―」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 410)京極興一(1986)「「国語」「邦語」「日本語」について―近世から明治前期に至る―」『国語学』第146集 国語学会
- 411)熊沢精次(1986)「フランスの日本語教育史―レオン・ド・ロニーを中心に―」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 412)小島勝(1986)「戦前のアジア地域における本願寺派開教使の日本語教育(その1)」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第25集 龍谷大学仏教文化研究所編
- 413)近藤純子(1986)「芝山巖事件」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 414)近藤純子(1986)「蔡培火のローマ字運動―台湾日本語教育史の一研究―」『月刊アジアの友』第239号 (財)アジア学生文化協会
- 415)斉藤修一(1986)「北京大学所蔵「日本語教育史」関係書目(資料)」『日本語と日本語教育』第15号 慶應義塾大学国際センター
- 416)崎村弘文(1986)「ゴンザのアクセント・私考 続」『文献探究』17 文献探究の会

- 417)水洞幸夫(1986)「山口喜一郎『外国語としての我が国語教授法』〈解説〉」解釈学会編『解釈』第32巻第2号 教育出版センター
- 418)杉原達(1986)「旧制関西大学に在籍した朝鮮人学生の修学状況」『関西大学人権問題研究室紀要』第13号 関西大学人権問題研究室
- 419)関正昭(1986)「松下大三郎と日本語教育—『漢訳日本口語文典』の先駆性—」『中京国文学』第5号 中京大学国文学会
- 420)多賀宗隼(1986)「伊沢修二書翰5通—附 福島安正書翰—」日本歴史学会編(1986)『日本歴史』第457号 吉川弘文館
- 421)高橋信雄・述〔内海愛子・聞き手〕(1986)「日本語を母国語化しようとした日本—私は台湾の学校で教えた—」『天皇制研究』第10号 JCA出版
- 422)趙博(1986)「日帝時代の基礎資料に見る在日留学生と関大留学生の動き」『関西大学人権問題研究室紀要』第13号 関西大学人権問題研究室
- 423)鄭大均(1986)「〈日本語〉の国語化と禁忌語化」川村湊・鄭大均編(1986)『韓国という鏡—戦後世代の見た隣国—』東洋書院
- 424)蔡茂豊(1986)「『日本語教授書』についての考察」『1986年度日本語教育学会大会予稿集』日本語教育学会
- 425)寺本潔(1986)「日本委任統治下南洋群島の公学校における地理教育—『国語読本』及び地理科教授要目を手がかりにして—」『新地理』第33巻第4号 日本地理教育学会
- 426)中山光男(1986)「タイ国における日本語教育」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 427)滑川道夫(1986)「ひとすじ道を貫いた松坂忠則」『日本児童文学』第32巻第5号 日本児童文学者協会
- 428)平野日出雄(1986)「中国人日本留学生の日本語教育の歴史と松本亀次郎の功績」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 429)藤井友子(1986)「実藤文庫にみる中国人の手になる日本語学習書」『ILT News』80 早稲田大学語学教育研究所
- 430)松実頼一・述〔宮崎邦彦・聞き手〕(1986)「イイ ウェノム (倭奴) といわれた日本人—朝鮮の学校で教えた—」『天皇制研究』第10号 JCA出版

- 431)森清(1986)「太平洋戦争前後における米軍将校に対する日本語教育—長沼直兄を中心に—」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 432)山口正(1986)「釘本久春氏の業績」『日本語教育』60号(特集：日本語教育史) 日本語教育学会
- 433)梁永厚(1986)「旧制関西大学に学んだ朝鮮人学生のプロフィール」『関西大学人権問題研究室紀要』第13号 関西大学人権問題研究室
- 434)王宏(1986)「中国と日本語 その過去・現在・将来」『国際交流』第41号 国際交流基金
- 435)李明姫(1987)「原刊「捷解新語」から「重刊改修捷解新語」への改変」『国語学研究』第27号 東北大学文学部『国語研究』刊行会
- 436)稲葉継雄(1987)「東本願寺の旧韓国における教育活動」『筑波大学地域研究』5 筑波大学大学院地域研究研究科
- 437)浦田義和(1987)「ミクロネシアと中島敦」『南島文化』第9号 沖縄国際大学南島文化研究所
- 438)江上芳郎(1987)「大東亜戦争末期における留学生行政—岐阜農林専門学校における南方特別留学生の受入れについて—」『研究紀要』第2号 鹿屋体育大学
- 439)大木早苗(1987)「カナダでの日本語学校十年の実践」『移住研究』No.24 国際協力事業団
- 440)小川博(1987)「さねとうけいしゅうの二つの中国人日本留学史について」『社会科学研究』第33巻第1号 早稲田大学アジア太平洋研究センター
- 441)小黒浩司(1987)「北京近代科学図書館史の研究Ⅰ」『図書館学会年報』vol.33-No.3 日本図書館情報学会
- 442)小黒浩司(1987)「北京近代科学図書館史の研究Ⅱ」『図書館学会年報』vol.33-No.4 日本図書館情報学会
- 443)加藤直子(1987)「戦前における中国人留日女子学生について—女子学生の事例を中心として—」『史論』第40号 東京女子大学学会史学研究室
- 444)北村日出夫(1987)「「国語」思想の点検—雑誌「日本語」の時枝論文批判—」『評論・社会科学』第33号 同志社大学人文学会

- 445)木村宗男・富田節(1987)「戦後の日本語教育と今後の発展」『ことば・こころ』第14号 (財)京都日本語教育センター
- 446)熊沢精次(1987)「Leon de Rosny"Resume des principales connaissances necessaires pour l'etude de la langue japonaise"(1854年)について」『日本語と日本語教育』第16号 慶應義塾大学国際センター
- 447)小出詞子(1987)「日本語教師養成」遍歴」『日本語教育』63号 日本語教育学会
- 448)小島勝(1987)「戦前のアジア地域における本願寺派開教使の日本語教育(その2)」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第26集 龍谷大学仏教文化研究所編
- 449)小島勝(1987)「日本統治下の台湾教育への視角」『台湾文学研究会会報』第11・12合併号 台湾文学研究会
- 450)五味政信(1987)「戦前の日本語教育と「日本語教育振興会」」『日本語学校論集』14号 東京外国語大学外国語学部附属日本語学校
- 451)近藤純子(1987)「芝山巖事件—台湾日本語教育史の一研究—」『月刊アジアの友』第250号 (財)アジア学生文化協会
- 452)斉藤修一(1987)「山口喜一郎著「日本語話方入門」(北京大学本)-1-(資料)」『日本語と日本語教育』第16号 慶應義塾大学国際センター
- 453)椎名和男(1987)「国際交流基金・設立15周年—日本語教材現地化への道—」『国際交流』第44号 国際交流基金
- 454)関正昭(1987)「三矢重松・松尾捨冶郎と日本語教育」『中京国文学』第7号 中京大学国文学会
- 455)宋晚翼(1987)「韓日併合後の朝鮮における日本語教育」『学芸国語教育研究』第2号 東京学芸大学国語科教育研究室
- 456)高木展郎(1987)「山口喜一郎の話しことば教育論—「話すことの教育」(昭27年)を中心に—」『言語表現研究』第5号 兵庫教育大学言語表現学会
- 457)田上由紀子(1987)「筑波大学における日本語科学用語教育の3年」『筑波大学留学生教育センター日本語教育論集』第3号 筑波大学留学生教育センター
- 458)槻木瑞生(1987)「南満中学堂覚書」『同朋大学論叢』第56号 同朋大学同朋学会

- 459)前田貞昭(1987)「井伏鱒二の占領体験—異民族支配と文学(シンガポールの場合)—」『岐阜大学国語国文学』第18号 岐阜大学教育学部国文研究室
- 460)松原秀一(1987)「レオン・ド・ロニ略伝」『近代日本研究』第3巻 慶應義塾福澤研究センター
- 461)松本武彦(1987)「清末留日学生刊行諸雑誌の流通ルートにみえる在日華僑について」『研究紀要』第25巻 大分県立芸術短期大学
- 462)安田章(1987)「捷解新語の改修本」京都大学文学部国語学国文学研究室編『国語国文』56巻3号 中央図書出版社
- 463)山口幸二(1987)「「ダイトア」思想と日本語—かつての日本語教育と現在—」『日本語・日本文化』第14号 大阪外国語大学留学生別科
- 464)渡邊裕子(1987)「「直接法」と山口喜一郎の教授法」『AKP 紀要』創刊号 同志社大学
- 465)安里彦紀(1988)「大正期、沖縄における国語教育運動について—芦田恵之助の国語教授法を中心として—」『沖縄女子短期大学紀要』第6号 沖縄女子短期大学
- 466)稲葉継雄(1988)「旧韓末「日語学校」の日本人教師—その代表的事例—」『国立教育研究所紀要』第115集 国立教育研究所
- 467)稲葉継雄(1988)「源興学校について—旧韓末「日語学校」の一事例—」『文藝言語研究 言語篇』第15巻 筑波大学文芸・言語学系
- 468)上杉允彦(1988)「日本統治完成期の「高砂族」の教育について(1)花蓮港庁を中心として」『高千穂論叢』昭和63年度(一) 高千穂商科大学商学会
- 469)上杉允彦(1988)「日本統治完成期の「高砂族」の教育について(2)花蓮港庁を中心として」『高千穂論叢』昭和63年度(二) 高千穂商科大学商学会
- 470)臼杵百合子(1988)「留学生受け入れの変遷と今後」神戸都市問題研究所『都市政策』52号 勁草書房
- 471)内山秀夫(1988)「沖縄縣費第一回留学生」『近代日本研究』第4巻 慶應義塾福澤研究センター
- 472)江上芳郎(1988)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(1)—南方特別留学生招へい事業発足時における問題点—」『研究紀要』第3号 鹿屋体育大学



- 473)大塚浩(1988)「蘆田恵之助研究・読みにおける着語を中心に」『教育学研究紀要 第二部』第 34 卷 中国四国教育学会
- 474)岡本洋之(1988)「福沢諭吉の初の朝鮮人留学生受入れに関する一考察—『学問のすゝめ』『文明論之概略』との関連において—」『大阪市立大学文学部 教育学論集』第 14 号 大阪市立大学
- 475)小川嘉子(1988)「清末の近代学堂と日本人女子教習—広東女子師範学堂を中心に—」『国立教育研究所紀要』第 115 集 国立教育研究所
- 476)沖田行司(1988)「ハワイ日系移民と教育—排日運動期における日本語学校—」『人文學』第 146 号 同志社大学人文学会
- 477)蔭山雅博(1988)「宏文学院における中国人留学生教育 2—清末期留日教育の一端—」斎藤秋男編(1988)『教育のなかの民族—日本と中国—』明石書店
- 478)蔭山雅博(1988)「清末江蘇省の教育改革と日本人教習」『日本の教育史学 教育史学会紀要』第 31 集 教育史学会
- 479)金子尚一(1988)「馬場辰猪の日本文典初歩」『国文学解釈と鑑賞』第 53 卷 1 号 至文堂
- 480)上沼八郎(1988)「内堀維文と山東省師範学堂〔含 内堀維文略年譜〕」『国立教育研究所紀要』第 115 集 国立教育研究所
- 481)小島勝(1988)「第 2 次世界大戦前の本派本願寺開教使の日本語教育—アジア地域を中心に—」『日本教育社会学会大会発表要旨集録』第 40 回 日本教育社会学会
- 482)近藤純子(1988)「「構成式話し方教授法」について—台湾日本語教育史の一研究—」『教育研究紀要』No.14 近畿大学教育研究所
- 483)斉藤修一(1988)「山口喜一郎著「日本語話方入門」(北京大学本)-2-(資料)」『日本語と日本語教育』第 17 号 慶應義塾大学国際センター
- 484)宋晚翼(1988)「日本語教育基礎論研究(I)—山口喜一郎の日本語教授論の考察を通して—」『教育学研究紀要 第二部』第 34 卷 中国四国教育学会
- 485)田中敦子(1988)「明治期における綴り方教科書教授の実際—芦田恵之助の場合—」『国語科教育』第 35 集 全国大学国語教育学会
- 486)槻木瑞生(1988)「岩間徳也と「満州」の中国人教育」『国立教育研究所紀要』第 115 集 国立教育研究所

- 487)名柄迪(1988)「言語教育理論の史的発展と日本語教育の現状」『Sophia International Review』vol.10 上智大学比較文化学部
- 488)西田直敏(1988)「明治大正期の北海道・樺太における北方諸民族への日本語教育」『甲南女子大学研究紀要』第25号 甲南女子大学
- 489)西野節男(1988)「小笠原の変換と島民教育の変化―「帰国」子女教育の一つの事例として―」『国際教育研究』第8号 東京学芸大学海外子女教育センター国際教育研究室
- 490)野地潤家(1988)「芦田恵之助の国語教材への反応(1)―『国語読本各課取扱の着眼点』の場合―」『教育学研究紀要 第二部』第34巻 中国四国教育学会
- 491)野地潤家(1988)「綴り方の発達の段階に関する研究―芦田恵之助の場合―」『国語科教育』第35集 全国大学国語教育学会
- 492)土生良樹(1988)「ある南方特別留学生の半生記―ラジャー・ダト・ノンチック氏の回顧談―」『海外事情』第36巻11号 拓殖大学海外事情研究所
- 493)平高史也(1988)「外国語教授法変遷の軸―19世紀末の外国語教育改革運動を中心に―」『東海大学紀要留学生教育センター』第8号 東海大学
- 494)牧野恵子(1988)「日本語教育史の一時代―第二次世界大戦中の教育理念と、その実際上の諸問題―」『1988年度日本語教育学会大会予稿集』 日本語教育学会
- 495)三澤茂(1988)「母語考―旧韓末の日本語教育史の視点から―」『東海大学紀要留学生教育センター』第8号 東海大学
- 496)村井万里子(1988)「芦田恵之助の綴方教授実践系統の考察」『国語科教育』第35集 全国大学国語教育学会
- 497)安田章(1988)「捷解新語の木板本―続―」京都大学文学部国語学国文学研究室編『国語国文』57巻12号 中央図書出版社
- 498)山下美保(1988)「伊沢修二における西洋教育学説の受容―渡米前を中心にして―」『日本の教育史学 教育史学会紀要』第31集 教育史学会
- 499)芦田圭子(1989)「フランスにおける日本学の祖レオン・ド・ロニーの明治維新観」『Lilia candida フランス語フランス文学論集』19号 白百合女子大学フランス語フランス文学会
- 500)荒谷次郎(1989)「民衆的映画芸術の使徒ストラミジョーリ先生」『日伊文化研究』第27号 日伊協会

- 501)磯田一雄(1989)「旧植民地の教科書と大東亜教育・教科書研究会の歩みから」『成城教育』63号 成城学園教育研究所
- 502)稲葉継雄(1989)「一進会の教育運動」『筑波大学地域研究』7 筑波大学大学院地域研究研究科
- 503)稲葉継雄(1989)「浄土宗の旧韓国における教育活動—日本語教育を中心として—」『文藝言語研究 言語篇』第16巻 筑波大学文芸・言語学系
- 504)稲葉継雄(1989)「旧韓末の日語学校(補遺)」『文藝言語研究 言語篇』第17巻 筑波大学文芸・言語学系
- 505)稲葉継雄(1989)「日語錦城学堂について—旧韓末「日語学校」の一事例—」『外国語教育論集』11号 筑波大学外国語センター
- 506)江上芳郎(1989)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(2)—昭和18年招へい南方特別留学生フィリピンにおける募集と準備教育について—吹田大輔氏からの「聞き書き」〜」『研究紀要』第4号 鹿屋体育大学
- 507)大塚浩(1989)「蘆田恵之助における読み方教授観の転換・「作者と同一の思想感情を會得させる」から「自己を読む」へ」『広島大学大学院教育学研究科博士課程論文集』第15巻 広島大学大学院教育学研究科
- 508)大塚浩(1989)「蘆田恵之助の国語教材編成論」『教育学研究紀要 第二部』第35巻 中国四国教育学会
- 509)小川博(1989)「柏原文太郎と中島裁之—中国留日学生史の一齣—」『社會科學討究』第35巻第1号 早稲田大学社会科学研究所
- 510)北吉郎(1989)「蘆田恵之助の綴り方教授研究」『教育学研究紀要 第二部』第35巻 中国四国教育学会
- 511)金学列(1989)「アジアの人々の語る占領下の教育：韓国語に今も残る言葉—韓国」『CAT』7巻12号 アルク
- 512)駒込武(1989)「大東亜共栄圏」構想と日本語教育政策—文部省編『日本語読本』の内容分析—」『日本の教育史学』第32集 教育史学会
- 513)駒込武(1989)「日中戦争期文部省と興亜院の日本語教育政策構想—その組織と事業—」『東京大学教育学部紀要』第29巻 東京大学教育学部

- 514)駒込武(1989)「山口喜一郎の日本語教授理論」『研究室紀要』第15号 東京大学教育学部  
教育哲学・教育史研究室
- 515)齊藤修一(1989)「山口喜一郎著「日本語話方入門」(北京大学本)-3-(資料)」『日本語と日本語教育』第18号 慶應義塾大学国際センター
- 516)末常尚志(1989)「ストラミジョーリ先生をしのんで」『日伊文化研究』第27号 日伊協会
- 517)杉本つとむ(1989)「J.J.ホフマンとその日本語学の背景—19世紀ヨーロッパの日本語学素描—」『国文学研究』第97集 早稲田大学国文学会
- 518)鈴木博雄・太郎良信・梶村光郎(1989)「芦田恵之助の人間観と教育実践—教壇行脚日記を手掛りにして—」『筑波大学教育学系論集』第13巻第2号 筑波大学教育学系
- 519)関正昭(1989)「『日本語教育学』の系譜」『愛知教育大学教科教育センター研究報告』第13号 愛知教育大学教科教育センター
- 520)高木展郎(1989)「山口喜一郎の話言葉教育論(2)—「話言葉とその教育」(昭26年)を中心に—」『国語教育攷』第5号 国語教育攷の会
- 521)高木真理子(1989)「戦前ハワイの日本語学校」『アメリカ史研究』第12号 日本アメリカ史学会
- 522)高森邦明(1989)「芦田における随意選題の墮落と折衷定着への過程—友納の批判から「教授細目」の成立まで—」『人文科教育研究』第16号 人文科教育学会
- 523)朱秀雄(1989)「開化期の韓国における日本語教育に関する一研究」『日本の教育史学』第32集 教育史学会
- 524)ドミニクス・バタオネ(1989)「アジアの人々の語る占領下の教育：歌で覚えた日本語—インドネシア」『CAT』7巻12号 アルク
- 525)永野賢(1989)「当用漢字表の由来と国立国語研究所設立の経緯—山本有三の自筆草稿「当用漢字主査委員会委員長報告」をめぐって—」『日本語学』第8巻第7号 明治書院
- 526)野地潤家(1989)「芦田恵之助の綴り方教授」『教育学研究紀要 第二部』第35巻 中国四国教育学会
- 527)Park In-Wha(1989)「旧韓末渡日留学生に関する一考察」『法政大学国際交流基金による招へい研究員紀要』Vol.2 法政大学

- 528)黄昭堂(1989)「アジアの人々の語る占領下の教育：日本語の功罪—台湾」『CAT』7巻12号 アルク
- 529)福田須美子(1989)「芦田恵之助の南洋群島国語読本」『成城文芸』第126号 成城大学文芸学部
- 530)牧野恵子(1989)「日本語教育史の一時代—第二次大戦中の教育理念と現実の諸問題—」『東海大学紀要留学生教育センター』第9号 東海大学
- 531)宮脇弘幸(1989)「南方占領地における日本語教育と教科書—マレー・シンガポールの場合(1942~1945)—」『成城文芸』第126号 成城大学文芸学部
- 532)村井万里子(1989)「作文・綴方教授の基本問題—芦田恵之助の実践論を手がかりに—」『語学文学』第27号 北海道教育大学語学文学会
- 533)尹東賢(1989)「アジアの人々の語る占領下の教育：自国の言葉・歴史・地理—韓国」『CAT』7巻12号 アルク
- 534)渡邊裕子(1989)「『日本語教授書』についての一考察」『茨城大学工学部研究集報』第37巻 茨城大学工学部
- 535)飯田史也(1990)「19世紀フランスにおける日本学の進展—日本語文法書の発達を中心にして—」『福岡教育大学紀要』第39号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 536)石井均(1990)「大東亜建設審議会と南方軍政下の教育政策の策定—「大東亜諸民族の保育方策」の検討—」『教育学研究』第57巻第4号 日本教育学会
- 537)石井均(1990)「大東亜建設審議会と南方軍政下の教育政策の策定—「大東亜諸民族ノ保育方策」の検討—」『日本教育学会第49回大会発表要旨集録』 日本教育学会
- 538)石井均(1990)「「南方」占領地における陸軍主担任地域の教育政策—日本語教育を中心として—」『日本の教育史学』第33集 教育史学会
- 539)稲葉継雄(1990)「旧韓末日語学校の諸特徴」『筑波大学地域研究』8 筑波大学大学院地域研究研究科
- 540)稲葉継雄(1990)「旧韓末の私立学校における日本語教育」『文藝言語研究 言語篇』第18巻 筑波大学文芸・言語学系
- 541)上杉允彦(1990)「皇民化運動期の植民地の初等教育状況(1)台湾における—公学校の歴史と状況」『高千穂論叢』第25巻第1号 高千穂商科大学商学会

- 542)上杉允彦(1990)「皇民化運動期の植民地の初等教育状況(2)台湾における一公学校の歴史と状況」『高千穂論叢』第25巻第2号 高千穂商科大学商学会
- 543)江上芳郎(1990)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(3)—南方特別留学生の来日と国際学友会における準備教育—」『研究紀要』第5号 鹿屋体育大学
- 544)江原裕美(1990)「第二次大戦以前のブラジルにおける日本移民と日本語学校—ナショナリズムの相克と教育に関する一考察—」『東京大学教育学部紀要』第30巻 東京大学教育学部
- 545)大内善一(1990)「作文教師の力量形成過程に関する考察—芦田恵之助の綴り方実践研究の歩み—」解釈学会編『解釈』第36巻第5号 教育出版センター
- 546)大塚浩(1990)「蘆田恵之助国語読本編纂史における『青年訓練所讀本國語の力』の位置と意義—巻一から巻四の考察を通して—」『教育学研究紀要 第二部』第36巻 中国四国教育学会
- 547)大塚浩(1990)「芦田恵之助における国語読本論の生成と展開—読み方教授観との関連を中心に—」『国語科教育』第37集 全国大学国語教育学会
- 548)大槻和夫・浮田三郎・峯正志・多和田眞一郎(1990)「留学生日本語教育の歴史」『広島大学留学生日本語教育』第2号 広島大学留学生センター
- 549)岡田照子・小瀬千恵子・三輪聖子(1990)「郷土出身の女子教育者下田歌子に関する研究」『岐阜女子大学地域文化研究所報告』第8号 岐阜女子大学地域文化研究所
- 550)岡村敬二(1990)「満鉄図書館業務研究会の歴史」大阪府立中之島図書館・大阪府立夕陽丘図書館編『大阪府立図書館紀要』第26号 大阪府立中之島図書館・大阪府立夕陽丘図書館
- 551)岡村敬二(1990)「満鉄図書館蔵書集積の歴史(I)」『図書館学会年報』Vol.36-No.1 日本図書館学会
- 552)岡村敬二(1990)「満鉄図書館蔵書集積の歴史(II)」『図書館学会年報』Vol.36-No.2 日本図書館学会
- 553)木村宗男(1990)「終戦直後の日本語教育」『日本語教育』70号 日本語教育学会
- 554)小島勝・木場明志・遠藤一(1990)「海外における浄土真宗開教使の語学研修と布教活動」『龍谷大学仏教文化研究所紀要』第29号 龍谷大学仏教文化研究所

- 555)近藤純子(1990)「戦争と日本語—台湾日本語教育史の一研究—」『教育研究所紀要』No.18  
近畿大学教育研究所
- 556)齊藤修一(1990)「北京大学所蔵「日本語教育史」関係書目(資料)」『日本語と日本語教育』  
第19号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 557)崎山理(1990)「日本語もうひとつの歩み」国立民族学博物館編集『月刊みんぱく』1990年  
7月号 (財)千里文化財団
- 558)田中宏(1990)「80年代における日本の留学生受入れ政策と中国人留学生」『季刊中国研究』  
第18号 (社)中国研究所
- 559)Chalida Bua-Wang-Pong(1990)「明治期シャム国日本派遣女子留学生について」『法政史  
学』第42号 法政大学史学会
- 560)永田高志(1990)「ブラジル日系社会の日本語言語生活—パラナ州アサイを中心に—」『文学・  
芸術・文化：近畿大学文芸学部論集』第2巻第2号 近畿大学
- 561)中松竹雄(1990)「明治期における日本語教育の諸問題—序説」『琉球大学教育学部紀要 第  
一部／第二部』37集 琉球大学教育学部
- 562)ピーター・C・パトリカス(1990)「変化への挑戦—アメリカにおける日本語教育のあゆみ  
—」『日本語教育通信』第2号 国際交流基金日本語国際センター
- 563)福島邦道(1990)「キリシタンの日本語学習」『国語学』第161集 国語学会
- 564)三浦昭(1990)「アメリカ社会における日本語教育の展開」『日本語教育』70号 日本語教  
育学会
- 565)宮脇弘幸・百瀬侑子(1990)「南方占領地における日本語普及と日本語教育—日本軍占領下  
フィリピンとインドネシアの場合(1942～1945)—」『成城文芸』第130号 成城大学文芸  
学部
- 566)村井万里子(1990)「芦田恵之助の綴方教授実践の考察—尋常第四学年の実際—」『北海道教  
育大学紀要 第一部C 教育科学編』第41巻第1号 北海道教育大学
- 567)村上呂里(1990)「終戦から本土復帰までの沖縄「国語」教育(1)」『国語科教育』第37集  
全国大学国語教育学会
- 568)文部省学術国際局教育文化交流室・文化庁文化部国語課(1990)「文部省および文化庁にお  
ける日本語教育関連施策〔含資料〕」文部省編『文部時報』第1365号 ぎょうせい

- 569)山下秀雄(1990)「東京日本語学校の歩み」『日本語教育研究』第24号 (財)言語文化研究所
- 570)山下秀雄(1990)「ビジネスマン・一般成人を対象に—国際化時代に先駆けて日本語教育42年—(財)言語文化研究所附属東京日本語学校」文部省編『文部時報』第1365号 ぎょうせい
- 571)吉村弓子・英矩久子(1990)「豊橋技術科学大学における日本語教育の変遷」『雲雀野：豊橋技術科学大学人文科学系紀要』12号 豊橋技術科学大学
- 572)和久井生一(1990)「台湾における教育の現状と歴史についての一考察-1-」『海外事情研究所報告』24号 拓殖大学海外事情研究所
- 573)渡邊裕子(1990)「1940年代前半の日本語教育における「文型」と「教授法」についての一考察」『茨城大学工学部研究集報』第38巻 茨城大学工学部
- 574)アン・ウーズオ(1991)「イギリス最初の日本語夏期講座について」『日本語教育通信』第8号 国際交流基金日本語国際センター
- 575)李康民(1991)「「捷解新語」成立と表現」京都大学文学部国語学国文学研究室編『国語国文』60巻12号 中央図書出版社
- 576)池尾スミ他(1991)「戦中・戦後初期の日本語教育を語る—長沼直兄と日本語教育振興会および草創期の言語文化研究所・東京日本語学校—」『日本語教育研究』第25号 (財)言語文化研究所
- 577)石神照雄(1991)「サンパウロの日本語雑誌『時代』—日本語観及び日本語教育観—」『信州大学教養部紀要』第25号 信州大学教養部
- 578)磯田一雄他(1991)「日本の旧植民地・占領地における教育政策の研究」『成城学園教育研究所研究年報』14集 成城学園教育研究所
- 579)板垣弘子(1991)「下田歌子著作題目一覧：『をんな』『なでしこ』『大和なでしこ』『実践國文學』39号 実践女子大学
- 580)井上薫(1991)「韓国統監府設置前後の公立普通学校体制形成と日本語普及政策」『日本の教育史学』第34集 教育史学会
- 581)植田瑞子(1991)「中等教育における日本語教育」『駒澤短大國文』21号 駒澤短期大学



- 582)Wolfgang Bergmann(1991)〔児玉光弘・稲村道嘉訳〕「ドイツにおける日本語教育の始まり—1944年テンプリン市ヨアヒムスタール・ギムナジウムでの日本語教育—」『國土館大學教養論集』第32号 國土館大學教養学会
- 583)烏賀陽弘道(1991)「大東亜の人質—南方特別留学生の半世紀—」『AERA』第4巻第34号 (1991年8月20日号)朝日新聞社
- 584)浮田三郎(1991)「広島大学留学生センター設立とその歴史」『広島大学留学生日本語教育』第3号 広島大学留学生センター
- 585)内海孝(1991)「外国人留学生政策の視角—『留学生のための日本史』刊行によせて—」歴史科学協議会編『歴史評論』493号 校倉書房
- 586)江上芳郎(1991)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(4)—宮崎農林専門学校における南方特別留学生の受入れについて—」『研究紀要』第6号 鹿屋体育大学
- 587)江藤恭二・肖朗・王鳴(1991)「日本における清国女子留学生に関する一考察—近代の日中文化・教育交流史研究—」『名古屋大學教育學部紀要—教育学科—』第38巻 名古屋大学教育学部
- 588)大蔵親志(1991)「若きローニ」『大東文化大学紀要<人文科学>』第29号 大東文化大学
- 589)大嶋仁(1991)「文明都市パリ・東洋語学校日本学科」『比較文學研究』第60號 東大比較文學會
- 590)大塚浩(1991)「蘆田惠之助国語読本編纂史における『吳羽読本』の位置と意義—卷一の考察を中心に—」『教育学研究紀要 第二部』第37巻 中国四国教育学会
- 591)岡村敬二(1991)「戦時下中国の接收資料について」大阪府立中之島図書館・大阪府立夕陽丘図書館編『大阪府立図書館紀要』第27号 大阪府立中之島図書館・大阪府立夕陽丘図書館
- 592)瀧沼潤・瀧沼誠二(1991)「日本語教育管見(一)—戦後日米関係のはざままで—」『年報いわみざわ』第13号 北海道教育大学岩見沢校
- 593)加藤信明(1991)「チェンバレン『簡約日本文典』の位置」近代語研究会編(1990)『日本近代語研究 1』ひつじ書房
- 594)加藤百合(1991)「ニコライ・コンラド小伝」『比較文學研究』第59號 東大比較文學會
- 595)金井清光(1991)「キリシタン宣教師の日本語研究」『國學院雜誌』第92巻第6号 國學院大學綜合企画部

- 596)金子弘(1991)「Handbook of colloquial Japanese の諸版について」近代語研究会編(1990)『日本近代語研究 1』ひつじ書房
- 597)上沼八郎(1991)「台湾教育令制定由来(資料)について—植民地教育史研究ノート・その一—」『高千穂論叢』第26巻第3号 高千穂商科大学商学会
- 598)京極興一(1991)「国語観」と植民地言語政策(その一)『信州大学教育学部紀要』第74号 信州大学教育学部
- 599)クランプ・M・たえこ(1991)「英国の大学における日本語教育—私的体験における私感—」『駒澤短大國文』21号 駒澤短期大学
- 600)(財)京都日本語教育センター(1991)「京都日本語学校」40年の歩み『ことば・こころ』第24号 (財)京都日本語教育センター
- 601)齊藤修一(1991)「山口喜一郎著「日本語話方入門」(北京大学本)-4-(資料)」『日本語と日本語教育』第20号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 602)桜井隆(1991)「日本語教育史・未開拓の領域」『東京大学留学生センター紀要』第1号 東京大学留学生センター
- 603)桜井隆(1991)「霧社事件前後の日本語教育」『獨協大学教養諸学研究』第26巻 獨協大学 学術研究会
- 604)所澤潤(1991)「外国人留学生取扱ニ関スル調査委員会」(昭和十七[一九四二]年・東京帝国大学)の記録『東京大学史紀要』9号 東京大学史史料室
- 605)鈴木裕子(1991)「日本語教育史の中の国語教育—輿水実の業績を中心に—」『第81回全国大学国語教育学会研究発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 606)関正昭(1991)「戦時下の日本語教育と文人」『中京国文学』第10号 中京大学国文学会
- 607)関正昭(1991)「日本語教育史の中の国語学」大島一郎教授退官記念論集刊行会編『日本語論考』桜楓社
- 608)多仁安代(1991)「芦田恵之助と南洋庁における日本語教育について」『1991年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 609)多仁安代(1991)「芦田恵之助と南洋庁における日本語教育について—重光葵の「南洋視察ニ関スル報告」をめぐって—」『日本語教育』74号 日本語教育学会

- 610) 詹椒琦(1991)「植民地統治下台湾の教育政策」『東京外国語大学日本語学科年報』13 東京外国語大学外国語学部日本語学科研究室
- 611) 趙南徳(1991)「重刊本「捷解新語」の巻のグループ化—「ガ行音の表記法」「御(おん)」「儀」などの現れ方から—」『語文研究』第72号 九州大学国語国文学会
- 612) 槻木瑞生(1991)「大陸布教と教育活動—日中戦争下の日語学校覚書—」『同朋大学論叢』第63・64合併号 同朋大学同朋学会
- 613) 永田高志(1991)「ブラジル日系人の日本語の特徴—戦前移民地アサイを例に—」『文学・芸術・文化：近畿大学文芸学部論集』第2巻第3号 近畿大学
- 614) 仁田義雄(1991)「寺村秀夫の日本語文法研究への誘い」『阪大日本語研究』3 大阪大学文学部日本学科
- 615) 古橋義之・酒井恵美子(1991)「中京大学における日本語教育—その発足の経過、現状と問題点—」『中京大学教養教育研究』1 中京大学教養部
- 616) ましこひでのり(1991)「同化装置としての「国語」—近代琉球文化圏の標準語浸透における準拠集団変動・知識人・教育システム—」日本教育社会学会編集委員会編『教育社会学研究』第48集 東洋館出版社
- 617) 増田澄子(1991)「中世における欧州人宣教師の日本語に関する考察について」『国際交流セミナー研究論文集』2集 岐阜女子大学文学部
- 618) 村井万里子(1991)「明治期台湾における山口喜一郎の日本語教授実践の考察(1)」『北海道教育大学紀要 第一部C 教育科学編』第42巻第1号 北海道教育大学
- 619) 村井万里子(1991)「山口喜一郎の日本語教授法—「第二種 初等日本語讀本」を手がかりに—」『第81回全国大学国語教育学会発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 620) 百瀬侑子(1991)「日本占領期インドネシアにおける言語政策と言語教育」『東南アジア諸国における言語教育—多言語社会への対応—』筑波大学教育学系比較国際教育研究室
- 621) 安田章(1991)「捷解新語の冒頭表現」『表現研究』第54号 表現学会
- 622) 山下暁美(1991)「アルゼンチンの日本語教育の歴史」『国際学友会日本語学校紀要』15 国際学友会
- 623) 山下暁美(1991)「中南米の日本語教育の歴史—ペルー、ボリビア、チリ、ウルグアイ、ブラジル、メキシコ—」『講座日本語教育』第26分冊 早稲田大学日本語研究教育センター

- 624) ユーリ・コズロフ, タチャーナ・ビジュコーワ(1991)「来日日本語教育関係者に聞くー18世紀から行われてきたソ連の日本語教育ー」『日本語教育通信』第8号 国際交流基金日本語国際センター
- 625) 吉田文彦(1991)「朝鮮総督府編纂による日本語教科書ー人物、文脈、価値、文体からみた内容の基本構造-1-」『東海大学紀要 文学部』56号 東海大学文学部
- 626) 阿部洋(1992)「戦前日本の「対支文化事業」と中国人留学生ー学費補給問題を中心にー」『国立教育研究所紀要』第121集 国立教育研究所
- 627) 石井均(1992)「大東亜建設審議会と戦争初期の対南方教育政策」軍事史学会編『軍事史学』第28巻第3号 錦正社
- 628) 石井均(1992)「太平洋戦争下日本の対南方教育政策ー大東亜建設審議会の答申とその実践をめぐってー」『国立教育研究所紀要』第121集 国立教育研究所
- 629) 板垣弘子(1992)「下田歌子著作題目一覧(二):『婦人世界』『実践國文學』41号 実践女子大学
- 630) 稲葉継雄(1992)「旧韓国の日本語教育」『筑波大学地域研究』10 筑波大学大学院地域研究研究科
- 631) 井上薫(1992)「日本帝国主義の朝鮮における植民地教育体制形成と日本語普及政策ー韓国統監府時代の日本語教育を通じた官吏登用と日本人配置ー」『北海道大学教育学部紀要』第58号 北海道大学教育学部
- 632) 江上芳郎(1992)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(5)ー昭和19年度・広島高等師範学校における20人の南方特別留学生ー」『鹿児島経大論集』第33巻第1号 鹿児島経済大学経済学部学会
- 633) 江上芳郎(1992)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(6)ー昭和19年6月来日した南方特別留学生の現地での選抜・準備教育、来日及び国際学友会日本語学校における再度の準備教育ー」『鹿児島経大論集』第33巻第2号 鹿児島経済大学経済学部学会
- 634) 江上芳郎(1992)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(7)ー昭和20年における南方特別留学生ー」『地域総合研究』第20巻第1号 鹿児島経済大学附置地域総合研究所
- 635) 江上芳郎(1992)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(8)ー昭和19年度久留米工業専門学校・熊本医科大学臨時附属医学専門部における南方特別留学生の受入れについてー」『鹿児島経大論集』第33巻第3号 鹿児島経済大学経済学部学会

- 636)大塚浩(1992)「蘆田恵之助国語読本編纂史における『南洋群島國語讀本』の位置と意義—本科用巻1～巻3を中心に—」『兵庫教育大学研究紀要 言語系教育・社会系教育・芸術系教育』第12巻第2分冊 兵庫教育大学
- 637)大坪一夫(1992)「日本語教育でのコンピュータ利用の過去、現在と未来」『日本語教育』78号 日本語教育学会
- 638)大橋敦夫(1992)「伊沢修二の日本語教科書編纂—現存資料の紹介と『東語初階』の内容分析—」上田女子短期大学国語国文学会編『学海』第8号 上田女子短期大学
- 639)岡村敬二(1992)「戦前期海外の日本図書館と国際文化振興会」大阪府立中之島図書館・大阪府立夕陽丘図書館編『大阪府立図書館紀要』第28号 大阪府立中之島図書館・大阪府立夕陽丘図書館
- 640)岡村敬二(1992)「北京近代科学図書館の<日本>」『日本研究』第7集 国際日本文化研究センター
- 641)沖田行司(1992)「ハワイに於ける日本語学校問題—奥村多喜衛と外国語学校取締法を中心として—」『教育文化』創刊号 同志社大学文学部教育学研究室
- 642)奥村剋三(1992)「ロシアの東洋学—ニコライ・コンラド—」『立命館言語文化研究』4巻2/3号 立命館大学
- 643)奥村直彦(1992)「ヴァンクーバー日本語学校—日本人移民社会における役割の変化—〔英文〕」『キリスト教社会問題研究』第41号 同志社大学人文科学研究所
- 644)小黒浩司(1992)「衛藤利夫—植民地図書館人の軌跡(1)」『図書館界』vol.43 No.5 日本図書館研究会
- 645)小黒浩司(1992)「衛藤利夫—植民地図書館人の軌跡(2)」『図書館界』vol.43 No.6 日本図書館研究会
- 646)小野米一(1992)「アイヌ語話者の日本語北海道方言」『学芸国語国文学』第24号 東京学芸大学
- 647)瀧沼潤・瀧沼誠二(1992)「日本語教育管見(二)—戦後日米関係のはざままで—」『年報いわみざわ』第14号 北海道教育大学岩見沢校
- 648)上沼八郎(1992)「『台湾教育令制定由来』(資料)について—植民地教育史研究ノート・その二—」『高千穂論叢』第26巻第4号 高千穂商科大学商学会

- 649)上沼八郎(1992)「台湾における植民地教育行政史の一考察―「芝山巖事件」について―」  
『国立教育研究所紀要』第 121 集 国立教育研究所
- 650)京極興一(1992)「『国語観』と植民地言語政策(その二)」『信州大学教育学部紀要』第 75 号  
信州大学教育学部
- 651)小山揚子(1991-1992)「関西外大の日本語教育―ここ 10 年の変容―」『関西外国語大学留  
学生別科日本語教育論集』第 2 号 関西外国語大学留学生別科
- 652)斉藤修一(1992)「『日本語教育史』資料調査(1991 年・中国)(資料)」『日本語と日本語教育』  
第 21 号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 653)酒井豊(1992)「近代日本語の形成と『日本教育史略』の編纂」『青山学院大学人文学系研究  
センター研究叢書第 1 号 外国文化の輸入と言語』 青山学院大学総合研究所
- 654)坂根慶子(1992)「清朝日本留学考」『東海大学紀要留学生教育センター』第 12 号 東海  
大学
- 655)桜井隆(1992)「日本語教育基本語辞典収録語の変遷」『獨協大学教養諸学研究』第 26 巻第  
2 号 獨協大学学術研究会
- 656)桜井隆(1992)「日本語教育史上の中島敦(またはイデオログとしての釘本久春)」『獨協大  
学教養諸学研究』第 27 巻第 1 号 獨協大学学術研究会
- 657)桜井隆(1992)「日本語教育レコード略史並びに日本語教育学会・国立国語研究所所蔵日本  
語教育レコード目録」『東京大学留学生センター紀要』第 2 号 東京大学留学生センター
- 658)清水洋一(1992)「芦田恵之助先生の綴方教授論研究―教授段階案形成過程の初期における  
『小学校教授細目』の影響を中心に―」『国語教育学研究誌』第 12 号 大阪教育大学国語  
教育研究室
- 659)下田好行(1992)「芦田恵之助読み方教授法の分析―「乃木大将の幼年時代」の分析をとお  
して―」『人文科教育研究』第 19 号 人文科教育学会
- 660)徐敏民(1992)「戦前中国における日本語教育―台湾・満州・大陸での展開と変容に関する  
比較的考察―」『日本教育学会大会研究発表要項 51 回』 日本教育学会
- 661)所澤潤(1992)「東京帝国大学における大東亜戦争後半期の外国人留学生受入れ状況―「外  
国学生指導委員会」の活動を中心に―」東京大学史料の保存に関する委員会編『東京大学  
史紀要』10 号 東京大学史史料室

- 662)水洞幸夫(1992)「山口喜一郎の言語観と晩年の実践についての覚え書き」『金沢大学留学生教育センター紀要』創刊号 金沢大学留学生教育センター
- 663)竹内啓一(1992)「パオロ・ベオニオ・ブロッキエーリのおもいで」『日伊文化研究』第30号 日伊協会
- 664)多仁安代(1992)「日本委任統治下南洋群島パナペ島における日本語教育について—公学校卒業生の聞き取り調査から—」『太平洋学会誌』第14巻4号 太平洋学会
- 665)谷内鴻(1992)「対雁学校成立の社会的基盤」『国学院短期大学紀要』第10集 國學院短期大学
- 666)中田正心(1992)「日本領台草創期の原住民教化の劈頭」『中央学院大学教養論叢』第5巻第1号 中央学院大学
- 667)永田典子(1992)「フランスにおける日本語教育」『中部大学女子短期大学紀要 言語文化研究』第3号 中部大学女子短期大学
- 668)阪東正子(1992)「第二次世界大戦中のイギリス、アメリカにおける日本語学校」名古屋大学言語文化部言語文化研究委員会編『ことばの科学』第5号 名古屋大学言語文化部
- 669)福田益和(1992)「ポリワーノフ覚え書き」『長崎大学教養部紀要(人文科学篇)』第33巻第1号 長崎大学教養部
- 670)二見剛史(1992)「東亜学校と松本亀次郎—戦時下の動向を中心として—」『国立教育研究所紀要』第121集 国立教育研究所
- 671)松岡弘(1992)「一橋大学における日本語教育—これまでの10年・これからの10年—」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第107巻第3号 日本評論社
- 672)マルグレート・ノイス・カネコ(1992)「西ドイツにおける日本学の現状」『日本学報』第1号 大阪大学文学部日本学研究室
- 673)村崎恭子(1992)「北大における日本語教育の歩み」『北大日本語教育』第1号 北大日本語研究会
- 674)山口幸二(1992)「日本語教育の歴史」玉村文郎編『日本語学を学ぶ人のために』世界思想社
- 675)山下暁美(1992)「スウェーデン事情と日本語教育」『ILT NEWS』91 早稲田大学語学教育研究所

- 676)吉田文彦(1992)「朝鮮総督府編纂による日本語教科書—人物、文脈、価値、文体からみた内容の基本構造-2-」『東海大学紀要 文学部』57号 東海大学文学部
- 677)和久井生一(1992)「台湾における教育の現状と歴史についての一考察-2-台湾における日本研究・日本語教育関係を含む」『海外事情研究所報告』26号 拓殖大学海外事情研究所
- 678)渡部洋一郎(1992)「芦田恵之助の綴方教授における理論と方法の実際—随意選題形成過程の分析をとおして—」『教育学研究集録』第16号 筑波大学大学院博士課程教育学研究科
- 679)池尾スミ他(1993)「戦中・戦後初期の日本語教育を語る—長沼直兄と日本語教育振興会および草創期の言語文化研究所・東京日本語学校(第2回)—」『日本語教育研究』第26号 (財)言語文化研究所
- 680)泉正人(1993)「一九二〇—四〇年の留日学生受入れ—早稲田大学の場合—」『早稲田大学史記要』第25巻 早稲田大学大学史編集所
- 681)稲葉継雄(1993)「旧韓国官公立普通学校の日本人教員—教員人事を中心として—」『筑波大学地域研究』11 筑波大学大学院地域研究研究科
- 682)岩澤正子(1993)「女性の自立と日本語教育—日本語教育史の中の下田歌子—」『実践国文学』第43号 実践国文学会
- 683)江上芳郎(1993)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(9)—南方特別留学生と原子爆弾被爆—」『鹿児島経大論集』第34巻第1号 鹿児島経済大学経済学部学会
- 684)江上芳郎(1993)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(10)—日本で死亡した4人の南方特別留学生とその墓—」『鹿児島経大論集』第34巻第2号 鹿児島経済大学経済学部学会
- 685)江上芳郎(1993)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(11)—1人のフィリピン留学生と日本人からの手紙—」『鹿児島経大論集』第34巻3号 鹿児島経済大学経済学部学会
- 686)太田喜一郎(1993)「橘耕斉について」『紀要』25巻 立教女学院短期大学
- 687)太田弘毅(1993)「興亜錬成所の教育内容について—対中国要員錬成機関研究の一齣(I)—」『政治経済史学』329 日本政治経済史学研究所
- 688)太田弘毅(1993)「興亜錬成所の教育内容について—対中国要員錬成機関研究の一齣(II)—」『政治経済史学』330 日本政治経済史学研究所



- 689)大塚浩(1993)「蘆田惠之助執筆国語読本教材の特質と史的意義—教科書教材史との関わりを通して—」『兵庫教育大学研究紀要 言語系教育・社会系教育・芸術系教育』第13巻第2分冊 兵庫教育大学
- 690)大塚浩(1993)「蘆田惠之助編纂『普通学校 国語讀本』の海外受容」『国語科教育』第40集 全国大学国語教育学会
- 691)大橋敦夫(1993)「伊沢修二の日本語教科書編纂(承前)—現存資料の紹介と『東語初階』の内容分析—」上田女子短期大学国語国文学会編『学海』第9号 上田女子短期大学
- 692)小川正人(1993)「『学校教育』は生活文化破壊のプログラムだった!—『特設アイヌ学校』の設置と『旧土人児童教育規程』が果たしたもの—」石井慎二編(1993)『別冊宝島 EX「アイヌの本」』宝島社
- 693)金子弘(1993)「西欧人の明治期日本文典の日本語(第六回研究会発表要旨)」『日本語日本文学』第3号 創価大学日本語日本文学会
- 694)金子弘(1993)「日本文典の例文の一性格—アストン『日本口語文典』と会話書の比較—」『日本語日本文学』第3号 創価大学日本語日本文学会
- 695)上沼八郎(1993)「公立台中中学校設立の経緯—植民地教育史研究ノート・その三—」『高千穂論叢』第28巻第1号 高千穂商科大学商学会
- 696)上沼八郎(1993)「「台湾人教育ノ根本方針及施設」について—植民地教育史研究ノート・その四—」『高千穂論叢』第28巻第2号 高千穂商科大学商学会
- 697)上沼八郎(1993)「台湾における教育勅語の宣講について—植民地教育史研究ノート・その五—」『高千穂論叢』第28巻第3号 高千穂商科大学商学会
- 698)久保田優子(1993)「上田万年の国語改良論の展開—韓国人同化のための日本語教育論の基盤として—」『アジア教育史研究』第2号 アジア教育史学会
- 699)久保田優子(1993)「韓国における日本語教育政策の展開—保護時代から第一次朝鮮教育令まで—」『九州大学比較教育文化研究施設紀要』第44号 九州大学教育学部附属比較教育文化研究施設
- 700)久保田優子(1993)「植民地統治期の韓国に対する日本語教育論—日本教育界の論調を中心に—」『九州大学留学生センター紀要』第5号 九州大学留学生センター
- 701)ゲラルド・ニョーリ(1993)「イタリアの日本研究—中亜極東協会の役割—」『日伊文化研究』第31号 日伊協会

- 702) 齊藤修一(1993) 「『日本語教育史』資料調査(1993年・中国)(資料)」『日本語と日本語教育』第22号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 703) 坂根慶子(1993) 「宏文学院における日本語教育」『東海大学紀要留学生教育センター』第13号 東海大学
- 704) 桜井隆(1993) 「アイヌその他北方諸民族への日本語教育」『東京大学留学生センター紀要』第3号 東京大学留学生センター
- 705) 桜井隆(1993) 「日本語教育はいつから始まったか」『明海大学外国語学部論集』第6集 明海大学外国語学部
- 706) 桜井隆(1993) 「謀略としての日本語教育」『獨協大学教養諸学研究』第27巻第2号 獨協大学学術研究会
- 707) 佐藤結(1993) 「日本語教育史への新たな視点—日本統治期朝鮮における大衆歌謡を手がかりに—」『小出記念日本語教育研究会論文集』第2号 小出記念日本語教育研究会
- 708) 島本基(1993) 「京都外国語大学留学生別科における日本語教育の沿革」『日本語・日本文化研究』第1号 京都外国語大学留学生別科
- 709) 下田好行(1993) 「芦田恵之助綴り方教授法の分析—綴り方記述指導の授業を手がかりとして—」『教育方法学研究』第19号 日本教育方法学会
- 710) 下田好行(1993) 「芦田恵之助読み方教授法の特質」『国語科教育』第40集 全国大学国語教育学会
- 711) 徐敏民(1993) 「戦前中国での日本語教育に関する比較考察」『教育学研究』第60巻第4号 日本教育学会
- 712) 徐敏民(1993) 「戦前中国における日本語教育方法に関する比較考察」『筑波大学教育学系論集』第18巻第1号 筑波大学教育学系
- 713) 所澤潤、泉新一郎(1993) 「聴取り調査：外地の進学体験—台北師範附属小から台北高校、台北帝大を経て内地の帝大に編入—」『入学試験の制度及び試験問題の分析に基づく近代日本の学力の歴史的研究』文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書（研究種目：一般研究(C)・課題番号 01510140） 東京大学
- 714) ジョージ・D. ベデル(1993) 「室町時代宣教師の日本語研究」『1993年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会

- 715)新内康子(1993)「日本語教科書の系譜(第二期)―満州編―」『研究紀要』第14巻第1号 鹿児島女子大学
- 716)新内康子(1993)「日本語教科書の系譜(第二期)―国内機関発行編―」『研究紀要』第15巻第1号 鹿児島女子大学
- 717)鈴木裕子(1993)「日本語教育史の中の国語教育―輿水実の基本文型の業績を中心に―」『国語科教育』第40集 全国大学国語教育学会
- 718)関正昭(1993)「日本語教育の「禁領域」異文化間教育学会編(1993)『異文化間教育』7 アカデミア出版会
- 719)関正昭(1993)「日本語教科書の系譜(第一期)―台湾・朝鮮・南洋群島編―」『研究紀要』第14巻第1号 鹿児島女子大学
- 720)関正昭(1993)「日本語教科書の系譜(第一期)―松本亀次郎・松下大三郎・松宮弥平を中心に―」『研究紀要』第15巻第1号 鹿児島女子大学
- 721)瀬戸健寿(1993)「日本統治下フィリピンと日本語教育(1942-1945)」『日本語・日本文化』第19号 大阪外国語大学留学生日本語教育センター
- 722)竹中憲一(1993)「日本の関東州、満鉄付属地における中国人教育―「満州国」成立以前―」『人文論集』XXXI 早稲田大学法学会
- 723)田崎紀子(1993)「輿水実の国語教育論に関する一考察―昭和10年代を中心に―」『第85回全国大学国語教育学会研究発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 724)多仁安代(1993)「南洋群島日本語教育史の基礎資料―外務省外交資料館所蔵外務参事官重光葵の極秘報告「南洋視察ニ関スル報告」―」軍事史学会編『軍事史学』第29巻第2号 錦正社
- 725)谷口巖(1993)「福沢諭吉とレオン・ド・ロニー:「植えてみよ花のそたため里はなし…」考」『日本文化論叢』創刊号 愛知教育大学日本文化研究室
- 726)田村宏(1993)「九州大学留学生センターの日本語補講―そのあゆみ、いま、そしてこれから―」『九州大学留学生センター紀要』第5号 九州大学留学生センター
- 727)垂水千恵(1993)「日本統治時代の台湾人作家にみる日本語教育の影響―陳火泉を例として―」『言語文化と日本語教育』第6号 お茶の水女子大学日本言語文化学会

- 728)張金塗(1993)「松本亀次郎の中国人に対する日本語教授法の一考察—『言文対照 漢訳日本文典』(明治41年)を中心に—」『広島大学教育学部紀要 第二部』第42号 広島大学教育学部
- 729)永野賢・鄭高詠(1993)「大矢透『東文易解』の編纂意図—中国人に対する日本語教育の草創期における先人の苦心—」『日本語学』第12巻第8号 明治書院
- 730)野呂博子(1993)「カナダにおける継承語としての日本語教育」『移住研究』No.30 国際協力事業団
- 731)桧山真一(1993)「東洋学院(ヴラヂヴォストーク)最初の日本人教師」『ロシア語ロシア文学研究』第25号 日本ロシア文学会
- 732)黄振原(1993)「戦前台湾国語読本の語法的研究—『公学校用国語読本第一種』巻一を中心に—」『学芸国語教育研究』11号 東京学芸大学国語科教育研究室
- 733)福島邦道(1993)「下田歌子伝のために」『実践国文学』第44号 実践国文学会
- 734)前田均(1993)「日本統治下台湾の教師たち」『南方文化』第20輯 天理南方文化研究会
- 735)山下暁美(1993)「中南米の日本語教育史—照井亮次郎とアウロラ(暁)小学校—メキシコ編(2)」『月刊日本語』1993年5月号 アルク
- 736)山下暁美(1993)「中南米の日本語教育史—排日運動と日本語教育—ペルー編(3)」『月刊日本語』1993年6月号 アルク
- 737)山下暁美(1993)「中南米の日本語教育史—リマ日本人小学校—ペルー編(4)」『月刊日本語』1993年7月号 アルク
- 738)山下暁美(1993)「中南米の日本語教育史—教育8割制問題—中南米全域(5)」『月刊日本語』1993年8月号 アルク
- 739)山下暁美(1993)「中南米の日本語教育史—日本語讀本教授参考書—ブラジル編(6)」『月刊日本語』1993年9月号 アルク
- 740)山下暁美(1993)「中南米の日本語教育史—日本語教育の混乱期—中南米全域(7)」『月刊日本語』1993年10月号 アルク
- 741)山下暁美(1993)「中南米の日本語教育史—日本語教育の再開—(8)」『月刊日本語』1993年11月号 アルク

- 742)山下暁美(1993)「中南米の日本語教育史—コンニャク版日本語教科書—アルゼンチン編(9)」『月刊日本語』1993年12月号 アルク
- 743)山本禮子・呉知紋(1993)「高等女学校の研究—植民地時代の台湾の教育—」『和洋女子大学紀要. 文系編』第33集 和洋女子大学
- 744)李曉東(1993)「陸軍士官学校と留日学生—1911年までの中国人留学生を中心に—」『大学史研究』第9号 大学史研究会
- 745)和久井生一(1993)「台湾における教育の現状と歴史についての一考察-3-台湾における日本研究・日本語教育関係を含む」『海外事情研究所報告』27号 拓殖大学海外事情研究所
- 746)渡部洋一郎(1993)「蘆田恵之助『綴り方教授法』に関する史的考究—指導理論の実際とドイツ作文修辭法・四階級説の系譜—」『日本語と日本文学』第18号 筑波大学国語国文学会
- 747)石井均(1994)「日本軍政下における南方占領地の教育政策に関する研究—ビルマと北ボルネオの場合—」『岡山県立大学短期大学部研究紀要』第1巻 岡山県立大学短期大学部
- 748)市瀬智紀・長谷川恒雄(1994)「清末中国の日本語教科書(1)—『東語初階』の言語観を中心に—」『日本語と日本語教育』第23号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 749)今井信光(1994)「オーストラリアの日本語教育の歴史—中等教育を中心に—」『オーストラリア教育研究』創刊号 オーストラリア教育研究会
- 750)岩沢正子(1994)「軍政期のバンドン地域における日本語教育—日本占領期の日本語教育実態調査—」『言語と文化』第1号 獨協大学外国語学部
- 751)ヴィエスワフ・コタンスキ(1994)「ポーランドにおける日本認識及びその文化研究へのアプローチ」『日本研究』第10集 人間文化研究機構国際日本文化研究センター
- 752)江上芳郎(1994)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(12)—戦後における南方特別留学生及び遺族の広島訪問—」『鹿児島経大論集』第34巻第4号 鹿児島経済大学経済学部学会
- 753)江上芳郎(1994)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(13)—その概要—」『地域総合研究』第21巻第2号 鹿児島経済大学附置地域総合研究所
- 754)江上芳郎(1994)「南方特別留学生招へい事業に関する研究(14)—南方特別留学生名簿—」『鹿児島経大論集』第35巻第1号 鹿児島経済大学経済学部学会

- 755)江森一郎・孫伝(1994)「戦時下の東本願寺大陸布教とその教育事業の意味と実際―主として『真宗』所載記事による―」『金沢大学教育学部紀要 教育科学編』第43号 金沢大学教育学部
- 756)大塚浩(1994)「蘆田恵之助国語読本編纂史における『尋常小學國語讀本』の位置と意義―巻一から巻四の考察を通して―」『兵庫教育大学研究紀要 言語系教育・社会系教育・芸術系教育』第14巻第2分冊 兵庫教育大学
- 757)大塚浩(1994)「境界領域研究としての国語科教育と日本語教育―『普通學校國語讀本』巻五から巻八の考察を中心に―」『学校教育学研究』第6巻 兵庫教育大学学校教育研究センター
- 758)大橋敦夫(1994)「レオン・ド・ロニー『若干の日本語辞書に関する考察』(LEON DE ROSNY ; Remarques sur quelques dictionnaires japonais) <1858年> 訳解」『上田女子短期大学紀要』第17号 上田女子短期大学
- 759)大原信一(1994)「梁啓超と日本語」『東洋研究』No.114 大東文化大学東洋研究所
- 760)大森直樹・金美花・張亜東(1994)「中国人が語る「満洲国」教育の実態―元吉林師道大学学生：王野平氏へのインタビュー記録―」『東京学芸大学紀要 第1部門 教育科学』第45集 東京学芸大学
- 761)大森直樹・張亜東(1994)「「満洲国」教育体験者の証言―元国民学校生徒：王紹海氏へのインタビュー記録―」『教育科学研究』第13号 東京都立大学人文学部教育学研究室
- 762)大山シアノ(1994)「太平洋における日本語教育―日本との歴史的・経済的な関係から日本語教育を考える―」『NOVITAS』第2号 高崎経済大学経済学会
- 763)岡村敬二(1994)「満州国立奉天図書館の歴史」大阪府立中之島図書館・大阪府立夕陽丘図書館編『大阪府立図書館紀要』第30号 大阪府立中之島図書館・大阪府立夕陽丘図書館
- 764)沖田行司(1994)「異文化における日本教育―反日本語学校論の形成―」『キリスト教社会問題研究』第43号 同志社大学人文科学研究所
- 765)金子弘(1994)「日本文典に見られる音訛」『日本語日本文学』第4号 創価大学日本語日本文学会
- 766)上沼八郎(1994)「台湾における書房「教科書」と日本認識について―植民地教育史研究ノート・その六―」『高千穂論叢』第29巻第2号 高千穂商科大学商学会
- 767)川島真(1994)「日本と台湾における清末民初留日学生関係史料―中国留日学生監督処文献・外務部档案・教育部档案―」『中国研究月報』557号 (社)中国研究所

- 768)北川知子(1994)「朝鮮総督府編纂『普通學校國語読本』の研究—朝鮮民話・伝統に取材した教材についての一考察—」『国語教育学研究誌』第15号 大阪教育大学国語教育研究室
- 769)久保忠夫(1994)「アストンの『日本文学史』ほか〔含 久保忠夫執筆目録〕」『東北学院大学論集 人間・言語・情報』103号 東北学院大学学術研究会
- 770)清水知子(1994)「日本軍占領下のシンガポール(1942年～1945年)での日本語教育の性格—現地出版された教科書『国語読本』『工業日本語読本』の分析—」『日本語教育』84号 日本語教育学会
- 771)下瀬川慧子(1994)「東海大学における留学生の受け入れ—教育交流の30年—」東海大学留学生教育センター三十周年記念論集編集委員会編(1994)『東海大学留学生教育センター30周年記念論集』東海大学留学生教育センター
- 772)申忠均(1994)「『捷解新語』の改修—原因・理由表現を中心として—」『語文研究』第78号 九州大学国語国文学会
- 773)新内康子(1994)「日本語教科書の系譜(第四期)—日本語教育発展・膨張期の教科書—」『研究紀要』第16巻第1号 鹿児島女子大学
- 774)鈴木健一(1994)「内蒙古における日本の教育政策—察南自治政府を中心に—」近畿大学教職教育部編『教育論叢』第5巻第2号 近畿大学
- 775)関正昭(1994)「日本語教科書の系譜(第三期)—戦後、日本語教育復興期の教科書—」『研究紀要』第16巻第1号 鹿児島女子大学
- 776)セルゲイ・N・イリイン(1994)「極東ロシアにおける日本語の教授(歴史と現代)」『94 函館・ロシア極東交流史シンポジウム「函館・ロシアの交流を探る」—日露関係史・その過去と現在—報告書』函館日ロ交流史研究会
- 777)多仁安代(1994)「日本植民地下昭和初期台湾における日本語教育について」『1994年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 778)多仁安代(1994)「日本植民地下台湾における日本語教育について—台湾教育会社会教育部募集の「青年劇」台本をめぐって—」『日本語教育』83号 日本語教育学会
- 779)谷口巖(1994)「フランス人の目に映ったパリの日本使節団—人種学会(一八六二)におけるロニーの報告から—」『日本文化論叢』第2号 愛知教育大学日本文化研究室
- 780)張金塗(1994)「戦前の日本における中国人留学生に対する日本語教育史の研究—日本留学の理由と目的について—」『教育学研究紀要 第二部』第40巻 中国四国教育学会

- 781)張金塗(1994)「戦前の日本における中国人留学生に対する日本語教育の歴史的研究—宏(弘)文学院を中心に—」『広島大学教育学部紀要 第二部』第43号 広島大学教育学部
- 782)デトレフ・F・シャウベッカー(1994)「独日文化交流」『ドイツ・日本問題研究Ⅱ』第88冊 関西大学経済政治研究所
- 783)黄英哲(1994)「戦後初期台湾における文化再構築—台湾省編訳館をめぐって—」『立命館文學』第537号 立命館大学人文学会
- 784)黄振原(1994)「戦前台湾公学校用国語(日本語)読本の研究」『アジア文化研究』1号 国際アジア文化学会
- 785)藤本周一(1994)「「国際文化振興会」による戦前の3事業に関する研究ノート」『大阪経大論集』第45巻第1号 大阪経大学会
- 786)二見剛史(1994)「松本亀次郎の日華共存共栄論」『研究紀要』第16巻第1号 鹿児島女子大学
- 787)堀口良一(1994)「レオン・ド・ロニーの日本仏教に対する関心—島地黙雷との出会いを中心に—」『政治経済史学』342 日本政治経済史学研究所
- 788)Бондаренко, И.П. (Bondarenko, I.P.)(1994)「言語学的教授法上分析対象としての大黒屋光太夫の露和辞典—桂川甫周「北槎聞略」を資料として—〔露文〕」『天理大学学報』第175輯 天理大学学術研究会
- 789)前田均(1994)「第二次大戦前・戦時期の日本語教育関係文献目録—補遺」『天理大学学報』第177輯 天理大学学術研究会
- 790)前田均(1994)「台湾総督府教科書の分析」『天理臺灣學會年報』第3号 天理臺灣學會
- 791)前田均(1994)「日本統治下台湾の教師たち(2)」『南方文化』第21輯 天理南方文化研究会
- 792)前田均(1994)「満洲国政府文教部『学校例要綱』(昭和十一年七月)」『日本語・日本文化研究』第2号 京都外国語大学留学生別科
- 793)安田敏朗(1994)「日本語論をめぐって—一九四五年以前から学ぶこと—」『月刊日本語論』第2巻第1号 山本書房
- 794)山下暁美(1994)「アメリカの日本語教育2つの小史覚書」『講座日本語教育』第29分冊 早稲田大学日本語研究教育センター



- 795)山下暁美(1994)「国際学友会日本語学校所蔵日本語教育レコードについて」『紀要』第16/17号 国際学友会日本語学校
- 796)山下暁美(1994)「中南米の日本語教育史—小森家と日本語教育—ボリビア編(10)」『月刊日本語』1994年1月号 アルク
- 797)山下暁美(1994)「中南米の日本語教育史—異国の日本語50年—パラグアイ編(11)」『月刊日本語』1994年2月号 アルク
- 798)山下暁美(1994)「中南米の日本語教育史—チリ、ウルグアイ、コロンビアの教育—(12:最終回)」『月刊日本語』1994年3月号 アルク
- 799)山下万里子(1994)「「日—露通訳法」の20年」東海大学留学生教育センター三十周年記念論集編集委員会編(1994)『東海大学留学生教育センター30周年記念論集』東海大学留学生教育センター
- 800)吉岡英幸(1994)「早稲田大学清国留学生部—そのカリキュラムと日本語教師—」『講座日本語教育』第29分冊 早稲田大学日本語研究教育センター
- 801)和久井生一(1994)「台湾における教育の現状と歴史についての一考察-4-台湾における日本研究・日本語教育関係を含む」『海外事情研究所報告』28号 拓殖大学海外事情研究所
- 802)赤坂和雄・渡辺素和子・山崎千登世(1995)「アメリカの日本語教育—教授法の変遷とこれからの展望—」札幌大学教養部紀要委員会編『リベラル・アーツ 札幌大学教養部教育研究』No.11 札幌大学
- 803)網屋喜行・吉村治道(1995)「ゴンザの生涯と業績を解明するために(I)」『研究年報』第23号 鹿児島県立短期大学地域研究所
- 804)李明寛(1995)「日本統治期朝鮮総督府の初等教育政策に関する一考察—1930年前後の書党政策を中心として—」『教育学研究集録』第19号 筑波大学大学院博士課程教育学研究科
- 805)石井元章(1995)「川村清雄とヴェネツィアにおける日本語教育」明治美術学会編『近代画説』4号 三好企画
- 806)磯田一雄(1995)「「文化侵略」と異文化間教育—九・一八以前の満鉄付属地における中国人教育を中心に—」『コミュニケーション紀要』第9輯 成城大学大学院文学研究科
- 807)磯田一雄(1995)「台湾の日本語教育」『コミュニケーション紀要』第10輯 成城大学大学院文学研究科

- 808)稲岡勝(1995)「初期商務印書館の源流—美華書館、修文書館、岸田吟香、金港堂—」日本エディタースクール出版教育研究所編『出版教育研究所所報』7号 日本エディタースクール出版部
- 809)稲垣滋子(1995)「ゴロブニン監修の日本語教科書における語彙の特徴」『ICU 日本語教育研究センター紀要』4号 国際基督教大学日本語教育研究センター
- 801)井上薫(1995)「第1次朝鮮教育令下における日本語普及・強制政策—「国語講習会」「国語講習所」による日本語普及政策とその実態—」『北海道大学教育学部紀要』第66号 北海道大学教育学部
- 811)井上薫(1995)「日本統治下朝鮮の日本語普及・強制政策—1910年代初期における私立学校・書堂の利用・弾圧—」『北海道大学教育学部紀要』第69号 北海道大学教育学部
- 812)井上啓子・二宮民江(1995)「植民地における言語政策 1-(1)—韓国の日本語化政策の概要—」『紀要』第32集 長崎純心大学短期大学部
- 813)岩崎攝子(1995)「チャンブレン著『日本口語文典』の談話語—応用編に扱われた「読本」の一考察—」『盛岡大学紀要』第14号 盛岡大学
- 814)岩澤正子(1995)「日本語教育史の証言者、坂寄美都子先生」『歌子』第3号 実践女子短期大学国文科
- 815)イワン・J・ボンダレンコ(1995)「権左の手稿遺産におけるかれのロシア語の語彙の反映」『京都産業大学国際言語科学研究所所報』第17巻第1号 京都産業大学
- 816)イワン・J・ボンダレンコ、植村進(1995)「18世紀の日本漂流民のロシア語—最初の日本人ロシア学者そして最初のロシアの日本学者である伝兵衛—」『京都産業大学国際言語科学研究所所報』第17巻第1号 京都産業大学
- 817)大塚浩(1995)「ハーバード大学日本語教科書の原点—巻一から巻四の考察を中心に—」『学校教育学研究』第7巻 兵庫教育大学学校教育研究センター
- 818)金子邦秀(1995)「ハワイの日本語学校の教科書の分析」同志社大学人文科学研究所編(1995)『1920年代ハワイ日系人のアメリカ化の諸相』同志社大学人文科学研究所
- 819)上村忠昌(1995)「漂流青年ゴンザの鹿児島方言」『鹿児島工業高等専門学校研究報告』第30号 鹿児島工業高等専門学校
- 820)近藤純子(1995)「台湾における山口喜一郎—公学校規則改正との関わりについて—」『日本語教育』85号 日本語教育学会

- 821)近藤純子(1995)「直接法をめぐって—台湾日本語教育史の一研究—」『国際交流研究』第2号 近畿大学国際交流室
- 822)斉藤修一(1995)「大連図書館蔵「満鉄沿線に於ける日本語教授法の変遷」(抄録)」『日本語と日本語教育』第24号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 823)志賀幹郎(1995)「日中戦争時の北京における日本語授業研究—華北日本語教育研究所の活動—」『日本語教育』85号 日本語教育学会
- 824)渋谷勝己(1995)「旧南洋群島に残存する日本語の可能表現」『無差』第2号 京都外国語大学日本語学科
- 825)所澤潤、張寛敏(1995)「聞き取り調査：外地の進学体験(Ⅱ)—台北一師附小、台北高校、台北帝大医学部を経て、台湾大学医学院卒業—」『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』第44巻 群馬大学教育学部
- 826)白井智子(1995)「フランスにおける日本語教育の変遷と現状—グルノーブル大学を中心に—」『小出記念日本語教育研究会論文集』第4号 小出記念日本語教育研究会
- 827)新内康子(1995)「日本語教科書の系譜(補遺)」『研究紀要』第17巻第1号 鹿児島女子大学
- 828)セルゲイ・N・イリイン(1995)「極東ロシアにおける日本語教育95年の歩み」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第2号 国際交流基金日本語国際センター
- 829)孫安石(1995)「清国留学生取締規則事件の諸相—政治考察5大臣、上海、そして韓国との関連を中心に—」『中国研究月報』565号 (社)中国研究所
- 830)高崎宗司(1995)「「大東亜共栄圏」における日本語」朝尾直弘編(1995)『岩波講座日本通史 第19巻 近代4』岩波書店
- 831)高原光江(1995)「アメリカにおける日本語教育と日本における日本語教育の変遷」『産能大学紀要』第16巻第1号 産能大学
- 832)竹中憲一(1995)「南金書院民立小学堂と岩間徳也」『社会科学研究』第41巻第1号 早稲田大学アジア太平洋研究センター
- 833)竹本陽乃(1995)「昭和初期国際学友会のアフガニスタン学生招致事業」『國學院雑誌』第96巻第10号 國學院大學総合企画部
- 834)田島弘司(1995)「日本語教育行政の歴史」『日本語学』第14巻第3号 明治書院

- 835)田中宏(1995)「「留学生 10 万人計画」の検証と今後への若干の提案」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第 114 巻第 4 号 日本評論社
- 836)多仁安代(1995)「日本語教育の歩んできた道」遠藤織枝編『概説日本語教育』三修社
- 837)多仁安代(1995)「「大東亜共栄圏」に対する日本語教育と国語・国字の整理統一について—陸軍省の日本語の簡易化と漢字制限実施をめぐって—」『日本語教育』86 号 日本語教育学会
- 838)谷口巖(1995)「日本研究初山踏—1854(嘉永七年)、ロニー17 歳の著作のこと—」『日本文化論叢』第 3 号 愛知教育大学日本文化研究室
- 839)谷本宗生(1995)「東京大学所蔵「留学生関係書類」の一端—申報書・報告書類—」『東京大学史紀要』13 号 東京大学史史料室
- 840)張金塗(1995)「戦前の日本における中国人留学生に対する日本語教育の歴史的研究—東亜学校を中心に—」『日本語教育』86 号 日本語教育学会
- 841)陳培豊(1995)「近代日本の国体イデオロギーと台湾の植民地統治—上田万年の国語観を中心に—」『中国研究月報』571 号 (社)中国研究所
- 842)蔡茂豊(1995)「戦後台湾に於ける日本語教育五十年」『天理台湾研究会年報』第 4 号 天理大学
- 843)蔡茂豊(1995)「戦後台湾における日本語教育五十年史覚書」『天理臺灣學會年報』第 4 号 天理臺灣學會
- 844)中川亜紀(1995)「朝鮮半島における植民地教育政策をめぐって—日本語の普及政策とその影響—」『全国語学教育学会山口支部研究紀要』創刊号 全国語学教育学会山口支部
- 845)長谷川恒雄(1995)「慶應義塾と日本語教育」『三田評論』969 号 慶應義塾大学
- 846)馬場良二(1995)「ロドリゲスの日本語教授法—なぜ古典なのか—」阪田雪子先生古稀記念論文集刊行委員会編『日本語と日本語教育 阪田雪子先生古稀記念論文集』三省堂
- 847)彦坂佳宣(1995)「スティーブストン日本語生活誌—カナダ日系移民からの聞き取り—」『立命館文學』第 540 号 立命館大学人文学会
- 848)平高史也(1995)「山口喜一郎の直接法と『国民読本参照国語科話方教材』」阪田雪子先生古稀記念論文集刊行委員会編『日本語と日本語教育 阪田雪子先生古稀記念論文集』三省堂

- 849) 深沢リジア真澄(1995)「85周年を迎えたブラジルの日本語教育」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第2号 国際交流基金日本語国際センター
- 850) ヘレン・E. マリオット・ロビン・スペンス-ブラウン(1995)「オーストラリアの日本語教育の発展」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第2号 国際交流基金日本語国際センター
- 851) 堀口良一(1995)「レオン・ド・ロニーの日本仏教に対する関心-2-島地黙雷との出会いを中心にして-」『政治経済史学』343 日本政治経済史学研究所
- 852) イワン・J・ボンダレンコ(1995)「伝兵衛のロシア語」『天理大学学報』第180輯 天理大学学術研究会
- 853) 前田均(1995)「第二次大戦前・戦時期の日本語教育関係文献目録-補遺2-」『天理大学学報』第178輯 天理大学学術研究会
- 854) 前田均(1995)「第二次大戦前・戦時期の日本語教育関係文献目録-補遺3-」『天理大学学報』第180輯 天理大学学術研究会
- 855) 増田久美子(1995)「韓国における日本語教育史-司訳院時代から開化期までの日本語教育-」『福岡YWCA日本語教育論文集』7号 福岡YWCA
- 856) 丸山敬介(1995)「「留学生10万人計画」以降の日本語教育」『同志社女子大学日本語日本文学』第7号 同志社女子大学
- 857) 俛靖武(1995)〔石橋正子訳〕「近代中日出版交流における商務印書館の貢献」日本エディタースクール出版教育研究所編『出版教育研究所所報』7号 日本エディタースクール出版部
- 858) 森本豊富(1995)「第二次世界大戦前における米国日系二世の日本留学事情」『駿河台大学論叢』11号 駿河台大学
- 859) 山下秀雄(1995)「現代日本語教育の源流をたずねて(i)-教科書・教授法の関係、音声言語・談話構造への着目など-」『日本語教育研究』第30号 (財)言語文化研究所
- 860) 山田正春・嶋津拓(1995)「海外における日本語教育の近年の動向と日本語国際センターの海外日本語教師研修」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第2号 国際交流基金日本語国際センター
- 861) 吉原英夫(1995)「芦田恵之助の読み方教式：大正十五年四月」『語学文学』第33号 北海道教育大学語学文学会

- 862)劉麗娜(1995)「関東州における日本の植民地教育制度の形成過程—1905年-1919年の関東州都督府の時期を中心に—」『人文学報』No.259 東京都立大学人文学部
- 863)脇田里子(1995)「福井大学における日本語教育事情—昭和45年度から平成6年度にかけて—」『福井大学教育学部紀要 第1部、人文科学. 国語学・国文学・中国学編』第44号 福井大学教育学部
- 864)和久井生一(1995)「台湾における教育の現状と歴史についての一考察-5-台湾における日本研究・日本語教育関係を含む」『海外事情研究所報告』29号 拓殖大学海外事情研究所
- 865)和田繁二郎(1995)「小泉荃三先生の人と学問〔含年譜〕」『論究日本文学』第61号 立命館大学日本文学会
- 866)渡辺三男(1995)「日中語文交渉史の一齣」『駒澤国文』第32号 駒澤大学文学部国文学教室
- 867)網屋喜行(1996)「村山七郎氏以前における薩摩漂流民ゴンザの研究—「外交志稿」から吉町義雄氏まで—」『研究年報』第24号 鹿児島県立短期大学地域研究所
- 868)新井高子(1996)「山口喜一郎の直接法(1)言語観—雑誌『日本語』を中心に—」『日本語と日本語教育』第25号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 869)池尾スミ他(1996)「第二次大戦下と戦後初期における日本語教育(I)—戦中期の語彙調査と現存資料の発見、教科書作成との関連—」『日本語教育研究』第32号 (財)言語文化研究所
- 870)石井元章(1996)「彫刻家長沼守敬のヴェネツィア留学時代についての一考察—新史料に基づく再構成の試み—」『SPAZIO』54号 日本オリベッティ株式会社広報室
- 871)板坂元(1996)「アメリカ日本語教育ことはじめ(1)」『月刊日本語』1996年8月号 アルク
- 872)板坂元(1996)「アメリカ日本語教育ことはじめ(2)」『月刊日本語』1996年9月号 アルク
- 873)板坂元(1996)「アメリカ日本語教育ことはじめ(3)」『月刊日本語』1996年10月号 アルク
- 874)伊藤幹彦(1996)「日本植民地時代の台湾教育—同化教育・皇民化教育を中心に—」『アジア文化研究』3号 国際アジア文化学会
- 875)稲葉継雄(1996)「旧韓末の「日語学校」—事例研究から全体像へ—」『アジア教育史研究』第5号 アジア教育史学会

- 876)今泉裕美子(1996)「南洋庁の公学校教育方針と教育の実態—一九三〇年代初頭を中心に—」『沖縄文化研究』22号 法政大学
- 877)岩井憲幸(1996)「大黒屋光太夫書蹟資料の語学的側面」『明治大学人文科学研究所紀要』第40冊 明治大学人文科学研究所
- 878)岩崎攝子(1996)「チャンバレン著『日本口語文典』の談話語—ローマ字訳『牡丹燈籠』に見る談話語 本文対照研究その2—」『盛岡大学紀要』第15号 盛岡大学
- 879)岩田忠(1996)「引き揚げの子どもたちの教育の変遷と現状—日本語学級での受け入れを通して—」『国際教育』第3号 日本国際教育学会
- 880)ヴォルフガング・ミヒェル(1996)「エンゲルベルト・ケンペルからみた日本語」『洋学史研究』第13号 洋学史研究会
- 881)浦田義和(1996)「井伏鱒二、神保光太郎と『THE SYONAN TIMES』」『九州女子大学紀要 人文・社会科学編』第32巻3号 九州女子大学・九州女子短期大学
- 882)小笠原信之(1996)「わが日本語教師顛末記」『潮』1966年3月号 潮出版社
- 883)沖田行司(1996)「日本人移民の文化摩擦に関する教育史的考察—ハワイにおける日本語学校訴訟問題—」『文化學年報』45号 同志社大学文化学会
- 884)甲斐ますみ(1996)「台湾老年層の日本語」上田功編(1996)『言語探求の領域—小泉保博士古希記念論集—』大学書林
- 885)上沼八郎(1996)「台湾総督府学務部「部務ニ関スル日誌」(承前)—植民地教育史研究ノート・その七—」『高千穂論叢』第30巻第4号 高千穂商科大学商学会
- 886)上沼八郎(1996)「台湾総督府学務部「部務ニ関スル日誌」(承前)—植民地教育史研究ノート・その八—」『高千穂論叢』第31巻第3号 高千穂商科大学商学会
- 887)河路由佳(1996)「戦前・戦中の在日留学生に対する直接法による予備教育用日本語教科書 国際学友会編『日本語教科書 基礎編・巻一～五』—その編纂・内容・使われ方—」『文学部紀要』第10-1号 文教大学文学部
- 888)上村忠昌(1996)「ゴンザ研究入門」『鹿児島工業高等専門学校研究報告』第31号 鹿児島工業高等専門学校
- 889)北村嘉恵(1996)「台湾人の日本植民地教育認識—日本統治下台湾における公学校教育についての聞き取り調査—」『南方文化』第23輯 天理南方文化研究会

- 890)木部暢子(1996)「ロシア科学アカデミー所蔵ゴンザ『日本語会話入門』のアクセントについて—動詞のアクセント—」言語学林 1995-1996 編集委員会編(1996)『言語学林 1995-1996』三省堂
- 891)久保田優子(1996)「朝鮮に対する日本語教育論の展開—明治期教育ジャーナリズムの分析—」『九州産業大学国際文化学部紀要』第6号 九州産業大学国際文化学部
- 892)倉地曉美(1996)「異文化間教育学と日本語・日本事情の接点を求めて—回顧と展望—」異文化間教育学会編(1996)『異文化間教育』10 アカデミア出版会
- 893)近藤健一郎(1996)「日清戦争直前の沖縄教育政策—『一木書記官取調書』(1894年)を中心に—」『南島史学』第48号 南島史学会
- 894)酒井恵美子(1996)「台湾タイヤル族の日本語」中條修編(1996)『論集言葉と教育』和泉書院
- 895)桜井隆(1996)「桜井隆所蔵日本語教育史資料目録」『明海日本語』第2号 明海大学日本語学会
- 896)桜井二子(1996)「カスタニャール日本語学校の紹介—ブラジルの日本語教育の一例—」『三郎山論集：上田女子短期大学日本語教育研究会・国語研究倶楽部共同機関誌』3号 上田女子短期大学日本語教育研究会・国語研究倶楽部
- 897)佐藤能丸(1996)「角田柳作と早稲田大学」『早稲田大学史記要』第28巻 早稲田大学大学史編集所
- 898)石剛(1996)「近代日本国語意識発達の諸問題」『日本文学』第45巻第3号 日本文学協会
- 899)石剛(1996)「言語政策からみた日本の植民地支配」『歴史地理教育』551号 歴史教育者協議会
- 900)徐敏民(1996)「戦前台湾・満州・大陸での日本語教育—教育政策・機関・内容・方法に関する比較考察—」『1996年度日本語教育学会秋季大会予稿集』日本語教育学会
- 901)所澤潤、陳漢升(1996)「聞き取り調査：外地の進学体験(Ⅲ)—抵抗の地・龍潭から基隆中学校、台北高校を経て、長崎医科大学卒業—」『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』第45巻 群馬大学教育学部
- 902)ジョン・ソコロスキー(1996)「特別報告：カナダ アルバータ州における日本語教育—統一カリキュラム認可への10年の歩み—」『日本語教育通信』第25号 国際交流基金日本語国際センター



- 903)白井智子(1996)「レオン・ド・ロニーの眼から見た日仏交流とフランスにおける日本語の始まり」『神戸海星女子学院大学・短期大学研究紀要』35号 神戸海星女子学院大学
- 904)関正昭(1996)「『文型』再考—戦時中の文型研究をめぐって—」平山輝男博士米寿記念会編『日本語研究諸領域の視点 上巻』 明治書院
- 905)Sergey N. Ilyin(1996)「ロシアおよび極東における外国語としての日本語教育—現在までの歩みと将来の展望—」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第4号 国際交流基金日本語国際センター
- 906)高松政雄(1996)「早期の日本学者プフィッツマイヤー」『日本文藝研究』48号 関西学院大学日本文学会
- 907)高松政雄(1996)「プフィッツマイヤーの『日本語辞書』(上)」『人文論究』第46巻第2号 関西学院大学人文学会
- 908)高松政雄(1996)「プフィッツマイヤーの『日本語辞書』(下)」『日本文藝研究』第48巻第2号 関西学院大学日本文学会
- 909)多仁安代(1996)「第二次大戦期の「占領地」における日本語教授法について」『1996年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 910)多仁安代(1996)「第二次大戦期の「占領地」における日本語教授法について—「興亜院政務部」の調査報告をめぐって—」『日本語教育』90号 日本語教育学会
- 911)谷口巖(1996)「リール市立図書館所蔵『ロニー文庫・日本書目録』について」『日本文化論叢』第4号 愛知教育大学日本文化研究室
- 912)周徳喜(1996)「清末留日学生と翻訳」『中国交換研究員論叢』第13号 愛知大学中国学術交流委員会
- 913)槻木瑞生(1996)「大陸布教と教育活動—日中戦争下の日語学校 覚書(2)—」『同朋福祉(人間福祉編)』第2号 同朋大学
- 914)土屋順一(1996)「モンゴル国における日本語教育事情の変化 1989～1996」『日本モンゴル学会紀要』No.26 日本モンゴル学会
- 915)傳澤玲(1996)「日本留学と日本人教習—一九一〇年代を中心に—」『比較文学・文化論集』第12号 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻比較文学比較文化コース
- 916)中田敏夫(1996)「戦前台湾における国語教育研究の課題：事実を集積すること」『愛知教育大学大学院国語研究』第4号 愛知教育大学

- 917)長場紘(1996)「山田寅次郎の軌跡ー日本・トルコ関係史の一側面ー」『上智アジア学』第14号 上智大学アジア文化研究所
- 918)長沼守人・藤森三男(1996)「<Cogito われ思う (109)>人生波瀾万丈 言語教育の実践を通して:長沼守人君を訪ねて」『三田評論』977号 慶應義塾大学
- 919)野津隆志(1996)「海外での日本語教育の普及とわが国の援助政策ー戦後の歴史的展望の整理ー」『学校法人佐藤栄学園埼玉短期大学研究紀要』第5号 埼玉短期大学
- 920)野元菊雄(1996)「日本語教育の50年」文部省編『文部時報』第1433号 ぎょうせい
- 921)古川昭(1996)「日本語公立普通学校の朝鮮人校長登用問題」『アジア教育史研究』第5号 アジア教育史学会
- 922)Бондаренко, И. П. (1996)「ゴンザのロシア語ー『新スラヴ・日本語辞典』を資料としてー」『外国語教育』第22号 天理大学外国語教育センター
- 923)前田均(1996)「戦後初期台湾における日本語使用」『山邊道』40号 天理大学国語国文学会
- 924)前田均(1996)「台北県政府『阿美語図解実用字典』中の日本語からの借用語」『天理大学学報』第181輯 天理大学学術研究会
- 925)前田均(1996)「南洋庁第4次教科書編纂者:梅津隼人のこと」『南方文化』第23輯 天理南方文化研究会
- 926)前田均(1996)「日本統治下台湾の蕃童教育所女性補助教員からの聞きとり」『天理大学学報』第183輯 天理大学学術研究会
- 927)松居竜五(1996)「初期来日西洋学者と「日本」という言説ーアストン・チェンバレン・モース・ハーンと南方熊楠・柳田國男の対比の試みー」『駿河台大学論叢』第12号 駿河台大学
- 928)水谷明子(1996)「明治期日本の国語政策と知識人たちの国語観」津田塾大学紀要委員会編(1996)『国際関係学研究』No.23別冊 津田塾大学
- 929)水谷修(1996)「日本語教育の現在まで」『日本語学』第15巻第2号 明治書院
- 930)三谷裕美(1996)「満州国における「国語」政策ー「新学制」にみる「国家」と「国語」像ー」『東京女子大学紀要論集』第46巻2号 東京女子大学

- 931)百瀬侑子(1996)「日本軍政期インドネシア「ソロ女子中学校」における教育の実態—口述資料を中心にして—」日本植民地研究会編『日本植民地研究』第8号 総和社
- 932)安田敏朗(1996)「「王道楽土」と諸言語の地位—「満州国」の言語政策・試論—」『アジア研究』第42巻第2号 アジア政経学会
- 933)安田敏朗(1996)「基礎日本語の思想—戦時期の日本語簡易化の実態と思惑—」『比較文学・文化論集』第12号 東京大学比較文学・文化研究会
- 934)山里米子(1996)「日本文化及び日本語教育概念図の研究—米人学校30年実践記録を通して—」『沖縄女子短期大学紀要』第13号 沖縄女子短期大学
- 935)山下暁美(1996)「欧米の日本語教育史—シカゴ大学のCATP—」『月刊日本語』1996年2月号 アルク
- 936)山下暁美(1996)「欧米の日本語教育史—カナダの日本語教育—」『月刊日本語』1996年3月号 アルク
- 937)山下暁美(1996)「収容所内の日本語教育」『月刊日本語』1996年3月号 アルク
- 938)山下暁美(1996)「戦時下における敵性語教育—日・米の言語教育をめぐって—」『人間科学』第13巻第2号 常磐大学人間科学部
- 939)山下秀雄(1996)「現代日本語教育の源流をたずねて(ii)—教科書・教授法、言語観と指導技術、日本語教育の系譜など—」『日本語教育研究』第31号 (財)言語文化研究所
- 940)山下秀雄(1996)「現代日本語教育の源流をたずねて(iii)—教宣教師との関わり、初期の学習法、指導の理論と授業の実際—」『日本語教育研究』第32号 (財)言語文化研究所
- 941)山本禮子(1996)「台湾高等女学校の研究-台湾高女卒業生のアンケート調査から(I)-」『和洋女子大学紀要. 文系編』第36集 和洋女子大学
- 942)由井紀久子(1996)「旧ヤップ公学校卒業生の日本語談話能力—訂正過程についての—考察—」『阪大日本語研究』8 大阪大学文学部日本語学講座
- 943)由井紀久子(1996)「ミクロネシアの日本語—植民地での日本語教育とことばの交流—」 柏木隆雄・山口修編(1996)『異文化の交流』所収 大阪大学出版会
- 944)吉岡英幸(1996)「アストン『日本口語文典』のローマ字表記」『早稲田大学大学院文学研究科紀要』第41輯・第3分冊 早稲田大学大学院文学研究科

- 945)吉岡英幸(1996)「イギリスの日本語教育の現状と課題」『講座日本語教育(第 31 分冊)』早稲田大学日本語教育研究センター
- 946)吉原英夫(1996)「芦田恵之助の読み方教授：昭和三年六月」『札幌国語研究』創刊号 北海道教育大学札幌校国語国文学科
- 947)王婉[ ](1996)「山口喜一郎の言語観と直接法—松宮弥平・興水実との比較から—」『第 90 回全国大学国語教育学会発表要旨集』 全国大学国語教育学会  
※[ ]内は草冠に「宝」
- 948)安東伸介(1997)「<故人回想>哀悼 清岡暎一先生」『三田評論』995号 慶應義塾大学
- 949)池尾スミ他(1997)「第二次大戦下と戦後初期における日本語教育(Ⅱ)—長沼直兄の教科書と日本語教育振興会、大陸と南方の日本語教育—」『日本語教育研究』第 33 号 (財)言語文化研究所
- 950)石井元章(1997)「川村清雄とヴェネツィアにおける日本語教育<補遺>」明治美術学会編『近代画説』5号 三好企画
- 951)磯田一雄(1997)「日本の植民地教育における教師と子ども」『コミュニケーション紀要』第 11 輯 成城大学大学院文学研究科
- 952)市瀬智紀(1997)「日本語教育と中国語教育—明治期清末の比較研究—」『宮城教育大学紀要』第 32 巻 宮城教育大学
- 953)伊藤幹彦(1997)「皇民化運動と戦時動員体制—日本人意識と台湾人意識—」『アジア文化研究』第 4 号 国際アジア文化学会
- 954)稲垣滋子(1997)「18 世紀ロシアの日本語教育における教育観—ゴンザ訳『日本語会話入門』を中心に—」『1997 年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 955)乾千代(1997)「日本占領期ジャワの国民学校教育」『国際文化論集』第 16 号 桃山学院大学
- 956)乾千代(1997)「資料紹介「日本占領期ジャワの教科書」」『南方文化』第 24 輯 天理南方文化研究会
- 957)井上薫(1997)「日本統治下末期の朝鮮における日本語普及・強制政策—徴兵制度導入に至るまでの日本語常用・全解運動への動員—」『北海道大学教育学部紀要』第 73 号 北海道大学教育学部

- 958)井上啓子・二宮民江(1997)「植民地における言語政策 1-(2)―韓国の日本語化政策の実態―」  
『紀要』第 34 集 長崎純心大学短期大学部
- 959)上田女子短期大学平成 8 年度「日本語教育Ⅱ」選択生編(1997)「中国語対照日本語研究関  
係文献目録(稿)」『三郎山論集』第 4 号 上田女子短期大学日本語教育研究会・国語研究俱  
楽部共同機関誌
- 960)大森直樹(1997)「『満洲国』日系初等教師のライフ・ヒストリー」『東京学芸大学紀要 第 1  
部門 教育科学』第 48 集 東京学芸大学
- 961)小熊英二(1997)「『日本』への道―台湾統治初期の言語政策論―」田中克彦・山脇直司・  
糟谷啓介編(1997)『言語・国家、そして権力』新世社
- 962)梶重樹(1997)「レニングラード東洋大学の日本人たち」『ロシア文化研究』第 4 号 早稲田  
大学ロシア文学会
- 963)潟沼潤・潟沼誠二(1997)「日本語教育管見(三)―戦後日米関係のはざままで―」『年報いわみ  
ざわ』第 19 号 北海道教育大学岩見沢校
- 964)金子泰子(1997)「長野大学での日本語教育―1993 年度から 1996 年度までの 4 年間で振り  
返る―」『長野大学紀要』第 19 巻第 2/3 号 長野大学
- 965)鹿野政直(1997)「角田柳作―その歩みと想い〔含 角田柳作年譜〕―」『早稲田大学史記要』  
第 29 巻 早稲田大学大学史編集所
- 966)上沼八郎(1997)「台湾総督府学務部「部務ニ関スル日誌」(承前)―植民地教育史研究ノー  
ト・その九―」『高千穂論叢』第 31 巻第 4 号 高千穂商科大学商学会
- 967)上沼八郎(1997)「台湾総督府学務部「部務ニ関スル日誌」(承前)―植民地教育史研究ノー  
ト・その十一―」『高千穂論叢』第 32 巻第 1 号 高千穂商科大学商学会
- 968)上沼八郎(1997)「植民地「教育令」の公布について(台湾・朝鮮の比較)―植民地教育史研  
究ノート・その一一―」『高千穂論叢』第 32 巻第 2 号 高千穂商科大学商学会
- 969)河路由佳(1997)「戦前・戦中の国際学友会における日本語教育事業」『人間と社会』第 8  
号 東京農工大学
- 970)上村忠昌(1997)「ゴンザの鹿児島方言への訳し方―オルビス・ピクトゥス(世界図絵)の場  
合―」『鹿児島工業高等専門学校研究報告』第 32 号 鹿児島工業高等専門学校
- 971)木部暢子(1997)「ゴンザ「項目別露日辞典」の名詞のアクセント体系」『国語国文薩摩路』  
41 巻 鹿児島大学法文学部国文学研究室

- 972)木部暢子(1997)「18世紀薩摩の漂流民ゴンザのアクセントについて—助詞のアクセントとゴンザアクセントの位置づけ—」『国語学』第191集 国語学会
- 973)金田一春彦(1997)「日華学院の思い出」『1997年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 974)小林文男(1997)「中国人日本留学史考—日本留学開始100周年に当って—」『愛媛大学教育学部紀要 第Ⅱ部 人文・社会科学』第29巻第2号 愛媛大学教育学部
- 975)近藤健一郎(1997)「国家総動員体制下の沖縄における標準語励行運動」『南島史学』第49号 南島史学会
- 976)斎藤修一(1997)「戦前の中国東北地方における日本語教育」『1997年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 977)芝崎厚士(1997)「国際文化振興会の創設—戦前日本の対外文化政策の歴史的特質—」『国際関係論研究』11号 国際関係論研究会
- 978)渋谷勝巳(1997)「旧南洋群島に残存する日本語の動詞の文法カテゴリー」『阪大日本語研究』9 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座
- 979)渋谷勝巳(1997)「旧南洋諸島に残る日本語—その単純化の諸相—」『Mare Nostrum』9 京都外国語大学地中海文化研究会
- 980)島善高(1997)「国立新民学院初探」『早稲田人文自然科学研究』第52号 早稲田大学社会科学部学会
- 981)所澤潤、陳定堯(1997)「聞き取り調査：外地の進学体験(Ⅳ)—樺山小から、台北三中、台北帝大豫科、台北帝大医学部を経て、台湾大学医学院卒業—」『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』第46巻 群馬大学教育学部
- 982)白井智子(1997)「遣欧使節とレオン・ド・ロニーの見たパリ—1862年当時の仏新聞を邁して—」『神戸海星女子学院大学・短期大学研究紀要』第36号 神戸海星女子学院大学
- 983)鈴木健一(1997)「満鉄の実業教育と保々隆矣の教育観—日中人分離主義教育の推移を中心に—」近畿大学教職教育部編『教育論叢』第8巻第2号 近畿大学
- 984)関正昭(1997)「日本語教育史」『日本語教育』94号 日本語教育学会
- 985)関正昭(1997)「日本語教育に携わる者からの提言」『Ja-Net』第3号 スリーエーネットワーク

- 986)石純姫(1997)「近代の「国語」政策とその思想をめぐって」『明海日本語』第3号 明海大学日本語学会
- 987)園田博文(1997)「明治初期中国語会話書の日本語―「亜細亜言語集」「総訳亜細亜言語集」を中心に―」『文藝研究』144集 日本文藝研究会
- 988)孫傳釗(1997)「日中全面戦争勃発前の中国近代仏教教育―太虚法師の仏教革新運動を中心に―」『日本の教育史学 教育史学会紀要』第40集 教育史学会
- 989)田中継根(1997)「レザノフの『露日会話帳』について」『言語と文化』第7号 東北大学言語文化部
- 990)多仁安代(1997)「日中戦争期の台湾における日本語教育」『1997年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 991)莊隆福(1997)「日本植民地における言語文化政策と台湾への影響」『太平洋学会誌』第19巻3/4号 太平洋学会
- 992)趙焜熙(1997)「朝鮮時代の日本語学習書におけるエ段音節母音部表記について」『広島大学教育学部紀要 第二部』第46号 広島大学教育学部
- 993)周一川(1997)「中国人女子留学生を受け入れた官立三校について」慶應義塾大学『史学』第67巻第1号 慶應義塾大学文学部内三田史学会
- 994)富田哲(1997)「「大東亜戦争」期の輸出用日本語をめぐる議論」『広島大学日本語教育学科紀要』第7号 広島大学教育学部日本語教育学科
- 995)中田敏夫(1997)「台湾における元公学校教師たちによる談話」『国語国文学報』第55集 愛知教育大学国語国文学研究室
- 996)中野裕也(1997)「植民地統治下の―台湾原住民村落における日本語教育史」『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』第19号 慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
- 997)仲程昌徳(1997)「南洋庁発行『国語読本』の中の「白銀堂」」『琉球大学図書館報 びぶりお』Vol.30, No.4 琉球大学図書館
- 998)朴宣美(1997)「朝鮮社会の近代的変容と女子日本留学―一九一〇～一九四五年―」『史林』第82巻第4号 史学研究会
- 999)橋本正志(1997)「中島敦「マリヤン」論―〈南洋島民〉の虚像と実像―」『論究日本文学』67 立命館大学日本文学会

- 1000)濱野成生(1997)「戦前ハワイ日本語讀本分析評釈」『日本女子大学英米文学研究』第32号 日本女子大学英語英文学会
- 1001)久木幸男(1997)「金陵東文学堂と清沢満之」『日本仏教教育学研究』第5号 日本仏教教育学会
- 1002)黄振原(1997)「総督府時代の台湾の再検討—証言からみた国語(日本語)教育—」『天理臺灣學會年報』第6号 天理大学
- 1003)松永典子(1997)「軍政下マラヤの日本語教育についての評価をめぐる一考察—マラヤの人々にとっての日本語教育の意味—」『日本語教育』93号 日本語教育学会
- 1004)松永典子(1997)「『国語』教育から『東亜の日本語』教育への道—植民地・占領地の日本語教育—」『日本語教育研究1997』九州大学大学院比較社会文化研究科日本語教育研究会
- 1005)松永典子(1997)「日本語の南進—『大東亜戦争』期の日本語普及政策—」『比較社会文化研究』1号 九州大学大学院比較社会文化研究科
- 1006)宮島達夫(1997)「『動詞教授資料』の結合価研究」言語学研究会編(1997)『ことばの科学8』むぎ書房
- 1007)安田敏朗(1997)「『国語』・『日本語』・『東亜共通語』—帝国日本の言語編制・試論—」『人文學報』第80号 京都大学人文科学研究所
- 1008)山下秀雄(1997)「現代日本語教育の源流をたずねて(iv)—長沼直兄の出発とその教科書・授業の実際をめぐる—」『日本語教育研究』第33号 (財)言語文化研究所
- 1009)山下秀雄(1997)「現代日本語教育の源流をたずねて[続編]—昭和初期の長沼直兄の日本語教科書と米大使館との関係—」『日本語教育研究』第34号 (財)言語文化研究所
- 1010)山根幸夫(1997)「天津日本図書館について」『東洋文庫書報』第28号 東洋文庫
- 1011)山本禮子(1997)「台湾高等女学校の研究-台湾高女卒業生のアンケート調査から(II)-」『和洋女子大学紀要. 文系編』第37集 和洋女子大学
- 1012)吉岡英幸(1997)「岡倉由三郎と日本語教育」『講座日本語教育』第32分冊 早稲田大学日本語研究教育センター
- 1013)米井勝一郎(1997)「上海日本近代科学図書館史の一研究」日本図書館文化史研究会編『図書館文化史研究』第14号 日外アソシエーツ



- 1014)李協京・田淵五十生(1997)「中国人の日本留学の百年—歴史的軌跡と現在の留学事情について—」『奈良教育大学紀要 人文・社会科学』第46巻第1号 奈良教育大学
- 1015)李郁蕙(1997)「《南方》の発見—台湾の日本語文学試論—」『広島大学教育学部紀要 第二部』第46号 広島大学教育学部
- 1016)劉家鑫(1997)「民国時期の留学生と日本—研究と課題—」『現代社会文化研究』7号 新潟大学大学院現代社会文化研究科
- 1017)王婉[ ](1997)「山口喜一郎の言語観と直接法についての考察」『国語科教育』第44集 全国大学国語教育学会 ※ [ ]内は草冠に「宝」
- 1018)芥川昭寿(1998)「海外での文化摩擦による日本語教科書の展開—戦前でのハワイ教育会の場合—」『日本語教育研究』第36号 (財)言語文化研究所
- 1019)阿部洋(1998)「清末中国の学堂教育と日本人教習—明治後期教育雑誌等所収記事・論説の分析(その1)—」『福岡県立大学紀要』第7巻第1号 福岡県立大学
- 1020)新井高子(1998)「教授法論争から見た山口喜一郎の直接法—雑誌『日本語』を中心に—」『留学生教育』創刊号 埼玉大学留学生センター
- 1021)李政樹(1998)「韓国の植民地時代における日本語教育の変遷」『全国語学教育学会山口支部研究紀要』第4号 全国語学教育学会山口支部
- 1022)磯田一雄(1998)「「日本化」と「国語」教育—植民地における日本語教育に託された意図をめぐって—」『アジア文化研究』5号 国際アジア文化学会
- 1023)磯田一雄(1998)「「満洲・満洲国」日本語教科書の一断面」『コミュニケーション紀要』第12輯 成城大学大学院文学研究科
- 1024)伊藤園子(1998)「官制面から見た近代文化交流の始まり—外交史料館の資料から見た対支文化交流—」『言語と交流』第1号 言語と交流研究会
- 1025)稲本朗(1998)「日拠時期台湾における日本語文学—川合三良「出生」と周金波「志願兵」—」『奈良教育大学国文—研究と教育—』第21号 奈良教育大学国文学会
- 1026)乾千代(1998)「日本占領期ジャワの国民学校教育—教科書を手がかりに—」東南アジア史学会編『東南アジア 歴史と文化』27 山川出版社
- 1027)乾千代(1998)「日本占領期ジャワの国民学校教育—教科書の分析—」『東南アジア史学会会報』68 東南アジア史学会

- 1028)井ノ口淳三(1998)「漂流民ゴンザによるコメニウスの翻訳」『追手門学院大学人間学部紀要』第7号 追手門学院大学
- 1029)岩崎攝子(1998)「チャブレン著『日本小文典』にみる近代性」『日本文学会誌』第10号 盛岡大学
- 1030)上田喜三郎(1998)「ハワイ日系人の生活史(29)ハワイの日本語学校—立川冴氏の生活史(1)—」『太平洋学会誌』第21巻1/2号 太平洋学会
- 1031)上田喜三郎(1998)「ハワイ日系人の生活史(30)ハワイの日本語学校—立川冴氏の生活史(2)—」『太平洋学会誌』第21巻3/4号 太平洋学会
- 1032)内海孝(1998)「角田柳作のハワイ時代—一九〇九年の渡布前後をめぐって—」『早稲田大学史記要』第30巻 早稲田大学大学史資料センター
- 1033)浦田義和(1998)「中島敦と南洋庁公学校国語読本巻一～巻三」『佐賀大国文』第26号 佐賀大学教育学部国語国文学会
- 1034)浦田義和(1998)「中島敦と南洋庁公学校国語読本巻四～巻六」『佐賀大国文』第27号 佐賀大学教育学部国語国文学会
- 1035)浦田義和(1998)「中島敦と南洋庁公学校補習科国語読本」『研究論文集』第3輯第1号 佐賀大学教育文化学部
- 1036)大久保久雄編(1998)「戦時下出版物の南方進出について1—日記社史にみる—」『東海大学紀要 課程資格教育センター』第8号 東海大学
- 1037)小原俊・有働玲子(1998)「国民学校直前期における輿水実の言語教育観—雑誌『コトバ』を中心に—」『第95回全国大学国語教育学会研究発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 1038)瀧沼潤・瀧沼誠二(1998)「日本語教育管見(四)—戦後日米関係のはざままで—」『年報いわみざわ』第20号 北海道教育大学岩見沢校
- 1039)加藤一夫(1998)「日本の旧植民地と図書館—東南アジアの図書館接收問題を中心に—」『参考書誌研究』49号 国立国会図書館専門資料部
- 1040)上沼八郎(1998)「植民地「教育令」の公布について(台湾・朝鮮の比較「承前」)—植民地教育史研究ノート・その一二—」『高千穂論叢』第32巻第4号 高千穂商科大学商学会
- 1041)茅島篤(1998)「戦前の言語科学の動向と占領下の米国側の対日言語改革」『工学院大学共通課程研究論叢』第36-2号 工学院大学

- 1042)川上郁雄(1998)「オーストラリアの日本語教育の不幸－1990年代の動向と課題－」『宮城教育大学紀要』第33巻 宮城教育大学
- 1043)河路由佳(1998)「日本統治下における台湾公学校の日本語教育と戦後台湾におけるその展開－当時の台湾人教師・日本人教師・台湾人児童からの証言－」『人間と社会』第9号 東京農工大学
- 1044)河元由美子(1998)「二つの「日英語彙集」－マクドナルドの原典とマクラウドの編集によるもの－」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』10 早稲田大学日本語教育研究センター
- 1045)上村忠昌(1998)「教育学者ボグダーノフのテキスト作り」『鹿児島工業高等専門学校研究報告』第33号 鹿児島工業高等専門学校
- 1046)上村忠昌(1998)「ゴンザ『項目別露日単語集』(アカデミー本)」『鹿児島工業高等専門学校研究報告』第33号 鹿児島工業高等専門学校
- 1047)上村忠昌(1998)「ゴンザ『項目別露日単語集』について」『鹿児島工業高等専門学校研究報告』第33号 鹿児島工業高等専門学校
- 1048)木部暢子(1998)「ゴンザの助詞のアクセント資料」『国語国文薩摩路』42巻 鹿児島大学法文学部国文学研究室
- 1049)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第1回 1988年検定試験始まる」『月刊日本語』1998年4月号 アルク
- 1050)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第2回 「タスク」という考え方」『月刊日本語』1998年5月号 アルク
- 1051)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第3回 入管法改正」『月刊日本語』1998年6月号 アルク
- 1052)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第4回 JITCO設立」『月刊日本語』1998年7月号 アルク
- 1053)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第5回 日本語教員養成課程をめぐる議論」『月刊日本語』1998年8月号 アルク
- 1054)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第6回 日本語教育の必要な子どもたち」『月刊日本語』1998年9月号 アルク

- 1055)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第7回 留学生受け入れの環境整備」『月刊日本語』1998年10月号 アルク
- 1056)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第8回 韓国の日本語学習者の増加」『月刊日本語』1998年11月号 アルク
- 1057)月刊日本語編集部(1998)「日本語教育の現代史 第9回 ビジネス日本語と日本経済」『月刊日本語』1998年12月号 アルク
- 1058)小出詞子(1998)「日本語教育回想メモー「日本語教育史」とは?ー」『小出記念日本語教育研究会論文集』第6号 小出記念日本語教育研究会
- 1059)駒走昭二(1998)「ゴンザ訳『世界図絵』における「ゆる・らゆる」と「る・らる」」『国語学』第195集 国語学会
- 1060)近藤健一郎(1998)「近代沖縄における方言札(1)ー八重山地域の学校記念誌を資料としてー」『愛知県立大学文学部論集 児童教育学科編』第47号 愛知県立大学文学部
- 1061)近藤純子(1998)「伊沢修二と「対訳法」ー植民地台湾における初期日本語教育の場合ー」『日本語教育』98号 日本語教育学会
- 1062)坂口満宏(1998)「日本人移民と<国語>教育」『史窓』第55号 京都女子大学史学会
- 1063)坂根慶子(1998)「留学生教育史の視点から見た「台湾人内地留学」の実態」『東海大学紀要留学生教育センター』第18号 東海大学
- 1064)咲本和子(1998)「「皇民化」政策期の在朝日本人ー京城女子師範学校を中心にー」津田塾大学紀要委員会編(1998)『国際関係学研究』No.25 津田塾大学
- 1065)椎名和男・阪田雪子・江田すみれ・本田弘之・国松昭・金田一秀穂・多仁安代(1998)「日本語教育の過去と現在・未来」杏林大学外国語学部十周年特別委員会編(1998)『杏林大学外国語学部 撮要(1) 外国語教育とは』杏林大学外国語学部
- 1066)柴田義助(1998)「最上地域における日本語教育の展開(一)ー日本語教育の基本方針と特色ー」『山形大学日本語教育論集』第1号 山形大学
- 1067)柴田義助(1998)「最上地域における日本語教育の展開(二)ー日本語講師の地位と講師養成システムー」『山形大学日本語教育論集』第2号 山形大学
- 1068)嶋津拓(1998)「1990年代前半のオーストラリアの新聞紙上に見られる「日本語学習不要論」について」『オーストラリア研究』11号 オーストラリア学会

- 1069) 所澤潤、呂耀樞(1998)「聞き取り調査：外地の進学体験(V)―石光公学校から、台北高校尋常科、台北高級中学を経て、台湾大学医学院卒業―」『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』第47巻 群馬大学教育学部
- 1070) 関正昭(1998)「日本語教育史から学ぶ」国立国語研究所日本語教育教材開発室編『特別研究「日本語総合シラバスの構築と教材開発指針の作成」会議要録：公開討論会(1)「日本語教育のための研究課題」』 国立国語研究所
- 1071) 孫于正(1998)「「日語学校」における韓国近代学校の構想」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第38巻 東京大学大学院教育学研究科
- 1072) 高橋力丸(1998)「思想戦としての国際文化交流―戦前の国際文化振興会の活動を巡って―」『社会科学研究科紀要 別冊』2号 早稲田大学大学院社会科学研究科
- 1073) 高見澤孟(1998)「太平洋戦争中の米国における日本語訓練計画とその影響」『日本語教育研究』第35号 (財)言語文化研究所
- 1074) 周一川(1998)「日中戦争時期の留日学生―概況と事例研究―」『人間文化論叢』第1号 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
- 1075) 堤智子(1998)「二・二八事件と日本語教育」『天理台湾研究会年報』第7号 天理大学
- 1076) 津留紀子(1998)「日本統治下の南洋群島における日本語教育をめぐって」『熊本大学留学生センター紀要』第2号 熊本大学留学生センター
- 1077) 富田哲(1998)「日本統治時代初期台湾における日本語研究―国語教授研究会及び小川尚義の研究について―」『日本語教育』99号 日本語教育学会
- 1078) 豊田豊子(1998)「目次にみる日本語の教科書の流れ」『日本語教育研究』第35号 (財)言語文化研究所
- 1079) 董守義(1998)「清朝末期における日本留学の回顧」『史泉』第88号 関西大学史学・地理学会
- 1080) 中田敏夫(1998)「国立台北師範学院蔵戦前国語(日本語)教育関係文献目録」『国語国文学報』第56集 愛知教育大学国語国文学研究室
- 1081) 中田敏夫(1998)「台湾総督府国語学校生徒執筆「内地旅行日記」(大正元年)」『愛知教育大学大学院国語研究』第6号 愛知教育大学
- 1082) 中野裕也(1998)「一台湾原住民村落内に残存する日本語―世代ごとの日本語能力の推移と村民の使用する日本語の特色―」『芸文研究』第74号 慶應義塾大学芸文学会

- 1083)縫部義憲(1998)「山口喜一郎の外国語教育理論の今日的意味—『外国語としての我が国語教授法』(昭8)を中心として—」『広島大学教育学部紀要 第二部』第38号 広島大学教育学部
- 1084)朴己煥(1998)「旧韓末と併合初期における韓国人の日本留学」『近代日本研究』第14巻 慶應義塾福澤研究センター
- 1085)平川新(1998)「歴史にみるロシアと日本の出会い—日本の漂流民とロシアの対応—」『東北アジア研究』第2号 東北大学東北アジア研究センター
- 1086)桧山真一(1998)「エリセーエフとネフスキイ—水田紀久、河合忠信、日野貴夫三氏の問題提起に寄せて—」『立命館経済学』第46巻第6号 立命館大学経済学会
- 1087)藤澤健一(1998)「日本植民地教育史のプロトタイプ試論—『沖縄対話』『沖縄県用尋常小学読本』 解読のための基礎視覚—」日本植民地教育史研究会(1998)『植民地教育史研究年報第1号 植民地教育史像の再構成』 皓星社
- 1088)瀧上香保里(1998)「大出正篤と日野成美の教授法論争について—「日本語」を中心にして—」『福岡YWCA日本語教育論文集』8号 福岡YWCA
- 1089)前田均(1998)「京都府協和会と中央協和会の『協和国語読本』の比較」『日本語・日本文化研究』第6号 京都外国語大学留学生別科
- 1090)前田均(1998)「国分一太郎の戦時下の作品について」『天理大学学報』第187輯 天理大学学術研究会
- 1091)前田均(1998)「奉天省公署教育庁『学校令要綱意見』」『天理大学学報』第187輯 天理大学学術研究会
- 1092)McNaughton, James C.原著・高見澤孟訳(1998)「太平洋戦争中(1941-42年)の言語教育」『日本語教育研究』第35号 (財)言語文化研究所
- 1093)松岡弘(1998)「日本語教育の10年」『一橋大学留学生センター紀要』第1号 一橋大学留学生センター
- 1094)松田吉郎(1998)「猪勝東国語伝習所について」『教職課程研究』第8集 姫路獨協大学教職課程研究室
- 1095)松永典子(1998)「軍政下マラヤにおける日本語教育—日本語教育史におけるその位置付け—」東南アジア史学会編『東南アジア 歴史と文化』27 山川出版社

- 1096)松永正義(1998)「台湾の日本語文学と台湾語文学」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第119巻第3号 日本評論社
- 1097)三好章(1998)「満州国の朝鮮人—間島における朝鮮人への皇民化教育について—」『中国21』Vol.3 愛知大学現代中国学会
- 1098)村井万里子(1998)「山口・垣内モデルの考察」『月刊国語教育研究』327号 日本国語教育学会
- 1099)村田光恵(1998)「中国にて日本語を教えて六年」『海外の教育』24巻7号 全国海外教育事情研究会
- 1100)百瀬侑子(1998)「インドネシアにおける日本語教育史の一断面(1942～1945年)—日本軍政期日本語教科書の分析を通して—」『日本語教育』97号 日本語教育学会
- 1101)百瀬侑子(1998)「国際理解・国際協力を目指した日本語教育のあり方—インドネシアに対する支援・協力を例にして—」『国際協力研究』vol.14,No.1 国際協力事業団国際協力総合研修所
- 1102)森田進(1998)「神保光太郎の戦争体験」『社会文学』編集委員会編『社会文学』12 日本社会文学会
- 1103)山岡政紀(1998)「天理教における日本語教育の国際的展開について」『創価大学比較文化研究』第15巻 創価大学比較文化研究所
- 1104)山口隆正(1998)「中国近代知識人の日本語観—「論学日本文之益」に見る日本文への期待—」『拓殖大学論集 人文・自然・人間科学研究』創刊号 拓殖大学人文科学研究所
- 1105)山下秀雄(1998)「現代日本語教育の源流をたずねて [続編] (ii)—戦中期へと向かう時代的背景と長沼直兄の日本語教育—」『日本語教育研究』第35号 (財)言語文化研究所
- 1106)山下秀雄(1998)「現代日本語教育の源流をたずねて [続編] (iii)—日本語教育振興会と『ハナシコトバ』の時代背景—」『日本語教育研究』第36号 (財)言語文化研究所
- 1107)山田あき子(1998)「台湾における公学校1学年児童への「日本語」の指導—1913(大正2)年当時—」『1998年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1108)由井紀久子(1998)「旧南洋群島公学校における日本語教育の諸問題」『無差』第5号 京都外国語大学日本語学科
- 1109)由井紀久子(1998)「パラオ語に受容された日本語を起点とする借用語」『京都外国語大学研究論叢』LI 京都外国語大学国際言語平和研究所

- 1110)吉岡英幸(1998)「早稲田国際学院の日本語教育」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』11 早稲田大学日本語研究教育センター
- 1111)呂順長(1998)「<共同研究報告>明治末期日本人の中国人日本留学に対する認識」『日本研究』第18集 国際日本文化研究センター
- 1112)鷺見定信(1998)「ハワイ浄土宗と日本語学校」水谷幸正先生古稀記念会編(2002)『佛教教化研究』思文閣出版
- 1113)芥川昭寿(1999)「異文化間で編纂された日本語教科書の展開—戦後におけるハワイ教育会での視点—」『日本語教育研究』第37号 (財)言語文化研究所
- 1114)阿部洋(1999)「清末中国の学堂教育と日本人教習—明治後期教育雑誌等所収記事・論説の分析(その2)—」『福岡県立大学紀要』第7巻第2号 福岡県立大学
- 1115)新井高子(1999)「山口喜一郎による直接法の授業—再構成への試み—」『留学生教育』第2号 埼玉大学留学生センター
- 1116)李政樹(1999)「韓国の植民地時代における日本語(国語)教科書の分析 I」『全国語学教育学会山口支部研究紀要』第5号 全国語学教育学会山口支部
- 1117)李政樹(1999)「植民地朝鮮における日本語教科書に関する—考察—初等学校教育用教科書における外国紹介関連題材・記事の比較を中心に—」『教育学研究紀要』第45巻 中国四国教育学会
- 1118)飯田史也(1999)「19世紀中期のフランスにおける日本語テキストの考察—レオン・ド・ロニの“Introduction au Cours de Japonais; seconde edition”—」『福岡教育大学紀要』第48号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 1119)閻立(1999)「日清戦争以前における清国人の日本語研究について」『言語情報科学研究』第4号 東京大学言語情報科学研究会
- 1120)生田美智子(1999)「橘耕斎と日露文化交流」『ロシア・東欧研究』3号 大阪外国語大学ヨーロッパI講座
- 1121)磯辺武雄(1999)「学制公布期の公学校に関する—考察—」『国土館大学文学部人文学会紀要』第32号 国土館大学文学部人文学会
- 1122)磯辺武雄(1999)「創設期近代公学校景況に関する—考察—筑摩県高山煥章学校を中心として—」『アジア文化研究』6号 国際アジア文化学会



- 1123)井上薫(1999)「日帝下朝鮮における四年生公立普通学校—三・一独立運動直後の修業年限延長と学校増設政策の実態—」『釧路短期大学紀要』第 26 号 釧路短期大学
- 1124)岩澤正子(1999)「清国女子留学生と女性解放—秋瑾と下田歌子—」『Polyglossia』第 2 巻 立命館アジア太平洋大学言語教育センター
- 1125)上田喜三郎(1999)「ハワイ日系人の生活史(31)ハワイの日本語学校—立川冨氏の生活史(3)—」『太平洋学会誌』第 22 巻 1/2 号 太平洋学会
- 1126)温鴻華(1999)「台湾における初期日本語教育カリキュラムの一考察—国語学校附属学校及び国語伝習所の科目「国語」の教材を中心に—」『教育学研究紀要 第二部』第 45 巻 中国四国教育学会
- 1127)内田知行(1999)「共生の思想—戦時下の自由学園北京生活学校—」日本植民地研究会編(1999)『日本植民地研究』第 11 号 総和社
- 1128)内海孝(1999)「角田柳作のハワイ時代再論—1909～17 年の滞在期間を中心に—」『早稲田大学史記要』第 31 巻 早稲田大学大学史資料センター
- 1129)有働玲子(1999)「昭和 16、17 年の国語教育における音声言語教育観—輿水実を中心に—」『児童学研究：聖徳大学児童学研究紀要』第 2 号 聖徳大学
- 1130)大蔵親志(1999)「レオン・ド・ロニー研究—1862 年遣欧使節の若き洋学者たちとの出会い—」『別科論集』第 1 号 大東文化大学別科日本語研修課程
- 1131)大島中正(1999)「日本国内で刊行された日本語教育用辞書の概観」『総合文化研究所紀要』第 16 巻 同志社女子大学
- 1132)太田孝子(1999)「自由学園北京生活学校の教育—日中戦時下の教育活動—」『岐阜大学留学生センター紀要 創刊号』 岐阜大学留学生センター
- 1133)岡村敬二(1999)「資料 『旅順図書館報』からみた旅順図書館」朱夏の会編『朱夏』12 号 せらび書房
- 1134)岡村敬二(1999)「満鉄大連図書館館長柿沼介の事績」朱夏の会編『朱夏』12 号 せらび書房
- 1135)小黒浩司(1999)「衛藤利夫の足跡」朱夏の会編『朱夏』12 号 せらび書房
- 1136)小野吉郎(1999)「フランスの日本語教育—パリ東洋語学校を中心とした先覚者たちと INALCO 等の現状—」『日仏教育学会年報』28 号 日仏教育学会

- 1137) 瀧沼潤・瀧沼誠二(1999)「日本語教育管見(五)―戦後日米関係のはざまで―」『年報いわみざわ』第21号 北海道教育大学岩見沢校
- 1138) 上村忠昌(1999)「ゴンザ訳『世界図絵』における「ゆる・らゆる」語尾について」『鹿児島工業高等専門学校研究報告』第34号 鹿児島工業高等専門学校
- 1139) 木場明志(1999)「日中戦争下北京における中国人女子高等教育の試み―東本願寺系覚生女子中学校について―」『真宗文化』第8号 京都光華女子大学・京都光華女子短期大学真宗文化研究所
- 1140) 木村哲也(1999)「時枝誠記の「国語」と「日本語」」『高千穂論叢』第34巻第2・3号 高千穂商科大学商学会
- 1141) 久保田優子(1999)「「併合」直後の朝鮮に対する日本語教育論」『日本の教育史学』第42集 教育史学会
- 1142) 月刊日本語編集部(1999)「日本語教育の現代史 第10回 国際交流基金関西国際センター開所」『月刊日本語』1999年1月号 アルク
- 1143) 月刊日本語編集部(1999)「日本語教育の現代史 最終回 日本語教育の現在」『月刊日本語』1999年2月号 アルク
- 1144) 合津美穂(1999)「日本統治時代における「台湾人」の日本語学習観とその背景―「台湾人」に対する聞き取り調査を通じて―」『1999年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1145) 小林悦夫・佐藤恵美子・山田泉(1999)「平成8・9・10年度文化庁委嘱事業中国帰国者に対する日本語通信教育(試行)―「通信」による日本語学習支援の試みが目指したもの―」中国帰国者定着促進センター教務課編『中国帰国者定着促進センター紀要』第7号 中国残留孤児援護基金
- 1146) 近藤健一郎(1999)「近代沖縄における方言札(2)―宮古地域の学校記念誌を資料として―」『愛知県立大学文学部論集 児童教育学科編』第48号 愛知県立大学文学部
- 1147) 酒井恵美子(1999)「台湾公学校教科用図書審査会報告 『国民読本』巻九」中京大学社会科学研究所編『社会科学研究』第19巻第2号 成文堂
- 1148) 坂戸勝(1999)「国際交流基金の25年―事業の性格変化等の展開―」『研究年報』第2号 杏林大学国際交流研究所
- 1149) 柴田幹夫(1999)「康有為と清末留日政策」『東アジア』8号 新潟大学東アジア学会

- 1150)島本基(1999)「日本語教育の思い出」『無差』第6号 京都外国語大学
- 1151)夏茜(1999)「日本軍占領下のシンガポール華字紙<昭南日報>における日本語からの借用語について」『言語』1999年8月号 大修館書店
- 1152)所澤潤、陳清桂(1999)「聞き取り調査：外地の進学体験(VI)—台南州の農村から、長老教中学、内地の荏原中学校を経て、日本歯科医学専門学校及び東京医学歯学専門学校医学科を卒業—」『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』第48巻 群馬大学教育学部
- 1153)関正昭(1999)「日本語教育史の中の「文型」」『日本語教育研究』第38号 (財)言語文化研究所
- 1154)瀬戸健壽(1999)「カリパピー—フィリピンの対日協力—」『日本語・日本文化』第25号 大阪外国語大学留学生日本語教育センター
- 1155)高橋力丸(1999)「戦後の日本語普及政策の目的に関する一考察—国際交流基金の日本語普及政策を中心に—」『ソシオサイエンス』vol.5 早稲田大学大学院社会科学研究所
- 1156)但馬鷹史(1999)「「エリセーエフに捧げるモスクワ国際会議」に参加して」『窓』111号 ナウカ
- 1157)田中望・安田敏朗(1999)「対談 日本語教育の再構築(2)：戦前・戦中・戦後の日本語教育に通底するもの」『月刊日本語』1999年5月号 アルク
- 1158)多仁安代(1999)「日本軍軍政下のビルマにおける日本語教育—日本語必修問題をめぐって—」軍事史学会編『軍事史学』第34巻第4号 錦正社
- 1159)多仁安代(1999)「日本軍占領下におけるインドネシアの日本語教育—現地発行の日本語新聞記事をめぐって—」『太平洋学会誌』第22巻1/2号 太平洋学会
- 1160)多仁安代(1999)「日本軍占領下のフィリピンにおける日本語教育—『さむばぎいた』を通して—」『太平洋学会誌』第22巻3/4号 太平洋学
- 1161)張芸文(1999)「清末留日学生の日本体験について」『関西教育学会紀要』23号 関西教育学会
- 1162)張志強(1999)「中国十年代の日本留学とアメリカ留学—南開中学と周恩来を中心に—」『研究年報』第2号 杏林大学国際交流研究所
- 1163)張華峰・駒込武(1999)「「満州国」統治下における中国東北地域の教育—本溪县におけるインタビュー調査を中心にして—」『人間発達研究』22号 お茶の水女子大学人間発達研究会

- 1164)周一川(1999)「近代中国人女性日本留学史研究の概況」『中国研究月報』617号 (社)中国研究所
- 1165)周一川(1999)「中国人女子留学生を受け入れた私立三校について—民国初期を中心に—」『史学』第68巻第3・4号 慶應義塾大学文学部内三田史学会
- 1166)周一川(1999)「『満洲国』の留学政策と留日学生—概況と事例研究—」『アジア教育史研究』第8号 アジア教育史学会
- 1167)筒井通雄(1999)「アメリカにおける専門日本語教育—過去・現在・未来—」『専門日本語教育研究』1号 専門日本語教育研究会
- 1168)富田哲(1999)「日本語教育史研究の新展開へ向けての試論—日本統治時代初期の台湾での事例をもとに—」『不老町だより』第4号 世界社会言語学会
- 1169)中田敏夫(1999)「国立台北師範学院蔵日文図書 of の歴史 附同学院蔵戦前台湾関係文献目録」『国語国文学報』第57集 愛知教育大学国語国文学研究室
- 1170)中田敏夫・廖継思(1999)「『台湾教科書国民読本』「土語読方」の日本語訳」『愛知教育大学研究報告』第四十八輯 愛知教育大学
- 1171)中野裕也(1999)「台湾先住民族の日本語—ツオウ族とルカイ族で使用されている日本語の比較—」『慶應義塾大学語学視聴覚教育研究室紀要』32 慶應義塾大学語学視聴覚教育研究室
- 1172)西岡まさ子(1999)「緒方惟直ヨーロッパ滞在追想行」『歴史と旅』26巻15号 秋田書店
- 1173)長谷川正明(1999)「我が国の留学生政策の動向—「留学生受け入れ10万人計画」がもたらしたもの—」『レファレンス』第49巻第3号 国立国会図書館調査立法考査局
- 1174)濱野成生(1999)「戦前ハワイ日本語学校の隘路—1890年代から1940年代までの問題点—」『日本女子大学英米文学研究』第34号 日本女子大学英語英文学会
- 1175)聖田京子(1999)「世界の大学街(31)ハワイ大学—清岡暎一先生の志を継いで—」『三田評論』1011号 慶應義塾大学
- 1176)平高史也(1999)「日本語教育史研究の可能性」『日本語教育』100号 日本語教育学会
- 1177)平高史也(1999)「『ハナシコトバ』『成人用速成日本語教本』の教授法をめぐって」『日本語教育研究』第38号 (財)言語文化研究所

- 1178)黄文雄(1999)「日本領有期における台湾国民教育の近代化—書房教育と公学校教育の消長を中心として—」『拓殖大学百年史研究』1・2号 拓殖大学
- 1179)深川治道(1999)「天理教の日本語教育史—「山西天理日語学校」について(その2)—」『天理大学おやさと研究所年報』6号 天理大学おやさと研究所
- 1180)藤森智子(1999)「1930年代初期台湾における国語講習所の成立とその宣伝」『法学政治学論究』刊行会編『法学政治学論究』第40号 慶應義塾大学大学院法学研究科
- 1181)Фролова, Е.Л.(Frolova, E. L)(1999)「ノヴォシビルスクにおける日本語の学習：歴史、現状、発展計画」『東北アジアアラカルト』2号 東北大学東北アジア研究センター
- 1182)前家裕美(1999)「ビジネスコースの変遷とカリキュラム」『文化外国語専門学校日本語課程紀要』13号 文化学園文化外国語専門学校
- 1183)前田均(1999)「台湾高等学校学習指導要領日本語科」『外国語教育』第25号 天理大学言語教育研究センター
- 1184)松田吉郎(1999)「台東国語伝習所について」『学校教育学研究』第11巻 兵庫教育大学学校教育研究センター
- 1185)松田吉郎(1999)「日本統治時代台湾の「蕃童教育所」について—「蕃童教育標準」制定期を中心に—」『兵庫教育大学研究紀要』第19巻第2分冊 兵庫教育大学
- 1186)松永典子(1999)「日本語教育史研究の課題と展望 (I)」『Polyglossia』第2巻 立命館アジア太平洋大学言語教育センター
- 1187)松永典子(1999)「日本軍政下の占領地における直接法と速成法—軍政下マラヤの事例を通して—」『日本語教育』103号 日本語教育学会
- 1188)丸山敬介他(1999)「研究プロジェクト総合報告 教科書・教材から見た、戦後50年における日本語教育の変遷」『総合文化研究所紀要』第16巻 同志社女子大学総合文化研究所
- 1189)三ッ井崇(1999)「日本語朝鮮語同系論の政治性をめぐる諸様相—金沢庄三郎の言語思想と朝鮮支配イデオロギーとの連動性に関する一考察—」朝鮮史研究会編『朝鮮史研究会論文集』No.37 緑蔭書房
- 1190)宮島達夫(1999)「言語政策史研究」『社会言語科学』第2巻第1号 社会言語科学会
- 1191)宮脇弘幸(1999)「日本軍政下のシンガポールの教育・言語政策」日本植民地教育史研究会(1999)『植民地教育史研究年報第2号 植民地教育史認識を問う』 皓星社

- 1192)森由紀(1999)「マレーシア政府派遣留学生受入れの10年」『三重大学留学生センター紀要』第1号 三重大学留学生センター
- 1193)森田真吾(1999)「文法教育史における芳賀矢一」『人文科教育研究』第26号 人文科教育学会
- 1194)安田敏朗・ましこひでのり(1999)「戦前・戦後日本の言語事件史」『ことばと社会』編集委員会編『ことばと社会』1号 三元社
- 1195)安田敏朗(1999)「方言」の語り方と植民地—大東亜省調査官・寺川喜四男の場合—『思想』No.899 岩波書店
- 1196)谷部弘子(1999)「中国の大学における日本語教育の質的变化—言語教育と専門性—」『日本語教育』103号 日本語教育学会
- 1197)山路勝彦(1999)「国語演習会という饗宴—皇民化政策下の台湾と教育所の子どもたち—」『人文学報』LXXXII(第82号) 京都大学人文科学研究所
- 1198)山田あき子(1999)「日本統治時代の台湾における「日本語」の普及度—統計資料に基づく推定—」『東京国際大学論叢 商学部編』第59号 東京国際大学
- 1199)由井紀久子(1999)「ミクロネシア諸語に取り込まれた借用語対照表(1)」『京都外国語大学研究論叢』LII 京都外国語大学国際言語平和研究所
- 1200)由井紀久子(1999)「ミクロネシア諸語に取り込まれた借用語対照表(2)」『京都外国語大学研究論叢』LIII 京都外国語大学国際言語平和研究所
- 1201)李運博・吉見孝夫(1999)「近代中国人から見た日本語」『北海道教育大学紀要 人文科学・社会科学編』第50巻第1号 北海道教育大学
- 1202)劉建雲(1999)「清末の日本語教育と広州同文館」『中国研究月報』622号 (社)中国研究所
- 1203)リュドミーラ・エルマコーワ(1999)「ロシア/ソ連における日本文学の輪郭(19世紀末期からエリセーエフまで)」『神戸外大論叢』第50巻第3号 神戸市外国語大学研究会
- 1204)渡邊了好(1999)「台湾公学校国語教授要旨」について」『二松學舎大學論集』第42号 二松學舎大学文学部
- 1205)王嵐・船寄俊雄(1999)「神戸高等商業学校の中国人留学生に関する研究」『神戸大学発達科学部研究紀要』第7巻第1号 神戸大学発達科学部

- 1206)阿部洋(2000)「清末中国の学堂教育と日本人教習—明治後期教育雑誌等所収記事・論説の分析(その3)—」『福岡県立大学紀要』第9巻第1号
- 1207)李政樹(2000)「植民地朝鮮における初等学校教育用日本語(国語)教科書の題材に関する一考察—統治方針・教育観と関連して—」『全国語学教育学会山口支部研究紀要』第6号  
全国語学教育学会山口支部
- 1208)李政樹(2000)「植民地朝鮮における日本語教科書に関する考察Ⅱ—第3期・第4期朝鮮及び国定読本の題材の比較分析を通して—」『教育学研究紀要』第46巻 中国四国教育学会
- 1209)飯田史也(2000)「1860年代フランスにおける日本情報に関する考察—レオン・ド・ロニの“La Civilisation Japonaise”を中心に—」『福岡教育大学紀要』第49号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 1210)磯田一雄(2000)「日本の植民地教育は「成功」したか—台湾における日本語教育を中心に—」『アジア文化研究』7号 国際アジア文化学会
- 1211)磯田一雄(2000)「東アジアにおける異文化間教育の可能性—日本の「植民地教育」の示唆するもの—」『成城学園教育研究所研究年報』22集 成城学園教育研究所
- 1212)稲垣滋子(2000)「18世紀ロシアのキリスト教に接した漂流民の記述の特徴」国際基督教大学アジア文化研究所編(2000)『国際基督教大学学報Ⅲ—A アジア文化研究』26 国際基督教大学
- 1213)イワン・J・ボンダレンコ(2000)「H.J.レザノフの『日本語辞典』における仙台方言の特徴」『東北アジア研究』第5号 東北大学東北アジア研究センター
- 1214)上田崇仁(2000)「国定読本と朝鮮読本の共通性」日本植民地教育史研究会(2000)『植民地教育史研究年報第3号 言語と植民地支配』 皓星社
- 1215)上田崇仁(2000)「「日語読本」に関する一考察」『アジア社会文化研究』第1号 アジア社会文化研究会
- 1216)温鴻華(2000)「臺灣における草創期の日本語教材の一考察—『臺灣適用会話入門』の場合—」『安田女子大学大学院文学研究科紀要 合冊』第5集合冊 安田女子大学大学院文学研究科
- 1217)内海孝(2000)「角田柳作と『日本語読本』の編纂—アメリカにおける日米摩擦のひとつま—」『草思』第2巻第9号 草思社

- 1218)海野多枝(2000)「卒業 10 周年を迎え」東京外国語大学日本課程・留学生課共編『東京外国語大学日本研究教育年報』4(1999 年度版) 東京外国語大学
- 1219)大石初太郎(2000)「日本語教育の思い出」『国文学解釈と鑑賞』第 65 巻 7 号 至文堂
- 1220)大蔵親志(2000)「レオン・ド・ロニー研究—フリーメイソンとしての活躍—」『大東文化大学紀要 人文科学』第 38 号 大東文化大学
- 1221)岡村敬二(2000)「内藤湖南と日満文化協会—外務省文化事業部宛内藤書簡を中心に—」『人間文化研究』第 3 号 京都学園大学人間文化学会
- 1222)岡村敬二(2000)「「対満文化事業審査委員会」の創設事情」『人間文化研究』第 4 号 京都学園大学人間文化学会
- 1223)岡村徹(2000)「日本軍占領下におけるナウル島の日本語教育—日豪の資料を中心に—」『オーストラリア研究紀要』第 26 号 追手門学院大学オーストラリア研究所
- 1224)小熊英二(2000)「日本の言語帝国主義—アイヌ、琉球から台湾まで—」三浦信孝・糟谷啓介編(2000)『言語帝国主義とは何か』藤原書店
- 1225)小田嶋悟・甲斐規雄・森下恭光(2000)「国定読本における「国語」観—「標準語」をめぐる「国語」の統一について—」『明星大学研究紀要 人文学部』第 36 号 明星大学
- 1226)瀧沼潤・瀧沼誠二(2000)「日本語教育管見(六)—戦後日米関係のはざままで—」『年報いわみざわ』第 22 号 北海道教育大学岩見沢校
- 1227)加藤秀俊(2000)「昭和・平成世相史⑥日本語の敗北」『中央公論』平成 12 年年 4 月号 中央公論新社
- 1228)金子尚一(2000)「大日本帝国と台湾と日本語など」『国文学解釈と鑑賞』第 65 巻 7 号 至文堂
- 1229)神谷道夫(2000)「太平洋戦争期フィリピンにおける日本語教育」『小出記念日本語教育研究会論文集』第 8 号 小出記念日本語教育研究会
- 1230)亀井俊介(2000)「土居光知」『文學』第 1 巻第 3 号 岩波書店
- 1231)川口敦子(2000)「バレット写本の「四つがな」表記から」『國語學』第 51 巻 3 号 国語学会
- 1232)河路由佳(2000)「日本統治下の台湾における日本語教育と短歌—孤蓬万里編著『台湾万葉集』の考察—」『人間と社会』第 11 号 東京農工大学



- 1233)川崎賢子(2000)「戦時下対外宣伝における日本語と日本紹介—雑誌『FRONT』とその周辺—」昭和文学会編『昭和文学研究』41集 笠間書院
- 1234)神戸輝夫(2000)「日中戦争における文化侵略(1)」『大分大学教育福祉科学部研究紀要』第22巻第2号 大分大学教育福祉科学部
- 1235)北村嘉恵(2000)「「蕃童教育所」普及過程における台湾先住民社会の変容」『日本の教育史学』第43集 教育史学会
- 1236)金禮坤(2000)「在日朝鮮人の日本語教育・ききがき」『国文学解釈と鑑賞』第65巻7号 至文堂
- 1237)国松昭(2000)「『東京外語大学史』を読んで」東京外国語大学日本課程・留学生課共編『東京外国語大学日本研究教育年報』4(1999年度版) 東京外国語大学
- 1238)窪田富男(2000)「継承と変革—日本語教育をめぐる個人的体験—」『東京外国語大学日本研究教育年報』4(1999年度版) 東京外国語大学日本課程・留学生課共編
- 1239)久保田優子(2000)「朝鮮総督府初期の日本語教育における「時勢及民度」について」『九州産業大学国際文化学部紀要』第17号 九州産業大学国際文化学会
- 1240)久保田優子(2000)「東洋教育史の研究動向」『日本の教育史学：教育史学会紀要』第43集 教育史学会
- 1241)倉田保雄(2000)「日本学の始祖エリセーエフ」『文藝春秋』第78巻第3号 文藝春秋社
- 1242)倉田保雄(2000)「日本学の祖、エリセーエフの東京遊学記」『東京人』第15巻第2号 都市出版株式会社
- 1243)桑原哲朗(2000)「芦田恵之助の綴り方教師修養論に関する一考察」『国語科教育』第47集 全国大学国語教育学会
- 1244)合津美穂(2000)「日本統治時代における台北市在住「台湾人」の日本語使用—社会的変種の使用について—」『信州大学留学生センター紀要』第1号 信州大学留学生センター
- 1245)駒井裕子(2000)「「日本語」誌上における釘本久春の「言語精神論」と「言語道具論」」『日本語・日本文化研究』第7号 京都外国語大学留学生別科
- 1246)小町恭士(2000)「巻頭随筆 ジャパノロジーの誕生とエリセーエフ」『外交フォーラム』第13巻第13号 都市出版株式会社

- 1247)近藤功(2000)「ニュージーランド日本語教育実習 10 年の記録」『言語と文化』13 号 文教大学大学院言語文化研究科附属言語文化研究所
- 1248)近藤健一郎(2000)「近代沖縄における方言札(3)—沖縄島周辺の島々の学校記念誌を資料として—」『愛知県立大学文学部論集 児童教育学科編』第 49 号 愛知県立大学文学部
- 1249)酒井恵美子(2000)「台湾公学校教科用図書審査会報告『国民読本』巻十」中京大学社会科学研究所編『社会科学研究』第 20 巻第 2 号 成文堂
- 1250)阪口直樹(2000)「戦前の同志社と台湾留学生」『言語文化』第 3 巻第 2 号 同志社大学言語文化学会
- 1251)坂本浩一(2000)「明治期対訳辞書と漢語辞書とをめぐり—考察—『漢語英訳辞典』を中心に—」福岡女子大学国文学会編『香椎潟』第 46 号 福岡女子大学国文学会
- 1252)櫻田芳樹(2000)「酔軒 橋川時雄先生の遺稿を尋ねて」『新しい漢字漢文教育』30 号 全国漢文教育学会
- 1253)櫻田芳樹(2000)「東北師範大学所蔵 酔軒 橋川時雄先生遺稿について」古典研究会編『汲古』第 37 号 汲古書院
- 1254)真田信治・簡月真(訳)(2000)「海外文献紹介 台湾における日本語普及計画」『阪大日本語研究』12 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座
- 1255)清水厚子(2000)「日本事情啓蒙の歴史」『別科論集』第 2 号 大東文化大学別科日本語研修課程
- 1256)清水知子(2000)「軍政下シンガポールの公立日本語学校(Queen Street School)をめぐり考察」『横浜国立大学留学生センター紀要』第 7 号 横浜国立大学留学生センター
- 1257)所澤潤、翁曾愛経(2000)「聞き取り調査：外地の進学体験(VII)—景尾公学校を卒業し、迎病院看護婦見習いを経て、台北陸軍病院の看護婦へ—」『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』第 49 巻 群馬大学教育学部
- 1258)所澤潤・林初梅(2000)「国語伝習所の設置と公学校への転換の記録(一八九八年前後)—台北県蘆洲国民小学所蔵『学校沿革誌 和尚洲公学校』冒頭部分—」『群馬大学教育実践研究』第 17 号 群馬大学教育学部附属教育実践研究指導センター
- 1259)経志江(2000)「広島高師における中国人留学生の来日と帰国後の活動」『広島大学教育学部紀要 第 1 部』第 48 号 広島大学教育学部

- 1260)新内康子(2000)「国内の日本語教育機関の系譜(4)」『研究紀要』第22巻第1号 志學館大学文学部
- 1261)関正昭(2000)「日本語教育史研究の視点から現状と問題点をとらえ、21世紀を展望する」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第2輯 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 1262)高見澤孟(2000)「米国における外国語教育の変遷と戦争の影響」『學苑』平成12年1月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 1263)竹中憲一(2000)「日露戦争軍政下の対中国人教育方針をめぐって—嶋田道彌著『滿洲教育史』の誤解—」『アジア教育史研究』第9号 アジア教育史学会
- 1264)多仁安代(2000)「多様だった外地での日本語教育—南進地域を中心に—」『東亜』No.394 霞山会
- 1265)多仁安代(2000)「日本軍占領地における日本語教育—インドネシア、ビルマの場合—」『太平洋学会誌』第23巻3/4号 太平洋学会
- 1266)田畑千秋(2000)「奄美大島における標準語普及—聞き書き・大正末から昭和前期の思い出—」『国文学解釈と鑑賞』第65巻7号 至文堂
- 1267)陳昊(2000)「明治専門学校における中国人留学生受け入れの開始と創立者安川敬一郎」『九州教育学会研究紀要』第28巻 九州教育学会
- 1268)簡月真(2000)「台湾の日本語」『国文学解釈と鑑賞』第65巻7号 至文堂
- 1269)周一川(2000)「国民党政府の留学政策と日本留学の特殊性」『中国研究月報』624号 (社)中国研究所
- 1270)鶴見俊輔(2000)「エリセエフ先生の思い出」『図書』612号 岩波書店
- 1271)富田哲(2000)「日本語教育史研究の「死角」—日本語教育史研究の今日的意義の探求—」『2000年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1272)中川かず子(2000)「明治期における日本語教本の研究(1)—S.R.ブラウン著"Colloquial Japanese"と日本語教育における意義—」『北海学園大学人文論集』15号 北海学園大学人文学会
- 1273)中川かず子(2000)「明治期における日本語教本の研究(2)—アーネスト M.サトウ著"KUAIWA HEN—Twenty-Five Exercises in the Yedo Colloquial"の日本語教育における意義—」『北海学園大学人文論集』17号 北海学園大学人文学会

- 1274)中川仁(2000)「台湾の人々の言語環境をめぐって—台湾の人々の歴史的形成と現状を中心に—」『明海日本語』第5号 明海大学日本語学会
- 1275)中田敏夫(2000)「台湾教科用書国民読本「応用」の考察」『国語国文学報』第58集 愛知教育大学国語国文学研究室
- 1276)長谷川恒雄(2000)「バンコク日本文化研究所(1938)の日本語教育計画」『日本語と日本語教育』第29号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 1277)羽生(磯村)美保子(2000)「植民地の日本語—抵抗と受容—台湾 1895～1945」『立命館言語文化研究』12巻3号 立命館大学国際言語文化研究所
- 1278)原田義則(2000)「芦田恵之助「読み方教式」に関する—考察(1)—「三よむ」の機能を中心に—」『教育学研究紀要』第46巻 中国四国教育学会
- 1279)黄文雄(2000)「六〇年代の台湾留学生と明治大学」明治大学大学史料委員会編『紫紺の歷程』4号 明治大学
- 1280)深川治道(2000)「天理教の日本語教育史—「天津天理日語塾」と「天津天理日華語学校」について—」『天理大学おやさと研究所年報』7号 天理大学おやさと研究所
- 1281)舟田京子(2000)「日本軍政によるインドネシアにおける言語政策」『佐々木重次教授退官記念論集』東京外国語大学インドネシア研究室・マレーシア研究室
- 1282)細川英雄(2000)「ことばと文化はどのように教えられてきたか—「日本事情」教育研究小史の試み—」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』13 早稲田大学日本語教育研究センター
- 1283)堀口純子(2000)「地域研究研究科における日本語教育20余年の歩み」『筑波大学地域研究』18 筑波大学大学院地域研究研究科
- 1284)前田健太郎(2000)「国語教育史における山口喜一郎「話しことば教育」」『第99回全国大学国語教育学会発表要旨集』全国大学国語教育学会
- 1285)前田均(2000)「在日朝鮮人の日本語教育—戦前の日本語教科書—」『国文学解釈と鑑賞』第65巻7号 至文堂
- 1286)前田均(2000)「情報局『ニッポンゴ』改訂の実際」『外国語教育』第26号 天理大学言語教育研究センター
- 1287)前田均(2000)「戦時下台湾における皇民化教育体験者からの聞きとり」『天理大学学報』第193輯 天理大学学術研究会

- 1288)真嶋潤子(2000)「日本語教員養成課程における教育実習の現状と課題—過去5年間の報告—」『大阪外国語大学論集』第23号 大阪外国語大学
- 1289)松崎正治(2000)「国語科教育の思想—西尾実の場合—」『第99回全国大学国語教育学会発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 1290)松田吉郎(2000)「新「蕃童教育標準」制定の意義について」『学校教育学研究』第12巻 兵庫教育大学学校教育研究センター
- 1291)松永典子(2000)「日本軍政下マラヤの日本語教育の性格—マラヤ軍政監部・ジャワ軍政監部編纂による日本語教科書の比較から—」『2000年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1292)松永典子(2000)「日本語教育史研究の課題と展望(Ⅱ)」『Polyglossia』第3巻 立命館アジア太平洋大学言語教育センター
- 1293)水野マリ子(2000)「『日本語教育史』指導の意義について」佐治圭三教授古稀記念論文集編集委員会編(2000)『日本と中国ことばの梯 佐治圭三教授古稀記念論文集』くろしお出版
- 1294)村上吉文(2000)「現代日本における留学生政策理念の変遷」『言語と交流』第3号 言語と交流研究会
- 1295)守屋友江(2000)「二〇世紀初頭ハワイにおける国際派仏教徒たち—角田柳作と今村恵猛を中心に—」『近代仏教』第7号 日本近代仏教史研究会
- 1296)安田敏朗(2000)「時枝誠記と植民地期朝鮮—「言語過程観」の構成—」『学習院大学言語共同研究所紀要』24号 学習院大学言語共同研究所
- 1297)山口隆正(2000)「清朝における留日学生派遣の契機について」『留学生教育』第5号 留学生教育学会
- 1298)山本もと子(2000)「イギリスの公教育における日本語教育」『信州大学留学生センター紀要』第1号 信州大学留学生センター
- 1299)山本禮子(2000)「植民地末期におけるキリスト教主義学校の相克—淡水中学・女学校について—」『天理臺灣學會年報』第9号 天理臺灣學會
- 1300)由井紀久子(2000)「ミクロネシア諸語に取り込まれた借用語対照表(3)」『京都外国語大学研究論叢』LIV 京都外国語大学国際言語平和研究所

- 1301)由井紀久子(2000)「ミクロネシア諸語に取り込まれた借用語対照表(4)」『京都外国語大学  
研究論叢』LV 京都外国語大学国際言語平和研究所
- 1302)由井紀久子(2000)「ミクロネシア諸語に取り込まれた借用語対照表(5)」『京都外国語大学  
研究論叢』LVI 京都外国語大学国際言語平和研究所
- 1303)由井紀久子(2000)「ミクロネシアの日本語」『国文学解釈と鑑賞』第65巻7号 至文堂
- 1304)吉岡英幸(2000)「明治期の日本語会話教材」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』  
13 早稲田大学日本語研究教育センター
- 1305)李郁蕙(2000)「戦前の台湾日本語文学における〈重層性〉」『広島大学日本語教育学科紀要』  
第10号 広島大学教育学部日本語教育学科
- 1306)劉健雲(2000)「清末中国における東本願寺の東文学堂」『岡山大学大学院文化科学研究科  
紀要』第10号 岡山大学大学院文化科学研究科
- 1307)劉健雲(2000)「福州東文学堂をめぐる日中関係」『アジア教育史研究』第9号 アジア教  
育史学会
- 1308)渡邊了好(2000)「台湾における直接教授法について」『二松學舎大學論集』第43号 二  
松學舎大学文学部
- 1309)李政樹(2001)「韓国併合前後の日本語教育観—朝鮮及び日本の教育・一般雑誌の考察を通  
して—」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域』50号 広島  
大学大学院教育学研究科
- 1310)李笑利(2001)「『普通学校学徒用日語読本』から『普通学校国語読本』へ—入門期の教材  
分析を中心として—」『久留米大学大学院比較文化研究論集』9号 久留米大学大学院比較  
文化研究科
- 1311)飯塚容(2001)「1930年代日本における中国人留学生の演劇活動」『人文研紀要』第42号  
中央大学人文科学研究所
- 1312)閻立(2001)「清末における中国知識人の日本語観—清国初代駐日公使団の書記官であった  
黄遵憲の場合—」『言語情報科学研究』第6号 東京大学言語情報科学研究会
- 1313)伊藤治昌(2001)「日本の委任統治地域、南洋諸島で使われた国語教科書」『五倫』23号 五  
倫文庫
- 1314)井上薫(2001)「日帝末期朝鮮における日本語普及・強制の構造—徴兵制度導入決定前後の  
京城府を中心に—」『釧路短期大学紀要』第28号 釧路短期大学

- 1315)井之川睦美(2001)「短期交換留学生日本語コースの過去4年間の取組みと今後の課題ー留学生受け入れによりつくりだされる学習環境の共有ー」『高崎経済大学論集』第44巻第1号 高崎経済大学
- 1316)岩澤正子(2001)「清国女子留学生教育と実践女学校ー留学生教育を担当した坂寄美都子の講演会記録を参考にー」『マテシス・ユニヴェルサリス』第3巻第1号 獨協大学外国語学部言語文化学科
- 1317)上田崇仁(2001)「植民地朝鮮における「国語」読本の変遷」『広島女子大学国際文化学部紀要』9 広島県立広島女子大学
- 1318)温鴻華(2001)「『台湾教科用書国民読本』の『土語読方』に関する一考察ー本教材との関連性からー」『台湾日本語教育論文集』第5号 台湾日語教育学会
- 1319)大橋敦夫(2001)「日本語教育の過去・現在・未来ー長野県をフィールドにして考えるー」『上田女子短期大学紀要』第24号 上田女子短期大学
- 1320)岡村敬二(2001)「日満文化協会・満日文化協会刊行物一覧」『文献探索 2001』 文献探索研究会
- 1321)岡村敬二(2001)「羅振玉と日満文化協会ー人事問題をめぐってー」『人間文化研究』第5号 京都学園大学人間文化学会
- 1322)岡村敬二(2001)「日満文化協会にみる「満州国」の文化活動ー昭和12年の「転機」から昭和16年「芸文要綱」までー」『人間文化研究』第7号 京都学園大学人間文化学会
- 1323)小川誉子美(2001)「フィンランドにおける日本語講座の黎明期(1938-45年)に関わった人々ーG.J.ラムステッド、桑木務、M.ケラヴオリの功績を中心にー」『日本語教育』109号 日本語教育学会
- 1324)小根山美鈴(2001)「『大東亞圏日用語早ワカリ』から見る戦時中の日本語教育」『2001年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1325)カイ・ゲーネンツ(2001)「日本語ブームから20年ードイツにおける日本語教育の現状と問題点ー」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第6号 国際交流基金日本語国際センター
- 1326)蔭山雅博(2001)「明治後期教育雑誌所収中国教育文化関係記事の資料価値についてー中国人留学生関係記事を手がかりとしてー」『アジア教育史研究』第10号 アジア教育史学会

- 1327)加納寛(2001)「1942年日泰文化協定をめぐる文化交流と文化政策」『紀要』115号 愛知大学国際問題研究所
- 1328)河路由佳(2001)「東京高等農林学校・東京高等蚕糸学校の留学生—明治期から終戦に至る時期の留学生の受け入れ実態の事例研究—」『人間と社会』第12号 東京農工大学
- 1329)河路由佳(2001)「盧溝橋事件以後(一九三七～一九四五)の在日中国人留学生—さねとうけいしゅう『中国人日本留学史』再考—」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第126巻第3号 日本評論社
- 1330)神戸輝夫(2001)「日中戦争における文化侵略(2)」『大分大学教育福祉科学部研究紀要』第23巻第1号 大分大学教育福祉科学部
- 1331)神戸輝夫(2001)「日中戦争における文化侵略(3)—『抗戦』掲載「戦時教育方案」について—」『大分大学教育福祉科学部研究紀要』第23巻第2号 大分大学教育福祉科学部
- 1332)上村忠昌(2001)「資料・情報 バイエルの手稿「二人の日本人との対話」に付されたゴンザの「いろは」の発音」『国語学』第205集 日本語学会
- 1333)君塚仁彦(2001)「「満洲国」社会教育政策と博物館に関する考察(1)—「初期文教部期」を中心として—」『東京学芸大学紀要 第1部門 教育科学』第52集 東京学芸大学
- 1334)金恩希(2001)「済州島における日本語の使用とその変遷(I)」『Nidaba』第30号 西日本言語学会
- 1335)関冰冰・山田花尾里(2001)「中国における日本語教育の歴史的発展—大学の日本語専門教育について—」『日本語日本文学』第11号 創価大学日本語日本文学会
- 1336)郭海燕(2001)「京師同文館における中国の最初の外国語教育と翻訳事情—清末中国の対外関係の視点から—」『いわき明星大学人文学部研究紀要』第14号 いわき明星大学人文学部
- 1337)熊本史雄(2001)「〈近代〉外務省「対支文化事業」の創出経緯—「精神的帝国主義」論の起源—」『ヒストリア』第173号 大阪歴史学会
- 1338)Griplet Pascal(2001)「INALCOにおける日本語教育及び日本文化研究の過去と現在」『国文目白』第40号 日本女子大学国語国文学会
- 1339)桑原哲朗(2001)「芦田恵之助の文章観と随意選題に関する考察」『国語科教育』第50集 全国大学国語教育学会



- 1340)合津美穂(2001)「日本統治時代の台湾に於ける日本語意識—漢族系台湾人を対象として—」『信州大学留学生センター紀要』第2号 信州大学留学生センター
- 1341)国立国語研究所日本語教育センター(2001)「日本語教育長期専門研修事業の24年間」『日本語教育論集』17 国立国語研究所日本語教育センター
- 1342)小杉商一(2001)「薄れかかった記憶の断片」東京外国語大学日本課程・留学生課共編『東京外国語大学日本研究教育年報』5(2000年度版) 東京外国語大学
- 1343)小林潔(2001)「ローゼンベルク研究に向けて」柳富子編(2001)『ロシア文化の森へ—比較文化の総合研究—』ナダ出版センター
- 1344)小林泰子(2001)「明海大学別科日本語研修課程10年の歩み」『明海大学別科10周年記念論集』 明海大学別科
- 1345)駒井裕子(2001)「アジア・太平洋戦争期の日本語教育—石黒修の足跡—」『日本語・日本文化研究』第8号 京都外国語大学留学生別科
- 1346)近藤真宣(2001)「拓殖大学編 初級日本語教科書『ひらけ日本語』作成の経緯」『拓殖大学日本語紀要』第11号 拓殖大学国際部
- 1347)阪口直樹(2001)「戦前の同志社と台湾留学生(続)」『言語文化』第4巻第1号 同志社大学言語文化学会
- 1348)阪田雪子(2001)「真の留学生教育への道のり—思い出すことども—」『東京外国語大学日本研究教育年報』5(2000年度版) 東京外国語大学日本課程・留学生課共編
- 1349)坂本浩一(2001)「漢語対訳辞書と周辺対訳資料とに関する一報告—『漢語英訳辞典』・『日本語口語文典』所載語彙集・『和英語林集成』をめぐって—」福岡女子大学国文学会編『香椎潟』第47号 福岡女子大学国文学会
- 1350)桜井隆(2001)「日本語教育にとっての過去・未来の一〇〇年」『日本語学』20巻1号 明治書院
- 1351)佐々木律(2001)「近代日本の「国語」史から「統制主義的」性格を読みとる」『国語教育史研究』第1号 国語教育史学会
- 1352)佐治圭三(2001)「日本語教育と文法学説」『日本語学』第20巻第3号 明治書院
- 1353)柴田幹夫(2001)「水野梅暁と日満文化協会」龍谷大学佛教史研究会編『仏教史研究』第38号 永田文昌堂

- 1354) 嶋津拓(2001)「オーストラリアにおける日本語教育の位置—その変遷と現状—」『研究年報』第4号 杏林大学国際交流研究所
- 1355) 下瀬川慧子・山下万里子・堤正典(2001)『『ロシア・ソビエトにおける日本語研究』—(V.M. アルバートフ著)索引およびロシア語文献和訳』『東海大学紀要 留学生教育センター』第21号 東海大学
- 1356) Jean-Jacques Origas(2001)「フランスの日本語教育—140年の歩みを考えるための一つの素描—」『世界の日本語教育 日本語教育事情報告編』第6号 国際交流基金日本語国際センター
- 1357) 朱鵬(2001)「伊沢修二の漢語研究(上)」『天理大学学報』第196輯 天理大学学術研究会
- 1358) 朱鵬(2001)「伊沢修二の漢語研究(下)」『天理大学学報』第198輯 天理大学学術研究会
- 1359) 所澤潤(2001)「台湾における近代初等教育創始の記録—台北市士林国民小学所蔵『八芝蘭公学校沿革誌』(一)—」『群馬大学教育実践研究』第18号 群馬大学教育学部附属教育実践研究指導センター
- 1360) 白佐俊憲・于桂玲(2001)「日本における留学生受け入れの推移と課題—中国からの留学経路の点検—」『北海道浅井学園大学短期大学部研究紀要』第39号 北海道浅井学園大学短期大学部
- 1361) 白須浄眞(2001)「清国成都の東文学堂から—1900年5月、中島裁之が藤井宣正に宛てた書簡—」『広島安芸女子大学研究紀要』2号 広島安芸女子大学
- 1362) 鈴木一(2001)「松下大三郎の「章句論」「句法論」について—『中學教程日本文典』『日本俗語文典』を中心に—」『國學院雑誌』第102巻第2号 國學院大學出版部
- 1363) 関正昭(2001)「再考、まぼろしの「日本言語教育」」『中京国文学』第20号 中京大学国文学会
- 1364) 高橋強(2001)「孫中山と中国留日学生—弘文学院を通して—」『創大中国論集』第4号 創価大学文学部外国語学科中国語専攻
- 1365) 高見澤孟(2001)「問答法と言語教育理論」『日本語教育研究』第41号 (財)言語文化研究所
- 1366) 田才徳彦(2001)「日本統治下台湾の「植民地化」心理—その意識構造と行動倫理—」『湘南工科大学紀要』第35巻第1号 湘南工科大学
- 1367) 多仁安代(2001)「南方特別留学生の諸相」『太平洋学会誌』第24巻1/1号 太平洋学会

- 1368)多仁安代(2001)「日中戦争期の朝鮮、台湾における日本語教育事情」日本植民地教育史研究会『植民地教育史研究年報第4号 植民地教育の支配責任を問う』 皓星社
- 1369)玉木雄三(2001)「『浜松ピジン』をめぐって」『堺女子短期大学紀要』第36号 堺女子短期大学愛泉学会
- 1370)玉木雄三(2001)「浜松ピジンの世界」『英語青年』第146巻第11号 研究社出版
- 1371)玉木雄三(2001)「『浜松ピジン』の世界—日米文化交流異聞—」『いずみ通信』28号 和泉書院
- 1372)多和田眞一郎(2001)「日本語教育と日本語の歴史」『広島大学留学生教育』第5号 広島大学留学生センター
- 1373)張芸文(2001)「清末渡日学生の教育に対する明治日本の対応」『京都女子大学教育学科紀要』第41号 京都女子大学教育学会
- 1374)陳小分(2001)「中国における日本語教育—歴史と現状を中心に—」『活水日文』第41号 活水学院日本文学会
- 1375)陳淑瑩(2001)「高砂族の日本語教育—『教育所用國語讀本』を中心に—」『久留米大学大学院比較文化研究論集』9号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1376)陳淑瑩(2001)「日本植民地時代の高砂族の日本語教育—『蕃人讀本』を中心に—」『久留米大学大学院比較文化研究論集』10号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1377)土屋洋(2001)「創設期の山西大学堂と山西留日学生—清末山西鉞山利権回収運動の前史として—」『名古屋大学東洋史研究報告』25号 名古屋大学東洋史研究会
- 1378)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 一 南の島に生き残った日本語」『月刊日本語』2001年4月号 アルク
- 1379)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 二 インタビューに見る当時の学校」『月刊日本語』2001年5月号 アルク
- 1380)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 三 公学校生活の始まり」『月刊日本語』2001年6月号 アルク
- 1381)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 四 公学校での生活」『月刊日本語』2001年7月号 アルク

- 1382)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 五 授業時間の思い出」『月刊日本語』2001年8月号 アルク
- 1383)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 六 授業点描と食事や休暇の楽しみ」『月刊日本語』2001年9月号 アルク
- 1384)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 七 それぞれの公学校卒業後」『月刊日本語』2001年10月号 アルク
- 1385)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 八 それぞれの公学校卒業後2」『月刊日本語』2001年11月号 アルク
- 1386)土岐哲(2001)「もう一つの日本語コミュニケーション 九 それぞれの公学校卒業後3」『月刊日本語』2001年12月号 アルク
- 1387)豊田豊子(2001)「言語教育法の原則と直説法—長沼直兄の未発表論述原稿—」『日本語教育研究』第41号 (財)言語文化研究所
- 1388)中川仁(2001)「台湾の多言語状況と国語教育の展開」『明海日本語』第6号 明海大学日本語学会
- 1389)中須賀徳行(2001)「島守玲子著“Grammaire Japonaise Systématique”」『岐阜大学留学生センター紀要 2000』岐阜大学留学生センター
- 1390)中須賀徳行(2001)「母語コンプレックスと言語分裂国家—馬場辰猪の森有礼に対する反論に寄せて—」『岐阜大学留学生センター紀要 2001』岐阜大学留学生センター
- 1391)中村正董(2001)「随想 新潟大学留学生センターの五年間—そこにはいつも改善の余地が残されている—」新潟大学留学生センター編『留学生センター紀要』第4号 新潟大学留学生センター
- 1392)西原鈴子(2001)「日本語教育の20年」『日本語学』第20巻第12号 明治書院
- 1393)朴三植(2001)「植民地期朝鮮における朝鮮人の言語認識—親日派朝鮮人の日本語を中心に—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第9号-2 早稲田大学大学院教育学研究科
- 1394)朴龍玉(2001)「中国の朝鮮族に対する日本側の教育政策の展開—「満洲国」成立以前の公立普通学校の教育課程に注目して—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学』第48巻第2号 名古屋大学大学院教育発達科学研究科

- 1395)黄幸素(2001)「日本領台湾時代・台湾人に対する言語政策及びその背景」内間直仁編(2001)『琉球方言音韻・文法・語彙の研究：周辺諸方言との比較研究も含めて・その2(千葉大学社会文化科学研究科研究プロジェクト報告書)』千葉大学大学院社会文化科学研究科
- 1396)深川治道(2001)「天理教の日本語教育史(4)北京における崇文教会の教育事業について」『天理大学おやさと研究所年報』8号 天理大学おやさと研究所
- 1397)藤森智子(2001)「台湾総督府による皇民化政策と国語常用運動—1937年から45年までを中心に—」『法学政治学論究』刊行会編『法学政治学論究』第49号 慶應義塾大学大学院法学研究科
- 1398)藤森智子(2001)「日本統治下台湾最初の日本語指導書の紹介—台湾総督府学務部編『日本語教授書』(1895)について—」『日本語と日本語教育』第29号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 1399)Бондаренко, И. П. (2001)「18世紀日本語方言総合研究資料としての初期の露和辞典」『外国語教育』第27号 天理大学外国語教育センター
- 1400)前田均(2001)「国分一太郎の従軍体験に基づく作品群」前田富祺先生退官祈念論集刊行会編(2001)『日本語日本文学の研究』前田富祺先生退官祈念論集刊行会
- 1401)増田光司(2001)「『言文対照漢訳日本文典』解題—その特徴及び文法を中心として—」『東京医科歯科大学教養部研究紀要』第31号 東京医科歯科大学教養部
- 1402)松田徳一郎(2001)「私はどのようにして日本語教師になったか」『東京外国語大学日本研究教育年報』5(2000年度版) 東京外国語大学日本課程・留学生課共編
- 1403)松田吉郎(2001)「日本統治時代台湾における国語演習会について」『東洋史訪』第7号 兵庫教育大学東洋史研究会
- 1404)三嶋健男(2001)「資料 台湾における日本語教材補遺」『外国語教育』第27号 天理大学言語教育センター
- 1405)八木正自(2001)「Bibliotheca Japonica(39)アーネスト・サトウの日本文字筆跡小考」『日本古書通信』66巻3号 日本古書通信社
- 1406)安田敏朗(2001)「近代日本語政策史概観—戦前・戦中期を中心に—」飛田良文・佐藤武義編(2001)『現代日本語講座第1巻 言語情報』明治書院
- 1407)山口幸二(2001)「「共通語」という幻想—1930~1940年代の「英語」と「国語」と「日本語」—」立命館大学法学部編『ことば・文学・思想—立命館大学法学部創立100周年記念論集—』立命館大学

- 1408)山根智恵(2001)「雨森釧とシヤム国女子留学生」『2001 年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1409)楊清發・岡本輝彦(2001)「発展する台湾の日本語教育—その変遷と現状—」『研究年報』第 4 号 杏林大学国際交流研究所
- 1410)于逢春(2001)「「満州国」の蒙古族に対する日本語教育に関する考察」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第三部 教育人間科学関連領域』50 号 広島大学大学院教育学研究科
- 1411)吉岡英幸(2001)「金井保三『日語指南』の文法学習項目」『講座日本語教育』第 37 分冊 早稲田大学日本語研究教育センター
- 1412)吉岡英幸(2001)「松宮弥平の『日本語会話』と日本語教授法観」『日本語研究教育センター紀要』14 早稲田大学日本語研究教育センター
- 1413)李紅衛(2001)「清水安三と北京崇貞学園—近代日中教育文化交流史の視点から—」『日本の教育史学』第 44 集 教育史学会
- 1414)劉建雲(2001)「清末の北京東文学社—教育機関としての再検討—」『岡山大学大学院文化科学研究科紀要』第 11 号 岡山大学大学院文化科学研究科
- 1415)王宝平(2001)「清朝の档案から見た東文学堂—その歴史的変遷を中心として—」『四天王寺国際仏教大学紀要』34 号 四天王寺国際仏教大学
- 1416)王嵐(2001)「「五校特約」と山口高等商業学校」『国際文化学』第 5 号 神戸大学国際文化学会
- 1417)有馬俊子(2002)「人流インタビュー—この人に聞く(28)日本語教師生活 50 年、日本語教科書のベストセラーの著者の一人でもある有馬俊子さん—」『国際人流』185 号 入管協会
- 1418)李政樹(2002)「植民地期朝鮮における日本語学習書の分析—学校外日本語教育を中心に—」『2002 年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1419)李笑利(2002)「幣原坦の日本語教育政策と「日語読本」」『久留米大学大学院比較文化研究論集』12 号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1420)李東郁(2002)「朝鮮時代の日本語学習書の四つ仮名表記について」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域』51 号 広島大学大学院教育学研究科
- 1421)石川巧(2002)「音声の進化論—伊澤修二の言語観とその実践—」『国文学論考』第 38 号 都留文科大学国語国文学会

- 1422)石川守(2002)「日本語教育とグアン」『拓殖大学日本語紀要』第12号 拓殖大学留学生別科
- 1423)石田卓生(2002)「「満洲國」文學に於ける所謂「協和語」とその考察方法の検討—古丁「原野」を例にして—」『愛知論叢』第72号 愛知大学大学院院生協議会
- 1424)稲垣滋子(2002)「社会言語学・日本語教育と私」『ICU 日本語教育研究センター紀要』11号 国際基督教大学日本語教育研究センター
- 1425)稲垣滋子(2002)「漂流民の最初の出会いにおけるコミュニケーション行動」『国際基督教大学学報 III—A アジア文化研究』28 国際基督教大学
- 1426)岩本洋光(2002)「太平洋戦争期における日本軍のラバウル占領統治—日本側の認識とその実態—」『史苑』第63巻第1号 立教大学史学会
- 1427)上田崇仁(2002)「ラジオを利用した「国語」教育に関する研究—資料整理を中心に—」『広島女子大学国際文化学部紀要』10 広島県立広島女子大学
- 1428)宇都宮裕章・三井豊子(2002)「静岡大学の日本語教育実習—10年間のあゆみと新たな試み—」『静岡大学教育実践総合センター紀要』No.8 静岡大学教育学部附属教育実践総合センター
- 1429)浦田義和(2002)「神保光太郎『昭南日本學園』論」『国文学解釈と鑑賞』第67巻5号 至文堂
- 1430)江副隆秀(2002)「日本語教育26年の中で—(学)新宿日本語学校校長江副隆秀さんに聞く—」『国際人流』179号 入管協会
- 1431)大久保恵子(2002)「B・H・チェンバレン『日本語口語入門』改訂に見る日本語の変化」近代語研究会編(2002)『日本近代語研究 3』ひつじ書房
- 1432)太田孝子(2002)「植民地下朝鮮における淑明高等女学校—抗日学生運動を中心に—」『岐阜大学留学生センター紀要 2002』 岐阜大学留学生センター
- 1433)大浜郁子(2002)「「琉球教育」と台湾における植民地教育—日清戦争前後の学務官僚児玉喜八の動向を中心に—」『沖縄文化研究』28 法政大学沖縄文化研究所
- 1434)岡野喜美子(2002)「日本語教育と私—出会った教科書・作った教科書—」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』15 早稲田大学日本語研究教育センター
- 1435)岡村敬二(2002)「満洲図書館協会の歴史—附論 奉天省図書館聯合研究会の創設と活動—」『人間文化研究』第9号 京都学園大学人間文化学会

- 1436)小川誉子美(2002)「ラムステッドと日本語研究—1924年の論文から—」『広島大学留学生センター紀要』第12号 広島大学留学生センター
- 1437)沖裕子(2002)「信州における日本語教員養成」『内陸文化研究』2号 信州大学人文学部
- 1438)沖裕子(2002)「日本語教員とは何か—戦後の日本語教員養成政策の観点から—」『信大日本語教育研究』第2号 信州大学人文学部文化コミュニケーション学科日本言語文化講座日本語教育学沖研究室
- 1439)尾崎ムゲン(2002)「貴族院議員としての伊沢修二」『教育科学セミナー』第33号 関西大学
- 1440)長田弘(2002)「角田柳作先生のこと」木村幸雄監修・澤正宏編(2002)『福島県文学全集 第2期(随筆・紀行・詩編)第5巻(現代編2)』郷土出版社
- 1441)小根山美鈴(2002)「大東亜共栄圏に関わる日本語用語集の対比的考察」『2002年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1442)河路由佳(2002)「戦時下の日本語学習者—「国際文化交流」の実例から見えてくるもの—」『2002年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1443)川人玉実(2002)「大出正篤と満州の日本語教育について」『北条淳子教授古希記念論集』早稲田大学日本語研究教育センター初級教科書研究会
- 1444)神戸輝夫(2002)「日中戦争における文化侵略(4)—上海の文化破壊—」『大分大学教育福祉科学部研究紀要』第24巻第1号 大分大学教育福祉科学部
- 1445)久保田優子(2002)「朝鮮総督府初期の日本語教育政策—教科書編纂について—」『九州産業大学国際文化学部紀要』第23号 九州産業大学国際文化学部
- 1446)黒田矢須子(2002)「日本語教育の歴史(1)—明治大正期のアイヌ民族のケースを通して—」『横浜国大国語研究』第20号 横浜国立大学国語・日本語教育学会
- 1447)高仁淑(2002)「日本の大学に入学したアジア人留学生の追跡調査研究—九州帝国大学への朝鮮人留学生を中心に—」『大学院教育学研究紀要』第5号 九州大学大学院人間環境学研究院教育学部門
- 1448)合津美穂(2002)「漢族系台湾人高年層の日本語使用—言語生活史調査を通じて—」『信州大学留学生センター紀要』第3号 信州大学留学生センター
- 1449)国際日本語普及協会編(2002)「座談会—AJALTの25年を語る—」『AJALT』No.25 国際日本語普及協会



- 1450)小堀郁夫(2002)「外国人留学生と日本語教育—私費留学生の場合—」『明海日本語』第7号 明海大学日本語学会
- 1451)近藤健一郎(2002)「近代沖縄教育史研究の課題」『歴史の理論と教育』112号 名古屋歴史科学研究会
- 1452)近藤健一郎(2002)「近代沖縄における方言札(4)—沖縄島南部の学校記念誌を資料として—」『愛知県立大学文学部論集 児童教育学科編』第50号 愛知県立大学文学部
- 1453)近藤健一郎(2002)「近代沖縄における方言札(5)—沖縄島中部の学校記念誌を資料として—」『愛知県立大学文学部論集 児童教育学科編』第51号 愛知県立大学文学部
- 1454)近藤純子(2002)「伊沢修二と日本語教育」『アジア教育史研究』第11号 アジア教育史学会
- 1455)斉藤修一(2002)「SOAS 日本語教科書調査 1945年以前分」『明海日本語』第7号 明海大学日本語学会
- 1456)酒井恵美子(2002)「台湾公学校教科用図書審査会報告 『国民読本』 卷十一」中京大学社会科学研究所編『社会科学研究』第22巻第1号 成文堂
- 1457)酒井恵美子(2002)「台湾公学校教科用図書審査会報告 『国民読本』 卷十二」中京大学社会科学研究所編『社会科学研究』第22巻第2号 成文堂
- 1458)酒井恵美子(2002)「台湾における言語使用の一側面—タイヤル族の家庭内での言語使用—」『静岡・ことばの世界』第5号 静岡県方言研究会、
- 1459)沢田和彦(2002)「ロシア人の観た明治の新潟—P.G.ヴァスケーヴィチ『日本旅行日誌 敦賀港から新潟港まで』について—」『ロシア語ロシア文学研究』34 日本ロシア文学会
- 1460)邵艶(2002)「中国における教育制度の近代化と留日師範生の派遣」『教育科学論集』6号 神戸大学発達科学部教育科学論講座
- 1461)所澤潤(2002)「台湾における近代初等教育創始の記録—台北市士林国民小学所蔵『八芝蘭公学校沿革誌』(二・完)—」『群馬大学教育実践研究』第19号 群馬大学教育学部附属学校教育臨床総合センター
- 1462)新内康子(2002)「教科書の変遷から日本語教育史を見る」『2002年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1463)石純姫(2002)「東アジアにおける言語の「近代化」についての一考察—植民地における「主体」をめぐる—」『苫小牧駒澤大学紀要』第7号 苫小牧駒澤大学

- 1464)孫安石(2002)「戦前中国における日本・日本語研究に関する資料の調査報告」『神奈川大学言語研究』25号 神奈川大学言語研究センター
- 1465)高見澤孟(2002)「ある日本語教育史—長沼直兄・守人の戦前における日本語教育—」『日本語教育研究』第43号 (財)言語文化研究所
- 1466)竹本英代(2002)「松田一橋の言語教育」『英学史研究』第35号 日本英学史学会
- 1467)田中寛(2002)「建国大学における理念と実相—皇道主義教育思想とその言語政策論をめぐって—」日本植民地教育史研究会(2002)『植民地教育史研究年報第4号 植民地教育の支配責任を問う』 皓星社
- 1468)田中寛(2002)「『日泰會話』、昭和16年4月—戦時期<大東亜言語学>と日本語教育との関わり—」『大東文化大学大学院外国語学研究』第4号 大東文化大学
- 1469)田中寛(2002)「『満洲國の私たち』に描かれた真実—同化政策のなかの作文集から—」『大東文化大学紀要 (人文科学)』四〇 大東文化大学
- 1470)多仁安代(2002)「明治期の清国留学生と日本の姿勢—近代留学生問題の視点—」 「自由」編集委員会編『自由』第44巻12号 自由社
- 1471)張芸文(2002)「清末渡日学生による演劇活動—春柳社とその活動をめぐって—」京都女子大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程編『教育学・心理学論叢』第2号 京都女子大学
- 1472)張芸文(2002)「杉浦重剛と中国人留学生問題」『関西教育学会研究紀要』2号 関西教育学会
- 1473)陳淑瑩(2002)「高砂族児童用教科書の研究—『蕃人讀本』を中心に—」『天理臺灣學會年報』第11号 天理臺灣學會
- 1474)陳昊(2002)「大正期における中国人留学生受け入れに関する—考察—明治専門学校を素材として—」『アジア教育史研究』第11号 アジア教育史学会
- 1475)趙來喆(2002)「『捷解新語』における音注配置の原理—日本語学習書としての規範性の解明を中心に—」『日本語と日本文学』第35号 筑波大学国語国文学会
- 1476)槻木瑞生(2002)「アジアにおける日本宗教教団の活動とその異民族教育に関する覚書—満洲における仏教教団の活動—」『同朋大学佛教文化研究所紀要』第22号 同朋大学
- 1477)堤智子(2002)「中国東北地区における日本語教育—植民地教育体験者の戦後—」『外国語教育』28号 天理大学語学教育センター

- 1478)鶴島俊一郎・金世中・鷺巣益美(2002)「旧植民地・占領地域発行の雑誌における文学—『中和日刊』と『緑旗』—」『明海大学教養論文集』No.14 明海大学
- 1479)土岐哲(2002)「もう一つの日本語コミュニケーション 一〇 五〇年ぶりの日本語会話」『月刊日本語』2002年1月号 アルク
- 1480)土岐哲(2002)「もう一つの日本語コミュニケーション 一一 東京世田ヶ谷の小学校に留学」『月刊日本語』2002年2月号 アルク
- 1481)土岐哲(2002)「もう一つの日本語コミュニケーション 一二 父の顔を知らぬ混血二世」『月刊日本語』2002年3月号 アルク
- 1482)富田哲(2002)「台湾総督府国勢調査による言語調査—近代的センスとしての国勢調査の性格からみた内容とその変化—」『社会言語学』第2号 「社会言語学」刊行会
- 1483)中田敏夫(2002)「台湾統治初期資料『祝祭日略義』のかなづかいについて」『静岡・ことばの世界』第5号 静岡県方言研究会
- 1484)中田敏夫(2002)「台湾統治初期日本語教授資料におけるかなづかい」山田達也先生喜寿記念論文集編集委員会編著(2002)『地域語研究論集—山田達也先生喜寿記念論文集—』港の人
- 1485)長沼守人他 (2002)「長沼守人理事長へのインタビュー(兄・長沼直兄を語る)」『日本語教育研究』第43号 (財)言語文化研究所
- 1486)中村重穂(2002)「大日本軍宣撫班と『日本語會話讀本』—日中十五年戦争期華北に於ける日本語教育の一断面—」『日本語教育』115号 日本語教育学会
- 1487)中村重穂(2002)「大日本軍宣撫班編『日本語會話讀本』の執筆者をめぐる—考察」『北海道大学留学生センター紀要』第6号 北海道大学留学生センター
- 1488)中村重穂(2002)「日本語教育史研究方法論のために 付：北海道大学図書館所蔵戦前・戦中期日本語教科書」『北海道大学留学生センター紀要』第6号 北海道大学留学生センター
- 1489)中村妙子(2002)「国際基督教大学における日本語教育—日本語教師の立場から—」『ICU日本語教育研究センター紀要』11号 国際基督教大学
- 1490)西尾瑛子(2002)「人流インタビュー—この人に聞く(23)外国人に対する日本語教育の普及に30年以上取り組んできた(社)国際日本語普及協会理事長西尾瑛子さん—」『国際人流』179号 入管協会

- 1491) 朴三植(2002)「植民地期朝鮮における朝鮮人の言語認識－「徴兵・徴用犠牲者」の日本語－」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第10号-1 早稲田大学大学院教育学研究科
- 1492) 長谷川恒雄(2002)「『日暹文化事業実施並調査報告書』にみられる日本語教育施策の方向性」『日本語と日本語教育』第31号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 1493) 平井一樹(2002)「台湾における民間日本語学校「日語補習班」の現状と課題」『STUDIUM』30 大阪外国語大学大学院研究室
- 1494) 平野健一郎(2002)「国際文化交流史のなかの国際交流基金」『国際交流』第97号 国際交流基金
- 1495) 黄英哲(2002)「戦後台湾における『国語』運動の展開－魏建功の役割をめぐって－」『法学研究』第75巻第1号 慶應義塾大学法学研究会
- 1496) 黄幸素(2002)「台湾の日本語教育における最初の指導用書『日本語教授書』の一考察」『言語文化研究』1号 聖徳大学大学院言語文化学会
- 1497) 深川治道(2002)「天理教の日本語教育史(5)華北の日本語学校について」『天理大学おやさと研究所年報』9号 天理大学おやさと研究所
- 1498) 藤井彰二(2002)「伊沢修二と中国大陸向け日本語教科書－『東文初階』(泰東同文局刊)を中心に－」『台湾日本語教育論文集』第6号 台湾日語教育学会
- 1499) 不破民由(2002)「日本語ペシミズムとその克服－森有礼の「簡易英語採用論」と森有正の『日本語教科書』(仏語)から考えた－」『言語コミュニケーション研究』No.2 愛知淑徳大学言語コミュニケーション学会
- 1500) 本田創史(2002)「境界線としての「国語」－ろう教育と植民地=台湾の教育－」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第127巻第3号 日本評論社
- 1501) 前川喜久雄(2002)「調音音声学から音声の物理学へ－千葉勉・梶山正登の貢献－」『日本音響学会誌』58巻7号 日本音響学会
- 1502) 前田均(2002)「第二次大戦前・戦時期の日本語教育関係文献目録－補遺4」『天理大学学報』第199巻 天理大学学術研究会
- 1503) 松田吉郎(2002)「教育所・教師論－霧社事件前後を中心に－」『兵庫教育大学研究紀要 言語系教育・社会系教育・芸術系教育』第22巻第2分冊 兵庫教育大学

- 1504)松田吉郎(2002)「日本統治時代台湾原住民教育史についてー「蕃童教育所」を中心にしてー」『学校教育学研究』第14巻 兵庫教育大学学校教育研究センター
- 1505)松永典子(2002)「日本軍政下のマラヤ(1941～45年)における日本語教育の性格ーマラヤ軍政監部・ジャワ軍政監部編纂の日本語教科書の比較からー」『日本語教育』113号 日本語教育学会
- 1506)三國純子(2002)「初級教科書から見た日本語教育の変遷」『文化女子大学紀要 人文・社会科学研究』第10集 文化女子大学
- 1507)宮副ウォン裕子(2002)「展望 香港における専門日本語教育：歴史・現状・展望」『専門日本語教育研究』編集委員会『専門日本語教育』第4号 専門日本語教育研究会
- 1508)村上政彦(2002)「台湾で「日本語」が背負う「歴史」」『潮』524号 潮出版社
- 1509)持田行雄(2002)「ニコライの日本語教師ー木村謙齋」『秋田大学教育文化学部研究紀要 人文科学・社会科学』第57集 秋田大学教育文化学部
- 1510)持田行雄(2002)「ニコライの日本語教師「木村謙齋」について」『比較思想研究』29号別冊 比較思想学会
- 1511)望月通子(2002)「キリシタンの日本語・日本語教育事始め」宇佐見太市編(2002)『外国語研究：言語・文化・教育の諸相ー織田稔教授古稀記念論文集ー』ユニウス
- 1512)八木正自(2002)「Bibliotheca Japonica(54) W.G.アストン著『日本文学史』の成立とその周辺」『日本古書通信』67巻6号 日本古書通信社
- 1513)安田敏朗(2002)「日本語教育史と言語政策史のあいだ」『2002年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1514)安田敏朗(2002)「日本語法律文体口語化と「満洲国」ー千種達夫をめぐってー」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第128巻第3号 日本評論社
- 1515)柳沢順一(2002)「多文化主義における継承言語教育の行方ー日系カナダ人のアイデンティティ保持例からー」『北陸大学紀要』第26号 北陸大学
- 1516)于曉渦(2002)「中国の大学における日本語教育の展開と今後のあり方についてー大連外国語大学における日本語専攻カリキュラムの分析を通じてー」『教育学論集』第28号 大阪市立大学
- 1517)于逢春(2002)「『満洲国』における朝鮮族教育制度の成立過程」『教育制度学研究』9号 日本教育制度学会

- 1518)由井紀久子(2002)「「日本語」から「国語」へ—旧南洋群島でのことばによる統合力の構築—」『京都外国語大学研究論叢』LIX 京都外国語大学国際言語平和研究所
- 1519)由井紀久子(2002)「ミクロネシアでの日本語教育とそれが残したもの」『2002年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1520)吉岡英幸(2002)「振武学校の日本語教材」『早稲田大学日本語教育研究』創刊号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 1521)吉岡英幸(2002)「明治期の語法型教材」『早稲田大学日本語研究教育センター紀要』15 早稲田大学日本語研究教育センター
- 1522)李紅衛(2002)「在華教育事業家、清水安三の中国認識」『人間文化論叢』第5巻 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
- 1523)林弘仁(2002)「領台初期日本語教科書の研究(1)『台湾適用会話入門』の構成」『久留米大学大学院比較文化研究論集』12号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1524)王敏(2002)「"赤い外交官"を輩出した日本語教育の基地—大連外国語大学日本語学院—」『世界週報』2002年10月1日号 時事通信社
- 1525)王嵐・船寄俊雄(2002)「清末における商業系留日学生の派遣政策と派遣実態に関する研究」『神戸大学発達科学部研究紀要』第9巻第2号 神戸大学発達科学部
- 1526)王嵐(2002)「「満州国」留学生と山口高等商業学校」『教育科学論集』6号 神戸大学発達科学部教育科学論講座
- 1527)足立志麻(2003)「キリシタン宣教師の日本語学習—その学習法から学ぶべきこと—」福岡YWCA 論文集編集委員会編『福岡YWCA日本語教育論文集』10号 福岡YWCA
- 1528)安達信裕(2003)「統治初期の台湾での同化教育について—国語教育を中心に—」『アジア社会文化研究』第4号 アジア社会文化研究会
- 1529)阿部洋(2003)「「対支文化事業」構想の形成過程」『アジア教育史研究』第12号 アジア教育史学会
- 1530)新井奈美(2003)「『国語教授法』にみる日本統治下朝鮮の国語教育」『日本語教育論集』第12号 姫路獨協大学大学院言語教育研究科日本語教育コース
- 1531)Aldo Tollini(2003)「イタリアにおける日本語教育の始まりと現状」『国語研究』67号 國學院大學國語研究會

- 1532)李坪鉉(2003)「朝鮮植民地期の言語政策に関する考察—学校教育のなかの日本語教育を中心に—」朝倉征夫編著(2003)『多文化教育の研究—ひと、ことば、つながり—』学文社
- 1533)閻立(2003)「清朝の多言語制における同文館の位置づけ」『法政大学教養部紀要』第123号 法政大学教養部
- 1534)石井元章(2003)「明治初期トリノの日本人留学生」『イタリア学会誌』第53号 イタリア学会
- 1535)石川守(2003)「日本語教育とペスタロッチ」『拓殖大学日本語紀要』第13号 拓殖大学留学生別科
- 1536)石山洋(2003)「源流から辿る近代図書館(36)満鉄における調査参考図書館」『日本古書通信』68巻12号 日本古書通信社
- 1537)伊藤孝行(2003)「明治期日本語教科書『日語指南』の語法」『國語研究』67号 國學院大學國語研究會
- 1538)今田滋子・堀口純子・広瀬正宜他(2003)「座談会 ICU 日本語教育の歴史と未来」日本語教育研究センター『紀要』編集委員会編『ICU 日本語教育研究センター紀要』13号 国際基督教大学日本語教育研究センター
- 1539)岩中貴裕(2003)「台湾における日本語教育—その歴史的意味の再考—」『神戸女子短期大学論攷』48号 神戸女子短期大学学会
- 1540)上田崇仁(2003)「植民地朝鮮におけるラジオ「国語講座」—1945年までを通時的に—」植民地教育史研究会(2003)『植民地教育史研究年報第5号 「文明化」による植民地支配』皓星社
- 1541)上田崇仁(2003)「植民地朝鮮に登場した新メディア「ラヂオ」と教育」『アジア遊学』54 勉誠出版
- 1542)大木一夫(2003)「日本語文法論史研究の方法についての覚書」『東北大学文学研究科研究年報』第53号 東北大学大学院文学研究科
- 1543)大藏雄之助(2003)「戦時米陸軍日本語学校と周辺の人々」『インテリジェンス』第3号 早稲田大学20世紀メディア研究所
- 1544)大阪教育大学国語教育第2ゼミナール(2003)「芦田恵之助の綴り方教授実践の研究—『尋常小学綴り方教授書』巻二・巻三・巻四を中心に—」『国語教育学研究誌』第23号 大阪教育大学国語教育研究室

- 1545)大阪樟蔭女子大学日本語研究センター編(2003)「日本語研究センター10年の軌跡」『日本語研究センター報告』Vol.11 大阪樟蔭女子大学日本語研究センター
- 1546)大杉千恵子(2003)「ハンガリーにおける日本語教育史概観」『国際開発研究フォーラム』23号 名古屋大学大学院国際開発研究科
- 1547)大浜郁子(2003)「台湾統治初期における植民地教育政策の形成—伊沢修二の「公学」構想を中心として—」日本植民地研究会編(2003)『日本植民地研究』第15号 アテネ社
- 1548)岡利道(2003)「芦田恵之助の日記文指導論」『文教國文學』第48号 広島文教女子大学国文学会
- 1549)小川誉子美(2003)「講義録「明治維新の精神」の概要—ヘルシンキ大学における桑木務の日本文化講座—」『横浜国立大学留学生センター紀要』第10号 横浜国立大学留学生センター
- 1550)小川誉子美(2003)「戦中日本語教授者の活動と背景—ヘルシンキ大学客員教授桑木務の場合—」『総合学術学会誌』第2号 日本総合学術学会
- 1551)小根山美鈴(2003)「「大東亜共栄圏」にかかわる日本語用語集の研究—分類項目から見た用語集の系統的考察—」『2003年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1552)金沢朱美(2003)「幕末明治期の居留地における日本語についての考察—YOKOHAMA DIALECTを中心に—」『目白大学人文学部紀要』第9号 目白大学人文学部
- 1553)川上尚恵(2003)「戦時下の中国華北地方における日本語教師の意識—「国語」か「外国語」か—」『2003年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1554)河先俊子(2003)「韓国における日本語教育史研究の概観」お茶の水女子大学日本言語文化学研究会編(2003)『第二言語習得・教育の研究最前線—2003年版—』凡人社
- 1555)河先俊子(2003)「植民地解放後の韓国における日本語教育再開に関する一考察」『紀要』26 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター
- 1556)河路由佳(2003)「国際学友会の設立と在日タイ留学生—1932-1945の日タイ関係とその日本における留学生教育への反映—」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第129巻第3号 日本評論社
- 1557)河路由佳(2003)「戦時体制下の在日留学生教育」日本国際文化学会年報編集委員会編『インターカルチュラル』第1号 アカデミア出版会



- 1558)川瀬生郎(2003)「拓殖大学での10年間」『語学研究』第102号 拓殖大学言語文化研究所
- 1559)菊池恵輔(2003)「伊沢修二の「混和主義」形成の背景」『日本語教育論集』第12号 姫路獨協大学大学院言語教育研究科日本語教育コース
- 1560)北川知子(2003)「朝鮮総督府『普通学校国語読本』の研究—実業的教材(稲作)について—」『国語教育学研究誌』第23号 大阪教育大学国語教育研究室
- 1561)北村淳子(2003)「伊沢修二における異文化接触と「言文一致」」日本国際文化学会年報編集委員会編『インターカルチュラル』第1号 アカデミア出版会
- 1562)北村嘉恵(2003)「台湾植民地戦争下における先住民「教化」策—1895～1900年代初頭宜蘭庁の事例を中心に—」『北海道大学大学院教育学研究科紀要』第90号 北海道大学大学院教育学研究科
- 1563)北村嘉恵(2003)「台湾植民地戦争下の先住民政策—撫墾署の設置と先住民の対応—」『日本史研究』第494号 日本史研究会
- 1564)君塚仁彦(2003)「「満洲国」社会教育政策と博物館に関する考察(2)奉天省を中心として」『東京学芸大学紀要 第1部門 教育科学』第54集 東京学芸大学
- 1565)金英美(2003)「1880年代から1900年代の韓国における外国語教育について—岡倉由三郎の日本語教育を中心に—」『拓殖大学言語教育研究』第3号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 1566)木村宗男・山田泉(2003)「対談 日本語教育のこれから—歴史に学ぶ—」『月刊日本語』2003年10月号 アルク
- 1567)熊木哲(2003)「「日満綴方使節」とその作品—昭和14年「東日小学生新聞」の懸賞「綴方」について—」『大妻国文』第34号 大妻女子大学国文学会
- 1568)黒木慎一(2003)「留学生政策の新段階」『IDE現代の高等教育』453号 民主教育協会
- 1569)国際基督教大学日本語教育研究センター(2003)「50年史資料(1953—2004)」日本語教育研究センター『紀要』編集委員会編『ICU日本語教育研究センター紀要』13号 国際基督教大学日本語教育研究センター
- 1570)国際基督教大学日本語教育研究センター(2003)「50年史年表」日本語教育研究センター『紀要』編集委員会編『ICU日本語教育研究センター紀要』13号 国際基督教大学日本語教育研究センター

- 1571)近藤健一郎(2003)「近代沖縄における方言札(6)―沖縄島北部の学校記念誌を資料として―」『愛知県立大学文学部論集 児童教育学科編』第52号 愛知県立大学文学部
- 1572)澤田田津子(2003)「日本語教授法に関する議論の流れについて―コミュニカティブ・アプローチの現在―」『社会言語科学』第6巻第1号 社会言語科学会
- 1573)山東功(2003)「ブラジル日系人の日本語への視点」『女子大文学国文篇』第54号 大阪女子大学日本語日本文学研究室
- 1574)品田悦一(2003)「万葉語の外地と内地」『大航海』No.46 新書館
- 1575)清水畏三(2003)「櫻美林創始人 清水安三在北京」『日中言語文化 桜美林大学紀要』第1集 桜美林大学文学部中国語中国文学科
- 1576)清水康行(2003)「1900年と1901年に欧州で録音された日本語音声資料」『国語学』第215集 日本語学会
- 1577)沈元燮(2003)「金興済の生涯について」『語研フォーラム』第19号 早稲田大学語学教育研究所
- 1578)下司睦子(2003)「英語公用語論―植民地朝鮮に対する「国語」教育イデオロギーと戦時下外国語教育との関連から―」日本植民地教育史研究会(2003)『植民地教育史研究年報第5号 「文明化」による植民地支配』 皓星社
- 1579)邵艶・船寄俊雄(2003)「清朝末期における留日師範生の教育実態に関する研究―宏文学院と東京高等師範学校を中心に―」『神戸大学発達科学部研究紀要』第10巻第2号 神戸大学発達科学部
- 1580)邵艶(2003)「中国の教育近代化と留日師範生―清末留日師範生の帰国後の活動を中心に―」『国際文化学』第8号 神戸大学国際文化学会
- 1581)所澤潤、張厚基(2003)「聞き取り調査：外地の進学体験(VIII)―斗六小学校から長栄中学校を経て、陸軍特別幹部候補生として内地へ、そしてお婆さんとの出会い―」『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』第52巻 群馬大学教育学部
- 1582)金珽実(2003)「清朝末期の学校カリキュラムに見られる間島朝鮮族の日本語教育」『韓国言語文化研究』第5号 九州大学韓国言語文化研究会
- 1583)石純姫(2003)「日本語教育の歴史(1)―台湾統治における言語教育とその思想をめぐって―」『苫小牧駒澤大学紀要』第9号 苫小牧駒沢大学

- 1584)高橋強(2003)「清末中国人留日学生と『人生地理学』－『浙江潮』を通して－」『東洋哲学研究所紀要』19号 東洋哲学研究所
- 1585)高橋知也(2003)「チェンバレンの数詞研究－"A Handbook of Colloquial Japanese"の改訂を中心として－」『横浜国大言語研究』第21号 横浜国立大学国語・日本語教育学会
- 1586)高見澤孟(2003)「ある日本語教育史－長沼直兄・守人の戦中戦後における日本語教育－」『日本語教育研究』第44号 (財)言語文化研究所
- 1587)高見澤孟(2003)「草創期の日本語教育理論－長沼直兄の理論と背景－」『學苑』平成15年1月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 1588)竹長吉正(2003)「昭和13年の西尾実と日本語教育－新資料『新読本を中心としたる国語教育に就いて』(講演速記録)の発見をふまえて－」『埼玉大学紀要 教育科学』第52巻第2号 埼玉大学教育学部
- 1589)田中寛(2003)「『東亜新秩序建設』と『日本語の大陸進出』－宣撫工作としての日本語教育－」日本植民地教育史研究会(2003)『植民地教育史研究年報第5号 「文明化」による植民地支配』 皓星社
- 1590)多仁安代(2003)「清国留学生の役割を再評価する」『政治経済史学』448 日本政治経済史学研究所
- 1591)谷内鴻(2003)「『旧土人学校』の教育とその背景Ⅰ－アイヌ民族児童教育の展開をめぐって－」『國學院短期大学紀要』20巻 國學院短期大学
- 1592)ダニエル・ロング(2003)「小笠原諸島における日本語教育小史」『2003年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1593)田原広史(2003)「日本語研究センター10年の歩み」『大阪松蔭女子大学日本語研究センター報告』第11号別冊 大阪松蔭女子大学日本語研究センター
- 1594)柴紅海・劉偉(2003)「周作人の特殊な留学動機と日本文化の認識」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第6輯 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 1595)陳淑瑩(2003)「高砂族児童用国語読本の研究－『蕃人讀本』、『教育所用國語讀本』、『公學校用國語讀本第二種』を中心に－」『久留米大学大学院比較文化研究論集』13号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1596)陳昊(2003)「特設予科における中国人留学生受け入れに関する考察－明治専門学校を中心として－」『飛梅論集』第3号 九州大学大学院人間環境学府発達・社会システム専攻教育学コース

- 1597)陳昊(2003)「日中戦争期における在日中国人留学生について」『九州教育学会研究紀要』第31巻 九州教育学会
- 1598)都通憲三朗(2003)「植民地台湾の日本語教育と学校劇」『現代台湾研究』25号 台湾史研究会
- 1599)津吉優樹(2003)「台湾統治初期の初等教育政策における一考察—日本教育史の観点から—」『中京大学大学院生法学研究論集』23号 中京大学大学院法学研究科
- 1600)土岐哲(2003)「日本語教育の昨日・今日そして明日」『大阪松蔭女子大学日本語研究センター報告』第11号別冊 大阪松蔭女子大学日本語研究センター
- 1601)土岐哲(2003)「遙かなる『移植日本語』をたずねて」『Ja-Net』24号 スリーエーネットワーク
- 1602)常盤智子(2003)「ケンブリッジ大学図書館蔵アーネスト・サトウ自筆資料について—『日本語会話練習帖』と『会話編』との比較および翻字—」『千葉大学日本文化論叢』第4号 千葉大学文学部日本文化学会
- 1603)富田哲(2003)「日本統治期台湾でのセンサスとかなの読み書き調査」『社会言語学』第3号 「社会言語学」刊行会
- 1604)中哲裕(2003)「志田延義先生のこと」『日本歌謡研究』43巻 日本歌謡学会
- 1605)中哲裕(2003)「志田延義博士主要文献目録」『日本歌謡研究』43巻 日本歌謡学会
- 1606)中哲裕(2003)「志田延義博士略歴」『日本歌謡研究』43巻 日本歌謡学会
- 1607)中川かず子(2003)「外国人による日本語文法教本の研究—W.G.Aston 著『日本文語文典』を中心に—」『北海学園大学人文論集』23/24号 北海学園大学人文学会
- 1608)長沢雅春(2003)「釜山広域市立市民図書館蔵 朝鮮総督府編纂発行教科書目録」『佐賀女子短期大学研究紀要』37集 佐賀女子短期大学
- 1609)中田敏夫(2003)「台湾総督府編纂公学校教科書を通して見た国民意識の形成」中京大学社会科学研究所台湾研究部会編(2003)『台湾の近代化と日本』 中京大学社会科学研究所
- 1610)永田由利子(2003)「オーストラリアの日本語教育：経緯・動向・展望」『下関市立大学論集』第46巻第3号 下関市立大学学会
- 1611)中村幸士郎(2003)「山口大学留学生センター設置に関する経過報告」『紀要』第1号 山口大学留学生センター

- 1612)中村重穂(2003)「資料：北海道大学図書館所蔵戦前・戦中期日本語教育関連文献」『北海道大学留学生センター紀要』第7号 北海道大学留学生センター
- 1613)中村妙子(2003)「ICU日本語教育の変遷－1984年4月から2004年3月－」日本語教育研究センター『紀要』編集委員会編『ICU日本語教育研究センター紀要』13号 国際基督教大学日本語教育研究センター
- 1614)中村義彦(2003)「わが大学史の一場面－日本の近代化と大学の歴史 戦後初の中国人留学生受け入れ－亜細亜大学建学までの苦難の道のり」『大学時報』306号 日本私立大学連盟
- 1615)縄田雄二(2003)「ウィーンに保存されていた1901年の日本語録音」『言語』2003年3月号 大修館書店
- 1616)西成彦(2003)「隣人たちの日本語使用」『大航海』No.46 新書館
- 1617)間晶子(2003)「中国占領地向け日本語教科書『ハナシコトバ』と『ハナシコトバ学習指導書』をめぐって」『言語文化共同プロジェクト2002 異言語教育の今日的課題』 大阪大学言語文化部／大阪大学大学院言語文化研究科
- 1618)長谷川恒雄(2003)「興亜院の日本語教育施策－派遣要員の事前研修をめぐって－」『日本語と日本語教育』第32号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 1619)坂内知子(2003)「ゴンザのペテルブルグ－ペテルブルグ三百年によせて－」『窓』124号 ナウカ
- 1620)黄幸素(2003)「台湾の日本語教育における伊沢修二の教授法をめぐって」『言語文化研究』2号 聖徳大学大学院言語文化学会
- 1621)藤森智子(2003)「台北市近郊の国語普及運動(1930～1945)－三峡「国語講習所」「国語常用家庭」を中心に－」『人間福祉研究』6号 田園調布学園大学人間福祉学部
- 1622)本田弘之(2003)「中国東北地域における「満州国」後の日本語教育」『2003年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1623)前田均(2003)「各種蔵書目録からの採録による日本語教育史関係文献目録」『日本語・日本文化研究』第10号 京都外国語大学留学生別科
- 1624)前田均(2003)「日本語教科書・植民地教科書収集を手がけて」文献探索研究会『文献探索2003』 金沢文圃閣
- 1625)前田均(2003)「日本統治下台湾の「国語普及用基礎国語六百五十」」『天理大学学报』第205輯 天理大学学術研究会

- 1626)前山ジャンジーラ(2003)「コロンビアにおける日本語教育と日系二世・三世のアイデンティティの形成」『常葉学園大学研究紀要 教育学部』第24号 常葉学園大学
- 1627)松岡弘(2003)「コメニウスと山口喜一郎、そして言語教育の普遍性について」一橋大学一橋学会編『一橋論叢』第129巻第3号 日本評論社
- 1628)松金公正(2003)「植民地期台湾における曹洞宗の教育事業とその限界—宗立学校移転と普通教育化の示すもの—」中京大学社会科学研究所台湾研究部会編(2003)『台湾の近代化と日本』 中京大学社会科学研究所
- 1629)松永典子(2003)「日本軍政下(1941年～1945年)の北ボルネオにおける教育施策—1942年、1943年「北ボルネオ軍政概要」を中心として—」『Polyglossia』第7巻 立命館アジア太平洋大学言語教育センター
- 1630)水野剛也(2003)「日系アメリカ人仮収容所における日本語の禁止—第二次世界大戦時のアメリカ連邦政府による「敵国語」政策の一側面—」メディア史研究会編『メディア史研究』15号 ゆまに書房
- 1631)水野直樹(2003)「戦時期朝鮮における治安政策—「思想浄化工作」と大和塾を中心に—」『歴史学研究』No.777 青木書店
- 1632)三ツ井崇(2003)「植民地研究と「言語問題」に関する備忘録」日本植民地教育史研究会(2003)『植民地教育史研究年報第5号 「文明化」による植民地支配』 皓星社
- 1633)南川啓一、有門恵(2003)「パラオ語に残存する日本語語彙」『比較文化研究』No.60 日本比較文化学会
- 1634)宮脇弘幸(2003)「「南洋皇民」の公学校教育、そして今」日本植民地教育史研究会(2003)『植民地教育史研究年報第5号 「文明化」による植民地支配』 皓星社
- 1635)村上政彦(2003)「日本語の歴史をめぐる旅—『君が代少年』を探して—台湾人と日本語教育』刊行に寄せて—」『月刊百科』No.483 平凡社
- 1636)八木正自(2003)「Bibliotheca Japonica(63)レオン・ド・ロニー著『詩歌撰葉』の成立とその周辺」『日本古書通信』68巻3号 日本古書通信社
- 1637)山根智恵(2003)「明治期における異文化接触—シャム国女子留学生を預かった雨森釧の日記をもとに—」『山陽論叢』第10巻 山陽学園大学
- 1638)米山道男・関道子・山下好孝(2003)「第二部 部局史 留学生センター」北海道大学百二十五年史編集室編(2003)『北大百二十五年史 通説編』北海道大学

- 1639)李紅衛(2003)「清水安三と北京愛隣館」『人間文化論叢』第6巻 お茶の水女子大学大学院人間文化研究科
- 1640)林思敏(2003)「台湾総督府の南進政策—1910年代を中心に—」『言語・地域文化研究』No.9 東京外国語大学大学院
- 1641)林弘仁(2003)「『日本語教授書』の書誌的考察」『久留米大学大学院比較文化研究論集』14号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1642)呂順長(2003)「近代中国はどう日本に学んだか—留学生と視察旅行者の派遣、日本人教習の招聘などを中心に—」『四天王寺国際仏教大学紀要』36号 四天王寺国際仏教大学
- 1643)駱為竜・陳耐軒(2003)「北京大学の日本語教師—児玉綾子先生—」中国中日関係史学会編・武吉次朗訳(2003)『新中国に貢献した日本人たち—友情で綴る戦後史の一コマ—』日本僑報社
- 1644)阿曾村陽子(2004)「米国における陸軍語学校の日本語教育」『昭和女子大学大学院日本文学紀要』第15集 昭和女子大学
- 1645)安藤幸一(2004)「アメリカにおけるバイリンガル教育—サンフランシスコ日英バイリンガル教育プログラムの歴史から学ぶもの—」『社会文化学部論集』第4号 大手前大学社会文化学部
- 1646)李政樹(2004)「植民地期朝鮮における日本語教育体験者に対する質問紙調査」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域』53号 広島大学大学院教育学研究科
- 1647)李承信(2004)「「女先生」と下田歌子」筑波大学文化批評研究会(2004)『〈翻訳〉の圏域—文化・植民地・アイデンティティ—』イセブ
- 1648)李笑利(2004)「韓国の開化期教科書における日本語的な要素—『新訂尋常小学』を中心として—」『比較文化研究』第65号 日本比較文化学会
- 1649)石田寛(2004)「第二次大戦末期北京における人文・社会科学系高等教育及び日本語教育の展開課程—中目覺(院長・所長)を中心に—」『福山大学人間文化学部紀要』第4巻 福山大学人間文化学部
- 1650)石田文彦(2004)「旅順工科大学と南満州鉄道株式会社」『技術史教育学会誌』第5巻第1・2号 技術教育学会
- 1651)稲葉継雄(2004)「京城帝国大学予科について—「朝鮮的要素」と「内地要素」を中心に—」『大学院教育学研究紀要』第7号 九州大学大学院人間環境学研究院教育学部門

- 1652)岩見宮子(2004)「AJALT が育ててきた日本語教師像—30年間の歩みを振り返って—」  
『AJALT』No.27 国際日本語普及協会
- 1653)呉宏明(2004)「伊沢修二と視話法—楽石社の吃音矯正事業を中心に—」『京都精華大学紀要』第26号 京都精華大学
- 1654)上田崇仁(2004)「ラジオ講座テキストに見られる「日本語」「国語」教育の実態」『2004年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1655)上田崇仁(2004)「ラジオ「国語講座」と「国語」教育」『アジア社会文化研究』第5号 アジア社会文化研究会
- 1656)上田博(2004)「小泉荃三年譜」『論究日本文学』第80号 立命館大学日本文学会
- 1657)温鴻華(2004)「台湾における草創期の日本語教材の一考察—『台湾適用国語讀本初歩上巻』の場合—」『安田女子大学大学院文学研究科紀要』第9号 安田女子大学大学院文学研究科
- 1658)衛藤藩吉(2004)「若き日の清水安三」桜美林大学・北京大学共編(2004)『新しい日中関係への提言—環境・新人文主義・共生—』はる書房
- 1659)大蔵親志・小河原尚(2004)「別科の歴史」『大東文化大学別科論集 別科日本語教育』第6号 大東文化大学別科日本語研修課程
- 1660)太田浩(2004)「日本留学試験の政策的考察」『国際教育』第10号 日本国際教育学会
- 1661)奥村訓代(2004)「日本語教員副専攻課程の5年間を省みて」『国際社会文化研究』第5号 高知大学人文学部国際社会コミュニケーション学科
- 1662)甲斐雄一郎(2004)「国語教科書における口語文体選択の契機—『沖縄県用尋常小学読本』の編集方針について—」『日本語と日本文学』第39号 筑波大学国語国文学会
- 1663)檜村あい子(2004)「シンガポールの「体験」・「記憶」・「思慕」—元日本語学校生徒へのインタビューノートより—」日本植民地教育史研究会(2004)『植民地教育史研究年報第6号 植民地教育の残痕』 皓星社
- 1664)加藤豊二(2004)「ベトナムにおける日本語教育史—歴史的背景を踏まえながら—」『日本語教育論集』第13号 姫路獨協大学大学院言語教育研究科日本語教育コース
- 1665)加藤豊二(2004)「ベトナムにおける日本語教育史」『朝日大学留学生別科紀要』第2号 朝日大学留学生別科



- 1666)蒲地なおみ(2004)「戦前・戦中の日本語教育における問答—その教授観と形式の観点から—」『愛知産業大学日本語教育研究所紀要』第1号 愛知産業大学日本語教育研究所
- 1667)川上尚恵(2004)「占領下の中国華北地方における日本語教育—日本人日本語教師と中国人日本語教師の連携をめぐって—」『言葉と文化』第5号 名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻
- 1668)川口敦子(2004)「イエズス会ローマ文書館所蔵 1564年5月24日付ダミアン修道士による日本語書簡について」『国語と教育』第29号 長崎大学
- 1669)河原功(2004)「戦前期台湾での初等教育—総督府編纂の国語教科書—」『東方』278号 東方書店
- 1670)菊池恵輔(2004)「日本統治期台湾における後藤新平の国語政策構想—明治36年演説を中心に—」『日本語教育論集』第13号 姫路獨協大学大学院言語教育研究科日本語教育コース
- 1671)北川知子(2004)「朝鮮総督府編纂『普通学校国語読本』の研究—児童の「生活」に着眼した教材について—」日本植民地教育史研究会(2004)『植民地教育史研究年報第6号 植民地教育の残痕』 皓星社
- 1672)北村嘉恵(2004)「蕃童教育所の教員が巡查であったこと—日本植民地下台湾の先住民教育の担い手に関する基礎的考察—」『日本台湾学会報』第6号 日本台湾学会
- 1673)金硯熙(2004)「追いかけてくる日本語—被植民地作家の言語問題、金史良「郷愁」—」『日本語・日本文化研究』第14号 大阪外国語大学日本語講座
- 1674)金富子(2004)「植民地期朝鮮における普通学校『不就学』とジェンダー」歴史学研究会編(2004)『シリーズ歴史学の現在 9 性と権力関係の歴史』青木書店
- 1675)金英美(2004)「韓国における植民地時代の日本語教育—1910年代から1920年代の日本語教授法の変遷—」『拓殖大学言語教育研究』第4号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 1676)久保田優子(2004)「第一次朝鮮教育令期の国語教科書における「同化」の概念」『九州産業大学国際文化学部紀要』第27号 九州産業大学国際文化学会
- 1677)窪山宏一(2004)「植民地朝鮮における青年教化の問題」『龍谷史壇』第121号 龍谷大学史学会
- 1678)熊谷明泰(2004)「植民地下朝鮮における徴兵制度実施計画と「国語全解・国語常用」政策(上)」『関西大学人権問題研究室紀要』第48号 関西大学人権問題研究室

- 1679)熊谷明泰(2004)「植民地下朝鮮における徴兵制度実施計画と「国語全解・国語常用」政策(下)」『関西大学人権問題研究室紀要』第49号 関西大学人権問題研究室
- 1680)隈本・ヒーリー・順子(2004)「留学生センター開設から現在までの歩みと今後の課題」『大分大学留学生センター紀要』1号 大分大学留学生センター
- 1681)小島淑男(2004)「明治末期、日本大学中国人留学生の動向」『研究紀要 一般教育・外国語・保健体育』第44号 日本大学経済学研究会
- 1682)児玉正幸(2004)「福沢諭吉とレオン・ド・ロニーー先駆的日仏異文化交流に関する研究—」『言語と文化』第1号 鹿屋体育大学外国語教育センター
- 1683)小西潤子(2004)「行進踊りと日本語混じりの歌—ミクロネシアの民俗芸能に見る植民地教育の影響に関する歴史的研究—」『静岡大学教育学部研究報告(教科教育学篇)』第35号 静岡大学教育学部
- 1684)小林潔(2004)「ロシア人日本学者ローゼンベルク」『Japanese Slavic and East European studies』vol.24 日本スラヴ・東欧学会〔独文〕
- 1685)駒走昭二(2004)「『露日単語集』に基づく18世紀薩隅方言のエ列音」『国語学』第217集 日本語学会
- 1686)駒走昭二(2004)「『露日単語集』のイ列音表記」『名古屋大学国語国文学』95号 名古屋大学国語国文学会
- 1687)近藤健一郎(2004)「『沖縄県用尋常小学読本』使用期(1897~1904年度)の沖縄における標準語教育実践とその論理」『国語科教育』第56集 全国大学国語教育学会
- 1688)近藤健一郎(2004)「学校記念誌にみる近代沖縄における方言札」『南島史学』第63号 南島史学会
- 1689)酒井恵美子・中田敏夫(2004)「『台湾教科書用国民読本』自立語一覧」『中京大学教養論叢』第45巻第2号 中京大学教養部
- 1690)酒井順一郎(2004)「1920年代から1930年代に於ける中国人留学生政策」『留学生教育』第9号 留学生教育学会
- 1691)酒井順一郎(2004)「中国人留日学生予備教育の展開—対支文化事業と特別予科—」2004年日本語教育国際研究大会実行委員会編『2004年日本語教育国際研究大会予稿集 発表2』 日本語教育学会

- 1692)佐藤由美(2004)「青山学院と戦前の台湾・朝鮮からの留学生」『日本の教育史学』第47集 教育史学会
- 1693)佐藤由美(2004)「青山学院の台湾・朝鮮留学生に関する記録【1906-1945】(I)」『青山学院大学教育学会紀要 教育研究』第48号 青山学院大学教育学会
- 1694)清水畏三(2004)「桜美林学園の創立者清水安三と中国—桜美林創立者清水安三の北京時代—」桜美林大学・北京大学共編(2004)『新しい日中関係への提言—環境・新人文主義・共生—』はる書房
- 1695)清水稔(2004)「清末の湖南留日学生の動向について」佛教大学学術委員会文学部論集編集委員会編『文学部論集』88号 佛教大学文学部
- 1696)江沛(2004)「中国直隸省の近代化(1900-1928)と「日本経験」—日本留学・視察者の歴史的役割—」アジア太平洋研究会編『アジア太平洋論叢』14号 大阪外国語大学
- 1697)江沛(2004)「日本留学・視察からの帰国者が直隸省の近代化に果たした役割:1900-1928」『中国交換研究員論叢』第21号 愛知大学国際交流センター
- 1698)所澤潤、高峯一愚(2004)「聞き取り調査:外地の進学体験(IX)—特別篇 台北帝国大学学生主事補、台北高等学校教授の体験を中心に—」『群馬大学教育学部紀要人文・社会科学編』第53巻 群馬大学教育学部
- 1699)John C. Maher(2004)「A Brief History of Pidgins and Creoles in Japan」『教育研究』第46号 国際基督教大学教育研究所年
- 1700)白柳弘幸(2004)「話を聞くということ」『集』第22号 玉川大学教育博物館
- 1701)金珽実(2004)「清末民国期の日本による間島朝鮮族に対する教育」『比較社会文化研究』15号 九州大学大学院比較社会文化学府
- 1702)金珽実(2004)「民国期の学校カリキュラムに見られる間島朝鮮族の日本語教育」『東アジアと日本』1号 九州大学大学院比較社会文化研究院
- 1703)石純姫(2004)「日本語教育の歴史(2)—日本統治期台湾少数民族への言語支配—」『苫小牧駒澤大学紀要』第12号 苫小牧駒沢大学
- 1704)高見澤孟(2004)「日本語教育史(1)外国人と日本語」『學苑』平成16年8・9月号 昭和女子大学近代文化研究所

- 1705)竹本英代(2004)「宣教師と日本社会 宣教師の日本語教育」同志社大学人文科学研究所編 (2004)『アメリカン・ボード宣教師—神戸・大阪・京都ステーションを中心に、1869～1890年—』教文館
- 1706)竹本英代(2004)「日語学校創設に果たした在日宣教師の役割」『キリスト教社会問題研究』第53号 同志社大学人文科学研究所
- 1707)ダニエル・ロング(2004)「小笠原諸島における日本語教育史」『都大研究』41 東京都立大学国語国文学会
- 1708)ダニエル・ロング、宋明淑、米田早希他(2004)「小笠原における日本語習得の歴史—Navy 5世代の欧米系島民の言語生活調査から—」『小笠原研究年報』28 東京都立大学小笠原研究委員会
- 1709)陳瑜(2004)「日本統治下の台北帝国大学について(上)」『東洋史訪』第10号 兵庫教育大学東洋史研究会
- 1710)蔡茂豊(2004)「台湾における日本語教育の歴史的変遷」『アジア遊学』69号 勉誠出版
- 1711)次重寛禧(2004)「B.H.Chamberlainの日本語習得と研究—第2言語習得論の観点より—」『英學史論叢』第7号 日本英学史学会中国・四国支部
- 1712)辻直人(2004)「田川大吉郎の国際大学構想—基督教教育同盟会の中国人留学生受け入れ論と連合大学論の結節点—」『キリスト教史学』第58集 キリスト教史学会
- 1713)都通憲三朗(2004)「日本統治期台湾における日本語語彙の調査研究」『2004年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1714)土岐哲(2004)「ミクロネシア、ポナペ島に残存する日本語の音声」小山悟・大友可能子・野原美和子編(2004)『言語と教育—日本語を対象として—』くろしお出版
- 1715)鞆谷純一(2004)「満鉄図書館と大佐三四五」『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』No.5 日本大学大学院総合社会情報研究科
- 1716)虎尾達哉(2004)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(1)」『人文学科論集』第60号 鹿児島大学法文学部
- 1717)内藤正中(2004)「昭和前期鳥取県の朝鮮人対策」『北東アジア文化研究』第19号 鳥取短期大学
- 1718)中川かず子(2004)「日本語学習書に見る文法教育観—比較文化的、歴史的概観—」『北海学園大学人文論集』26/27号 北海学園大学人文学会

- 1719)長沢雅春(2004)「韓国国立中央図書館蔵 朝鮮総督府編纂発行教科書目録」『佐賀女子短期大学研究紀要』38集 佐賀女子短期大学
- 1720)中田敏夫(2004)「台湾総督府編纂『台湾教科用書国民読本』の教材編成」『教科書フォーラム』2号 中央教育研究所
- 1721)中根隆行(2004)「朝鮮における日本語教育政策と同化主義—日韓併合期の植民地教育をめぐるイデオロギーの交渉—」『青丘学術論集』第24集 韓国文化研究振興財団
- 1722)中原道子(2004)「私の国際部四十年」『早稲田大学史記要』第36巻 早稲田大学大学史資料センター
- 1723)中村重穂(2004)「宣撫工作としての日本語教育に関する一考察—元宣撫官への書面調査から—」『日本語教育』120号 日本語教育学会
- 1724)中村重穂(2004)「宣撫班本部編『日本語會話讀本』の文献学的考察—その成立過程をめぐって—」『北海道大学留学生センター紀要』第8号 北海道大学留学生センター
- 1725)中村妙子(2004)「国際基督教大学日本語教師養成プログラムの変遷」論集編集委員会編(2004)『日本語教育学の視点—国際基督教大学大学院教授飛田良文博士退任記念—』東京堂出版
- 1726)南富鎮(2004)「日本女性と日本語に向かう欲望—金聖珉の日本語小説を軸にして—」『人文論集』No.55-2 静岡大学人文学部
- 1727)宝鉄梅(2004)「蒙疆政権下の対モンゴル人日本語教育について」『現代社会文化研究』31号 新潟大学大学院現代社会文化研究科
- 1728)朴真完(2004)「近代韓国語資料『捷解新語』対訳文の資料性—日本語的表現の変化を中心に—」『朝鮮学報』第193輯 朝鮮学会
- 1729)朴喜南(2004)「朝鮮資料『捷解新語』の改修について—モダリティ性の側面から—」『海外事情研究』第31巻第2号 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 1730)橋本正志(2004)「中島敦の教科書編修—旧南洋群島における『公学校国語読本』の第5次編纂について—」『日本語教育』123号 日本語教育学会
- 1731)長谷川恒雄(2004)「第2次大戦期興亜院の対中国日本語教育施策」『2004年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1732)長谷川恒雄(2004)「日本語教育の歴史」鮎澤孝子編(2004)『日本語教育実践』凡人社

- 1733)波多野節子(2004)「東京留学時代の洪命憲」『県立新潟女子短期大学研究紀要』41 県立新潟女子短期大学
- 1734)原田明子(2004)「言語政策から見たタイの日本語教育」『留学生教育』第9号 留学生教育学会
- 1735)黄幸素(2004)「台湾の日本語教育における山口喜一郎の教授法をめぐって」『言語文化研究』3号 聖徳大学大学院言語文化学会
- 1736)藤野陽平(2004)「日本統治下台湾における対日感情の整理と分析—漢族と原住民の比較を中心に—」『民俗文化研究』第5号 民俗文化研究所
- 1737)藤森智子(2004)「皇民化期(1937～45)台湾民衆の国語常用運動—小琉球「国語講習所」「全村学校」経験者の聞き取り調査を中心に—」『日本台湾学会報』第6号 日本台湾学会
- 1738)何淑霞(2004)「二つの「日本語読本」(1)—満鉄と関東庁『日本語読本』の比較を中心に—」『久留米大学大学院比較文化研究論集』15号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1739)前田均(2004)「日本語教育用「アイウエオの歌」数種」『外国語教育—理論と実践—』第30号 天理大学言語教育研究センター
- 1740)前田均(2004)「資料紹介 日本統治下台湾の「国語普及用基礎国語六百五十」」『天理大学学报』第205輯 天理大学学術研究会
- 1741)松永典子(2004)「南方派遣日本語教育要員の養成—「錬成」という教育理念・方法論との関連から—」『Polyglossia』第8巻 立命館アジア太平洋大学言語教育センター
- 1742)松永典子(2004)「「文化政策」としての日本語教育—雑誌『日本語』における「文化」論議—」『研究論集』第37巻第1号 福岡工業大学
- 1743)松本哲洋(2004)「麗澤大学における日本語教育センターの設置経緯及び組織について」『麗澤大学論叢』15 麗澤大学
- 1744)丸山敬介監修(2004)「日本語教科書の系譜」にほんごの凡人社30周年記念講演会配付資料
- 1745)丸山昇(2004)「創立者清水安三と現代中国」桜美林大学・北京大学共編(2004)『新しい日中関係への提言—環境・新人文主義・共生—』はる書房
- 1746)宮原彬(2004)「日仏共同支配期のベトナムでの日本語教育—ベトナム日本語教育史のためのノート—」『長崎大学留学生センター紀要』第12号 長崎大学留学生センター

- 1747)村上祥子(2004)「韓国における日本語教育事情」『拓殖大学日本語紀要』第14号 拓殖大学留学生別科
- 1748)森幸一(2004)「ブラジル日系人の「日本語」を巡る状況と言説—1908年から1980年代末まで—」『大阪大学大学院文学研究科紀要』第44巻 大阪大学大学院文学研究科
- 1749)森朋子(2004)「東京家政学院大学日本語教員養成コース—10年間の成果と今後の課題—」『東京家政学院大学紀要 人文・社会科学系』第44号 東京家政学院大学
- 1750)安田敏朗(2004)「単一民族幻想と多民族国家—二〇世紀日本における「言語」と「民族」—」端信行編(2004)『民族の二〇世紀』ドメス出版
- 1751)山岸嵩(2004)「占領地におけるある日本語教師—海軍主計士官矢野兼武と中国—」『日本工業大学留学生別科紀要』第2号 日本工業大学留学生別科
- 1752)山口幸二(2004)「分裂する言語観—膨張する「日本語」とその「教授法」をめぐって—」『立命館法学別冊 川上勉教授退職記念論文集 ことばとそのひろがり(2)』立命館大学法学会
- 1753)山本一生(2004)「公学堂教育不要論争に見る公学堂の存在意義—『南満教育』の分析を通して—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』第44巻 東京大学大学院教育学研究科
- 1754)劉国彬(2004)「日本統治下における内蒙古留学生の日本への派遣政策の展開」『福山大学人間文化学部紀要』第4巻 福山大学人間文化学部
- 1755)劉紀星(2004)「旧満州時代における日本語教科書の考察」『札幌大学総合論叢』No.18 札幌大学
- 1756)林弘仁(2004)「新資料 石川倉次の『台湾学生教授日誌』をめぐって」『久留米大学大学院比較文化研究論集』15号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1757)林弘仁(2004)「石川倉次の国語研究」『久留米大学大学院比較文化研究論集』16号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1758)冷麗敏(2004)「中国中等教育における日本語教科書の分析—練習を通して見た教科書の変化—」『言語文化と日本語教育』28号 お茶の水女子大学日本言語文化学会
- 1759)渡辺克典(2004)「吃音矯正の歴史社会学—明治・大正期における伊沢修二の言語矯正をめぐって—」『年報社会学論集』第17号 関東社会学会
- 1760)渡辺哲男(2004)「西尾実における言語活動主義の展開過程—山口喜一郎との邂逅前後を中心に—」『第106回全国大学国語教育学会発表要旨集』 全国大学国語教育学会

- 1761)青山香代(2005)「ロドリゲスの日本語教育観」『愛知産業大学日本語教育研究所紀要』第2号 愛知産業大学日本語教育研究所
- 1762)赤澤幸(2005)「日本語教育における「語彙教育」をめぐる研究史」『聖心女子大学大学院論集』第27集第2号 聖心女子大学
- 1763)阿曾村陽子(2005)「第二次世界大戦中のアメリカにおける陸軍情報学校」『二松學舎大學論集』第48号 二松學舎大学文学部
- 1764)李省展(2005)「植民地朝鮮の「文化政治」下におけるアメリカ人宣教師とミッションスクール—長老派ミッションスクールの指定学校化をめぐる—」『人文学部紀要』17 恵泉女学園大学
- 1765)巖安生(2005)「近代中国知識人の三波にわたる来日・留学体験について」『立命館文学』第590号 立命館大学人文学会
- 1766)池谷貞夫・柳澤好昭・野山広編／関正昭・坪山由美子協力(2005)「日本語教育史年表」日本語教育学会編『新版 日本語教育事典』 大修館書店
- 1767)石川遼子・三ツ井崇(2005)「金沢庄三郎著作目録」奈良女子大学「日本史の方法」研究会編『日本史の方法』創刊号 奈良女子大学
- 1768)石田寛(2005)「第二次大戦末期北京における人文・社会科学系高等教育及び日本語教育の展開課程—中目覺(院長・所長)を中心に(2)—」『福山大学人間文化学部紀要』第5巻 福山大学人間文化学部
- 1769)石田文彦(2005)「理学・工学を専攻した中国人の留日学生史」『技術史教育学会誌』第6巻第2号 技術教育学会
- 1770)泉史生(2005)「戦前台湾の公学校における「話し方」の研究授業—新屋公学校『教育研究綴』から—」『言語と交流』第8号 言語と交流研究会
- 1771)磯田一雄(2005)「初期台湾公学校の教育文化史的考察—就学率の推移とその背景を中心に—」『東アジア研究』第40号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 1772)磯田一雄(2005)「『同床異夢』としての植民地初等教育論—1920～30年代朝鮮における民衆の教育要求とその解釈を中心に—」『東アジア研究』第41号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 1773)磯田一雄(2005)「台湾歌人に詠まれた「辞世」の歌—台湾日本語文芸の意味—」『東アジア研究』第42号 大阪経済法科大学アジア研究所



- 1774)伊月知子(2005)「中国における日本語教育－『全日制義務教育日語課程標準(実験稿)』の特徴と教科書に見られる新しい試み－」『今治明德短期大学研究紀要』第29集 今治明德短期大学
- 1775)伊藤茂(2005)「藤澤浅二郎と中国人留学生(春柳社)の交流の位置」『人文学部紀要』25号 神戸学院大学人文学部
- 1776)伊藤孝行(2005)「明治期日本語教科書大宮貫三著『日語活法』における文法学習項目」『國語研究』68号 國學院大學國語研究會
- 1777)上田崇仁(2005)「放送教本『初等国語講座』について」『徳島大学留学生センター紀要第1号・年報第2号』 徳島大学留学生センター
- 1778)植野弘子(2005)「植民地台湾の日常生活における「日本」に関する試論－女性とその教育をめぐって－」『人文科学論集』第43号 茨城大学人文学部
- 1779)宇野有介(2005)「イエズス会宣教師達と日本語－ザビエル来日から1560年代までを中心に－」『二松學舎大學人文論叢』第74輯 二松學舎大学人文学会
- 1780)宇野有介(2005)「一五六〇年代前半におけるイエズス会宣教師の活動について」『二松學舎大學人文論叢』第75輯 二松學舎大学人文学会
- 1781)大久保恵子(2005)「どこか違和感を覚える文－チェンバレン、アストンの文法論から見て－」『都留文科大学研究紀要』第61集 都留文科大学
- 1782)大蔵親志(2005)「私の歩いた道－日本語教師として－」『大東文化大学別科論集 別科日本語教育』第7号 大東文化大学別科日本語研修課程
- 1783)オーシロ・ショージ(2005)「清水安三とハワイ－日布時事への寄稿を中心として－」『桜美林論集』第32号 桜美林大学
- 1784)太田進(2005)「2004年4月25日 中国文芸研究会例会講演稿 留学生周樹人と日本の公教育－「藤野先生」を読む－」『野草』第75号 中国文芸研究会
- 1785)大竹聖美(2005)「韓国・満州 巡回口演童話会」『東京純心女子大学紀要』9号 東京純心女子大学
- 1786)岡本輝彦(2005)「戦後の台湾社会における日本語・日本語教育」『東京経営短期大学紀要』第13巻 東京経営短期大学
- 1787)小川誉子美(2005)「対独文化事業としての日本語講座に関する記述－1930～1945年にドイツで教えた日本人講師についての考察－」『日本語教育』127号 日本語教育学会

- 1788)小川誉子美(2005)「第二次世界大戦下ドイツでのギムナジウムにおける日本語講座に関する記述－文化事業としての日本語講座開設の経緯と意義について－」『言語政策』1 日本言語政策学会
- 1789)小川誉子美(2005)「黎明期の日本語・日本学講座を担当したドイツ人講師と講座支援の背景に関する考察－対外広報活動としての日本語講座という観点から－」『日独文化交流史研究』第8号 日本独学史学会
- 1790)小黒浩司(2005)「満鉄児童読物研究会の活動：満鉄学校図書館史の一断面」『図書館界』vol.57 No.1 日本図書館研究会
- 1791)小野明子(2005)「朝鮮総督府編纂下における日本語教育－『普通学校国語読本』(1912-1915年版)を一例として－」『日本語と日本語教育』第33号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 1792)風間梨沙(2005)「第二次世界大戦期のベトナムにおける日本語教育－日仏の言語政策とクオック・グー運動の関連において－」『慶応義塾女子高等学校研究紀要』第22号 慶應義塾女子高等学校
- 1793)樫村あい子(2005)「日本占領下「昭南島」における日本語教育－エスニシティ構造の変化に着目して－」日本植民地教育史研究会(2005)『植民地教育史研究年報第7号 植民地教育体験の記憶』 皓星社
- 1794)梶村光郎(2005)「岩崎卓爾の教育文化活動－沖縄言語教育史の一断面－」『関東教育学会紀要』第32号 関東教育学会
- 1795)金庭久美子(2005)「日本語教育における聴解教育の変遷と展望」『横浜国立大学留学生センター紀要』第12号 横浜国立大学留学生センター
- 1796)亀井純子(2005)「年表 京都日本語学校から財団法人京都日本語教育センターへ」『ことば・こころ』vol.38 (財)京都日本語教育センター
- 1797)川上尚恵(2005)「占領下の中国華北地方における日本語教員養成機関の役割－省・特別市立師範学校卒業者の進路と社会での日本語需要から－」『日本語教育』125号 日本語教育学会
- 1798)川上尚恵(2005)「日本占領下の北京における日本語教育－体験者へのインタビュー－」名古屋大学言語文化研究会編『ことばの科学』第18号 名古屋大学言語文化研究会
- 1799)河路由佳(2005)「その人の〈声〉に耳を澄ます－オーラル・データの豊かさとそのアーカイブ化をめぐる議論のために－」『史資料ハブ 地域文化研究』5号 東京外国語大学

- 1800)川瀬俊治(2005)「日本人の植民地支配認識の一陥穽—民衆教育の原点・韓国夜学の歴史からさぐる—」『天理大学人権問題研究室紀要』第8号 天理大学
- 1801)菊池恵輔(2005)「後藤新平「台湾人に対する国語教育意見」について」『日本語教育論集』第14号 姫路獨協大学大学院言語教育研究科日本語教育コース
- 1802)北村嘉恵(2005)「台湾先住民征服戦争下における蕃童教育所の制度化」『北海道大学大学院教育学研究科紀要』第96号 北海道大学大学院教育学研究科
- 1803)北村一親(2005)「18世紀のアンドレイ・タタリノフ露和語彙集の研究(第1部)」『アルテス リベラレス』第76号 岩手大学人文社会学部
- 1804)金英美(2005)「韓国における日本語教育について—韓・日国交正常化(1965年)と学校外での日本語—」『拓殖大学言語教育研究』第5号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 1805)熊谷明泰(2005)「太平洋戦争下における朝鮮総督府の「国語全解・国語常用」政策(第5分科会:環日本海歴史・自然・環境I, 第9回研究大会報告要旨)」『環日本海研究』第10号 環日本海学会
- 1806)小町守(2005)「台湾植民地期の言語政策—安藤正次と二語併用の台湾—」『科学技術史』第8号 日本科学技術史学会
- 1807)近藤健一郎(2005)「近代沖縄における方言札(7)—補遺—」『愛知県立大学文学部論集 児童教育学科編』第53号 愛知県立大学文学
- 1808)近藤健一郎(2005)「近代沖縄における方言札の実態—禁じられた言葉—」『愛知県立大学文学部論集 国文学科編』第53号 愛知県立大学
- 1809)近藤純子(2005)「植民地台湾の日本人教師—山口喜一郎の場合—」『アジア教育史研究』第14号 アジア教育史学会
- 1810)近藤正憲(2005)「20世紀初頭ハンガリーで出版された日本語教科書とその時代背景」『世界の日本語教育』第15号 国際交流基金日本語国際センター
- 1811)酒井順一郎(2005)「1896年中国人日本留学生の日本語教育実態—13名の留学生と1名の補欠留学生—」『2005年度日本語教育学会春季大会予稿集』 日本語教育学会
- 1812)酒井順一郎(2005)「1896年中国人日本留学生派遣・受け入れ経緯とその日本語教育」『日本研究』第31集 国際日本文化研究センター
- 1813)佐藤浩司・深川治道・堀内みどり(2005)「研究報告会要旨:戦前の廈門伝道の足跡を辿る」『天理大学おやさと研究所年報』第11号 天理大学おやさと研究所

- 1814)佐藤由美(2005)「青山学院の台湾・朝鮮留学生に関する記録【1906-1945】(Ⅱ)」『青山学院大学教育学会紀要 教育研究』第49号 青山学院大学教育学会
- 1815)真田信治(2005)「日本語の動態 旧満州に残存する日本語」佐藤喜代治博士追悼論集刊行会編(2005)『日本語学の蓄積と展望』明治書院
- 1816)真田信治(2005)「東アジアの日本語—旧統治領に残存する日本語について—」『会報』35 神戸親和女子大学国語国文学会
- 1817)澤崎宏一(2005)「学習者層の変遷から見る米国の大学の日本語教育」『国際関係・比較文化研究』第3巻第2号 静岡県立大学
- 1818)山東功(2005)「1950年代のブラジル日系社会と日本語」『阪大日本語研究』17 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座
- 1819)山東功(2005)「ブラジル日系社会における混成日本語「コロニア語」の意味」『女子大文学国文篇』第56号 大阪女子大学日本語日本文学研究室
- 1820)塩野谷幸子(2005)「台湾の高齢者と日本語能力」『愛知産業大学日本語教育研究所紀要』第2号 愛知産業大学日本語教育研究所
- 1821)江秀姿(2005)「『国民読本参照国語科話方教材』巻一の一考察—初版と改訂版との比較を中心に—」『久留米大学大学院比較文化研究論集』18号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1822)徐蘇斌(2005)「戦前期日本に留学した中国人技術者に関する研究」井波律子・井上章一編(2005)『表現における越境と混淆』国際日本文化研究センター
- 1823)徐敏民(2005)「戦前大陸における「外国語」としての日本語教育」フェリス女学院大学編(2005)『声・映像・ジャーナリズム—メディアの中の戦争と文学—：第3回フェリス女学院大学日本文学国際会議』フェリス女学院大学
- 1824)白柳弘幸(2005)「活動状況・旧『満洲』関連教育史資料の受け入れ」『集』第24号 玉川大学教育博物館
- 1825)白柳弘幸(2005)「新収資料紹介 絵葉書『安別小学校』『台湾生蕃公学校』」『集』第24号 玉川大学教育博物館
- 1826)白柳弘幸(2005)「新収資料紹介 『台湾総督府国語学校生徒募集』ちらし」『集』第26号 玉川大学教育博物館

- 1827)白柳弘幸(2005)「第1回 台湾教育史現地調査」『玉川大学教育博物館館報』第2号 玉川大学教育博物館
- 1828)金斑実(2005)「曹洞宗両大本山間島別院星華女学校について」『比較文化研究』71号 日本比較文化学会
- 1829)高見澤孟(2005)「E.H.ジョーデン女史の日本語教育への貢献」『昭和女子大学女性文化研究所紀要』第32号 昭和女子大学女性文化研究所
- 1830)高見澤孟(2005)「日本語教育史(2)西洋人と日本語の出会い」『學苑』平成17年1月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 1831)高見澤孟(2005)「日本語教育史(3)江戸時代の外国人日本語学習者」『學苑』平成17年9月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 1832)高見澤孟(2005)「日本語教育史(4)ヨーロッパにおける日本語研究」『學苑』平成17年10月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 1833)高見澤孟(2005)「日本語教育史(5)来日欧米人の日本語教育」『學苑』平成17年11月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 1834)タチヤーナ・M・グレヴィッチ、L・T・ネチャエヴァ(2005)「ポスト・ソヴィエト期のロシアにおける日本語教育」ロシア日本研究者協会・ロシア科学アカデミー付属東洋学研究所日本研究センター著・法政大学国際日本学研究所編(2005)『ポスト・ソヴィエト期(1991-2004)のロシアにおける日本研究』法政大学国際日本学研究所編
- 1835)田中里奈(2005)「戦後の日本語教育における「国家」、「国民」、「言語」、「文化」の提示方法の変遷—日本語教科書内容の分析から—」『2005年度日本語教育学会春季大会予稿集』日本語教育学会
- 1836)趙洪鳳(2005)「昭和初期「満洲国文教部派遣留学生」に関する考察—外務省外交資料館所蔵「満洲国文教部派遣留学生関係雑件」をもとに—」『九州教育学会研究紀要』第33巻 九州教育学会
- 1837)簡月真(2005)「共通語として生きる台湾日本語の姿」『国文学解釈と鑑賞』第70巻第1号 至文堂
- 1838)陳文松(2005)「「校友」から「台湾青年」へ—台湾総督府国語学校『校友会雑誌』に見る「青年」像—」『年報地域文化研究』第9号 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻

- 1839)陳虹彪(2005)「日本統治下台湾における初等学校国語教科書の考察—1937年以降台湾人生徒用国語教科書に着目して—」『東北大学大学院教育学研究科研究年報』第54集第1号  
東北大学大学院教育学研究科
- 1840)陳瑜(2005)「日本統治下の台北帝国大学について(下)」『東洋史訪』第11号 兵庫教育  
大学東洋史研究会
- 1841)趙智順(2005)「韓国留学生の開拓経過と今後の展望」『山野研究紀要』13 山野美容芸  
術短期大学
- 1842)塚崎昌之(2005)「1920年代の在阪朝鮮人『融和』教育の見直し—濟美第四小学校夜間特  
別学級第二部の事例を通して—」在日朝鮮人運動史研究会編(2005)『在日朝鮮人史研究』  
第35号 緑蔭書房
- 1843)辻村志のぶ(2005)「明治期日本仏教のアジア布教とその思想—「仏教アジア主義」試論—」  
『國學院大學紀要』第43卷 國學院大學
- 1844)都通憲三朗(2005)「植民地期台湾の初等教育と修身」『仏教経済研究』第34号 駒澤大  
学仏教経済研究所
- 1845)常盤智子(2005)「E.M.Satow 著 Kuaiwa Hen の書誌に関する追考」『日本語学論集』1  
号 東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室
- 1846)虎尾達哉(2005)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(2)」『人文学  
科論集』第61号 鹿児島大学法文学部
- 1847)虎尾達哉(2005)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(3)」『人文学  
科論集』第62号 鹿児島大学法文学部
- 1848)鳥井克之・熊谷明泰(2005)「日本統治期の台湾・朝鮮における「国語」教育(上)」『関西  
大学人権問題研究室紀要』第51号 関西大学人権問題研究室
- 1849)中川かず子(2005)「日本語学習書に見る欧米人の言語観—19世紀後半～20世紀前半期の  
文典、語学書を中心に—」『新人文』第1号 北海学園大学大学院文学研究科
- 1850)中野裕也(2005)「台湾先住民の日本語—蘭嶼島タウ族が使用する日本語の特色—」『慶應  
義塾外国語教育研究』創刊号 慶應義塾大学外国語教育研究センター
- 1851)中原なおみ(2005)「植民地期台湾における初期日本語教育—『日本語教授書』『国語教授  
参考書—』にみられる指導法を中心に—」『愛知産業大学日本語教育研究所紀要』第2号  
愛知産業大学日本語教育研究所

- 1852) 中原なおみ(2005)「戦前・戦中の日本語教育における指導法—伊沢、山口、毛利、長沼の指導法を中心に—」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第8輯 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 1853) 中村重穂(2005)「華北占領地治安工作に於ける日本語教育に関する一考察—杉山部隊本部編『<sup>秘</sup>治安工作経験蒐録』を中心に—」『日本語教育』127号 日本語教育学会
- 1854) 仲矢信介・稲垣滋子(2005)「ロシア・NIS 諸国への日本語教育支援再考」『日本語教育』127号 日本語教育学会
- 1855) 西秀成(2005)「1930年代・愛知県における朝鮮人の教育運動—朝鮮普成学院(名古屋普通学校)とその周辺—」在日朝鮮人運動史研究会編(2005)『在日朝鮮人史研究』第35号 緑蔭書房
- 1856) 西尾珪子(2005)「日本語教育の展望～日本語教育 60 年の変遷を踏まえて～—JFL から JSL の誕生を振り返る—」『学習院大学人文科学研究報告 2005 年度版』学習院大学人文科学研究科
- 1857) 西川俊作(2005)「書簡に見る福澤人物誌(第12回)レオン・ド・ロニー—実ニ欧羅巴中唯一ノ良友—」『三田評論』1078号 慶応義塾大学
- 1858) 野呂博子(2005)「太平洋の懸け橋—日系カナダ子女の日本語教育と新渡戸稲造—」『新渡戸稲造研究』第14号 新渡戸基金
- 1859) 長谷川恒雄(2005)「興亜院の日本語教育—「錬成」思想と「日本語普及要領(1939)」—」『日本語と日本語教育』第33号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 1860) 服部隆(2005)「西周と日本語の表記—日本語文典の記述を中心に—」『上智大学国文学科紀要—』第22号 上智大学文学部国文学科
- 1861) 黄幸素(2005)「戦前台湾の初期日本語教育—漢文教育との関わりについて—」『言語文化研究』4号 聖徳大学大学院言語文化学会
- 1862) 福永義臣(2005)「今日的視点から見た外邦地域における皇民化教育としての国語教育—戦時歌謡の導入について—」『九州国際大学教養研究』12巻2号 九州国際大学教養学会
- 1863) 藤井久美子(2005)「台湾社会における日本語の位置づけ—帝国日本と中華民国台湾の言語政策からの一考察—」『日本語支援教育研究報告書』宮崎大学大学院教育学研究科学校教育専攻日本語支援教育専修
- 1864) 二見剛史(2005)「松本亀次郎の日本語教育論」『アジア教育史研究』第14号 アジア教

育史学会

- 1865)古木誠彦(2005)「台湾書道教育考—日本統治下の台湾教育を中心に—」『九州女子大学紀要 人文・社会科学編』第41巻3号 九州女子大学・九州女子短期大学
- 1866)古別府ひづる(2005)「山口県立大学国際文化学部日本語教員養成課程創設10年の歩み—検証と課題—」『山口県立大学国際文化学部紀要』第11号 山口県立大学国際文化学部
- 1867)彭瓊慧(2005)「日本台湾統治時代初期における教育政策—台湾人の日本教育に対する受容態度から見る伊澤修二の位置—」『政治経済史学』469 日本政治経済史学研究所
- 1868)彭瓊慧(2005)「日本の台湾統治時代における「国語」教育—公学校教育経験者の証言をめぐって—」『やまぐち地域社会研究』第3号 山口地域社会学会
- 1869)本田弘之(2005)「「満洲国」後の中等教育機関における日本語教育」社会言語科学会事務局編(2005)『社会言語科学会第15回大会発表論文集』社会言語科学会
- 1870)本田正文・島田めぐみ・谷部弘子(2005)「ハワイ日系人をとりまく日本語環境の分析—日本語の歌が今も生き続けるハワイ—」『東京学芸大学紀要 第2部門 人文科学』第56集 東京学芸大学
- 1871)本間千景(2005)「韓国「併合」前後の普通学校日本人教員聘用」朝鮮史研究会編(2005)『朝鮮史研究会論文集』第43集 緑蔭書房
- 1872)前田均(2005)「大出正篤の「対訳法」に基づく日本語教科書」『天理大学学報』第208輯 天理大学学術研究会
- 1873)前田均(2005)「実務家日本語教師が聞き取りをすると」日本植民地教育史研究会(2005)『植民地教育史研究年報第7号 植民地教育体験の記憶』 皓星社
- 1874)牧野篤(2005)「生きられた教育、生きられる歴史—台湾民衆の教育経験から歴史の主体性を探る(ノート)—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第52巻第1号 名古屋大学大学院教育発達科学研究科
- 1875)松田吉郎(2005)「日本統治時代台湾学校教育における模擬産業組合について」『教職課程研究』第15集 姫路獨協大学教職課程研究室
- 1876)三浦昭(2005)「アメリカにおける日本語教育の歴史と現状」鎌田修他編『牧野成一教授古希記念論集 言語教育の新展開』 ひつじ書房
- 1877)水谷修・勝又美智雄(2005)「人流インタビュー—この人に聞く(58)戦後の日本語教育をリードしてきた名古屋外国語大学学長水谷修さん—」『国際人流』218号 入管協会



- 1878)三ツ井崇(2005)「植民地期朝鮮における言語運動の展開と性格—1920~30年代を中心に—」歴史学研究会編『歴史学研究』No.802 青木書店
- 1879)宮野良一・松本達也(2005)「日本語教育機関に関する考察—我が国の留学生政策との関連から—」『芦屋大学論叢』第42号 芦屋大学
- 1880)村上嘉英(2005)「生き返った方言辞典—台湾総督府原著/王順隆新編『新編台日大辞典』—」『東方』296号 東方書店
- 1881)村上呂里(2005)「小学校「国語科」成立と沖縄地域—「普通語」概念に着目して—」『琉球大学教育学部紀要』第67集 琉球大学教育学部
- 1882)百瀬侑子(2005)「日本占領下ジャワ派遣日本語教育要員の現地体験—国策としての日本語普及と日本語教師—」『東アジア研究』第41号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 1883)森岡健二(2005)「日本語会話文典」佐藤喜代治博士追悼論集刊行会編(2005)『日本語学の蓄積と展望』明治書院
- 1884)森本豊富(2005)「エスニックコミュニティ母語学校としての日本語学校—カンプトン両学園を例に—」吉田亮編(2005)『アメリカ日本人移民の越境教育史』日本図書センター
- 1885)守屋友江(2005)「カリフォルニア州における仏教会付属日本語学校の性格」吉田亮編(2005)『アメリカ日本人移民の越境教育史』日本図書センター
- 1886)八木正自(2005)「Bibliotheca Japonica(94)ホフマン著『日本文典』の成立とその周辺」『日本古書通信』70巻10号 日本古書通信社
- 1887)安田敏朗(2005)「国語・日本語・帝国」村田雄二郎、クリスティン・ラマール編(2005)『漢字圏の近代—ことばと国家—』東京大学出版会
- 1888)山岸嵩(2005)「占領地におけるある日本語教師 その2—海軍主計士官矢野兼武の翻訳したもの—」『日本工業大学留学生別科紀要』第3号 日本工業大学留学生別科
- 1889)山口仲美(2005)「国語審議会の終焉—国語施策百年史の一コマとして—」『埼玉大学紀要 教養学部』第41巻第1号 埼玉大学教養学部
- 1890)吉岡英幸(2005)「松本亀次郎編纂の日本語教材—語法型教材を中心に—」『早稲田大学日本語教育研究』第6号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 1891)吉村信次郎(2005)「ジュリアナ・ストラミジョーリ女史」『イタリア図書』n.33 イタリア書房

- 1892)頼瑞琴(2005)「日本統治期の台湾文学における留学体験」『中国言語文化研究』5号 佛教大学中国言語文化研究会
- 1893)若月章(2005)「COMMENT(太平洋戦争下における朝鮮総督府の「国語全解・国語常用」政策, 第5分科会:環日本海歴史・自然・環境I, 第9回研究大会報告要旨)」『環日本海研究』第10号 環日本海学会
- 1894)若林正文(2005)「ことばと権力ー台湾の近現代と二つの「国語」ー」村田雄二郎、クリスティン・ラマル編(2005)『漢字圏の近代ーことばと国家ー』東京大学出版会
- 1895)渡辺哲男(2005)「西尾実における言語活動主義の展開過程ー山口喜一郎との邂逅前後を中心にー」『国語科教育』第57集 全国大学国語教育学会
- 1896)阿曾村陽子(2006)「第二次世界大戦中のアメリカ陸軍における日系二世の扱い」『二松學舎大學論集』第49号 二松學舎大学文学部
- 1897)李政樹(2006)「植民地朝鮮における日本語学習書の分析ー成人のための日本語教育(1)を中心にー」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域』54号 島大学大学院教育学研究科
- 1898)飯塚亜紀子・立花万倫子・高野愛子(2006)「日本課程20周年「変わったこと、変わらないこと、変えたいこと」」東京外国語大学日本課程・留学生課共編『東京外国語大学日本研究教育年報』10(2005年度版) 東京外国語大学
- 1899)泉文明(2006)「戦時下の日本語教育ー韓国の場合(1)ー」『龍谷大学国際センター研究年報』第15号 龍谷大学国際センター
- 1900)磯田一雄(2006)「在満日本人教育におけるアイデンティティ論ー『満洲郷土論』の意味を中心にー」『東アジア研究』第45号 大阪経済法科大学
- 1901)磯田一雄(2006)「台湾における日本語文藝活動の過去・現在・未来ー俳句を中心にその教育文化史的異義を点描するー」『成城文藝』第197号 成城大学文芸学部
- 1902)磯田一雄(2006)「同化と皇民化の間ー植民地教育における『文明化』と『日本化』をめぐってー」『東アジア研究』第44号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 1903)板谷俊生(2006)「大連外国語学院日本語学院紀事ー1964～1976ー」『北九州市立大学国際論集』第4号 北九州市立大学国際教育交流センター
- 1904)伊藤龍平(2006)「『臺灣教科用書國民讀本』の昔話資料ー日本統治下台湾の国語教科書と昔話(1)ー」『昔話伝説研究』26号 昔話伝説研究会

- 1905)Victor Rybin(2006)「サンクト・ペテルブルグ(ロシア)における日本語学習と日本研究の三〇〇年のあゆみ」『日本研究』第32集 国際日本文化研究センター
- 1906)宇野有介(2006)「1565年～66年におけるイエズス会宣教師の活動について—仏教との対立と日本語の学習状況を中心に—」『二松學舎大學人文論叢』第77輯 二松學舎大学人文学会
- 1907)宇野有介(2006)「日本におけるイエズス会神学校設立の経緯について—一五八〇年設立有馬セミナリヨを中心に—」『二松』第20集 二松學舎大学大学院文学研究科
- 1908)江上敏哲(2006)「イタリアの日本資料図書館における活動・実態調査報告」『大学図書館研究』77巻 学術文献普及会
- 1909)太田孝子(2006)「植民地下朝鮮の女学生—進明高等女学校を中心に—」『岐阜大学留学生センター紀要 2006』 岐阜大学留学生センター
- 1910)大塚光信(2006)「キリシタンの日本語研究」『國文學』平成18年10月号 學燈社
- 1911)大浜郁子(2006)「「書房義塾に関する規程」(府令)の制定過程—台湾公学校の設置との関連において—」『異文化 論文編』7 法政大学国際文化学部企画広報委員会
- 1912)小川誉子美(2006)「大戦下欧州における日本語学習者の活動—フィンランドの知日家M.ケラヴオリの場合—」『総合学術学会誌』第4号 日本総合学術学会
- 1913)小国喜弘(2006)「国語教育における「言語活動主義」の成立—西尾実「日本語の前線と銃後」—」『人文学報』No.370 首都大学東京都市教養学部人文・社会系/東京都立大学人文学部
- 1914)柿木重宜(2006)「日本語教育史における言語学者の果たした役割について」『滋賀女子短期大学研究紀要』31号 滋賀女子短期大学
- 1915)梶村光郎(2006)「沖縄の標準語教育史研究—明治期の綴方教育を中心に—」『琉球大学教育学部紀要』第68集 琉球大学教育学部
- 1916)梶村光郎(2006)「篠原一二の標準語教育実践—沖縄の標準語教育史の一断面—」『琉球大学言語文化論叢』第3号 琉球大学言語文化研究会
- 1917)片桐史尚・宇田川のり子(2006)「清国留学生—明治に始まる日本留学ブーム—」『月刊日本語』2006年12月号 アルク
- 1918)金沢朱美(2006)「オレンドルフ教授法の受容の考察—井上勤ならびに岡倉由三郎の受容を

- 中心にー」『目白大学人文学研究』第3号 目白大学
- 1919)川口敦子(2006)「イエズス会ローマ文書館所蔵1617年ポーロ報告書内殉教証言者の日本語表記」『長崎大学教育学部紀要. 人文科学』72号 長崎大学
- 1920)川寄陽(2006)「戦時下朝鮮における日本語普及政策」『史林』第89巻第4号 史学会
- 1921)川崎真美(2006)「清末における日本への留学生派遣ー駐清公使矢野文雄の提案とそのゆくえー」『中国研究月報』696号 (社)中国研究所
- 1922)河路由佳(2006)「近代日本の国語教科書に描かれた『日本語普及』ー国定国語読本に現れる『国語』『日本語』の用例からー」『東京外国語大学論集』第72号 東京外国語大学
- 1923)北川知子(2006)「国語教育と植民地ー芦田恵之助と「朝鮮読本」ー」日本植民地教育史研究会『植民地教育史研究年報第8号 植民地国家の国語と地理』 皓星社
- 1924)金義泳(2006)「韓国の開化期における日本語学習書の「会話」の文型ー授受・条件・受身・使役を中心にー」『早稲田大学日本語教育研究』第8号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 1925)金範洙(2006)「大韓帝国末期渡日韓国留学生の現実認識ー留学生団体機関誌の論説にみる文明観・国家観ー」『学校教育学研究論集』第13号 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科
- 1926)金英美(2006)「韓国における日本語教育政策ー高校での日本語教育開設当時の日本語教師の確保についてー」『拓殖大学言語教育研究』第6号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 1927)桂燕玉(2006)「日本移住中国人と学校に関するー考察ー20世紀初頭における長崎時中学校を通してー」『研究室紀要』第32号 東京大学大学院教育学研究科教育学研究室
- 1928)久保田真樹子(2006)「戦中期の日本語教育政策におけるある日本語教育者の理念ー長沼直兄の日本語教育に関する歴史的考察ー」『大学院紀要』第56号 法政大学大学院
- 1929)熊谷明泰(2006)「賞罰表象を用いた朝鮮総督府の「国語常用」運動ー「罰札」、「国語常用家庭」、「国語常用章」ー」『関西大学視聴覚教育』第29号 関西大学外国語教育研究機構
- 1930)小林潔(2006)「日本学者ローゼンバルクとロシア式漢字排列法」柳富子編(2006)『第2集 ロシア文化の森へー比較文化の総合研究ー』ナダ出版センター
- 1931)小山揚子(2006)「日本語教員生活を振り返って」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第16号 関西外国語大学留学生別科

- 1932)近藤健一郎(2006)「宮良長包作詞作曲「発音唱歌」(1919年)とその周辺(上)―仲西尋常高等小学校長期の教育論を中心に―」『南島文化研究』第28号 沖縄国際大学南島文化研究所
- 1933)酒井順一郎(2006)「もう一つの留学生活―明治期清国人日本留学生と日本社会の関係―」『留学生教育』第11号 留学生教育学会
- 1934)桜井隆(2006)「植民地教育史研究における言語の問題」日本植民地教育史研究会(2006)『植民地教育史研究年報第8号 植民地国家の国語と地理』 皓星社
- 1935)佐藤友則(2006)「日本語研修コース六年間の報告と今後―信州大学留学生センターでの実践例をもとに―」『信州大学高等教育システムセンター紀要』第2号 信州大学
- 1936)佐藤由美(2006)「青山学院の台湾・朝鮮留学生に関する記録【1906-1945】(III)」『青山学院大学教育学会紀要 教育研究』第50号 青山学院大学教育学会
- 1937)佐野正人(2006)「1930年代朝鮮をめぐるトランスナショナルな風景―京城帝大・満洲・日本語―」朱夏の会編『朱夏』21号 せらび書房
- 1938)沢田和彦(2006)「黒野義文伝―東京外語露語科からペテルブルグ大学東洋学部へ―」柳富子編(2006)『第2集ロシア文化の森へ―比較文化の総合研究―』ナダ出版センター
- 1939)鹿浦佳子(2006)「関西外国語大学留学生別科35年の歩み―主にこの15年をふりかえって―」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第16号 関西外国語大学留学生別科
- 1940)篠崎摂子・曹大峰(2006)「中国における非母語話者日本語教師教育の質的变化―「大平学校」と北京日本学研究センターにおける実践から―」『言語文化と日本語教育』第32号 お茶の水女子大学日本言語文化学会
- 1941)篠崎摂子・曹大峰(2006)「中国における非母語話者日本語教師教育の展開―「大平学校」と北京日本学研究センター―」『国際交流基金日本語教育紀要』第2号 国際交流基金
- 1942)島内景二(2006)「角田柳作の年譜の空白を埋める―その渡米以前の旺盛な著述活動―」『電気通信大学紀要』19巻1/2号 電気通信大学
- 1943)志村哲也(2006)「ヘルマン・プラウト『日本語読本』」上智大学文学部独文学研究室編『上智大学ドイツ文学論集』第43号 上智大学ドイツ文学会
- 1944)白柳弘幸(2006)「第2回 台湾教育史現地調査」『玉川大学教育博物館館報』第3号 玉川大学教育博物館

- 1945)新内康子(2006)「日本語教科書の系譜のなかの『蕃人読本』—日本語教育文法の観点から—」土岐哲先生還暦記念論文集編集委員会編『日本語の教育から研究へ』くろしお出版
- 1946)陣内正敬・柿原美由紀(2006)「総合政策学部・日本語教育の10年」『総合政策研究』No.24 関西学院大学総合政策学部研究会
- 1947)菅生早千江(2006)「ポーランドにおける日本語教育事情—ポーランド日本語教師会・組織づくりの実践を中心として—」『言語文化と日本語教育』32号 お茶の水女子大学日本語文化学会
- 1948)鈴木康之(2006)「田丸卓郎と宮田幸一の日本語文法の研究」『研究会報告』第25号 日本語文法研究会
- 1949)成城学園教育研究所編(2006)「旧植民地用教科書目録」『成城学園教育研究所研究年報』第28集 成城学園教育研究所
- 1950)牲川波都季(2006)「戦後日本語教育史研究の課題—日本語ナショナリズムに関する文献レビューから—」『横浜国立大学留学生センター教育研究論集』第13号 横浜国立大学留学生センター
- 1951)牲川波都季(2006)「占領期日本語教育言説—「日本語＝日本精神論」の行方—」『早稲田大学日本語教育学会2006年春季大会講演会・研究発表会資料集』早稲田大学日本語教育学会
- 1952)関正昭(2006)「日本語教育の「禁領域」(承前)—そのガイドラインは必要か—」土岐哲先生還暦記念論文集編集委員会編(2006)『日本語の教育から研究へ』くろしお出版
- 1953)副島健治(2006)「メキシコの日本語教育—過渡期としての近年の動向—」『Polyglossia』第11巻 立命館アジア太平洋大学言語教育センター
- 1954)孫安石(2006)「戦前中国人留学生の「実習」と「見学」について」『人文学研究所報』No.39 神奈川大学人文学研究所
- 1955)高見澤孟(2006)「日本語教育史(6)日本語研究専門家の登場」『學苑』平成18年1月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 1956)高見澤孟(2006)「日本語教育史(7)米国国内における日本語教育」『學苑』平成18年3月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 1957)高見澤孟(2006)「日本語教育史(8)日本人主導の日本語教育の開始」『學苑』平成18年11月号 昭和女子大学近代文化研究所

- 1958)竹本英代(2006)「宣教師H. B. ニューエルの日本語教師」『福岡教育大学紀要』第55号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 1959)田中寛(2006)「資料：英国ロンドン大学 SOAS 図書館所蔵戦前・戦中に刊行された国語学、日本語学関係文献目録」『外国語学研究』第7号 大東文化大学大学院外国語学研究科
- 1960)田中里奈(2006)「「国家」、「国民」、「言語」、「文化」の結びつき—戦後から1980年代における日本語教科書の内容分析と作成者の論考を中心に—」『早稲田大学日本語教育研究』第9号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 1961)田中里奈(2006)「戦後の日本語教育における思想的「連続性」の問題—日本語教科書にみる「国家」、「国民」、「言語」、「文化」—」リテラシーズ研究会編『リテラシーズ』2 くろしお出版
- 1962)多仁安代(2006)「清末期における日本教習」『政治経済史学』473 日本政治経済史学研究所
- 1963)田山博子(2006)「第二次世界大戦中のイギリスにおける日本語教育—敵性語として学ばれた日本語—」『立命館法学別冊 山口幸二教授退職記念論集 ことばとそのひろがり(4)』立命館大学法学会
- 1964)趙洪鳳(2006)「昭和初期「満洲国文教部派遣留学生」に関する考察—外務省外交史料館所蔵「満洲国文教部派遣留学生関係雑件」をもとに—」『九州教育学会研究紀要』第33巻 九州教育学会
- 1965)張瑜珊・孫愛維・林美琪(2006)「台湾における日本語教育の過去と未来」お茶の水女子大学「魅力ある大学院教育」イニシアティブ人社系事務局(2006)『「対話と深化」の次世代女性リーダーの育成—「魅力ある大学院教育」イニシアティブ(人社系)プログラム—海外研修事業編研究報告書』お茶の水女子大学
- 1966)簡月真(2006)「台湾高年層の日本語にみられる一人称代名詞」『日本語の研究』第2巻2号 日本語学会
- 1967)簡月真(2006)「台湾残存日本語にみられる否定辞「ナイ」と「ン」—花蓮県をフィールドに—」『日本語科学』第20号 独立行政法人国立国語研究所
- 1968)江秀姿(2006)「『国民読本参照国語科話方教材』における語彙調査—初版巻一と巻二を中心に—」『久留米大学大学院比較文化研究論集』19号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1969)江秀姿(2006)「『國民讀本參照國語科話方教材』改正版について—教案にみる指導法を中

- 心に一」『久留米大学大学院比較文化研究論集』20号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 1970)鄭光(2006)「韓国における日本語教育の歴史」麗澤大学・韓国ミレニアム研究院編(2006)『修交40周年記念日韓学术交流の現状と展望—第3回日韓人文社会科学学術会議—』麗澤大学
- 1971)陳虹彬(2006)「終戦後台湾における教科書編纂に関する一考察—国民学校・中等学校暫定国語課本を中心に—」『東北大学大学院教育学研究科研究年報』第55集第1号 東北大学大学院教育学研究科
- 1972)陳虹彬(2006)「台湾総督府編修官加藤春城と国語教科書」日本植民地教育史研究会(2006)『植民地教育史研究年報第8号 植民地国家の国語と地理』 皓星社
- 1973)陳虹彬(2006)「日本統治下台湾における国語講習所用国語教科書の研究—台湾教育会の『新国語教本』に着目して—」『東北大学大学院教育学研究科研究年報』第54集第2号 東北大学大学院教育学研究科
- 1974)陳麗華(2006)「台湾の大学における日本語教育の沿革に関する一考察—特に第二次大戦後に焦点を当てて—」『大阪産業大学論集 人文科学編』120 大阪産業大学学会
- 1975)槻木瑞生(2006)「満洲教育史研究のフロンティア—いま満洲教育史研究が直面している問題—」『東アジア研究』第44号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 1976)坪井健(2006)「在日中国人留学生20年の動向と日本の課題—日本と中国の留学生戦略を背景として—」『駒澤大学文学部社会学科 駒澤社会学研究』No.38 駒澤大学文学部社会学研究室
- 1977)坪井健(2006)「留学生研究関連文献目録(1955-2005)」『駒澤大学文学部社会学科 駒澤社会学研究』No.38 駒澤大学文学部社会学研究室
- 1978)虎尾達哉(2006)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(4)」『人文学科論集』第63号 鹿児島大学法文学部
- 1979)虎尾達哉(2006)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(5)」『人文学科論集』第64号 鹿児島大学法文学部
- 1980)鳥井克之・熊谷明泰(2006)「日本統治期の台湾・朝鮮における「国語」教育(下)」『関西大学人権問題研究室紀要』第52号 関西大学人権問題研究室
- 1981)永井英治(2006)「戦中期北京輔仁大学の日本人教員とその戦後—成立期新制大学の教員移動に関する試論—」『近代日本研究』第23巻 慶應義塾福澤研究センター
- 1982)中川仁(2006)「台湾の「国語」と民主化による多言語主義」日本植民地教育史研究会(2006)



『植民地教育史研究年報第 8 号 植民地国家の国語と地理』 皓星社

- 1983)中田敏夫(2006)「故折井英治氏蔵台湾統治初期言語資料『軍隊憲兵用台湾語』『台湾語』  
—資料並びに解説—」『国語国文学報』第 64 号 愛知教育大学国語国文学研究室
- 1984)中村重穂(2006)「宣撫班本部編『日本語會話讀本』の文献学的考察・その 2 —南満洲教育  
会編纂教科書との比較を通して—」『北海道大学留学生センター紀要』第 10 号 北海道大  
学留学生センター
- 1985)南相璽(2006)「植民地朝鮮における日本の言語政策」野村真理・弁納才一編(2006)『地域  
統合と人的移動—ヨーロッパと東アジアの歴史・現状・展望—』御茶の水書房
- 1986)難波ちづる(2006)「第二次大戦下の仏領インドシナへの社会史的アプローチ—日仏の文化  
的攻防をめぐって—」『三田学会雑誌』99 卷 3 号 慶應義塾経済学会
- 1987)仁田義雄(2006)「自民党文教部会と国語施策」土岐哲先生還暦記念論文集編集委員会編『日  
本語の教育から研究へ』くろしお出版
- 1988)野畑理佳, ウィパー・ガムチャンタコーン(2006)「タイにおける中等学校日本語教員養成  
講座の概要と追跡調査報告—タイ後期中等教育における日本語クラスの現状—」『世界の  
日本語教育』第 16 号 国際交流基金
- 1989)橋本正志(2006)「旧南洋群島における国語読本第 5 次編纂の諸問題—その未完の実務的  
要因を中心に—」『立命館文學』第 594 号 立命館大学人文学会
- 1990)韓美卿(2006)「日本語教育の観点から見た『捷解新語』」麗澤大学・韓国ミレニアム研究  
院編(2006)『修交 40 周年記念日韓学术交流の現状と展望—第 3 回日韓人文社会科学学術  
会議—』麗澤大学
- 1991)平田諭治(2006)「留学史研究の回顧と展望—欧米—日本—アジアの「知」の連還と構造  
を考える—」『筑波教育学研究』第 4 号 筑波大学教育学会
- 1992)平林正吉(2006)「文化庁の日本語教育施策」『日本言語文化研究会論集』第 2 号 日本言  
語文化研究会
- 1993)平藤喜久子(2006)「レオン・ド・ロニと日本神話」『学習院大学国語国文学会誌』第 49  
号 学習院大学文学部国語国文学会
- 1994)平藤喜久子(2006)「レオン・ド・ロニの神話研究」『宗教研究』79 卷 4 号 日本宗教学会
- 1995)藤井彰二(2006)「台湾『日本語世代』の日本語環境と日本語意識」国立国語研究所(2006)  
『日本語教育の学習環境と学習手段に関する調査研究 海外調査報告書』国立国語研究所

- 1996)藤森智子(2006)「日本統治下台湾の社会教育用教本『新国語教本』の性格」『田園調布学園大学紀要』第1号 田園調布大学
- 1997)裴始美(2006)「『併合』直前・後における在日朝鮮人留学生を取り巻く情況—朝鮮総督府の留学生取り締まりと『収用』政策—」在日朝鮮人運動史研究会編(2006)『在日朝鮮人史研究』第36号 緑蔭書房
- 1998)白南徳(2006)「20世紀初頭における在日韓国人留学生の日本語の受容—文学者崔南善の場合—」『広島大学大学院教育学研究科紀要 第二部 文化教育開発関連領域』54号 広島大学大学院教育学研究科
- 1999)何純慎(2006)「伊沢修二と草創期の台湾女子教育」『国際教育』第12号 日本国際教育学会
- 2000)本田弘之(2006)「中国朝鮮族中学における日本語教育の選択メカニズム—「満州国」後の日本語教育の連続性と非連続性—」『杏林大学外国語学部紀要』第18号 杏林大学外国語学部
- 2001)本田弘之(2006)「中国朝鮮族の民族教育における日本語教育の意味—日本語教育の目的と「評価」をめぐる—」『早稲田大学日本語教育学会 2006年春季大会講演会・研究発表会資料集』 早稲田大学日本語教育学会
- 2002)本田弘之(2006)「日本語教育の<自律>と<変容>—中国東北地域における<満州国>後の日本語教育の意味—」『言語政策』2 日本言語政策学会
- 2003)松永典子(2006)「日本軍政下(1941年～1945年)の「北ボルネオ」における日本語教育のインパクト—民族意識の覚醒と連帯をめぐる—」『比較社会文化：九州大学大学院比較社会文化研究科紀要』第12巻 九州大学大学院比較社会文化研究科
- 2004)宮崎靖士(2006)「井伏鱒二『花の町』における占領地の表象をめぐる—1930～1940年代の言語使用に関わる非均等的な力関係と、その表象をめぐる諸相—」『日本近代文学会北海道支部会報』9号 日本近代文学会北海道支部事務局
- 2005)三好章(2006)「維新政府と汪兆銘政権の留学生政策—制度面を中心に—」『人文学研究所報』No.39 神奈川大学人文学研究所
- 2006)村尾誠一(2006)「20周年を迎えて」東京外国語大学日本課程・留学生課共編『東京外国語大学日本研究教育年報』10(2005年度版) 東京外国語大学
- 2007)森岡純子(2006)「パラオにおける戦前日本語教育とその影響—戦前日本語教育を受けたパラオ人の聞き取り調査から—」『立命館法学別冊 山口幸二教授退職記念論集 ことばとそ

のひろがり (4)』立命館大学法学会

- 2008)諸星美智直(2006)「アメリカ日本語教育史における半井豊三の事績」『国語研究』第 69 号 國學院大学国語研究会
- 2009)諸星美智直(2006)「宏文学院教授難波常雄と文典型日本語教科書『漢和対照日語文法述要』」『國學院雜誌』第 107 卷第 4 号 國學院大学総合企画部
- 2010)諸星美智直(2006)「日本語教育史における宏文学院と國學院大學」『國學院雜誌』第 107 卷第 11 号 國學院大学総合企画部
- 2011)八木正自(2006)「Bibliotheca Japonica(108)へボン編『和英語林集成』の成立とその周辺(1)」『日本古書通信』71 卷 12 号 日本古書通信社
- 2012)八木正自(2006)「Bibliotheca Japonica(109)へボン編『和英語林集成』の成立とその周辺(2)」『日本古書通信』72 卷 1 号 日本古書通信社
- 2013)山本和行(2006)「台湾領有直後における教育事業の展開—台湾総督府学務部の教育構想に関して—」『現代台湾研究』第 30・31 号 台湾史研究会
- 2014)李麗君(2006)「「大正日本」の留学生郁達夫」『Polyglossia』第 11 卷 立命館アジア太平洋大学言語教育センター
- 2015)劉金釗(2006)「中国人留学生と日本」『武蔵野学院大学日本総合研究所紀要』第 3 輯 武蔵野学院大学
- 2016)ルチラ・パリハワダナ(2006)「日本課程 20 周年によせて 学問への扉」東京外国語大学 日本課程・留学生課共編『東京外国語大学日本研究教育年報』10(2005 年度版) 東京外国語大学
- 2017)饗場淳子(2007)「土居光知「基礎日本語」の資料性—選定語の変遷を中心に—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第 15 号-1 早稲田大学大学院教育学研究科
- 2018)AJALT 編集部(2007)「教科書で見る AJALT の歴史—いい教科書って何だろう—」『AJALT』No.30 (社)国際日本語普及協会
- 2019)AJALT 編集部(2007)「初級教科書の変遷」『AJALT』No.30 (社)国際日本語普及協会
- 2020)新井淑子(2007)「植民地台湾における戦時下の玉川国民学校と平和国民学校の教員の意識と実態」『埼玉大学紀要 教育学部 教育科学』第 56 卷第 2 号 埼玉大学教育学部
- 2021)案浦崇(2007)「シンガポールにおける日本人社会と学校教育の歴史」経済学論叢編集委員会編『福岡大学経済学論叢』51 卷 4 号 福岡大学研究推進部

- 2022) 閻立(2007) 「「朝貢体制」と「条約体制」のあいだー清末中国人の日本語学習の開始ー」  
『大阪経大論集』第 58 巻第 6 号 大阪経大会
- 2023) 伊ヶ崎泰枝(2007) 「言語と教授法ーフランス語教育と日本語教育の場合ー」『広島大学フ  
ランス文学研究』第 26 号 広島大学フランス文学研究会
- 2024) 五十嵐二郎(2007) 「山口喜一郎著『日本語教授原論』(昭 18 年)と Gouin Method」『英  
學史論叢』第 10 号 日本英学史学会中国・四国支部
- 2025) 伊志嶺安博(2007) 「戦前ブラジルの日本人移民子弟に対する日本語教育論ー『日本語読本』  
発刊の周辺ー」『2007 年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 2026) 和泉司(2007) 「『国語』教育と日本語文学ー日本統治期台湾の日本語を巡ってー」『日本語  
と日本語教育』第 35 号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 2027) 泉文明(2007) 「戦後の日本語教育ー韓国の 1980 年代の高校日本語教科書を手がかりにー」  
『龍谷大学国際センター研究年報』第 16 号 龍谷大学国際センター
- 2028) 伊藤恵美子(2007) 「外国人留学生受入れの歩み、現状、そして今後の課題ー学部学生を中  
心に、日本語教育の観点からー」『下関市立大学論集創立 50 周年記念論文集』 下関市立  
大学学会
- 2029) 伊藤孝行(2007) 「タイにおける日本語教育の歴史、現状と課題」『国語研究』70 号 國學  
院大學国語研究会
- 2030) 伊藤龍平(2007) 「『臺灣教科用書國民讀本』の昔話資料ー日本統治下台湾の国語教科書と  
昔話(2)ー」『昔話伝説研究』27 号 昔話伝説研究会
- 2031) 猪野木伸介(2007) 「台湾総督府編纂国語教科書の分析ー第 1 期から第 5 期を通観してー」  
『中国語中国文化』第 4 号 日本大学中国学会
- 2032) 今田滋子(2007) 「日本語教育に導かれてー半世紀の歩みを通して願うことー」『日本語教  
育』135 号 日本語教育学会
- 2033) 岩上はる子(2007) 「日本学者 F.V.ディキンズの誕生ー1860 年代前半を中心にー」『英学史  
研究』40 号 日本英学史学会
- 2034) 岩見宮子(2007) 「文化庁委嘱地域日本語教育支援事業 5 年間の総括」『AJALT 日本語研  
究誌』第 3 号 国際日本語普及協会
- 2035) 呉季真(2007) 「明治期における日本語教科書の外来語ー『東語会話大成』を中心にー」『國

- 學院大學大学院文学研究科論集』第34号 國學院大學大学院文学研究科学生会
- 2036) 吳満(2007) 『『間島』における朝鮮人教育についてー1930年前後を中心にしてー』 『東アジア研究』 第47号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 2037) 植野弘子(2007) 「台湾における名前の日本化ー日本統治下の「改姓名」と「内地式命名」ー」 『アジア文化研究所研究年報』 42号 東洋大学アジア文化研究所
- 2038) 上田崇仁(2007) 『『放送教本初等国語講座』に見る『国語』教育』 崔吉城・原田環編(2007) 『植民地の朝鮮と台湾』 第一書房
- 2039) 上田崇仁(2007) 「ラジオ語学講座テキスト『初等国語講座』と国民学校教科書『ヨミカタ』の内容比較」 『徳島大学留学生センター紀要』 第3号 徳島大学留学生センター
- 2040) 上野昌之(2007) 「教育政策と母語衰退についての考察ー明治後半以降のアイヌ社会を中心にー」 『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』 第14号ー2 早稲田大学大学院教育学研究科
- 2041) 臼井湧二(2007) 「教育 ODA の現状分析ー南米日系地域社会活性化支援ー」 『CUC Policy Studies Review』 No.13 千葉商科大学大学院政策研究科
- 2042) 内海孝(2007) 「角田柳作のコロラド時代ーコロンビア大学「日本学」生誕前夜をめぐってー」 『東京外国語大学論集』 no.75 東京外国語大学
- 2043) 梅本順子(2007) 「井上靖の『おろしや国酔夢譚』ー漂流民と日本語教育ー」 『日本比較文学会東京支部研究報告』 4 日本比較文学会東京支部
- 2044) 江原裕美(2007) 「ブラジルにおける日本語教育の現状と課題」 『帝京大学外国語外国文学論集』 第13号 帝京大学第二外国語部会
- 2045) 大熊智之(2007) 「近代日本の言語学と植民地日本語普及論ー欧米との関係性からみる小倉進平の朝鮮へのまなざしー」 『北大史学』 47号 北大史学会
- 2046) 大澤広嗣(2007) 「巴利文化学院の対外活動ー戦時期における宗教宣撫工作の一時例としてー」 『近代仏教』 第14号 日本近代仏教史研究会
- 2047) 太田孝子(2007) 「植民地朝鮮における京畿高等女学校(上)」 『岐阜大学留学生センター紀要 2007』 岐阜大学留学生センター
- 2048) 大谷渡(2007) 「記憶の中の台湾と日本ー統治下において高等教育を受けた人びとー」 『關西大學文學論集』 第56巻第4号 關西大学
- 2049) 大谷渡(2007) 「記憶の中の台湾と日本(2)ー統治下において高等教育を受けた人びとー」

『關西大學文學論集』第 57 卷第 2 号 關西大学

- 2050)甲斐雄一郎(2007)「読書科用教科書からみた『台湾教科用書国民読本』の教材選択」『第 112 回全国大学国語教育学会発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 2051)柿木重宜(2007)「1900 年前後における日本語教育と言語学の関係について」『2007 年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 2052)片桐史尚・宇田川のり子(2007)「台湾における『国語教育』、流暢な日本語の背景」『月刊日本語』2007 年 1 月号 アルク
- 2053)金沢朱美(2007)「岡倉由三郎におけるオレンドルフ教授法の受容の考察」『日本語と日本文学』第 44 号 筑波大学国語国文学会
- 2054)かねこ・ひさかず(2007)「日本語教育をはじめたころのわたしのおもいで」『国文学解釈と鑑賞』第 73 卷 1 号 至文堂
- 2055)金子昌嗣(2007)「『角田柳作記念文庫』(文庫 27)について」『ふみくら 早稲田大学図書館報』75 号 早稲田大学図書館
- 2056)川上尚恵(2007)「占領下の北京特別市における市公署職員を対象とした日本語教育—語学奨励試験と日本語クラスを中心に—」『日本語教育』132 号 日本語教育学会
- 2057)川上尚恵(2007)「日本占領下の中国華北地方における日本語学校—北京近代科学図書館付属日本語学校と新民教育館付属日本語学校—」日本植民地教育史研究会(2007)『植民地教育史研究年報第 9 号 植民地言語教育の虚実』 皓星社
- 2058)川口敦子(2007)「イエズス会ローマ文書館所蔵 慶長九年九月二十七日付ローマ字書簡の日本語表記」『長崎大学教育学部紀要. 人文科学』73 号 長崎大学
- 2059)川口敦子(2007)「イエズス会ローマ文書館所蔵ジェロニモ・ロドリゲス宛書簡の日本語表記」『国語と教育』第 32 号 長崎大学
- 2060)河口充勇(2007)「同志社と台湾留学生——〇〇年の軌跡—」『評論・社会科学』第 83 号 同志社大学社会学会
- 2061)河路由佳(2007)「長沼直兄による敗戦直後の日本語教師養成講座—1945 年度後半・『日本語教育振興会』から『言語文化研究所』へ—」『日本語教育研究』第 52 号 (財)言語文化研究所
- 2062)河路由佳(2007)「立体的理解を可能にするオーラル資料と文字資料の併用—1942 年度・1943 年度のタイ国招致学生事業における在日タイ国留学生に関する調査研究の事例から—」『日本オーラル・ヒストリー研究』第 3 号 日本オーラル・ヒストリー学会

- 2063)川島真(2007)「日本占領期華北における留日学生をめぐる動向」『中国研究月報』714号  
(社)中国研究所
- 2064)北川知子(2007)「朝鮮総督府編纂『普通学校国語読本』が語ること」日本植民地教育史研究会(2007)『植民地教育史研究年報第9号 植民地言語教育の虚実』 皓星社
- 2065)北村嘉恵(2007)「蕃童教育所における就学者増大の具体相」駒込武・橋本伸也編(2005)『帝国と学校』昭和堂
- 2066)菊池恵輔、モハマド・ガザリ・ビン・タイブ(2007)「マレーシアの東方政策と日本への留学生派遣—マハティールの政策構想を中心に—」『日本語教育論集』第16号 姫路獨協大学大学院言語教育研究科日本語教育コース
- 2067)金義泳(2007)「日本語教育の受け手側の視点から制作された日本語教材の分析—韓国開化期の日本語学習書を中心に—」『杏林大学国際交流センター—杏林大学日本語教育研究』2号 杏林大学国際交流センター
- 2068)久津間幸子・関正昭(2007)「松本亀次郎編集代表『日本語教科書』編纂のプロセス」『東海大学紀要留学生教育センター』第27号 東海大学
- 2069)國岡洋亮(2007)「「彼我思想交通」と伊沢修二の言語研究」『新人文学』第四号 北海学園大学大学院文学研究科
- 2070)合津美穂(2007)「台湾公学校の「国語科」教科課程」日本植民地教育史研究会(2007)『植民地教育史研究年報第9号 植民地言語教育の虚実』 皓星社
- 2071)小島勝(2007)「第二次世界大戦前の中国東北地域における日本仏教教団の日本語教育」木場明志・程舒偉編(2007)『植民地期満洲の宗教—日中両国の視点から語る—』柏書房
- 2072)小林敏宏・音在謙介(2007)「「英語教育史学」原論のすすめ—英語教育史研究の現状分析と今後の展開への提言—」『人文・自然・人間科学研究』第17号 拓殖大学人文科学研究所
- 2073)駒走昭二(2007)「ゴンザの出身地に関する一考察」『人文研究』No.163 神奈川大学人文学会
- 2074)近藤健一郎(2007)「宮良長包作詞作曲「発音唱歌」(1919年)とその周辺(中)—宮良長包の教育論考に注目して—」『南島文化研究』第29号 沖縄国際大学南島文化研究所
- 2075)齋藤智哉(2007)「西尾実における国語教育観の転換—植民地視察による「話しことば」の再発見—」『国語科教育』第61集 全国大学国語教育学会

- 2076)酒井恵美子(2007)「台湾総督府編纂国語読本の編纂方針—使用語彙の選択をめぐって—」『社会科学研究』第27巻第2号 中京大学社会科学研究所
- 2077)酒井順一郎(2007)「宏文学院に於ける日本語教育実態—近代日本語と清国人日本留学生学習観—」『2007年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 2078)酒井順一郎(2007)「明治期に於ける近代日本語教育—宏文学院を通して—」『総合日本文化研究実践教育プログラム 特集号』総合研究大学院大学
- 2079)坂本哲平(2007)「松本亀次郎『言文対照漢訳日本文典』の文法—三土忠造・三矢重松との比較から—」『国語研究』第70号 國學院大學国語研究会
- 2080)桜井隆(2007)「日本の社会言語学—その歴史と研究領域—」『ことばと社会』編集委員会編『ことばと社会』10号 三元社
- 2081)佐治圭三・李翠霞・顧明耀・劉柏林(2007)「座談会 中国の日本語教育の移り変わり」愛知大学現代中国学会編『中国21』vol.27 愛知大学現代中国研究会
- 2082)佐藤広美(2007)「国定国語教科書と植民地—指定討論者としての発言から—」日本植民地教育史研究会(2007)『植民地教育史研究年報第9号 植民地言語教育の虚実』 皓星社
- 2083)真田信治(2007)「戦前の南洋群島における日本語教育を垣間見る—N氏へのインタビューを通して—」加藤正信・松本宙編(2007)『国語論究第13集 昭和前期日本語の問題点』 明治書院
- 2084)真田信治・簡月真(2007)「東アジアに残留する日本語」大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文学」研究報告書『言語の接触と混交』 大阪大学
- 2085)椎名和男(2007)「忘れ得ぬ先達の思い出と若き人々への期待」『日本語教育』135号 日本語教育学会
- 2086)柴田幹夫(2007)「シンガポール本願寺と日本語学校」『環日本海研究年報』第14号 新潟大学大学院現代社会文化研究科環日本海研究室
- 2087)柴田幹夫(2007)「戦前のシンガポールにおける日本語学校について」『国際センター紀要』第3号 新潟大学国際センター
- 2088)嶋津拓(2007)「戦前戦中期における文部省直轄学校の「特設予科」制度について—長崎高等商業学校を事例として—」『長崎大学留学生センター紀要』第15号 長崎大学留学生センター



- 2089)嶋津拓(2007)「戦前戦中期における文部省直轄学校の「特設予科」の留学生教育について—長崎高等商業学校の場合—」『長崎大学留学生センター紀要』第15号 長崎大学留学生センター
- 2090)下瀬川慧子(2007)「ロシアで出版された日本語教育文献—1945年までの文献一覧表—」『東海大学紀要留学生教育センター』第27号 東海大学
- 2091)許時嘉(2007)「植民地体制における「文明」の両義性—『台湾協会会報』の二言語使用の明暗構造への分析を通して—」『日本台湾学会報』第9号 日本台湾学会
- 2092)白土悟(2007)「中国の中央政府及び民族自治区政府における留学派遣政策の考察」『九州大学留学生センター紀要』第15号 九州大学留学生センター  
※「土」は右上に「丶」のある異体字。
- 2093)孫峰茗(2007)「清末日本留学女子学生から見る明治良妻賢母主義教育の影—『中国新女界雑誌』を通して—」『言葉と文化』第8号 名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻
- 2094)大東仁(2007)「占領下南京の宗教工作」『東アジア研究』第48号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 2095)武島良成(2007)「日本占領期のビルマにおける「ビルマ化」政策」『京都教育大学紀要』第110号 京都教育大学
- 2096)武田里子(2007)「日本の留学生政策の歴史的推移—対外援助から地球市民形成へ—」『日本大学大学院総合社会情報研究科紀要』第7号 日本大学大学院総合社会情報研究科
- 2097)竹本英代(2007)「初代校長フランク・ミュラーと日語学校の教育」『福岡教育大学紀要』第56号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 2098)ダニエル・ロング・小松恭子・新井正人・米田早希(2007)「サイパンの日本語について—実態調査の中間報告—」『人文学報』No.382 首都大学東京都市教養学部人文・社会系／東京都立大学人文学部
- 2099)江秀姿(2007)「『国民讀本参照國語科話方教材』改正版について—構文の分析を中心に—」『久留米大学大学院比較文化研究論集』21号 久留米大学大学院比較文化研究科
- 2100)崔学松(2007)「「満洲国」期における戦時体制確立にむけての教育変遷と日本語普及—一橋研究編集委員会編(2007)『一橋研究』第32巻第1号 一橋大学
- 2101)諸点淑(2007)「植民地朝鮮における日本仏教の社会事業に関する一考察—真宗大谷派の

- 「向上会館」を事例として一『立命館史學』28 立命館大学史学会
- 2102)陳虹彪(2007)「日本植民地統治下の台湾教育会に関する歴史的研究」梶山雅史編著(2007)『近代日本教育会史研究』学術出版会
- 2103)陳虹彪(2007)「日本統治下台湾における「国語」という教科の成立と伊沢修二」『教育思想』第34号 東北教育哲学教育史学会
- 2104)周一川(2007)「近代日本に留学した中国人の総数をめぐって—1922～1936年度のデータに関する調査—」『中国研究月報』703号 (社)中国研究所
- 2105)周萍萍(2007)「日本における清国女子留学生と中国の近代女子教育」『國學院大學大学院紀要—文学研究科—』第39輯 國學院大學大学院
- 2106)槻木瑞生(2007)「満洲国時代の宗教団体の活動と教育」『東アジア研究』第48号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 2107)槻木瑞生(2007)「満洲国の学校制度が成立するまでの状況—近代中国延吉県地域史研究—」『アジア教育史研究』第16号 アジア教育史学会
- 2108)土屋美代子(2007)「日本語研修センターから日本語学校へ：その歩み—長期コースを中心として—」『拓殖大学日本語紀要』第17号 拓殖大学国際部
- 2109)富田哲(2007)「数値化された日本語話者—日本統治初期台湾における統計と日本語—」『社会言語学』第7号 「社会言語学」刊行会
- 2110)虎尾達哉(2007)「アストン旧蔵和書とアーネスト・サトウ・ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について・断章—」『地域政策科学研究』第4号 鹿児島大学大学院人文社会科学科博士後期課程地域政策科学専攻
- 2111)虎尾達哉(2007)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(6)」『人文学科論集』第65号 鹿児島大学法文学部
- 2112)虎尾達哉(2007)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(7)」『人文学科論集』第66号 鹿児島大学法文学部
- 2113)中田敏夫(2007)「植民地「国語」(日本語)教科書は何を語るか—台湾総督府編纂国語教科書からみた「内地化」の限界—」日本植民地教育史研究会(2007)『植民地教育史研究年報』第9号 植民地言語教育の虚実』 皓星社
- 2114)中田敏夫(2007)『台湾教科用書国民読本』の語彙の特徴『国語国文学報』第65集 愛知教育大学国語国文学研究室

- 2115)長沼美奈子(2007)「人流インタビューーこの人に聞く(84)日本語学校の先駆的な役割を果たしてきた「ナガヌマスクール」を引き継いできた(財)言語文化研究所常務理事長沼美奈子さんー」『国際人流』244号 入管協会
- 2116)中野真樹(2007)「松本亀次郎著『漢訳日本語会話教科書』の仮名づかいー長音表記を中心としてー」『日本語の研究』第3巻4号 日本語学会
- 2117)中野真樹(2007)「明治期日本語教科書『日語新編』の仮名づかいについて」『國學院大學大学院紀要ー文学研究科ー』第39輯 國學院大學大学院
- 2118)夏目賢一(2007)「第一高等学校における留学生教育の再編と日中関係ー特設予科および特設高等科の事例、一九〇八ー一九三七年ー」『東京大学史紀要』第25号 東京大学史資料室
- 2119)南勇(2007)「近代中国の言語意識と「日本語」ー中国留学生が編纂した初期日本語教科書をめぐってー」『成城文芸』第198号 成城大学文芸学部
- 2120)西尾瑛子(2007)「AJALT 創立 30 年にあたって」『AJALT』No.30 (社)国際日本語普及協会
- 2121)西尾瑛子(2007)「日本語教育界 30 年の歩みの中からー対象別日本語教育の開発ー」『日本語教育』135号 日本語教育学会
- 2122)仁田義雄(2007)「ローマ字文法の系譜」『日本語・日本文化研究』第17号 大阪外国語大学日本語講座
- 2123)縫部義憲(2007)「「日本語教育」の研究の動向と展望」『日本教科教育学会誌』第30巻第1号 日本教科教育学会
- 2124)根川幸男(2007)「サンパウロ市リベルダーデ地区における戦前・戦中期の日系教育機関ーエスニックコミュニティ母語学校としての役割に注目してー」『龍谷大学経済学論集』第46巻第5号 龍谷大学経済学会
- 2125)胡穎(2007)「明治末期における中国人留学生教育実態に関する考察ー宏文学院の教育実績を踏まえながらー」『比較文化史研究』8 比較文化史学会
- 2126)深川治道(2007)「天理教の日本語教育史(6)華南の日本語学校について(その1)天理廈門日語講習所」『天理大学おやさと研究所年報』第13号 天理大学おやさと研究所
- 2127)深川治道(2007)「天理教の日本語教育史(7)華南の日本語学校について(その2)広州天理日語学校と香港天理日語学校」『天理大学おやさと研究所年報』第14号 天理大学おやさと

研究所

- 2128)二見剛史(2007)「中国人留学生教育の父・松本亀次郎」モラロジー研究所出版部編(2007)『至誠に生きた日本人』廣池学園事業部
- 2129)本田弘之(2007)「教科書にみる 1970 年代の中国の日本語教育」『杏林大学国際交流センター杏林大学日本語教育研究』2号 杏林大学国際交流センター
- 2130)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (1) 日本語教育史研究の意義」『グローバル天理』第8巻第1号 天理大学おやさと研究所
- 2131)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (2) 「直接法」イデオロギー」『グローバル天理』第8巻第2号 天理大学おやさと研究所
- 2132)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (3) 戦時下台湾の成人用日本語教科書」『グローバル天理』第8巻第3号 天理大学おやさと研究所
- 2133)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (4) 「内地」在住朝鮮人への日本語教育」『グローバル天理』第8巻第4号 天理大学おやさと研究所
- 2134)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (5) 日本語基本語彙の選定」『グローバル天理』第8巻第5号 天理大学おやさと研究所
- 2135)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (6) 日本語教師の資質」『グローバル天理』第8巻第6号 天理大学おやさと研究所
- 2136)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (7) 軍事占領下の日本語教育」『グローバル天理』第8巻第7号 天理大学おやさと研究所
- 2137)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (8) 日本人用対訳会話書」『グローバル天理』第8巻第8号 天理大学おやさと研究所
- 2138)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (9) 日本語教育と歌」『グローバル天理』第8巻第9号 天理大学おやさと研究所
- 2139)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (10) 留学生の資質」『グローバル天理』第8巻第10号 天理大学おやさと研究所
- 2140)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (11) 日本統治下台湾の教育の虚実」『グローバル天理』第8巻第11号 天理大学おやさと研究所
- 2141)前田均(2007)「日本語教育の歴史、その光と陰 (12) 日本語教科書の中の虚構とその弊害」『グローバル天理』第8巻第12号 天理大学おやさと研究所

- 2142)松永典子(2007)「『総力戦』下の人間形成—「拓南塾」の人材養成を中心に—」『比較社会文化：九州大学大学院比較社会文化研究科紀要』第13巻 九州大学大学院比較社会文化研究科
- 2143)松本久美子・永井智香子(2007)「長崎大学留学生センターにおける日本語教育の10年を振り返って—“研修コース”の変化を中心に—」『長崎大学留学生センター紀要』第15号 長崎大学留学生センター
- 2144)三上聖治・竹森幸一・浅田豊・仁平将(2007)「ミクロネシア連邦ポンペイ島における健康や病気に関連した日本語由来のポナペ語についての一考察」『弘前学院大学看護紀要』第2巻 弘前学院大学看護学部
- 2145)三沢伸生(2007)「最初の日本人ムスリム—野田正太郎(1868—1904年)—」『日本中東学会年報』23-1号 日本中東学会
- 2146)宮城由美子(2007)「成城学校と中国人留学生についての一考察」『佛教大学大学院紀要』第35号 佛教大学
- 2147)宮脇弘幸(2007)「南洋群島『国語読本』は何を語るか」日本植民地教育史研究会(2007)『植民地教育史研究年報第9号 植民地言語教育の虚実』 皓星社
- 2148)宗村高満(2007)「一九二〇～三〇年代の中国人鉄道留学生」『大正大学大学院研究論集』第31号 大正大学企画広報室
- 2149)村上呂里(2007)「小学校「国語科」成立と沖縄地域—「普通語」概念に着目して—」『国語教育史研究』第8号 国語教育史学会
- 2150)モハマド・ガザリ・ビン・タイブ(2007)「マレーシアにおける日本語教育—現地化に向かう現状と歴史的変遷—」『日本語・日本文化研究』第17号 大阪外国語大学日本語講座
- 2151)諸星美智直(2007)「宏文学院教授菊池金正と会話型日本語教科書『漢訳学校会話篇』」『國學院雑誌』第108巻第11号 國學院大学総合企画部
- 2152)諸星美智直(2007)「明治期における日本語学習辞典としての難波常雄編『日本読書作文辞典』」国語語彙史研究会編(2007)『国語語彙史の研究 26』和泉書院
- 2153)八木正自(2007)「Bibliotheca Japonica(117)パジェスの日本研究と辞書編纂」『日本古書通信』72巻9号 日本古書通信社
- 2154)安田敏朗(2007)「戦前・戦中時の外地(漢字文化圏)における日本語教育」加藤正信・松本宙編(2007)『国語論究 第13集 昭和前期日本語の問題点』明治書院

- 2155)山口幸二(2007)「アジア断想(五)」『りべるたす』第20号 りべるたすの会
- 2156)山下早代子・松尾慎(2007)「台湾台中霧峰郷『長青學苑』における日本語教育」『2007年度日本語教育学会秋季大会予稿集』 日本語教育学会
- 2157)山下達也(2007)「植民地朝鮮における「内地人」教員の多様性—招聘教員と朝鮮で養成された教員の特徴とその関係—」『日本の教育史学』第50集 教育史学会
- 2158)山下達也(2007)「植民地朝鮮における「内地人」教員の役割」『九州教育学会研究紀要』第34巻 九州教育学会
- 2159)山田美香(2007)「日本植民地下台湾における少年犯罪と教育」名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究』第7号 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
- 2160)山本一生(2007)「南満洲教育会の台湾視察—「角板山蕃童教育所」を訪問した満洲教員—」日本植民地教育史研究会(2007)『植民地教育史研究年報第9号 植民地言語教育の虚実』皓星社
- 2161)吉永亮子(2007)「クルチウス「日本語文典例証」にみる江戸時代の長崎方言」『文化環境研究』第1巻 長崎大学
- 2162)李宛儒(2007)「日本統治下の台湾演劇—総督府が奨励した青年劇と皇民化劇をみる—」『言葉と文化』第8号 名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本語文化専攻
- 2163)劉晏君(2007)「日本統治時代の台湾の同化政策における「説話」の機能—1913(大正2)年の『公学校用国民読本』に着目して—」『人文科教育研究』第34号 人文科教育学会
- 2164)ワジム・クリモフ(2007)「最初の駐日ロシア領事、ヨシフ・アントノヴィチ・ゴシケヴィチ」『東京大学史料編纂所研究紀要』第17号 東京大学
- 2165)渡辺洋介(2007)「シンガポールにおける皇民化教育の実相—日本語学校と華語学校の比較を中心に—」池田浩士編(2007)『大東亜共栄圏の文化建設』 人文書院
- 2166)王曉秋(2007)「日本へ留学する中国人留学生の110年間にわたる歴史の回顧と啓発をめぐって」『国際日本学』4 法政大学国際日本学研究センター
- 2167)饗場淳子(2008)「意味分野の観点から見た土居光知「基礎日本語」—「体の類」の語を中心に—」『早稲田日本語研究』17号 早稲田大学日本語学会
- 2168)安里のり子(2008)「奥村多喜衛と日本語学校論争」同志社大学国際センター(2008)『同志社・ハワイ・日本—知られざる日米交流史—』同志社大学

- 2169)安部清哉・土田滋・新居田純野(2008)「アタヤル語(泰雅語)の寒溪方言に入った日本語—台湾原住民言語能力試験問題における—」『東洋文化研究』第10号 学習院大学東洋文化研究所
- 2170)安志英(2008)「幕末の日本語会話書における命令表現の訳し方について—『KUAIWA HEN』を中心に—」『立教大学大学院日本文学論叢』第8号 立教大学大学院文学研究科日本文学専攻
- 2171)Andrew B. Wertheimer(2008)「アメリカの強制収容所内での文化空間の創造—浅野七之助とトパーズ日本語図書館 1943-1945—」『日本図書館情報学会誌』Vol.54, No.1 日本図書館情報学会
- 2172)家入博徳(2008)「明治期日本語教科書『日語新編』における二人称代名詞—非母語話者の教科書制作意識—」『國學院大學大学院文学研究科論集』第35号 國學院大學大学院文学研究科学生会
- 2173)泉文明(2008)「植民地支配下および解放後の日本語教育—日本語教科書と韓国人からの聞き取りをてがかりに—」『龍谷紀要』第9巻第2号 龍谷大学龍谷紀要編集会
- 2174)泉史生(2008)「戦前の台湾における学校関係資料の紹介—台湾の小学校に現存する日本時代の学校関係文書類—」『言語と交流』第11号 言語と交流研究会
- 2175)伊月知子(2008)「中国の高等教育日本語専攻用教科書『大学日語』と『新大学日本語』—教科書の比較から日本語教育の変容を探る—」『愛媛大学国際交流センター報』2 愛媛大学国際交流センター
- 2176)伊藤龍平(2008)「『公學校用國民讀本』の昔話資料—日本統治下台湾の国語教科書と昔話(3)—」『昔話伝説研究』28号 昔話伝説研究会
- 2177)伊藤龍平(2008)「日本語教育と昔話絵本—台湾の事例から—」『昔話伝説研究』28号 昔話伝説研究会
- 2178)上田和子・羽太園・三浦多佳史・矢沢理子(2008)「専門日本語研修と関西国際センターの10年」『専門日本語教育研究』第10号 専門日本語教育学会
- 2179)上田和子(2008)「日本語研修にかかわる人々が育んだ関西国際センターの10年」『をちこち』No.23 国際交流基金
- 2180)上田崇仁(2008)「朝鮮総督府「国語読本」と国定「国語読本」を比較して見えるもの」『徳島大学留学生センター紀要』第3号 徳島大学留学生センター

- 2181)上田崇仁(2008)「日本語初習時期に注目して」『韓国研究センター年報』第8号 九州大学韓国研究センター
- 2182)宇治郷毅(2008)「同志社に学んだ留学生—戦前同志社大学の朝鮮留学生を中心に—」同志社大学教育文化学研究室編著(2008)『教育文化学への挑戦【第2版】』明石書店
- 2183)宇都宮めぐみ(2008)「近代日本の女子高等教育と外国・植民地出身留学生—同志社女学校と一九二四(大正一三)年皇后行啓を中心に—」『日本史研究』555号 日本史研究会
- 2184)宇野有介(2008)「16世紀来日キリシタンの言語習得プロセスの研究について—その前提としての方法論上の問題点を中心に—」『アジア文化研究』15号 国際アジア文化学会
- 2185)遠藤智夫(2008)「Medhurst『英漢字典』と『英和对訳袖珍辞書』—日中語彙交流の視点から—」『アジア文化交流研究』第3号 関西大学東西学術研究所アジア文化交流研究センター
- 2186)大河原尚(2008)「コミュニティ作りの実践としての日本語プログラム・コーディネーター—大東文化大学別科での11年間(1997—2007)を振り返って—」『大東文化大学別科論集 別科日本語教育』第9号 大東文化大学別科日本語研修課程
- 2187)大澤広嗣(2008)「戦時期ビルマにおける宣撫活動と日本人仏教者—上田天瑞を中心に—」『宗教学論集』第27輯 駒沢宗教学研究会
- 2188)大澤広嗣(2008)「ビルマ占領と仏教対策—東洋大学出身者の動向を中心として—」『アジア文化研究所研究年報』第43号 東洋大学アジア文化研究所
- 2189)大橋敦夫(2008)「ハワイ大学所蔵の日本語教科書について」『上田女子短期大学紀要』第31号 上田女子短期大学
- 2190)岡田祥平(2008)「『標準語』の多様性を認める言説についての覚書—特に1940年前後に注目して—」『阪大日本語研究』第20号 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座
- 2191)小川蒼子美(2008)「学术交流と広報活動」池田哲郎編(2008)『日本語の探求—限りなきことばの知恵—村山七郎先生生誕百年記念論文集』北斗書房
- 2192)金沢朱美(2008)「アーネスト・サトウと日本語研究—『会話篇』を中心に—」『目白大学人文学研究』第4号 目白大学
- 2193)金沢朱美(2008)「馬場辰猪 “An Elementary Grammar of the Japanese Language” —動詞分類の特徴ならびに出現背景についての考察を中心に—」『日中学術研究誌』第2巻1号 日中学術交流振興学会



- 2194)金子弘(2008)「ライデン大学蔵のホフマン蔵書について」『日本語日本文学』第18号 創価大学日本語日本文学会
- 2195)金光美千代・鳥光玲子(2008)「進学科の歩みと現況」『日本語教育研究』第54号 (財)言語文化研究所
- 2196)川口敦子(2008)「イエズス会ローマ文書館所蔵レオナルド木村によるローマ字書簡の日本語表記」『国語と教育』第33号 長崎大学
- 2197)川口幸宏(2008)「植民地下朝鮮における同化教育実践研究試論」『東洋文化研究』第10号 学習院大学東洋文化研究所
- 2198)河路由佳(2008)「長沼直兄らによる戦後早期の日本語教育のための調査研究—1945-1946「日本語教育振興会」から「言語文化研究所」へ(その2)—」『日本語教育研究』第53号 (財)言語文化研究所
- 2199)川島真(2008)「華北における『文化工作』と日本の位相」平野健一郎編『日中戦争期の中国における社会・文化変容 東洋文庫論叢第69』東洋文庫
- 2200)川名巻(2008)「日本の南方占領地「ビルマ」における日本語教育」『比較文化研究』No.83 日本比較文化学会
- 2201)菅野和郎(2008)「植民地期台湾における初等教育用国語教材にみる博物館」『玉川大学教育博物館紀要』第5号 玉川大学教育博物館
- 2202)菊池一隆(2008)「日本国内における在日中国・「満洲国」留学生の対日抵抗について—戦時期、日本華僑史研究の一環として—」『人間文化』第23号 愛知学院大学人間文化研究所
- 2203)金英美(2008)「韓国の大学における日本語教育学科のカリキュラムの変遷について—専攻科目の分析を中心に—」『アジア教育史研究』第17号 アジア教育史学会
- 2204)郭俊海(2008)「日本占領下のシンガポールにおける日本語の普及—「The Syonan Times」における「Nippon Lesson」、「Radio Nippon-Go Lesson」及び日本語普及に関する重要記事索引—」『九州大学留学生センター紀要』第17号 九州大学留学生センター
- 2205)楠家重敏(2008)「アーネスト・サトウの幕末・明治初期の読書ノート—サトウ研究の20年—」『杏林大学外国語学部紀要』第20号 杏林大学外国語学部
- 2206)久保田優子(2008)「近現代韓国の日本語教育—簡易学校について—」『九州産業大学国際文化学部紀要』第39号 九州産業大学国際文化学会

- 2207)桑原哲朗(2008)「芦田恵之助読み方教授における教育者の堪能の考察」『第114回全国大学国語教育学会発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 2208)古田島洋介(2008)「梁啓超『和文漢読法』(盧本)簡注—復文を説いた日本語速習書—」『明星大学研究紀要. 日本文化学部・言語文化学科』第16号 明星大学
- 2209)酒井恵美子(2008)「植民地編纂教科書の中の隠されたカリキュラム」『社会科学研究』第28巻第1号 中京大学社会科学研究所
- 2210)坂本哲平(2008)「明治期日本語教科書『東語会話大成』におけるイルとオルの諸相」『國學院大學大学院文学研究科論集』第35号 國學院大學大学院文学研究科学生会
- 2211)笹栗淳子(2008)「長崎純心大学日本語教員養成課程の概要と実績」『純心人文研究』第14号 長崎純心大学
- 2212)紀旭峰(2008)「大正期台湾人「内地留学生」と近代台湾—早稲田大学専門部政治経済科を中心として—」『アジア太平洋研究科論集』第16号 早稲田大学アジア太平洋研究センター・大学院アジア太平洋研究科出版・編集委員会
- 2213)紀旭峰(2008)「大正期台湾人留学生寄宿舎高砂寮の設置課程」日本歴史学会編『日本歴史』第722号 吉川弘文館
- 2214)島田めぐみ・本田正文(2008)「日本語新聞に見るハワイ日本語の特徴」『東京学芸大学紀要 総合教育科学系』第59集 東京学芸大学
- 2215)嶋津拓(2008)「国際文化交流事業としての「日本語の普及」—その変遷と現状—」『比較教育学研究』第37号 日本比較教育学会
- 2216)嶋津拓(2008)「日本文化理解の促進を目的とした日本語普及の言語観—1970年代前半期における対韓国事業の場合—」『言語政策』4 日本言語政策学会
- 2217)許時嘉(2008)「国語としての日本語から言語としての日本語へ—戦前から戦後に至るまでの台湾人の日本語観に関する一考察(1895~1946年)—」『言葉と文化』第9号 名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本言語文化専攻
- 2218)白土悟(2008)「現代中国初期における留学生帰国政策の考察」『九州大学留学生センター紀要』第16号 (※)「土」は右上に「丶」のある異体字。
- 2219)新保敦子(2008)「満洲国におけるモンゴル人女子青年教育—興安女子国民高等学校を中心として—」『東アジア研究』第50号 大阪経済法科大学アジア研究所

- 2220)関正昭(2008)「日本語教育のための文法」再考—「日本語教育文法」はいつから言われはじめたか—『東海大学紀要 留学生教育センター』第 28 号 東海大学留学生教育センター
- 2221)関正昭(2008)「日本語教師は学習者に日本語を教わる—日本語教育文法もそこから生まれた—」スリーエーネットワーク(2008)『2008 スリーエーネットワーク日本語・外国語図書目録』スリーエーネットワーク
- 2222)ソヨルジャブ(2008)「ハルピン学院の教えを胸に生きて」『文藝春秋 SPECIAL 平成二十年季刊秋号 素晴らしき日本語の世界』株式会社文藝春秋
- 2223)成玟珂(2008)「日本語資料としての朝鮮語会話書〔明治前期〕」『日本語の研究』第 4 巻 2 号 日本語学会
- 2224)高橋典史(2008)「ハワイの日系新宗教における信仰継承—天理教の教会長を事例に—」『宗教と社会』第 14 号 「宗教と社会」学会
- 2225)竹本英代(2008)「関東大震災後の日語学校の再建—大正期における宣教師に対する日本語教育をめぐる—」『キリスト教社会問題研究』第 56 号 同志社大学人文科学研究所
- 2226)田中寛(2008)「英国 ロンドン大学 SOAS 図書館所蔵の日本語稀少文献—戦時期(1930-1945)に刊行された文献の調査から—」日本植民地教育史研究会(2008)『植民地教育史研究年報第 10 号 植民地教育史研究会のこれから』 皓星社
- 2227)田淵七海子(2008)「ラオスにおける日本語教育事情—活動型初中級クラスにおける日本人学生との作文交換活動の実践報告を中心に—」『言語文化と日本語教育』36 号 お茶の水女子大学日本言語文化学会
- 2228)曹大峰(2008)「中国における日本語教科書作成—歩み・現状・課題—」『言語文化と日本語教育』第 35 号 お茶の水女子大学日本言語文化学会
- 2229)趙洪鳳(2008)「『満洲国』派遣留日学生の派遣地と学習学科に関する考察—1938 年—1942 年を中心として—」『教育基礎学研究』第 4 号 九州大学大学院人間環境学府教育哲学・教育社会史研究室
- 2230)張健華(2008)「『満洲国』朝鮮人における「国語」教育—黒龍江省地域を中心に—」『北海学園大学日本語教育研究』第一号 北海学園大学日本語教育研究会
- 2231)陳虹彬(2008)「1937 年以降における台湾人初学年生徒用の国語教科書について」日本植民地教育史研究会(2008)『植民地教育史研究年報第 10 号 植民地教育史研究会のこれか

ら』 皓星社

- 2232)周一川(2008)「中国人女性留学生のリテラシー—明治期を中心に—」『歴史評論』第696号 校倉書房
- 2233)土肥秀行(2008)「下位春吉とナポリの文芸誌「ラ・ディアーナ」—下位春吉伝(上)—」『イタリア図書』n.39 イタリア書房
- 2234)都通憲三郎(2008)「植民地期台湾における新教育の受容—構成式話し方教授法の開発と展開—」『現代台湾研究』第33号 台湾史研究会
- 2235)富田真菜(2008)「台湾公学校初期教科書についての一考察—尋常小學讀本との比較より—」『朝日大学留学生別科紀要』Vol.5 朝日大学留学生別科
- 2236)友沢昭江(2008)「日本と韓国における自国語普及施策の比較(試論)」『桃山学院大学総合研究所紀要』33巻3号 桃山学院大学総合研究所
- 2237)虎尾達哉(2008)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(8)」『人文学科論集』第67号 鹿児島大学法文学部
- 2238)永井智香子・松本久美子(2008)「長崎大学留学生センターにおける日本語補講コース(日本語一般プログラム)の変遷」『長崎大学留学生センター紀要』第16号 長崎大学留学生センター
- 2239)中川かず子(2008)「ジェームス・サマーズ—日本研究者・教育者としての再評価—」『北海学園大学人文論集』第41号 北海学園大学人文学部
- 2240)中川かず子(2008)「初級日本語教科書に見る言語教育観—近代以降の英語教育、日本語教育の接点からの考察—」『北海学園大学日本語教育研究』第一号 北海学園大学日本語教育研究会
- 2241)中島和男(2008)「「国語」と「国家」—近代日本の言語政策—」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第11輯 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 2242)永島広紀(2008)「戦時下の朝鮮における「醇正ナル国語」の再構成—「国語・国字問題」異聞—」『史境』56号 歴史人類学会
- 2243)中村重穂(2008)「日本語教育史研究方法論の再検討のために・その2—安田・松岡「論争」その他の問題に寄せて—」『北海道大学留学生センター紀要』第11号 北海道大学留学生センター
- 2244)中村重穂(2008)「興亜院派遣日本語教師の日本語教授法講義録に関する考察—資料:上野

- 通久『日本語教学法講習会「小学日本語読本 卷四」教授法講議草案』一』『北海道大学留学生センター紀要』第12号 北海道大学留学生センター
- 2245)仁科喜久子(2008)「専門日本語教育の10年と今後の課題ー日本語教育の立場からー」『専門日本語教育研究』第10号 専門日本語教育学会
- 2246)西原鈴子(2008)「小特集：国立国語研究所の60年 日本語教育」『日本語科学』24 国立国語研究所
- 2247)野世英水(2008)「近代真宗本願寺派の中国における活動」『印度學佛教學研究』第56巻第2号 日本印度學佛教學会
- 2248)長谷川寿子・小澤智子(2008)「MISとして占領下の日本に駐在した二世の体験談を聞く」『研究紀要』第2号 JICA 横浜海外移住資料館
- 2249)平田歩(2008)「日本語教員養成課程における教育実習の試み」『梅光学院大学論集』第41号 梅光学院大学
- 2250)胡穎(2008)「「清国留学生教育協議会」について」アジア文化編集委員会編(2008)『アジア文化』第30号 アジア文化総合研究所出版会
- 2251)福田須美子(2008)「日本への留学ー帝国女子専門学校に学んだ留学生ー」『相模英米文学』26号 相模女子大学英米文学会
- 2252)藤原秀之(2008)「角田柳作展 in ニューヨーク」『ふみくら 早稲田大学図書館報』77号 早稲田大学図書館
- 2253)藤原秀之(2008)「角田柳作展とその他の事業」『ふみくら 早稲田大学図書館報』76号 早稲田大学図書館
- 2254)前田均(2008)「台湾：1945年で変わったもの、変わらなかったものー言語と教育の面からー」『東アジア研究』第49号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 2255)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (13)『日本人化』しない日本語教育」『グローバル天理』第9巻第1号 天理大学おやさと研究所
- 2256)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (14) 国語改革と日本語教育」『グローバル天理』第9巻第2号 天理大学おやさと研究所
- 2257)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (15) さまざまな日本語」『グローバル天理』第9巻第3号 天理大学おやさと研究所
- 2258)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (16) 和文漢読法」『グローバル天理』第

9 卷第 4 号 天理大学おやさと研究所

- 2259)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (17) 続・和文漢読法」『グローバル天理』第 9 卷第 5 号 天理大学おやさと研究所
- 2260)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (18) 日本語の残存使用」『グローバル天理』第 9 卷第 6 号 天理大学おやさと研究所
- 2261)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (19) 日本語教師の資質[2]」『グローバル天理』第 9 卷第 7 号 天理大学おやさと研究所
- 2262)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (20) 対日戦のための日本語教育」『グローバル天理』第 9 卷第 8 号 天理大学おやさと研究所
- 2263)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (21) ローマ字運動と日本語教育」『グローバル天理』第 9 卷第 9 号 天理大学おやさと研究所
- 2264)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (22) 戦前・戦中・戦後を貫く歴史」『グローバル天理』第 9 卷第 10 号 天理大学おやさと研究所
- 2265)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (23) 戦前・戦中・戦後を貫く歴史②」『グローバル天理』第 9 卷第 11 号 天理大学おやさと研究所
- 2266)前田均(2008)「日本語教育の歴史、その光と陰 (24) 戦前・戦中・戦後を貫く歴史③」『グローバル天理』第 9 卷第 12 号 天理大学おやさと研究所
- 2267)松本茂章(2008)「10 周年を迎えたパリ日本文化会館の活動－官民協働の視点から－」『同志社政策科学研究』第 10 卷第 2 号 同志社大学大学院総合政策科学会
- 2268)松本隆(2008)「S.R.ブラウンが *Colloquial Japanese* に描いた居留地貿易」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要』31 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター
- 2269)三沢伸生・ Akcadag Goknur(2008)「オスマン朝における日本語教育の創始(1981 年～92 年)－陸軍士官学校における野田正太郎の講義－」『東洋大学社会学部紀要』第 46-1 号
- 2270)三田牧(2008)「順応的な(?) 植民地経験－日本統治下パラオにおける公学校教育と子どもたち－」『日本文化人類学会研究大会発表要旨集 2008』日本文化人類学会
- 2271)三田牧(2008)「想起される植民地経験－「島民」と「皇民」をめぐるパラオ人の語り－」『国立民族学博物館研究報告』33 卷 1 号 国立民族学博物館
- 2272)三ツ井崇(2008)「日中戦争期以降の福井県における朝鮮人融和／統制団体の教育・教化事

業』『日韓相互認識』第1号 「日韓相互認識」研究会

- 2273)宗村高満(2008)「一九三七年以降の中国人警察留学生」『大正大学総合佛教研究所年報』第30号 大正大学総合佛教研究所
- 2274)村井万里子(2008)「作文指導を基礎とする小学校国語科教師養成カリキュラムの開発(1) —言語理論を拠点として—」『鳴門教育大学研究紀要』第23巻 鳴門教育大学
- 2275)村上嘉英(2008)「台日、日台辞典の歩み—日本台湾統治時代から『東方台湾語辞典』刊行まで—」『中国文化研究』第24号 天理大学
- 2276)村田昌巳(2008)「ヴィンチェンツォ・チマッティと日本語—研究序説—」『サレジオ工業高等専門学校研究紀要』第34号 サレジオ工業高等専門学校
- 2277)梅定娥(2008)「古丁における翻訳—その思想的変遷をさぐる—」『日本研究』第38集 国際日本文化研究センター
- 2278)物部ひろみ(2008)「戦間期ハワイにおける日系二世女子教育—日本語学校から料理講習会まで—」『立命館言語文化研究』20巻1号 立命館大学国際言語文化研究所
- 2279)森田健嗣(2008)「1950年代台湾における「失学民衆」への「国語」補習教育—元「日本人」の「中国化」の挫折—」『日本台湾学会報』第10号 日本台湾学会
- 2280)柳澤絵美(2008)「【連載】若手研究者現地調査レポート 北欧の日本語教育に今求められるもの—北欧教育を支える民主主義を背景に—」『BRED』No.12 ベネッセ教育総合研究所
- 2281)山田陽子(2008)「中国帰国子女と家族への日本語教育—1970年代に開始した村—」『名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究』第9号 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
- 2282)山本和行(2008)「台湾総督府学務部の人的構成について—国家教育社との関係に着目して—」『京都大学大学院教育学研究科紀要』第54号 京都大学大学院教育学研究科
- 2283)山本忠行(2008)「「だけ」の導入をめぐって—少量表現として教えたのはだれか?—」『創価大学別科紀要』第19号 創価大学別科日本語研修課程
- 2284)楊孟哲(2008)「日本時代台湾美術教育の研究—初期図画教育の各学制—」『地域研究』4号 沖縄大学地域研究所
- 2285)尹敬勳(2008)「日韓関係と教育政策—日本統治期の朝鮮総督府の教育政策の展開に関する歴史的考察—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』47巻 東京大学大学院教育学研究科

- 2286)劉晏君・甲斐雄一郎(2008)「〈資料〉日・台における国語教材の展開(1901～1941)」『人文科教育研究』第35号 人文科教育学会
- 2287)劉晏君(2008)「台湾公学校国語教科書(第三期)における教材選択の方針—国定国語教科書との比較を通して—」『第114回全国大学国語教育学会発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 2288)魯錦姫(2008)「中国朝鮮族学校における日本語教育の歴史的変遷と展望—中国東北地方の中等教育における日本語教育を中心に—」『フェリス女学院大学文学部多文化・共生コミュニケーション論叢』第3号 フェリス女学院大学多文化・共生コミュニケーション学会
- 2289)呂順長(2008)「清末中国人日本留学生俞大純の出自とその生涯—「留日反日論」にも関連して—」『四天王寺大学紀要』第46号 四天王寺大学
- 2290)王宝平(2008)「陶大均および甲午戦争以前に在日した日本語通訳たち」陶徳民・藤田高夫編(2008)『近代日中関係人物史研究の新しい地平』雄松堂出版
- 2291)有田佳代子(2009)「パーマーのオーラル・メソッド受容についての一考察—「実用」の語学教育をめぐる—」『一橋大学留学生センター紀要』第12号 一橋大学留学生センター
- 2292)有松しづよ(2009)「植民地朝鮮の大和塾と日本語教育」『国際教育文化研究』9 九州大学大学院人間環境学研究院国際教育文化研究会
- 2293)アレクサンドル・ディボフスキー(2009)「極東ロシアにおける日本研究と日本語教育の行方—東洋学院(1899—1920)の日本語学を中心に—」『言語文化研究』35 大阪大学言語文化部・大学院言語文化研究科
- 2294)飯高伸五(2009)「〈趣旨説明〉旧南洋群島における日本統治経験—文化的同化政策と現地住民—」『日本文化人類学会研究大会発表要旨集 2009』 日本文化人類学会
- 2295)飯高伸五(2009)「日本統治下パラオ、オギワル村落におけるギンザドーリ建設をめぐる植民地言説およびオーラルヒストリーに関する省察」『アジア・アフリカ言語文化研究』第77号 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 2296)泉史生(2009)「『日本語教授書』—植民地台湾における最初の日本語教授用図書—」『言語と交流』第12号 言語と交流研究会
- 2297)市嶋典子(2009)「日本語教育における「実践研究」論文の質的变化—学会誌『日本語教育』をてがかりに—」『日本語教育論集』第25号 国立国語研究所



- 2298)伊藤孝行(2009)「大正期日本語教科書ベルリッツ著『日本語教科書』のことば」近代語研究会編(2009)『日本近代語研究』5 ひつじ書房
- 2299)伊藤龍平(2009)「『公學校用國語讀本』の昔話資料—日本統治下台湾の国語教科書と昔話(4)」『昔話伝説研究』29号 昔話伝説研究会
- 2300)伊藤龍平(2009)「台湾における国語／日本語教育と昔話」石井正己編(2009)『台湾昔話の研究と継承—植民地時代からグローバル社会へ—：平成二〇年度広域科学教科教育学研究経費報告書』東京学芸大学
- 2301)伊藤龍平(2009)「昔話唱歌—唱歌劇と植民地台湾の国語教育—」『國學院雑誌』第110巻第11号 國學院大学総合企画部
- 2302)ウィリアム・F. リース(2009)「ジョーデン先生を偲ぶ」『国際文化会館会報』vol.20, No.1 国際文化会館
- 2303)ウィレム・J・ボート(2009)「ライデンにおける東アジア研究の由来と発展、1830-1945」『東アジア文化交渉研究』別冊4号 関西大学
- 2304)内海孝(2009)「角田柳作の基層—四女の星野富士子さん聞き書き—」『東京外国語大学論集』no.78 東京外国語大学
- 2305)エルザ・タエコ・ドイ(2009)「ブラジルの日本移民100年と日本語」エレナ・トイダ編(2009)『日系ブラジル人がみる日本移民100周年—日本ブラジル交流年記念シンポジウム—』上智大学イベロアメリカ研究所
- 2306)大内紀彦(2009)「イタリアにおける下位春吉の活動—雑誌『サクラ』による日本文学紹介を中心に—」『イタリア図書』n.41 イタリア書房
- 2307)大谷渡(2009)「記憶の中の台湾と日本(3)—統治下において高等教育を受けた人びと—」『關西大學文學論集』第58巻第4号 関西大学
- 2308)小川譽子美(2009)「黎明期の日本語教授者をめぐって—脇水鉄五郎とハンガリーの関わり—」池田哲郎編(2009)『ユーラシアの再発見—ユーラシア地域言語論—』京都産業大学
- 2309)梶重樹(2009)「レニングラード東洋大学とレニングラード日本学の弾圧」『専修人文論集』84 専修大学学会
- 2310)柏崎雅世(2009)「28年の日本語教育を振り返って」藤森弘子、花蘭悟、楠本徹也、宮城徹、鈴木智美編(2009)『日本語教育学研究への展望—柏崎雅世教授退職記念論集—』ひつ

- 2311)勝田耕起(2009)「大学における日本語教員養成カリキュラムの変遷」フェリス女学院大学編(2009)『日本語教育の現場—第7回フェリス女学院大学日本文学国際会議—』フェリス女学院大学
- 2312)金沢朱美(2009)「河原操子に関する追加資料—昭和元年撮影の写真を中心に—」『目白大学高等教育研究』第15号 目白大学
- 2313)金沢朱美(2009)「馬場辰猪『日本文典初歩』における練習問題の考察」『目白大学人文学研究』第5号 目白大学
- 2314)加納寛(2009)「戦時下日本による対タイ文化宣伝の一段面—『日泰文化』刊行をめぐって—」愛知大学現代中国学会編(2009)『中国21』第31巻 東方書店
- 2315)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第一回 学習者の多様化」『月刊日本語』2009年4月号 アルク
- 2316)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第二回 入管法改変」『月刊日本語』2009年5月号 アルク
- 2317)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第三回 技能実習制度」『月刊日本語』2009年6月号 アルク
- 2318)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第四回 年少者日本語教育」『月刊日本語』2009年7月号 アルク
- 2319)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第五回 地域日本語ボランティア」『月刊日本語』2009年8月号 アルク
- 2320)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第六回 外国人配偶者(女性)」『月刊日本語』2009年9月号 アルク
- 2321)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第七回 外国人集住都市会議」『月刊日本語』2009年10月号 アルク
- 2322)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第八回 経済連携協定(EPA)」『月刊日本語』2009年11月号 アルク
- 2323)神吉宇一(2009)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第九回 留学生30万人計画」『月刊日本語』2009年12月号 アルク

- 2324)河先俊子(2009)「朴正熙政権下における日本語教育の再開と現在—韓国人日本語教師の語りから—」『日韓文化交流基金 NEWS』第49号 (財)日韓文化交流基金
- 2325)河路由佳(2009)「1945年・1946年「日本語教育振興会」から「言語文化研究所」へ—附属東京日本語学校設立前史の「通説」再考—」『東京日本語学校開校60周年記念誌』(財)言語文化研究所附属東京日本語学校
- 2326)河路由佳(2009)「戦時中の鈴木忍・高橋一夫と日本語教育—1974年の座談会録音テープより(1)—」『東京外国語大学論集』第78号 東京外国語大学
- 2327)河路由佳(2009)「創立者長沼直兄(ながぬま・なおえ 1894~1973)年譜 財団法人言語文化研究所 附属東京日本語学校年表」『東京日本語学校開校60周年記念誌』(財)言語文化研究所附属東京日本語学校
- 2328)菊池一隆(2009)「「大東亜共栄圏」下の南洋華僑教育—マラヤ・「昭南」(シンガポール)を中心に—」『人間文化』第24号 愛知学院大学人間文化研究所
- 2329)北岡伸一(2009)「ジョーデン先生と SPENG1981」『国際文化会館会報』vol.20, No.1 国際文化会館
- 2330)北村一親(2009)「18世紀のアンドレイ・タタリノフ露和語彙集の研究(第2部)」『アルテス リベラレス』第84号 岩手大学人文社会学部
- 2331)北村一親・久保静佳・鳥谷部茜・中村あずさ・齋藤いく(2009)「ゴンザ、タタリノフ、レザノフ各語彙の比較研究」『アルテス リベラレス』第85号 岩手大学人文社会学部
- 2332)北村淳子(2009)「東京同文書院における初期日本語教育(明治32-34年)—チェンバレン本をめぐる—」『インターカルチュラル』第7号 日本国際文化学会
- 2333)木下昭(2009)「1930年代の在日フィリピン人留学生と国際関係—日本帝国によるソフト・パワー政策の一断面—」『東南アジア研究』47巻2号 京都大学東南アジア研究所
- 2334)金美麗・盧千恵(2009)「台湾人にとっての『昭和』」『正論』2009年9月号 産経新聞社
- 2335)久保田優子(2009)「第一次朝鮮教育令期の日本語(国語)教育について—普通学校を中心に—」『九州産業大学国際文化学部紀要』第42号 九州産業大学国際文化学会
- 2336)桑原哲朗(2009)「問うということ—芦田恵之助の表現思想—」『表現研究』第89号 表現学会
- 2337)合津美穂(2009)「第三期台湾読本にみる「内地化」と「台湾化」—第三期国定読本との比較を通じて—」『日本植民地・占領地の教科書に関する総合的比較研究：国定教科書との異同の観点をを中心に』文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書(研究種目：基盤研究

(B)・課題番号 18330171) 宮城学院女子大学

- 2338)小林幸江(2009)「東京外国語大学留学生日本語教育センターの歩み」藤森弘子、花蘭悟、楠本徹也、宮城徹、鈴木智美編(2009)『日本語教育学研究への展望—柏崎雅世教授退職記念論集—』ひつじ書房
- 2339)近藤健一郎(2009)「宮良長包作詞作曲「発音唱歌」(1919年)とその周辺(下)—発音矯正教育に関する歴史的視点から—」『南島文化』第31号 沖縄国際大学南島文化研究所
- 2340)近藤純子(2009)「日本語を教えるということ—山口喜一郎について考える—」近畿大学日本文化研究所編(2009)『日本文化の美と醜—その形式と融合—近畿大学日本文化研究所叢書四』風媒社
- 2341)斎藤修一(2009)「国際センター創設当時のことを知るよすがとして」『日本語と日本語教育』第37号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 2342)酒井順一郎(2009)「満洲國政府語學検定試験の歴史的意味—日本語試験を中心として—」『日本語教育』142号 日本語教育学会
- 2343)櫻井豪人(2009)「アーネスト・サトウ『会話篇』Part II 訳注稿(1)」『人文コミュニケーション学科論集』第7号 茨城大学人文学部
- 2344)貞松明子(2009)「教育実習付き日本語ボランティア養成講座—3年目の取り組み—」『佐賀大学留学生センター紀要』Vol.9 佐賀大学留学生センター
- 2345)Jenine Heaton(2009)「日本台湾統治初期下の教育—伊沢修二と芝山巖学堂—」『東アジア文化環流』第2編第2号 関西大学アジア文化交流研究センター
- 2346)島崎恵理子・関正昭(2009)「芦田恵之助編纂『普通学校国語読本』の二面性—日本語教育と国語教育双方の視点からの分析・考察—」『東海大学紀要 留学生教育センター』第29号 東海大学留学生教育センター
- 2347)嶋津拓(2009)「日本のオランダ語教育とオランダの日本語教育の変遷に関する—考察—長崎とライデンを中心に—」『長崎大学留学生センター紀要』第17号 長崎大学留学生センター
- 2348)嶋津拓(2009)「ニューサウスウェールズ州の後期中等教育修了試験の応募者数から見た日本語および日本語教育の位置の変遷について」『オーストラリア研究』22 オーストラリア学会
- 2349)下村作次郎(2009)「台湾研究、この10年、これからの10年、関西地区における台湾研究」『日本台湾学会報』第11号 日本台湾学会

- 2350) 経志江(2009)「中日国交断絶期の日本語高等教育機関」『日本教育学会大会研究発表要項』  
68 日本教育学会
- 2351) 関口勝(2009)「台湾における日治史研究の現状と伊沢修二の日本語教育について」亜細亜  
大学アジア研究所編(2009)『アジアの文化、特に思想・宗教・言語の多様性についての研  
究・その4』亜細亜大学アジア研究所
- 2352) 徐京植(2009)「母語と母国語の相克—在日朝鮮人の言語経験—」『人文自然科学論集』第  
126号 東京経済大学
- 2353) 工一仁(2009)「中国帰国者日本語教室を開設した拓殖大学—①その歴史的な背景と開設に  
至る経緯について—」『拓殖大学日本語紀要』第19号 拓殖大学留学生別科
- 2354) 竹本英代(2009)「宣教師の日本語学習—アメリカン・ボードの場合—」『キリスト教史学』  
第63集 キリスト教史学会
- 2355) 竹本英代(2009)「宣教師の日本語試験ノートに関する考察」『福岡教育大学紀要 第四分  
冊 教職科編』第58号 福岡教育大学
- 2356) 田中道治(2009)「別科の変遷—開設から2008年度まで—」『日本語・日本文化研究』第  
15号 京都外国語大学留学生別科
- 2357) 田村謙典(2009)「1910年前後の国語教育における「力」の概念の位相—芦田恵之助にお  
ける文学的文章を通じた「趣味」「人格」の育成—」『近代教育フォーラム』第18号 教  
育思想史学会
- 2358) 田村紀雄(2009)「建国大学時代の井口一郎—新聞学から弘報論へ—」『人文自然科学論集』  
第127号 東京経済大学
- 2359) 簡月真(2009)「台湾日本語に見られる「でしょ」の新用法」『社会言語科学』第11巻第2  
号 社会言語科学会
- 2360) 沈昌求・孫一善・崔應七・南始希・成倫慶・津谷喜一郎(2009)「近代以後日韓漢学交流史  
研究—日本政府招請国費留学生を中心に—」『漢学雑誌』44巻1号 日本漢学学会
- 2361) 張迪(2009)「近代中国における日本書籍の翻訳と紹介—19世紀末から20世紀初頭の概況  
とその特徴—」『言葉と文化』第10号 名古屋大学大学院・国際言語文化研究科日本言語  
文化専攻
- 2362) 張玉玲(2009)「独日の植民地支配と近代都市青島の誕生」『山口県立大学国際文化学部紀

- 2363)陳虹彬(2009)「台湾総督府編修官加藤春城の〈自伝畧叙〉」日本植民地教育史研究会『植民地教育史研究年報第11号 植民地教科書と国定教科書』皓星社
- 2364)陳虹彬(2009)「日本統治下台湾の初等国語教科書における台湾人向け教材について—1937-1945年の教材を中心に—」『平安女学院大学研究年報』第9号 平安女学院大学
- 2365)陳麗華(2009)「同人誌『友愛』からみる「日本語人」の植民地教育による影響」『大阪大学言語文化学』第18号 大阪大学言語文化学会
- 2366)蔡錦堂(2009)「戦時期台湾の公学校国語教科書と日本の国定教科書との比較」日本植民地教育史研究会『植民地教育史研究年報第11号 植民地教科書と国定教科書』皓星社
- 2367)坪内隆彦(2009)「日本文明の先駆者(18)角田柳作」『月刊日本』第13巻第5号 K&Kプレス
- 2368)寺倉憲一(2009)「我が国における留学生受け入れ政策—これまでの経緯と「留学生30万人計画」の策定—」『レファレンス』697号 国立国会図書館調査及び立法考査局
- 2369)土肥秀行(2009)「下位春吉とナポリの文芸誌「サクラ」—下位春吉伝(下)—」『イタリア図書』n.40 イタリア書房
- 2370)常盤智子(2009)「J.f.ラウダー著『日英会話書』の日本語—成立・構成・表記について—」『国文白百合』40号 白百合女子大学国語国文学会
- 2371)富阪容子(2009)「12周年を迎えた夏期日本語集中講座の今後の方向性」『言語と文化』第13号 甲南大学国際言語文化センター
- 2372)富田真菜(2009)「公学校第一期国語教科書における男女」『朝日大学留学生別科紀要』第6巻第6号 朝日大学留学生別科
- 2373)友岡賛(2009)「創始50周年を迎えた慶應義塾の日本語教育」『日本語と日本語教育』第37号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 2374)虎尾達哉(2009)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(9)」『人文学科論集』第69号 鹿児島大学法文学部
- 2375)中川康弘(2009)「ベトナムの日本兵が残していった日本語—ベトミンに加わったあるベトナム人の語りから—」『桜美林大学言語教育論叢』第5号 桜美林大学言語教育研究所
- 2376)中村重穂(2009)「日中戦争期華北占領地に於ける日本軍兵士による日本語教育の再構成の

試み—公文書と戦争体験記に基づいて—『日本語教育』141号 日本語教育学会

- 2377)鍋倉聰(2009)「中国東北地方の地方図書館における「旧満洲日本語文献」の現状」『彦根論叢』379号 滋賀大学経済学部
- 2378)西原大輔(2009)「日本人のシンガポール体験(39)詩人神保光太郎の昭南日本学園」『シンガポール』2009年1号 日本シンガポール協会
- 2379)縫部義憲(2009)「縫部義憲教授 略歴・著作 私の歩いてきた道の先に見えてくるもの」『広島大学日本語教育研究』第19号 広島大学大学院教育学研究科日本語教育学講座
- 2380)長谷川恒雄(2009)「日本語教育史の中の「財団法人言語文化研究所・長沼直兄・日本語教師連盟」」『日本語教育研究』第55号 (財)言語文化研究所
- 2381)林伸一(2009)「外国人のための日本語教科書『おいでませ山口』の歩みと今後の課題」『山口大学文学會誌』59巻 山口大学文学会
- 2382)平田博嗣(2009)「日系人アイデンティティの系譜—ブラジル移民と日本語学校—」『研究紀要』第45号 東京学芸大学附属小金井中学校
- 2383)平田未季(2009)「開拓使学校附属「北海道士人教育所」におけるアイヌ教育の実態—教科書から見る明治初期のアイヌ教育政策—」『Savage』第5号 北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院
- 2384)馮昭奎(2009)「清華大学から出た日本研究者—ある日本研究者の回想—」『中国21』vol.32 愛知大学現代中国学会
- 2385)黄漢青(2009)「新民印書館について」『慶應義塾大学日吉紀要 言語・文化・コミュニケーション』第41号 慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
- 2386)本田弘之(2009)「中国朝鮮族による日本語教育の「再開」」『言語政策』5 日本言語政策学会
- 2387)本田弘之(2009)「文化大革命時期の中国の大学における日本語教育と学習法」『杏林大学国際交流センター杏林大学日本語教育研究』3号 杏林大学国際交流センター
- 2388)前田均(2009)「戦後旧植民地における日本語の残存使用」『植民地期東アジアの近代化と教育の展開：1930年代～1950年代』文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書(研究種目：基盤研究(B)・課題番号18330174) 大阪経済法科大学
- 2389)前田均(2009)「台湾総督府第1・2期教科書の特徴」『日本植民地・占領地の教科書に関する総合的比較研究：国定教科書との異同の観点を中心に』文部科学省科学研究費補助金

- 2390)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (25) 「正しい日本語」の功罪」『グローバル天理』第10巻第1号 天理大学おやさと研究所
- 2391)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (26) 続・「正しい日本語」の功罪」『グローバル天理』第10巻第2号 天理大学おやさと研究所
- 2392)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (27) 日本語教科書の「虎の巻」」『グローバル天理』第10巻第3号 天理大学おやさと研究所
- 2393)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (28) 「識字教育」の明暗」『グローバル天理』第10巻第4号 天理大学おやさと研究所
- 2394)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (29) 社会教育の中の日本語教育」『グローバル天理』第10巻第5号 天理大学おやさと研究所
- 2395)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (30) 「兵隊先生」の日本語教室」『グローバル天理』第10巻第6号 天理大学おやさと研究所
- 2396)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (31) 日本語教科書の教師用指導書」『グローバル天理』第10巻第7号 天理大学おやさと研究所
- 2397)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (32) 「皇民錬成」の中の日本語教育」『グローバル天理』第10巻第8号 天理大学おやさと研究所
- 2398)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (33) 日本語教師の戦前・戦中・戦後」『グローバル天理』第10巻第9号 天理大学おやさと研究所
- 2399)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (34) 日本語教育史研究上の問題点」『グローバル天理』第10巻第10号 天理大学おやさと研究所
- 2400)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (35) 日本語教育史研究上の問題点 [2]」『グローバル天理』第10巻第11号 天理大学おやさと研究所
- 2401)前田均(2009)「日本語教育の歴史、その光と陰 (最終回) 歴史認識の共有より歴史資料の共有を」『グローバル天理』第10巻第12号 天理大学おやさと研究所
- 2402)前田均(2009)「日本語教師が加害者になるとき」『天理大学人権問題研究室紀要』第12号 天理大学



- 2403)前田均(2009)「別冊日本植民地・占領地国定教科書目次目録」『日本植民地・占領地の教科書に関する総合的比較研究：国定教科書との異同の観点を中心に』文部科学省科学研究費補助金研究成果報告書（研究種目：基盤研究(B)・課題番号 18330171） 宮城学院女子大学
- 2404)増田直子(2009)「日系アメリカ人と日本との絆—MIS として占領下の日本に駐留した二世—」『研究紀要』第 3 号 JICA 横浜海外移住資料館
- 2405)松永典子(2009)「多民族社会における異文化間理解教育—「旧満州」の人材養成を事例として—」萬美保・村上史展編(2009)『グローバル化社会の日本語教育と日本文化—日本語教育スタンダードと多文化共生リテラシー—』ひつじ書房
- 2406)松本隆(2009)「『和英商話』の日本語分析—ヴァンリードの英会話書にみる幕末横浜の江戸語—」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要』32 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター
- 2407)水本光美(2009)「国際環境工学部における留学生受け入れ体制—歩み・課題・展望—」『北九州市立大学国際論集』第 7 号 北九州市立大学国際教育交流センター
- 2408)宮崎妙子(2009)「武蔵野市国際交流協会日本語学習支援コーディネーター—6 年間のふりかえりから新たな試みへ—」『多言語多文化実践と研究』第 2 号 東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター
- 2409)村上嘉英(2009)「日台辞典・台日辞典編纂の諸課題」『中国文化研究』第 25 号 天理大学
- 2410)村田昌巳(2009)「ヴィンチェンツォ・チマッティと日本語—学習の背景—」『サレジオ工業高等専門学校研究紀要』第 35 号 サレジオ工業高等専門学校
- 2411)諸星美智直(2009)「John MacGowan “A manual of the Amoy colloquial” と三矢重松・辻清蔵訳述『台湾会話篇』」『国語研究』第 72 号 國學院大學国語研究会
- 2412)山田美香(2009)「日本占領時期香港の教育」『人間文化研究』12 名古屋市立大学人間文化研究科
- 2413)山田陽子(2009)「中国人就学生追跡調査に見る日本語と日本人観の変化—中国人学生の語りと面接調査から—」『名古屋市立大学大学院人間文化研究科人間文化研究』vol.11 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
- 2414)巖平(2009)「官立高等教育機関における留学生教育の成立と展開—第三高等学校を事例と

してー」『京都大学大学文書館研究紀要』第7号 京都大学大学文書館

- 2415)吉岡肇(2009)「証言 満州国の学校で学んだ人々ー私の出会った中国朝鮮族ー」愛知大学現代中国学会編(2009)『中国21』第31巻 東方書店
- 2416)吉岡英幸(2009)「最近の日本語教材の動向」『日本語学』第28巻第10号 明治書院
- 2417)李培建(2009)「大連外国語学院における日本語の短期強化教育」『中央学院大学社会システム研究所紀要』第9巻第2号 中央学院大学
- 2418)林璋(2009)「福建師範大学における日本語教育ー日本語専攻の伝統と変革を中心にー」『琉球大学留学生センター紀要 留学生教育』第6号 琉球大学留学生センター
- 2419)陸偉榮(2009)「新中国美術万華鏡 第3回 中国の美術教育」『東方』第340号 東方書店
- 2420)渡辺哲男(2009)「「直接法」はなぜ形骸化したのか？ー山口喜一郎における事物主義の問題ー」『第116回全国大学国語教育学会発表要旨集』 全国大学国語教育学会
- 2421)王雪萍(2009)「中国留日国費学生に対する予備教育の実態調査(1979～1984年)ー東北師範大学における赴日学部留学生教育を中心にー」『華僑華人研究』第6号 日本華僑華人学会
- 2422)揚妻祐樹(2010)「松下大三郎のアインシュタイン批判ー「科学的」言語研究の視点ー」『言語文化研究』第9号(特集：松下大三郎と松本亀次郎ー国語学史における静岡県ー) 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 2423)朝日祥之(2010)「サハリンに生まれた日本語の接触方言」『日本語学』第29巻第6号 明治書院
- 2424)朝日祥之・Long Daniel(2010)「ハワイのプランテーションで作られた接触方言ー19世紀末生まれの日系人の録音資料に見られるコイネ日本語ー」『日本方言研究会研究発表会発表原稿集』91回 日本方言研究会
- 2425)有松しずよ(2010)「日本統治末期の朝鮮女性と日本語教育」『飛梅論集』第10号 九州大学大学院人間環境学府教育システム専攻教育学コース
- 2426)有松しずよ(2010)「日本統治末期の学校における朝鮮人の「皇国臣民化」と教育方法」『教育基礎学研究』第7号 九州大学教育基礎学研究会
- 2427)李徳奉(2010)「韓国における日本学研究のジレンマー日本語学・日本語教育学を中心にー」『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」活動報

告書』お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」事務局

- 2428)伊志嶺安博(2010)「ブラジルにおける日系人に対する日本語教育の変遷—学習経験者の調査結果—」『国際協力研究誌』第16巻第2号 広島大学大学院国際協力研究科
- 2429)磯田一雄(2010)「皇民化期台湾の日本語短詩文芸と戦後の再生—台湾的アイデンティティの表現を中心に—」『天理台湾学報』19号 天理台湾学会
- 2430)市川春樹(2010)「台湾統治最初期の語学教材『臺灣語學案内』の対訳教材としての特徴」『国学院大学日本語教育研究』第1号 国学院大学日本語教育研究会
- 2431)伊藤孝行(2010)「松本亀次郎と日本語教科書—國學院大學図書館蔵東亞高等豫備學校『日本語の始め』を資料として—」『言語文化研究』第9号(特集：松下大三郎と松本亀次郎—国語学史における静岡県—) 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 2432)伊藤龍平(2010)「『コクゴ』『初等科國語』の昔話資料—日本統治下台湾の国語教科書と昔話(5)』『昔話伝説研究』30号 昔話伝説研究会
- 2433)伊藤礼子(2010)「教材としての『万葉集』—日本統治下の朝鮮における日本語教育—」『東アジア日本語教育・日本文化研究』13号 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 2434)林慶花(2010)「歌で習う「国語」—植民地期朝鮮における唱歌と言語教育—」『日本研究』第41集 人間文化研究機構国際日本文化研究センター
- 2435)岩下裕一(2010)「文章論と松下文法」『言語文化研究』第9号(特集：松下大三郎と松本亀次郎—国語学史における静岡県—) 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 2436)宇都宮めぐみ(2010)「「外国」・「植民地」出身留学生をめぐる表象と役割—一九二四(大正十三)年同志社女学校皇后行啓に注目して—」『同志社談叢』第30号 同志社社史資料センター
- 2437)江口泰生(2010)「レザノフ資料の日本語」『語文研究』第108・109号 九州大学国語国文学会
- 2438)大内紀彦(2010)「イタリアにおける下位春吉の活動(2)—雑誌『サクラ』創刊をめぐるメディア状況と詩友群像—」『イタリア図書』n.43 イタリア書房
- 2439)太田孝子(2010)「植民地下朝鮮における京畿高等女学校(下)」『岐阜大学留学生センター紀要2009』 岐阜大学留学生センター
- 2440)大谷渡(2010)「記憶の中の台湾と日本(4)—統治下における戦争の体験—」『關西大學文學論集』第59巻第4号 関西大学文学会

- 2441)小塩卓哉(2010)「ブラジル日系日本語短歌の百年—移住百人一首と『祖国はるかに』をめぐって—」『多文化共生研究年報』第7号 名古屋多文化共生研究会
- 2442)小野美里(2010)「日中戦争期華北占領地における日本人教員派遣—顧問制度との関連に注目して—」『人文学報』第430号(歴史学編第38号) 首都大学東京都市教養学部人文・社会系/東京都立大学人文学部
- 2443)垣本せつ子(2010)「第一次世界大戦中の板東俘虜収容所における日本語・ドイツ語のコミュニケーション状況」『観光学研究』8号 東洋大学国際地域学部
- 2444)金沢朱美(2010)「アーネスト・サトウと日本語研究—『会話篇』を中心に—」『日本語学科論説資料』第45号 論説資料保存会
- 2445)金沢朱美(2010)「馬場辰猪『日記』から見た『日本文典初歩』第2版の考察—成立及び特色を中心に—」『日本語と日本文学』第50号 筑波大学日本語日本文学会
- 2446)金子幸子(2010)「戦前・戦中における岡本千万太郎の仮名遣い観と留学生への表記指導」『目白大学高等教育研究』第16号 目白大学
- 2447)金子弘(2010)「アストン「文語文典」改訂の性格」『日本語日本文学』第20号 創価大学日本語日本文学会
- 2448)上久保明子(2010)「66歳学習者が遺した手記から辿るヤップ島の日本語教育」『オセアニア教育研究』第16号 オセアニア教育学会
- 2449)神吉宇一(2010)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第十回 日本語教育スタンダード」『月刊日本語』2010年1月号 アルク
- 2450)神吉宇一(2010)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 第十一回 多文化共生」『月刊日本語』2010年2月号 アルク
- 2451)神吉宇一(2010)「キーワードで読み解く日本語教育現代史 最終回 グローバリゼーション」『月刊日本語』2010年3月号 アルク
- 2452)川上尚恵(2010)「北京近代科学図書館編纂日本語教科書分析からみた占領初期の中国華北地方における日本語教育の一側面—『初級日文模範教科書』から『日本語入門篇』へ—」『日本語教育』146号 日本語教育学会
- 2453)川口敦子(2010)「ポルトガル国立図書館所蔵1627年の殉教に関するフェレイラ報告書の日本語表記」『三重大学日本語学文学』第21号 三重大学日本語学文学研究室

- 2454)川寄陽(2010)「「皇民化」政策と日本語」『日本史研究』580 日本史研究会
- 2455)河先俊子(2010)「韓国における日本語教育と日韓関係－日本語教育を巡る言説の分析－」『言語文化と日本語教育』第39号 お茶の水女子大学日本言語文化学会
- 2456)河先俊子(2010)「植民地解放後の韓国における日本語教育の再開－日本語の必要性を巡る言説の歴史－」『言語文化と日本語教育』第39号 お茶の水女子大学日本言語文化学会
- 2457)河先俊子(2010)「植民地解放後の韓国における日本語教育の歴史」『訪韓学術研究者論文集 第10巻』日韓文化交流基金
- 2458)河路由佳(2010)「戦後(1945-1974年)の高橋一夫・鈴木忍と日本語教育－1974年の座談会録音テープより(2)－」『東京外国語大学論集』第79号 東京外国語大学
- 2459)上村忠昌(2010)「地域情報 16世紀の『海篇』類「夷字音釈」と『使琉球録』の「夷字」－ゴンザとバイエルの「いろは」をさかのぼる－」『地域総合研究』第37巻第2号 鹿児島国際大学付置地域総合研究所
- 2460)北川逸子(2010)「龍谷大学留学生別科における日本語教育の改革の取り組みについて」『龍谷大学国際センター研究年報』第19号 龍谷大学国際センター
- 2461)北村嘉恵(2010)「「教育所ニ於ケル教育標準」(1928年)下の台湾先住民教育」『日本の教育史学 教育史学会紀要』第53集 教育史学会
- 2462)金世恩(2010)「韓国における日本語学研究的概観」『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」活動報告書』お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」事務局
- 2463)金暁美(2010)「帝国日本の「国語」教科書と「最後の授業」－「内地」と「朝鮮」を中心に－」『超域文化科学紀要』第15号 東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻
- 2464)切石博子(2010)「太平洋戦争と占領期の日系アメリカ人陸軍情報部語学兵の役割」『昭和のくらし研究』No.8 昭和館
- 2465)Nguyen Vu Quynh Nhu(2010)「ベトナム南部における日本文化浸透から日本語普及へ」『立命館言語文化研究』21巻3号 立命館大学国際言語文化研究所
- 2466)郭俊海(2010)「日本占領下のシンガポールにおける日本語の普及－「The Syonan Times」における「Nippon Lesson」、「Radio Nippon-Go Lesson」及び日本語普及に関する重要記事索引補遺－」『九州大学留学生センター紀要』第18号 九州大学留学生センター

- 2467)日下部龍太(2010)「日本統治下台湾における学校独自で発行された教科書の基礎的研究—台中市の清水公学校『総合教育読本』を事例として—」『早稲田大学教育学会紀要』第12号 早稲田大学教育学会
- 2468)Chris Belouad(2010)「19世紀フランス人東洋学者レオン・ド・ロニーによる日仏交流の記録—啓蒙雑誌 *La Revue scientifique* に掲載された記事をめぐって—」『フランス語フランス文学研究』N° 96 日本フランス語フランス文学会
- 2469)Chris Belouad(2010)「Leon de Rosny et la spiritualite de l'Orient: Une derniere incarnation du paradigme philologique de la 《Renaissance Orientale》?」『Gallia』50号 大阪大学フランス語フランス文学会〔仏文〕
- 2470)桑原哲朗(2010)「芦田恵之助の読み方教授における教育者の堪能に関する研究」『教育実践学論集』第11号 兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科
- 2471)小林軍治(2010)「中国帰国者の日本語教室のあゆみと課題」『地域と人権』321号 全国地域人権運動総連合
- 2472)小峰升巳(2010)「日本語教師海外便り ベルギー日本語事情この10年—欧州連合のお膝元ではただ今ビジュアル系若者が日本語特訓中—」『AJALT』No.33 国際日本語普及協会
- 2473)酒井恵美子・中田敏夫(2010)「台湾総督府編纂『蕃人読本』語彙表」『社会科学研究』第30巻第1/2号 中京大学社会科学研究所
- 2474)酒井順一郎(2010)「過去の光から現在を照らし、現在の光から過去を照らす(第1回)日本留学界の原点 その1—明治期の中国人留学生—」『留学交流』2010年11月号 時評社
- 2475)酒井順一郎(2010)「過去の光から現在を照らし、現在の光から過去を照らす(第2回)日本留学界の原点 その2—中国人留学生をめぐる日米攻防—」『留学交流』2010年12月号 時評社
- 2476)さかたあつよし(2010)「北海道、樺太、千島の先住民に対する日本語教育とその日本語教育史研究における位置」『リテラシーズ』7 くろしお出版
- 2477)坂輪宣政(2010)「日蓮信仰と戦前大陸での活動—宣撫班と八木沼丈夫を足がかりに—」日蓮宗現代宗教研究所編『現代宗教研究』1(別冊) 日蓮宗宗務院
- 2478)櫻井豪人(2010)「アーネスト・サトウ『会話篇』Part II 訳注稿(2)」『人文コミュニケーション学科論集』第8号 茨城大学人文学部

- 2479)櫻井豪人(2010)「アーネスト・サトウ『会話篇』Part II 訳注稿(3)」『人文コミュニケーション学科論集』第9号 茨城大学人文学部
- 2480)佐藤恭子(2010)「『日本語の海外普及』と新帝国主義」遠藤織枝・小林美恵子・桜井隆編著(2010)『世界をつなぐことば—ことばとジェンダー／日本語教育／中国女文字—』三元社
- 2481)佐藤由美(2010)「日本統治下台湾からの工業系留学生—林淵霖氏の場合—」『埼玉工業大学人間社会学部紀要』第8号 埼玉工業大学
- 2482)鮮明著、氷野善寛訳(2010)「清末の中国人が使用した日本語教科書における中国と西洋の言語学的手法の利用」篠原啓方・井上充幸・黄蘊・氷野善寛・孫青編著(2010)『関西大学文化交渉学研究拠点・次世代国際学術フォーラムシリーズ 第2輯 文化交渉による変容の諸相』関西大学文化交渉学教育研究拠点
- 2483)徐一平(2010)「日本語教育と日本学研究の関係—中国の日本語教育と日本研究を例に—」お茶の水女子大学大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」事務局(2010)『大学院教育改革支援プログラム「日本文化研究の国際的情報伝達スキルの育成」活動報告書 平成21年度学内教育事業編』お茶の水女子大学
- 2484)Jenine Heaton(2010)「日本統治時代における芝山巖事件の余波—巻き込まれた3人の運命—」『アジア文化交流研究』第5号 関西大学アジア文化交流研究センター
- 2485)Jenine Heaton(2010)「明治日本の教育近代化と芝山巖学堂—伊沢修二の貢献を中心に—」『現代台湾研究』第37号 台湾史研究会
- 2486)塩野加織(2010)「問われ続ける「日常」の地平—井伏鱒二「花の町」論—」『日本文学』vol.59-9 日本文学協会
- 2487)塩野谷幸子(2010)「芝山巖事件についての一考察」『愛知産業大学留学生別科紀要』2号 愛知産業大学留学生別科
- 2488)嶋津拓(2010)「オーストラリアにおける「教育革命」とアジア語教育政策—日本語教育に焦点をあてて—」『日本言語文化研究会論集』第6号 日本言語文化研究会
- 2489)白岩広行・森田耕平・王子田笑子(2010)「ボリビアのオキナワ移住地における言語接触」『阪大日本語研究』22 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座
- 2490)白柳弘幸(2010)「台湾総督府発行教科書について」『玉川大学教育博物館紀要』第7号 玉川大学教育博物館

- 2491) 経志江(2010) 「中日国交断絶期の日本語高等教育機関—建国初期の2校を対象として—」 『中京女子大学研究紀要』 第44号 中京女子大学
- 2492) Sven Osterkamp(2010) 「The Japanese studies of Andreas Müller(1630-1694)」 『京都大学言語学研究』 第29号 京都大学大学院文学研究科言語学研究室〔英文〕
- 2493) 杉本豊久(2010) 「明治維新の日英言語接触—横浜の英語系ピジン日本語(1)—」 『Seijo English monographs』 No.42 Seijo University
- 2494) 鈴木一(2010) 「松下大三郎と松本亀次郎の日本語観の特質」 『言語文化研究』 第9号(特集: 松下大三郎と松本亀次郎—国語学史における静岡県—) 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 2495) 玉木雄三(2010) 「進駐米軍の日本語学習事情—Japanese Phrase Book(1944)をめぐる—」 『堺女子短期大学紀要』 第45号 堺女子短期大学愛泉学会
- 2496) 趙新利(2010) 「日中戦争期に於ける中国共産党の敵軍工作訓練隊—八路軍に対する日本語教育の開始とその特質—」 『早稲田政治公法研究』 第94号 早稲田大学大学院政治学研究科
- 2497) 簡月真(2010) 「旧植民地の日本語 台湾日本語の諸相」 『日本語学』 第29巻第6号 明治書院
- 2498) 高橋茂人(2010) 「鳳機関—アジア太平洋戦争期のティモール島における諜報活動—」 『アジア太平洋レビュー』 第7号 大阪経済法科大学
- 2499) 高山乾忠・Buri Qiqige(2010) 「早期、内蒙古喀喇沁右旗における日本語学校」 『長崎ウエスレヤン大学現代社会学部紀要』 8巻1号 長崎ウエスレヤン大学
- 2500) 竹本英代(2010) 「戦前日本における宣教師に対する日本語教育—松宮弥平を中心に—」 『キリスト教社会問題研究』 第59号 同志社大学人文科学研究所
- 2501) 田山のり子(2010) 「中国赴日本国留学生予備学校30周年記念式典参加報告」 『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』 No.36 東京外国語大学留学生日本語教育センター
- 2502) 沈國威(2010) 「日語難嗎?—以近代初識日語的中國人為說—」 『関西大学東西学術研究所紀要』 43 関西大学東西学術研究所〔中文〕
- 2503) 陳虹彬(2010) 「台湾公学校国語教科書の観光・旅行記述に関する一試論—第四期『公学校



用国語読本』(1937-1942年)を素材として— 『平安女学院大学研究年報』第10号 平安女学院大学

2504)鄭任智(2010)「台湾の日本統治時代における「国語」教科書に見られる原住民の記述に関する考察」日本国際教育学会創立20周年記念年報編集委員会編(2010)『日本国際教育学創立20周年記念年報国際教育学の展開と多文化共生』学文社

2505)周一川(2010)「「満洲国」における女性の日本留学—概況分析—」『中国研究月報』751号 (社)中国研究所

2506)鶴橋俊宏(2010)「松下文法における「推量」」『言語文化研究』第9号(特集:松下大三郎と松本亀次郎—国語学史における静岡県—) 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会

2507)虎尾達哉(2010)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(10)」『人文科学論集』第71号 鹿児島大学法文学部

2508)中川かず子(2010)「日本語教授法に生きる自然主義教授法(Natural Method) —19世紀の教授法改革者 L.ソブールの残したもの—」『北海学園大学人文論集』第47号 北海学園大学

2509)中東靖恵(2010)「パラグアイ日系社会におけるアクセントの継承と変容—パラグアイの広島県移民とその家族を対象に—」『日本方言研究会研究発表会発表原稿集』90回 日本方言研究会

2510)中野真樹(2010)「松本亀次郎『漢訳日本語会話教科書』の仮名遣い—長音表記を中心として—」『國學院雑誌』平成22年1月号・第111巻第1号 國學院大學

2511)中野真樹(2010)「松本亀次郎『言文対照 漢訳日本文典』の仮名遣い—長音表記を中心として—」『言語文化研究』第9号(特集:松下大三郎と松本亀次郎—国語学史における静岡県—) 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会

2512)中村重穂(2010)「日本語教育史研究方法論の再検討のために・その3—「自虐」と「自尊」のはざままで—」『北海道大学留学生センター紀要』第14号 北海道大学国際本部留学生センター

2513)中山寛子(2010)「パラグアイの日系人と日本語に関する—考察—「国語としての日本語教育」の意味するもの—」『大学院紀要』第64号 法政大学大学院

2514)奈倉洋子(2010)「1930年代ベルリンの日本人小学生—ベルリンの小学校、日本人学校での生活を中心に—」『京都教育大学紀要』第116号 京都教育大学

2515)長谷川勝政(2010)「本田増次郎と清国留学生教育—「グアン・メソッド」と「筆談」によ

る日本語教育— 『英学史研究』 43号 日本英学史学会

2516)長谷川恒雄(2010)「文化庁『国内の日本語教育の概要』における「総表」—「資料の理解」を深めるための手順—」『指向』第7号 大東文化大学大学院外国語学研究科日本語文化学専攻

2517)韓立冬(2010)「「対支文化事判」下の中国人留学生教育—第一高等学校特設予科を事例に—」『思想史研究』12号 日本思想史・思想論研究会

2518)Bambang WIBAWARTA(2010)「日本研究の展望—インドネシアをめぐって—」『立命館言語文化研究』21巻3号 立命館大学国際言語文化研究所

2519)檜山千秋(2010)「日本統治期台湾の国語政策」『知性と創造』第1号 日中人文社会科学学会

2520)傅羽弘(2010)「清末民初中国における日本書翻訳」『西南学院大学国際文化論集』第25巻第1号 西南学院大学学術研究所

2521)黄慶法(2010)「『日本語教授書』の一考察」遠藤織枝・小林美恵子・桜井隆編著(2010)『世界をつなぐことば—ことばとジェンダー／日本語教育／中国女文字—』三元社

2522)プラット・アブラハム・ジョージ(2010)「インドにおける日本研究の現状—問題と将来性—」『立命館言語文化研究』21巻3号 立命館大学国際言語文化研究所

2523)プルナマワティ(2010)「インドネシアにおける残留元日本兵の戦後史—残留日本人団体「福祉友の会」の分析を中心に—」『地域政策科学研究』第7号 鹿児島大学大学院人文社会科学部博士後期課程地域政策科学専攻

2524)本田弘之(2010)「中国朝鮮族の日本語教育「再開」期の諸相—日本語教育史の「断絶史観」を再考する—」遠藤織枝・小林美恵子・桜井隆編著(2010)『世界をつなぐことば—ことばとジェンダー／日本語教育／中国女文字—』三元社

2525)本間美奈子(2010)「松本亀次郎の他称表現—宏文学院『日本語教科書』を中心に—」『言語文化研究』第9号(特集：松下大三郎と松本亀次郎—国語学史における静岡県—) 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会

2526)前田均(2010)「国語学の盲点としての海外日本語の変種」『日本言語文化研究』第14号 日本言語文化研究会

2527)松本晃徳(2010)「ニュージーランドのハイスクールで日本語を指導する日本人教師をとりまく現状について」『日本ニュージーランド学会誌』第17巻 日本ニュージーランド学会

- 2528)松本和子(2010)「ミクロネシアの日本語」『日本語学』第29巻第6号 明治書院
- 2529)松本隆(2010)「S.R.Brown(1875)*Prendergast's Mastery System*の近代語法—文明開化の横浜を舞台にした語学書の分析—」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要』33 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター
- 2530)丸山茂樹(2010)「日本語学校における学生募集の変遷と将来について」『留学交流』2010年1月号 時評社
- 2531)宮原彬(2010)「ベトナムの日本語教育、70年代と今—ハノイとナムディンでの経験を中心に—」『アジア・アフリカ研究』第50巻第3号 アジア・アフリカ研究所
- 2532)武藤陽子(2010)「獨文日本案内：日本人による20世紀初頭の日本学習書」『Aspekt：立教大学ドイツ文学科論集』43号 立教大学
- 2533)村田昌巳(2010)「ヴィンチェンツォ・チマッティと日本語—学習の方法—」『サレジオ工業高等専門学校研究紀要』第36号 サレジオ工業高等専門学校
- 2534)諸星美智直(2010)「松本亀次郎編著の日本語教科書類に於ける当為表現の扱い」『言語文化研究』第9号(特集：松下大三郎と松本亀次郎—国語学史における静岡県—) 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 2535)安田敏朗(2010)「国立国語研究所設置をめぐる二、三のことども」『国文論叢』第43号 神戸大学文学部国語国文学会
- 2536)安田敏朗(2010)「日本語政策史から見た言語政策の問題点」田尻英三・大津由紀雄編(2010)『言語政策を問う！』ひつじ書房
- 2537)山田寛人(2010)「植民地朝鮮における近代化と日本語教育」『日韓歴史共同研究報告書 第2期第3分科会篇』日韓歴史共同研究委員会
- 2538)山本冴里(2010)「文部省「教育白書」(1953-2000)における日本語教育の扱い」『日本語教育』146号 日本語教育学会
- 2539)吉田則夫・劉建雲(2010)「清末中国の日本語教育水準を代表する教科書—郭祖培・熊金寿著『日語独習書』—」『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』144号 岡山大学大学院教7学研究科
- 2540)李郁蕙(2010)「日本語への自負と挫折—台湾人作家の作品を通して—」『言語文化論究』No.25 九州大学大学院言語文化研究院
- 2541)李潤沢(2010)「清末の近代教育普及と教育をめぐる日中の相克—奉天省の状況を中心にし

てー」『大学院紀要』第 65 号 法政大学大学院

2542)Le ROUX Brendan(2010)「幕末期に来日した二人の仏人宣教師の日本語ローマ字表記について」『学校教育学研究論集』第 21 号 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科

2543)渡邊了好(2010)「日本語教育と日本の移民政策」『二松學舎大學論集』第 53 号 二松學舎大学文学部

2544)渡寛法(2010)「ハワイ日本語学校問題ーアメリカ「市民」論争と日本語教育方針の変遷ー」『社会システム研究』13 号 京都大学大学院人間・環境学研究科社会システム研究刊行会

2545)秋廣尚恵(2011)「報告書：プロバンス大学における日本語教育の変遷と現状について」東京外国語大学国際日本研究センター

2546)András Albeker(2011)「ロジュニャイ『日本語速習』の著者と出典について」『京都大学國文學論叢』26 号 『國文學論叢』編集部

2547)葉慧君(2011)「台湾の日本統治時代における日本語教育ー日本語教育機関を中心にー」『外国語学会誌』41 大東文化大学外国語学会

2548)石川恵子(2011)「別科紀要最終号に寄せて」『創価大学別科紀要』第 21 号 紀要編集委員会

2549)井尻香代子(2011)「アルゼンチンにおける日本の詩歌の受容について」『京都産業大学論集 人文科学系列』第 44 号 京都大学

2550)和泉司(2011)「日本統治期台湾の徴兵制導入時に生じた「国語能力」問題ー「国語不解者」の徴兵に関する『台湾時報』『新建設』の記事を中心にー」『日本語と日本語教育』第 39 号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター

2551)磯部香(2011)「植民地統治初期における「台湾」言説ー明治期の婦人雑誌「女鑑」を分析対象としてー」『奈良女子大学社会学論集』18 号 奈良女子大学社会学研究会

2552)伊藤孝行(2011)「タイ人向け日本語教科書『日暹會話便覧』・NIPPONGO〔日・泰・會話本〕について」『國學院雜誌』第 112 卷第 12 号 國學院大學綜合企画部

2553)伊藤龍平(2011)「台湾の美談の行方ーある日本人教師の碑をめぐってー」『口承文藝研究』第 34 号 日本口承文藝學會

2554)今井多衣子(2011)「南国市国際交流協会の日本語講座ー地域の日本語教育支援への取り組みー」『高知大学総合教育センター修学・留学生支援部門紀要』第 5 号 高知大学総合教育センター修学・留学生支援部門紀要編集委員会

- 2555)上野昌之(2011)「アイヌ語の衰退と復興に関する一考察」『埼玉学園大学紀要. 人間学部  
篇』第 11 号 埼玉学園大学
- 2556)内田孝(2011)「1926 年モンゴル人民共和国における日本への留学生派遣計画」『日本  
モンゴル学会 2011 年度春季大会』日本モンゴル学会
- 2557)占部匡美(2011)「日本語教育史における入門期教科書の基礎語彙(1)」『福岡国際大学紀  
要』第 25 号 福岡国際大学
- 2558)江口泰生(2011)「レザノフ資料の敬語」『日本語の研究』第 7 巻 2 号 日本語学会
- 2559)大内紀彦(2011)「イタリアにおける下位春吉の活動 (3) —雑誌『サクラ』と同時代の日  
本の表象—」『イタリア図書』n.45 イタリア書房
- 2560)太田孝子(2011)「植民地朝鮮からの女子内地留学生(I)」『岐阜大学留学生センター紀要  
2010』 岐阜大学留学生センター
- 2561)大谷渡(2011)「記憶の中の台湾と日本(5)—統治下における戦争の体験—」『關西大學文  
學論集』第 60 巻第 4 号 関西大学文学会
- 2562)大多和雅絵(2011)「戦後夜間中学校の研究—東京都夜間中学校日本語学級の開設に着目し  
て—」『日本の教育史学：教育史学会紀要』第 54 集 教育史学会
- 2563)大橋義拓(2011)「戦時期朝鮮における国語普及と朝鮮語利用—『皇民化』政策の理念と実  
態の乖離—」『次世代アジア論集』4 早稲田大学アジア研究機構
- 2564)岡田昭人・岡田奈緒美(2011)「日本における留学生受入れ政策の史的展開過程と現状に関  
する一考察」『學苑』平成 23 年 5 月号 昭和女子大学近代文化研究所
- 2565)岡田英樹(2011)「言語創造の探検家・古丁—日本語利用の問題をめぐって—」『植民地文  
化研究』第 10 号 植民地文化学会
- 2566)小川誉子美(2011)「黎明期の日本語講座の目的—ヨーロッパ・中東における事例から—」  
『Cairo Symposium on Japan Studies 2010 横浜国立大学留学生センター教育研究論集  
—シンポジウム『エジプトにおける日本研究—過去、現在、未来』開催記念号—』第 19  
号 横浜国立大学留学生センター
- 2567)奥泉栄三郎(2011)「北米における現地日本語教科書類の特色・種類・歴史：戦前期シア  
トル版全二八巻完全復刻作業で考えたことども」『アリーナ』第 12 号 人間社

- 2568)河路由佳(2011)「1942・1943年における長沼直兄の出版計画」『日本語教育研究』第57号 学校法人長沼スクール
- 2569)川田真弘(2011)「下位春吉について」『大手前比較文化学会会報』12号 大手前大学大学院比較文化研究科
- 2570)グエン・ドク・ホエ(2011)「ドンズー日本語学校設立まで」『月刊アジアの友』第491号 財団法人アジア学生文化協会
- 2571)日下部龍太(2011)「台湾総督府版初等教育年間国語教科書の基礎的研究－「民族」の使い分けに着目して－」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』18号-2 早稲田大学大学院教育学研究科
- 2572)日下部龍太・渡部竜也(2011)「台湾総督府初等教育年間国語教科書の内容分類データ(一)－漢人及び原住民用教科書の「道徳教材」の場合－」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系Ⅱ』第62集 東京学芸大学学術情報委員会
- 2573)日下部龍太(2011)「台湾総督府と国民党政府の社会観形成の論理比較－戦前と戦後の初等国語(日本語・中国語)教科書の比較を中心に－」『日本教育社会学会第63回大会発表要旨集録2011』日本教育社会学会
- 2574)日下部龍太(2011)「日本統治下台湾の初等教科書に見られる社会観形成の論理－分割支配を企図した民族別教科書の記述差異に着目して－」『社会科研究』第74号 全国社会科教育学会
- 2575)國分建志(2011)「誤植の殿堂『説日語』－その誕生と変遷(一)－」『文學藝術』35 共立女子大学文芸学部
- 2576)酒井順一郎(2011)「過去の光から現在を照らし、現在の光から過去を照らす(第3回)日本留学界の原点 戦後編－改革開放の申し子と中国赴日本国留学生予備学校－」『留学交流』2011年2月号 時評社
- 2577)酒井順一郎(2011)「関東大震災と中国人留学生－もう一つの日中関係－」『留学生教育』第16号 留学生教育学会
- 2578)櫻井豪人(2011)「アーネスト・サトウ『会話篇』PartⅡ訳注稿(4)」『人文コミュニケーション学科論集』第10号 茨城大学人文学部
- 2579)櫻井豪人(2011)「アーネスト・サトウ『会話篇』PartⅡ訳註稿(5)」『人文コミュニケーション学科論集』第11号 茨城大学人文学部
- 2580)鹿浦佳子(2011)「関西外大日本語実習報告書一片銚・中宮キャンパスでの概要と報告」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』第21号 関西外国語大学留学生別科

- 2581)柴公也(2011)「日本統治時代の台湾生活誌(Ⅰ)」『海外事情研究』第39巻第1号 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 2582)嶋津拓(2011)「言語政策研究と日本語教育」『日本語教育』150号 日本語教育学会
- 2583)シュテファン・カイザー(2011)「日本語動詞活用の分類—ロドリゲスと宣長を中心に—」『國學院雑誌』第112巻第12号 國學院大學
- 2584)東海林万結美(2011)「満州国における特殊な言語：協和語」『帝京日本文化論集』第18号 帝京大学日本文化学会
- 2585)関正昭(2011)「日本語教育史に登場するエスペランティスト」『湘南文学』第45号 東海大学日本文学会
- 2586)宋群(2011)「関東州における日本語教育(1)—初等教育(1904年～1919年)を中心に—」『語学教育フォーラム』第21号 大東文化大学語学教育研究所
- 2587)宋群(2011)「関東州における日本語教育(1)—初等教育(1919～1928年)を中心に—」『指向』第8号 大東文化大学大学院外国語学研究科日本言語文化学専攻
- 2588)孫曉英(2011)「中国における日本語教育に関する一考察—大平学校(1980年～1985年)を中心に—」『早稲田大学教育学会紀要』第13号 早稲田大学教育学会
- 2589)工一仁(2011)「拓殖大学に於ける制度的な日本語教育のあゆみ—インドネシア共和国日本語研修生の拓殖大学への受け入れ—」『拓殖大学日本語紀要』第12号 拓殖大学留学生別科・拓殖大学日本語教育研究所
- 2590)竹本英代(2011)「On Teaching Japanese Language and Culture to Foreigners in Prewar Japan」『福岡教育大学紀要』第60号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 2591)田中寛(2011)「一九七〇年代におけるタイの日本語教育—言語文化接触における「順逆と混沌」(その私的回顧)—」『語学教育フォーラム』第21号 大東文化大学語学教育研究所
- 2592)田中寛(2011)「戦時体制下の日タイ間における文化接触とその摩擦—タイ人留学生をめぐる言語文化の状況(資料解説その①)—」『外国語研究』第12号 大東文化大学大学院外国語学研究科
- 2593)田中寛(2011)「「大東亜共栄圏」下の植民地文化政策—胡蝶の夢の虚構と現実—」日本植民地教育史研究会編(2011)『植民地教育史研究年報 2010年 植民地と児童文化』13 皓

星社

- 2594)田中寛(2011)「中国大陸における宣撫工作としての日本語教育—松永健哉『日語学校』の言語的記憶—」『指向』第8号 大東文化大学大学院外国語学研究科日本言語文化学専攻
- 2595)谷口知子(2011)「伊澤修二の日本語教材『東語初階』・『東語真伝』」『関西大学東西学術研究所紀要』44 関西大学東西学術研究所
- 2596)簡月真・真田信治(2011)「台湾の宜蘭クレオールにおける否定辞—『ナイ』と『ン』の受容をめぐる—」『言語研究』第140号 日本言語学会
- 2597)張守祥(2011)「旧満洲国における言語接触—新史料から「協和語」をみる—」『日本語の研究』第7巻4号 日本語学会
- 2598)張守祥(2011)「「満洲国」における言語接触—新資料に見られる言語接触の実態—」『人文』10号 学習院大学人文科学研究所
- 2599)陳萱(2011)「北原白秋の見た植民地台湾—華麗島への憧憬と異郷への反撥—」『比較文学・文化論集』28号 東京大学比較文学・文化研究会
- 2600)陳虹彪(2011)「1937-1945年における「外地」用日本語教科書編纂について—日本と台湾の編集者に着目して—」『平安女学院大学研究年報』第11号 平安女学院大学
- 2601)塚田博之(2011)「高橋慎一郎による伊澤修二全集編纂」『信濃(第3次)』第63巻9号 信濃史学会
- 2602)堤智子(2011)「日本語族への鎮魂歌」『東洋史訪』第17号 史訪会
- 2603)龔碩華・日高一宇(2011)「清末日語教育概述」『北九州工業高等専門学校研究報告』44 北九州工業高等専門学校〔中文〕
- 2604)戸塚誠(2011)「幻の「大阪屋号書店」のこと」『文献継承』第18号 金沢文圃閣
- 2605)虎尾達哉(2011)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(11)」『人文科学論集』第73号 鹿児島大学法文学部
- 2606)永井忠弘(2011)「知られざる米軍情報部「MIS」：米兵からも日本兵からも銃撃される戦場で—太平洋戦争の日系二世語学兵—」『軍事研究』2011年11月号 (株)ジャパン・ミリタリー・レビュー
- 2607)中東靖恵(2011)「パラグアイ日系社会におけるアクセントの継承と変容—パラグアイの広



- 2608)ニダー・ラップスイサワット・富田紘央・村上治美・宮城幸枝(2011)「KMITL・東海大学日本語教育ツイニングプログラムの運営と教育―創設時から10期生に到るまで―」『東海大学紀要 国際教育センター』創刊号 東海大学国際教育センター
- 2609)根津義(2011)「来日初期の魯迅の日本語―松本亀次郎とのかかわりから―」『常葉学園大学研究紀要 外国語学部』第27号 常葉学園大学
- 2610)根津真知子(2011)「海外日本語教育実習の10年を振り返って」『ICU日本語教育研究』7 国際基督教大学日本語教育研究センター
- 2611)鮑頭陽(2011)「中国の主要大学日本語学部における日本語教科書の使用状況」『朝日大学一般教育紀要』第37号 朝日大学教養教育委員会研究成果専門部会
- 2612)林文明・桜山一倉・高瀬利恵子(2011)「留学生センター設立経緯とその意義―留学生教育における不可欠な役割―」『中日本自動車短期大学論叢』41 中日本自動車短期大学
- 2613)韓立冬(2011)「天津中日学院・江漢高級中学校の中国人教育―「対支文化事業」下の留日予備教育という視点から―」『年報地域文化研究』第15号 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻
- 2614)平高史也(2011)「近年の日本の留学生政策とSFCにおける日本語教育」『Keio FSC Journal』Vol.11, No.2 慶應義塾大学湘南藤沢学会
- 2615)平野美恵子、ロマン・パシュカ、アレクサンドラ・ムスタツェア(2011)「ルーマニア日本語教育の歩みと今後の展望―日本語教師会による活動を中心に―」『言語文化と日本語教育』第42号 お茶の水女子大学日本言語文化学会
- 2616)黄雲(2011)「日本語教育者ならびに朝鮮語研究者としての岡倉由三郎―旧韓末「日語学堂」における日本語教授法をめぐって―」『言語と文明：論集』9 麗澤大学
- 2617)藤岡寛己(2011)「下位春吉とイタリア＝ファシズム―ダンヌンツィオ、ムッソリーニ、日本―」『紀要』第25号 福岡国際大学
- 2618)藤森智子(2011)「日本統治下台湾の「国語伝習所」用教科書の内容―台湾教育会編『新国語教本』を中心に―」『2011年度日本語教育学会春季大会予稿集』日本語教育学会
- 2619)堀田英夫(2011)「スペイン語辞書の歴史―日本語との二言語辞書をめぐって―」『紀要. 言語・文学編』第43号 愛知県立大学外国語学部

- 2620)本間美奈子(2011)「明治期日本語教科書の他称—明治三八年から四〇年刊行の日本語教科書を資料として—」『言語文化研究』10 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 2621)増田光司(2011)「宏文学院編纂『日本語教科書』について」『東京医科歯科大学教養部研究紀要』41号 東京医科歯科大学
- 2622)松尾慎、ハインリッヒ・パトリック、岡典栄、下地理則、オストハイダ・テーヤ、浜田麻里、岩田一成、布尾勝一郎(2011)「第26回研究大会ワークショップ：言語的均質性の彼方に—国語に消されたことばとの出会い—」『社会言語科学』第13巻第2号 社会言語科学学会
- 2623)松本隆(2011)「横浜英語学校1894年刊『日本俗語』にみる明治中期の話し言葉—非丁寧体の文末における敬讓表現を中心に—」『アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター紀要』34 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター
- 2624)宮崎靖士(2011)「『主体一般』の形成とゆらぎをめぐる時枝誠記の『国語問題』—一九四〇年代前半の朝鮮における日本語使用と“言説の磁場”—」『日本近代文学会北海道支部会報』14号 日本近代文学会北海道支部事務局
- 2625)宮崎靖士(2011)「『公共領域』の創出へむけた金鍾漢の日本語文学活動—創作・編集・翻訳—」東京大学国語国文学会編『国語と國文学』第88巻第6号 至文堂
- 2626)宮崎靖士(2011)「牧洋『善霊』論—その自己批評性と、日本語認識の多層性をめぐって—」『国語國文研究』第140号 北海道大学国文学会
- 2627)宮武正明(2011)「中国等残留孤児・婦人の帰国と生活支援」『こども教育宝仙大学紀要』Vol.2 こども教育宝仙大学
- 2628)森孝明(2011)「「松山俘虜収容所」にきたドイツ人兵士たち(二)」『愛媛大学法文学部論集人文科学編』第30号 愛媛大学法文学部
- 2629)諸星美智直(2011)「日本語学習辞書史における船岡献治編纂『鮮訳国語大辞典』について」『國學院雑誌』第112巻第12号 國學院大學綜合企画部
- 2630)八木正自(2011)「Bibliotheca Japonica(159)文求堂田中慶太郎、唐本商の泰斗」『日本古書通信』76巻3号 日本古書通信社
- 2631)八木正自(2011)「Bibliotheca Japonica(160)文求堂田中慶太郎、唐本商の泰斗(2)」『日本古書通信』76巻4号 日本古書通信社

- 2632)山田勇人(2011)「マレーシア中等教育における日本語教育の歴史と現状」『プール学院大学研究紀要』第51号 プール学院大学
- 2633)山根智恵・黄幸素・川村千絵(2011)「台湾・日治世代における日本語能力の維持要因」『2011年度日本語教育学会秋季大会予稿集』日本語教育学会
- 2634)山室和也(2011)「戦後文法教育研究の成果と展望—2000年以降の研究成果を中心に—」『第121回全国大学国語教育学会発表要旨集』全国大学国語教育学会
- 2635)楊逸(2011)「楊逸が歩く「中華街」—東方書店、内山書店、漢陽楼、山本書店、東亜高等予備学校跡の碑ほか—」『東京人』2011年11月号 都市出版
- 2636)吉田薫(2011)「康孟卿の翻訳作業とその周辺—戊戌政変から『清議報』刊行までを中心に—」『中国研究月報』764号 (社)中国研究所
- 2637)与那原恵(2011)「柔道の父であり、留学生教育の先駆者・嘉納治五郎」『東京人』2011年11月号 都市出版
- 2638)李美善(2011)「大出正篤の満洲における日本語教育—実践活動及び『日語研究寶鑑』について—」『目白大学高等教育研究』第17号 目白大学教育研究所
- 2639)林敏潔(2011)「翻訳家としての魯迅とある日本語教師—松本亀次郎と雑誌『日文研究』—」『東方』380 東方書店
- 2640)林敏潔(2011)「魯迅生誕130周年によせて 松本亀次郎の日本語教育と魯迅」『世界文学』114号 世界文学会
- 2641)ワシーリー・モロジャコフ(2011)「ロシアの「拓殖大学」—ウラジオストックの東洋学院、その経験と遺産—」『新日本学』第22号 拓殖大学日本文化研究所
- 2642)渡辺祐子(2011)「もうひとつの中国人留学生史—中国人日本留学史における中華留日基督教青年会の位置—」『カルチュラル』5巻1号 明治学院大学教養研究センター
- 2643)王秋陽(2011)「日本統治時代の台湾における日本語教育—グアン氏言語教授法に関連して—」『東アジア研究』第9号 山口大学大学院東アジア研究科
- 2644)秋山洋子(2012)「駿河台大学における留学生教育—これまでの成果と今後の課題—」『駿河台経済論集』第21巻第2号 駿河台大学経済学部
- 2645)安達清治(2012)「留学生の増加とコミュニケーション対応 安達ゼミの10年間の実績」

- 2646)有松しづよ(2012)「植民地下における朝鮮人母親の「皇国臣民」化と「国語」教育」日本植民地教育史研究会(2012)『植民地教育史研究年報第14号 植民地・こども・「新教育」』皓星社
- 2647)安志英(2012)「韓国における日本語教育の歴史」『2012年日本語教育国際研究大会予稿集第2分冊』日本語教育学会
- 2648)葉慧君(2012)「日本統治時代における台湾先住民の日本語教育」『語学教育研究論叢』第29号 大東文化大学語学教育研究所
- 2649)庵功雄(2012)「日本語教育文法の現状と課題」『一橋日本語教育研究』1号 ココ出版
- 2650)石井清史(2012)「中南米から(その1)中南米の日本語(1/3)歴史的背景」『むすびめ2000—図書館と日本在住外国人をむすぶ人・ことば・生活・本・情報の通信—』第80号 むすびめの会
- 2651)石井清史(2012)「中南米から(その2)中南米の日本語(2/3)日系人の日本語環境」『むすびめ2000—図書館と日本在住外国人をむすぶ人・ことば・生活・本・情報の通信—』第81号 むすびめの会
- 2652)泉史生(2012)「戦前台湾の公学校の所在確認」『言語と交流』第15号 言語と交流研究会
- 2653)市瀬俊介(2012)「国際交流基金の日本語教育政策転換について—「日本語教育スタンダード」の構築をめぐる—」『神戸国際大学紀要』第82号 神戸国際大学学術研究会
- 2654)呉書雅(2012)「戦後の台湾留学生派遣政策の変容」『広島大学高等教育研究開発センター大学論集』第43集 広島大学
- 2655)上田崇仁(2012)「戦前のラジオ「国語」講座と日本語講座の比較研究—占領地と植民地の比較を通じて—」『2012年日本語教育国際研究大会予稿集第2分冊』日本語教育学会
- 2656)梅原大輔(2012)「オーストラリアの日本語教科書の分析」『甲南女子大学研究紀要. 文学・文化編』48号 甲南女子大学
- 2657)江口泰生(2012)「レザノフ「会話」からみた18世紀末石巻方言のマスとマスル」『國語國文』第81巻第12号
- 2658)大河原尚(2012)「日本語を教えるとはどういうことか(1)長沼メソッドとは:考え方の

- 2659)太田修(2012)「戦時期大邱の朝鮮人女子学生の学校生活—1937年の日記から—」韓哲昊・原田敬一・金信在・太田修(2012)『佛教大学国際学術研究叢書 3 植民地朝鮮の日常を問う 第2回佛教大学・東國大学校共同研究』思文堂出版
- 2660)太田孝子(2012)「植民地下朝鮮からの女子内地留学生(Ⅱ)—帝国女子専門学校—」『岐阜大学留学生センター紀要 2011』 岐阜大学留学生センター
- 2661)大谷渡(2012)「記憶の中の台湾と日本(6)—統治下における戦争の体験—」『關西大學文學論集』第 61 卷第 4 号 関西大学文学会
- 2662)大塚望(2012)「動詞の形式性について—橋本、山田、松下、時枝—」『日本語日本文学』第 22 号 創価大学日本語日本文学会
- 2663)岡本輝彦(2012)「台湾社会における「国語」と「日本語」の位置づけについての—考察—」『別府大学日本語教育研究』第 2 号 別府大学日本語教育センター
- 2664)小川誉子美・河路由佳(2012)『『日本語をめぐる国際交流史』の内容と意義—テキスト作成の経緯と内容について—』『2012年日本語教育国際研究大会予稿集第2分冊』日本語教育学会
- 2665)高明珠(2012)「日本留学生の歴史的貢献からみた清末留学生派遣政策の効果」『同志社政策科学研究』第 14 卷第 1 号 同志社大学政策学会
- 2666)上久保明子(2012)「ミクロネシア連邦ヤップ島における日本語教育の現状及びその変遷」『東京外国語大学日本研究教育年報』16 東京外国語大学日本課程
- 2667)神谷キヨ子(2012)「芦田恵之助の読み方教授—言語活動から見たその特質—」『佛教大学教育学部学会紀要』第 11 号 佛教大学
- 2668)川上尚恵(2012)「日中戦争期中国華北の省・特別市公署における日本語学習奨励の施策—青島特別市公署の各種試験を中心に—」『2012年日本語教育国際研究大会予稿集第1分冊』日本語教育学会
- 2669)川口敦子(2012)「コリャード『羅西日辞書』諸本の異同—ローマ、ヴァチカンにおける調査を中心に—」『人文論叢』第 29 号 三重大学人文学部文化学科
- 2670)河路由佳(2012)「1943年・仏印から日本への最後のベトナム人私費留学生とベトナム独立運動—チェン・ドク・タン・フォン(陳徳清風)さん(聞き書き資料)—」『日本オーラル・ヒストリー研究』第 8 号 日本オーラル・ヒストリー学会

- 2671)河路由佳(2012)「長沼直兄の戦前・戦中・戦後—激動の時代を貫いた言語教育者としての信念を考える—」『日本語教育研究』第58号 学校法人長沼スクール
- 2672)姜信和(2012)「‘倦怠’は存在の反証である—尹東柱の‘倦怠’と‘生活’にみる日常的植民性の諸相—」『東アジア研究』第57号 大阪経済法科大学アジア研究所
- 2673)木下昭(2012)「ダバオの日本語教育の変遷とトランスナショナリズム」『日本教育社会学会第64回大会発表要旨集録』 日本教育社会学会
- 2674)久保蘭愛(2012)「ロシア資料にみる18世紀前半鹿児島方言の「テアル」「テオル」」『日本語の研究』第8巻1号 日本語学会
- 2675)熊谷明泰(2012)「朝鮮総督府の「国語常用・国語全解」政策に伴うダイグロシアの進展」『韓国文化研究』第1号 韓国文化学会
- 2676)倉八順子(2012)「和洋女子大学資格コース「日本語教員養成課程」についての考察—養成課程七年間の歩みと今後の課題—」『和洋國文研究』第47号 和洋女子大学日本文学・文化学会
- 2677)クリス・ベルアド(2012)「レオン・ド・ロニー『青竜寺』(1872)の構造と物語—フランス演劇初の「日本」をめぐる—」『GALLIA』LI(51) 大阪大学フランス語フランス文学会
- 2678)桑原哲朗(2012)「芦田恵之助の読み方教授における問いの技芸(1)教壇記録「乃木大将の幼年時代」から」『上越教育大学国語研究』第26号 上越教育大学国語教育学会
- 2679)小出記念日本語教育研究会(2012)「小出記念日本語教育研究会20周年企画 研究会発足からの20年を振り返る」『小出記念日本語教育研究会論文集』20 小出記念日本語教育研究会
- 2680)國分建志(2012)「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷(二)—」『文學藝術』36 共立女子大学文芸学部
- 2681)古田島洋介(2012)「潘飛声をめぐって—ベルリン大学「東洋語学校」講師を務めた清国人—」稲賀繁美編著(2012)『東洋意識—夢想と現実の間 一八八七—一九五三—』ミネルヴァ書房
- 2682)小谷一郎(2012)「一九三〇年代日本における中国人日本留学生の文学・芸術活動と日中の交流—雑誌『劇場芸術』を手掛かりに—」『季刊中国』No.108 「季刊中国」刊行委員会
- 2683)小林潔(2012)「黒野義文『露和通俗会話篇』について」『人文研究』No.176 神奈川大学人文学会

- 2684)近藤彩・木谷直之・木田真理(2012)「日本語教育指導者養成プログラムの10年の歩みー現職の非母語話者日本語教師の修了後の活動を踏まえてー」『日本言語文化研究会論集』第8号 日本言語文化研究会
- 2685)酒井恵美子(2012)「台湾・朝鮮植民地国語教科書の比較ー大正・昭和初期教科書の現地採集の教材についてー」『社会科学研究』第32巻第2号・61号 中京大学社会科学研究所
- 2686)酒井順一郎(2012)「1930年代上海における日本語ブームの一考察ー第二次上海事変前夜を中心にー」『2012年日本語教育国際研究大会予稿集第2分冊』日本語教育学会
- 2687)桜井隆(2012)「満州ピジン中国語と協和語」『明海日本語』17 明海大学日本語学会
- 2688)桜井豪人(2012)「アーネスト・サトウ『会話篇』Part II 訳註稿(6)」『人文コミュニケーション学科論集』第12号 茨城大学人文学部
- 2689)桜井豪人(2012)「アーネスト・サトウ『会話篇』Part II 訳註稿(7)」『人文コミュニケーション学科論集』第13号 茨城大学人文学部
- 2690)佐藤照雄(2012)「明治期タイ人学生の留学生活と日本側の対応」『アジア太平洋研究科論集』第23号 早稲田大学大学院アジア太平洋研究科出版・編集委員会
- 2691)塩路晶子(2012)「20世紀初頭ハワイにおける日系移民の就学前教育に関する一考察」『鳴門教育大学研究紀要』第27巻 鳴門教育大学
- 2692)柴公也(2012)「日本統治時代の台湾生活誌(II)」『海外事情研究』第39巻第2号 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 2693)柴公也(2012)「日本統治時代の台湾生活誌(III)」『海外事情研究』第40巻第1号 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 2694)島田めぐみ・高橋久子(2012)「ハワイに残る日本語ー「おご」を一例にー」『東京学芸大学紀要 人文社会科学系 I』第63集 東京学芸大学
- 2695)嶋津拓(2012)「1950年代～1960年代の海外日本語普及事業についてー国際文化交流事業の一環としての「日本語の普及」の黎明期ー」『大東文化大学紀要<社会科学>』第50号 大東文化大学
- 2696)嶋津拓(2012)「鶴見祐輔と1930年代のオーストラリアにおける日本語教育ー「日本語熱」の発見とその戦中戦後への影響ー」『オーストラリア研究』vol.25 オーストラリア学会
- 2697)清水孝子(2012)「英国聖公会宣教協会(CMS)レポートに見る大分の初期キリスト教伝道についてー宣教師ブリベと滝廉太郎の出会いー」『日本文理大学紀要』第40巻第2号 日本文理大学

- 2698)徐一平(2012)「日本語教育と日本学研究の関係ー中国の日本語教育を例にー」『東アジア文化交渉研究, 東アジア文化研究科開設記念号』関西大学大学院東アジア文化研究科
- 2699)白柳弘幸(2012)「戦時下台湾国民学校における皇民化教育ー史料「歩み乃あと」と台湾総督府教科書よりー」『玉川大学教育博物館紀要』第9号 玉川大学教育博物館
- 2700)経志江(2012)「中日国交断絶期における唯一の日本語・日本文学教授 徐祖正」『日本経大論集』第42巻第1号 日本経済大学経済研究会
- 2701)鄒双双(2012)「30年代の北京における銭稻孫像ー日本人留学生の目を通してー」『東アジア文化交渉研究』第5号 関西大学
- 2702)孫曉英(2012)「言語教育政策から見た中国の日本語教育ー大平学校を中心にー」『2012年日本語教育国際研究大会予稿集第2分冊』日本語教育学会
- 2703)孫守峰(2012)「WTO加盟から10年間の中国高等教育機関におけるビジネス日本語教育の現状ー商務日語コースを中心にー」『間谷論集』第6号 日本語日本文化教育研究会編集委員会
- 2704)高橋良江(2012)「中国人留日生の日本語教育を通して松本亀次郎が果たした役割について」『佛教大学大学院紀要 文学研究科篇』第40号 佛教大学
- 2705)田中祐輔(2012)「中国の大学専攻日本語教科書と日本の小・中・高等学校国語教科書との比較研究ー1960・1970・1980年代の教科書掲載作品・作家の特徴と変遷ー」『国語教育史研究』第13号 国語教育史学会
- 2706)田宮昌子(2012)「山西省孟県仙人村調査報告ー「個人史から考える日中近現代関係史」の一環としてー」『宮崎公立大学人文学部紀要』第19巻第1号 宮崎公立大学
- 2707)荊建堂(2012)「清末における留日学生派遣政策の成立ー「弘文学院」設立経緯の再検討ー」『KGU比較文化論集』第4号 関東学院大学文学部人文学会比較文化学部会
- 2708)陳文松(2012)〔閩立訳〕「植民地期台湾総督府国語学校における日本人と台湾人校友の役割ー「共治庄政」：草屯地域における渥美寛蔵と洪清江の関係を中心にー」『経済史研究』第15号 大阪経済大学日本経済史研究所
- 2709)陳娟(2012)「早期中國人編纂の日語教材ー以《東語簡要》、《東語入門》、《東語正規》為例ー」『東アジア文化交渉研究』第5号 関西大学〔中文〕
- 2710)陳虹彪(2012)「日本統治下台湾人用国語教科書と国定教科書の比較研究(その1)ー第一期読本を中心にー」『平安女学院大学研究年報』第12号 平安女学院大学



- 2711)蔡蕙光(2012)「台湾総督府による台湾籍民学校の成立－東瀛学堂・旭瀛書院・東瀛学校－」  
『東京大学日本史学研究室紀要』第16号 東京大学大学院人文社会系研究科・文学部日  
本史学研究室
- 2712)槻木瑞生(2012)「大陸と鏡泊学園」『国士舘史研究年報 楓原』第4号 学校法人国士舘
- 2713)槻木瑞生(2012)「満洲教育史概略－その土地に生きた人の視点から－」『News letter』24  
近現代東北アジア地域史研究会
- 2714)寺前君子(2012)「満洲児童文学研究－寺田喜治郎と『コドモ満洲』－」『日本児童文学・  
文化研究誌』第4号 梅花女子大学
- 2715)中川かず子(2012)「日本語教師養成の現在と今後の可能性－本学課程との関連において  
－」『北海学園大学人文論集』53号 北海学園大学人文学会
- 2716)中田敏夫(2012)「一人の台湾人の残した従軍感想記録－南支派遣部隊附陸軍臨時通訳とし  
て－」『国語国文学報』第70集 愛知教育大学国語国文学研究室
- 2717)永田英明(2012)「魯迅と東北大学－歴史のなかの留学生－」『東北大学史料館紀要』第7  
号 東北大学史料館
- 2718)なかのまき(2012)「国立国語研究所「日本語研究・日本語教育文献データベース」」『社  
会言語学』第12号 「社会言語学」刊行会
- 2719)中橋真穂(2012)「日系アメリカ人4世のライフストーリー－日本語学習とエスニック・ア  
イデンティティに着目して－」『大阪大学言語文化学』第21号 大阪大学言語文化学会
- 2720)中村重穂(2012)「興亜院派遣日本語教師の日本語教授法講義録の分析－「国民学校国民科  
国語」との関連から－」『メディア・コミュニケーション研究』62号 北海道大学大学院  
メディア・コミュニケーション研究院
- 2721)ナヒヤ(娜荷芽)(2012)「満洲国におけるモンゴル人中等教育－興安学院を事例に－」『日  
本モンゴル学会紀要』第42号 日本モンゴル学会
- 2722)新野直哉(2012)「昭和10年代の国語学・国語教育・日本語教育専門誌に見られる言語規  
範意識－副詞“とても”・「ら抜き言葉」などについて－」『言語文化研究』11号 静岡県  
立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 2723)西郡仁朗(2012)「言語政策の面から見た日本語教育の40年－留学生教育の現場からの視  
点－」『人文学報』No.458 首都大学東京都市教養学部人文・社会系／東京都立大学人文  
学部
- 2724)野田康世(2012)「長沼直兄の日本語教育理念及び指導方法に関する研究」『日本語と日本

- 2725)朴成河(2012)「日本帝国の解体と朝鮮人「内地留学」の終焉—戦後直後・朝鮮人留学生政策を中心に—」『在日朝鮮人史研究』第42号 緑陰書房
- 2726)畑澤桂子(2012)「軍政下香港の民間日本語教育機関」『2012年日本語教育国際研究大会予稿集第2分冊』日本語教育学会
- 2727)原暉之(2012)「函館を訪れたウラジオストクの東洋学院生」『会報』第10号 函館日ロ交流史研究会
- 2728)春口淳一(2012)「中国における日本語教育事情研究の変遷」『長崎外大論叢』第16号 長崎外国語大学
- 2729)韓秀蘭(2012)「中国延辺朝鮮族の中等教育における日本語教育の展望」『人文論叢』第29号 三重大学人文学部文化学科
- 2730)韓炫精(2012)「植民地期朝鮮における「新教育」—『文教の朝鮮』の言語教授法記事を中心に—」日本植民地教育史研究会(2012)『植民地教育史研究年報第14号 植民地・こども・「新教育」』 皓星社
- 2731)韓紅艷(2012)「蒙疆政権における日本語教育について」『北海学園大学日本語教育研究』第3号 北海学園大学日本語教育研究会
- 2732)韓立冬(2012)「東亜学校の中国人留学生予備教育—特設予科との関係を中心に—」『年報地域文化研究』第16号 東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻
- 2733)平川祐弘(2012)「『源氏物語』の評価と日本文化の評価—西洋文明至上主義者チェンバレンとウェイリーの隠微な論争—」稲賀繁美編著(2012)『東洋意識—夢想と現実の間— 一八八七—一九五三—』ミネルヴァ書房
- 2734)方光鋭(2012)「伊沢修二と『東亜普通読本』—『幼学綱要』との関係について—」『中国研究月報』772号 (社)中国研究所
- 2735)藤森智子(2012)「日本統治下台湾の「国語講習所」における社会的指導の実際—新竹州「関西庄国語講習所」の日誌(1937)より—」日本植民地教育史研究会(2012)『植民地教育史研究年報第14号 植民地・こども・「新教育」』 皓星社
- 2736)藤森智子(2012)「日本統治下台湾の「国語講習所」の講師—公学校『職員履歴書』を中心に—」『2012年度日本語教育学会春季大会予稿集』日本語教育学会

- 2737)包賀喜格図(2012)「清末内蒙古喀喇沁右旗毓正女学堂産生的歴史背景分析—以甲午戦争之后日本東亜同文会对中国教育策略为中心—」〔中文〕『大阪大学中国文化フォーラム』No.2012-5 大阪大学
- 2738)包賀喜格図(2012)「下田歌子と内蒙古の近代女子教育について—内蒙古カラチン右旗毓正女学堂の設立を中心に—」『九州共立大学研究紀要』第3巻1号 九州共立大学
- 2739)本行沙織(2012)「日本語教育から見る日本占領期のビルマ」『日本語・日本文化研究』第22号 大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻
- 2740)馬小力(2012)「奉天省による日本に派遣された女子留学生について—清末日本留学の背景を中心に—」『日本言語文化研究 城西国際大学大学院紀要』第1号 城西国際大学大学院
- 2741)Maeda Hitosi〔前田均〕(2012)「石森延男の戦時下の作品」(財)日本のローマ字社『Rômazi no Nippon』660号 くろしお出版
- 2742)Maeda Hitosi〔前田均〕(2012)「『日本語海外普及に関する協議会』(1937~1938)の議論に現れたローマ字論」(財)日本のローマ字社『Rômazi no Nippon』2012年正月号 くろしお出版
- 2743)松浦とも子・柳坪幸佳・小長谷友香(2012)「中国の日本語教育研究の発展と課題」『2012年日本語教育国際研究大会予稿集第1分冊』日本語教育学会
- 2744)松岡弘(2012)「第二言語教育における対話文・対話教育の意義と伝統について—チェコ兄弟教団のカテキズムとクラトフスキーの『会話教本』、そしてコメニウスの『遊戯学校』から「挿絵のない『世界図絵』」までの風景—」『東海大学紀要国際教育センター』第2号 東海大学
- 2745)松澤芙美子・関正昭(2012)「トルコの日本語教育史—その始まりから現況まで—」『東海大学紀要国際教育センター』第2号 東海大学
- 2746)松永典子(2012)「松本亀次郎『言文対照漢訳日本文典』にみる近代日本の「知の加工」」『比較社会文化』第18巻 九州大学大学院比較社会文化学府
- 2747)マリヤム・アタシゴレスタン(2012)「イランにおける外国語教育の歴史と現状—主に日本語教育を中心に—」『イラン研究』第8号 大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻(専攻言語ペルシア語)
- 2748)三門準(2012)「『たより』に見る戦後期の東京日本語学校」『日本語教育研究』第58号 学校法人長沼スクール

- 2749)南田みどり(2012)「ビルマ作家たちの「日本時代」」『大阪大学世界言語研究センター論集』第7号 大阪大学世界言語研究センター
- 2750)宗村高満(2012)「大正大学の中国人留学生—旧制大学時代を中心に—」『大正大学総合佛教研究所年報』第34号 大正大学総合佛教研究所
- 2751)村田昌巳(2012)「アレッサンドロ・ヴァリニャーノとヴィンチェンツォ・チマッティ(I)—研究序説—」『サレジオ工業高等専門学校研究紀要』第38号 サレジオ工業高等専門学校
- 2752)村田昌巳(2012)「アレッサンドロ・ヴァリニャーノとヴィンチェンツォ・チマッティ(II)—日本派遣の背景—」『サレジオ工業高等専門学校研究紀要』第39号 サレジオ工業高等専門学校
- 2753)守屋貴嗣(2012)「アルゼンチン日本語文学論—『巴茶媽媽』について—」『異文化. 論文章』第13号 法政大学国際文化学部
- 2754)安森敏隆(2012)「小泉蓼三論—『山西前線』を読む—」『同志社女子大学日本語日本文学』第24号 同志社女子大学日本語日本文学会
- 2755)家根橋伸子(2012)「第二言語(日本語)教育における「方法」概念の変遷と現在—post method時代の「方法」の位置づけを考える—」『東亜大学紀要』第15号 東亜大学
- 2756)晏妮(2012)「20世紀初頭、上海における中国教育会の設立—特に日本との関係を中心に—」『人間文化研究所年報』第27号 奈良女子大学大学院人間文化研究科
- 2757)山本博昭(2012)「緑旗連盟と戦時下「国語」普及・常用運動」『佛教大学大学院紀要 文学研究科篇』第40号 佛教大学
- 2758)由井紀久子(2012)「ハワイ大学蔵旧南洋群島関係資料」『無差』第19号 京都外国語大学日本語学科
- 2759)横井和彦・高明珠(2012)「中国清末における留学生派遣政策の展開—日本の留学生派遣政策との比較をふまえて—」『経済学論叢』第64巻第1号 同志社大学経済学会
- 2760)李善英(2012)「植民地朝鮮における言語政策とナショナリズム—朝鮮総督府の朝鮮教育令と朝鮮語学会事件を中心に—」『立命館国際研究』25巻2号 立命館大学国際関係学会
- 2761)李美善(2012)「大出正篤の朝鮮における日本語教育—『新撰高等国語読本 全』を中心に—」『目白大学高等教育研究』第18号 目白大学教育研究所
- 2762)林嘉純(2012)「植民時期台湾に於ける日本語教育山口喜一郎の「直接法」—「ペスタロッ

チ」「コメニウス」との関連について」『拓殖大学大学院言語教育研究科「研究年報」』  
2011年度(12号) 拓殖大学大学院言語教育研究科

2763)渡辺哲男(2012)「「国語」の創出をめぐる言語学者・国語学者の戦前戦後—「音韻」概念の位相とローマ字問題をてがかりとして—」『全国大学国語教育学会国語科教育研究第122回筑波大会研究発表要旨集』全国大学国語教育学会

2764)王娟(2012)「戦時下における北京覚生女子中学校の教育—北京市档案馆資料を中心に—」『中国研究月報』774号 (社)中国研究所

2765)王秋陽(2012)「台湾総督府国語学校の設立と言語教育の推進」『アジアの歴史と文化』16  
山口大学アジア歴史・文化研究会

2766)青木志穂子(2013)「ジョアン・ロドリゲスとヨハン・ヨセフ・ホフマンの日本語敬語分析について」『洋学史研究』30 洋学史研究会

2767)青木志穂子(2013)「西洋人による明治期日本における敬語研究の諸相—アストンとチェンバレンを比較して—」『2013年度日本語教育学会秋季大会予稿集』日本語教育学会

2768)荒まゆみ(2013)「昼休みの日本語講座、「プチレッスン」—日本語能力試験対策講座—」『尚美学園大学総合政策論集』第17号 尚美学園大学

2769)荒川みどり(2013)「大出正篤の初級教科書からみる戦前戦中の中国東北部における成人向け日本語授業」『杏林大学外国語学部紀要』第25号 杏林大学外国語学部

2770)Aldo Tollini(2013)「ヴェネツィア・カ・フォスカリ大学の日本研究の歴史と現状」郭南燕編(2013)『世界の日本研究2013 日本研究の新しい動向』国際日本文化研究センター

2771)飯田和明(2013)「生活綴方教育前史の検討—芦田恵之助の「随意選題」における「自己」—」『筑波大学人間総合科学研究科学校教育専攻学校教育学研究紀要』第6号 筑波大学大学院人間総合科学研究科学校教育学専攻

2772)飯田史也(2013)「20世紀はじめのフランスにおける日本語テキストの考察—ジョセフ・ドトルメールの“Le Premier Livre de Japonais”—」『福岡教育大学紀要』第62号第4分冊教職科編 福岡教育大学

2773)葉慧君(2013)「台湾先住民の日本語使用状況の分析—三光村のタイヤル族を中心に—」『大東文化大学大学院外国語学研究』第14号 大東文化大学大学院外国語学研究科

2774)池田菜採子(2013)「B.Blochの活用論の成立—影響を与えた先駆者たち—」『金城学院大学論集. 人文科学編』9巻2号 金城学院大学

- 2775)石井清史(2013)「中南米から(その3)中南米の日本語(3/3)文化交流と日本語普及」『むすびめ 2000—図書館と日本在住外国人をむすぶ人・ことば・生活・本・情報の通信—』第82号 むすびめの会
- 2776)石井元章(2013)「岡倉天心とイタリア —『東洋の理想』と1930年ローマ日本美術展—」『イタリア学会誌』63巻 イタリア学会
- 2777)石黒敏明(2013)「外国語教授法の歴史から学ぶ —これからの英語教育で何が必要か—」『神奈川大学心理・教育研究論集』34号 神奈川大学
- 2778)石田淑霞(2013)「『満州』の『日本語読本』—満鉄と関東庁の比較を中心に—」『比較文化研究』109号 日本比較文化学会
- 2779)和泉司(2013)「日本統治期台湾の皇民化運動における国語＝日本語の位置づけ」『日本語と日本語教育』第41号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 2780)市嶋典子(2013)「日本語教育における評価研究の変遷と課題—制度が規定する評価から、実践を起点とした評価、思想としての評価へ—」『言語文化教育研究』第11巻 早稲田大学日本語教育研究センター言語文化教育研究会
- 2781)岩上はる子(2013)「日本学者 F.V.ディキンズ研究」『滋賀大学 seeds』No.9 滋賀大学
- 2782)植田晃次(2013)「伊藤伊吉の経歴と著書—日本近代朝鮮語教育史の視点から—」『言語文化研究』第39号 大阪大学大学院言語文化研究科
- 2783)江口泰生(2013)「レザノフ『日本語学習の手引き』第9章「会話」篇からみた18世紀末石巻方言の敬語」『語文研究』116号 九州大学国語国文学会
- 2784)大澤広嗣(2013)「戦時期フランス領インドシナにおける宗教工作—宇津木二秀と久野芳隆の現地調査—」『東洋文化研究』第15号 学習院大学
- 2785)太田孝子(2013)「植民地朝鮮からの女子内地留学生(Ⅲ)—東京高等女子師範学校—」『岐阜大学留学生センター紀要 2012』 岐阜大学留学生センター
- 2786)大谷渡(2013)「記憶の中の台湾と日本(7)—統治下に育った人びとの戦後の軌跡—」『關西大學文學論集』第62巻第4号 関西大学文学会
- 2787)岡田誠(2013)「松本亀次郎と松下大三郎の受身の論について」『國學院大學大學院紀要—文学研究科—』第44輯 國學院大學大学院
- 2788)岡本輝彦(2013)「戦後台湾における日本語教育の歴史的変遷」『別府大学日本語教育研究』第3号 別府大学日本語教育センター

- 2789)岡本真希子(2013)「『国語』普及政策下台湾の官僚組織における通訳育成と雑誌『語苑』—1930-1940年代を中心に—」『社会科学』第42巻4号 同志社大学人文科学研究所
- 2790)沖田秀詞(2013)「戦前の協会会報「解題」編集こぼれ話 第6回—タイ国留学生と日本語教育（前篇）—」『タイ国情報』2013年7月号 日本タイ協会
- 2791)沖田秀詞(2013)「戦前の協会会報「解題」編集こぼれ話 第7回—タイ国留学生と日本語教育（後篇）—」『タイ国情報』2013年9月号 日本タイ協会
- 2792)奥田倫子(2013)「日本語学者ヨハン・ヨーゼフ・ホフマン旧蔵日本書籍目録（試案）」『書物・出版と社会変容』14号 「書物・出版と社会変容」研究会
- 2793)上笙一郎(2013)「日本植民地児童文学史・50—芝山巖事件と〈芝山巖精神〉—」『日本古書通信』78巻3号 日本古書通信社
- 2794)川口敦子(2013)「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同（2）—国内諸本など—」『三重大学日本語学文学』第24号 三重大学日本語日本文学研究室
- 2795)川口敦子(2013)「ポルト市公共図書館所蔵日本関係資料について」『人文論叢』第30号 三重大学人文学部文化学科
- 2796)河原功(2013)「台湾に生き続ける旧制高等学校—台北高等学校創立九〇周年記念系列活動—」『東方』384 東方書店
- 2797)菊池一隆(2013)「日本の理蕃政策と台湾原住民—戦時期を中心に—」『人間文化』第28号 愛知学院大学人間文化研究所
- 2798)北川扶生子(2013)「『やまと新聞』投稿欄にみるハワイ日系日本語文学の草創期」『日本近代文学』第89集 日本近代文学会
- 2799)木下謙朗・佐藤正則・小笠恵美子・武一美(2013)「日本語教育の多様化とアカデミック・ジャパニーズの理念の広がり—アカデミック・ジャパニーズの過去・現在・未来—」『2013年度日本語教育学会秋季大会予稿集』日本語教育学会
- 2800)儀保ルシーラ悦子(2013)「言語接触論から見たブラジル沖縄コロニア語」『移民研究』第9号 琉球大学移民研究センター
- 2801)日下部恵一郎(2013)「事業仕分けを契機にした日本語教育振興協会の社会的位置付けの変化」『言語政策』第9号 日本言語政策学会
- 2802)日下部龍太(2013)「台北第一師範学校附属公学校訓導宋登才の日記及び論文に関する考察—国語と修身をめぐる教育観の差を中心に—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別

- 2803)久保蘭愛(2013)「ロシア資料の動詞の活用」『文献探究』51 文献探究の会
- 2804)久保田優子(2013)「植民地末期朝鮮の国語(日本語)教育に対する「国語認識」」『九州産業大学国際文化学部紀要』第54号 九州産業大学国際文化学会
- 2805)グリブ・ディーナ(2013)「ロシアにおける日本漢文の研究史および日本漢文の教育状況と学習者の意識に関する事例研究」『日本語研究』33号 首都大学東京
- 2806)國分建志(2013)「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷(三)—」『文學藝術』37 共立女子大学文芸学部
- 2807)小林ミナ(2013)「日本語教育文法の研究動向」『日本語学』第32巻第7号 明治書院
- 2808)近藤佳子(2013)「イランの日本語教育について」『イラン研究』第9号 大阪大学大学院言語文化研究科言語社会専攻(専攻言語ペルシア語)
- 2809)桜井豪人(2013)「アーネスト・サトウ『会話篇』Part II 訳注稿(補遺)」『人文コミュニケーション学科論集』第14号 茨城大学人文学部
- 2810)佐藤貴仁(2013)「ある台湾日本語世代の牧師の記憶」『交流:台湾情報誌』2013年2月号 交流協会総務部
- 2811)佐藤貴仁(2013)「現在を生きる台湾日本語世代の日本語によることばの活動の意味」『言語文化研究』第11巻 早稲田大学日本語教育研究センター言語文化教育研究会
- 2812)嶋津拓(2013)「戦前戦中期にオーストラリアで制作された日本語教科書—とくに、その意図せざる「結果」について—」『オーストラリア研究紀要』第39号 追手門学院大学オーストラリア研究所
- 2813)嶋津拓(2013)「敗者たちの海外言語普及—敗戦後における日本と独逸の海外言語普及事業—」『言語政策』第9号 日本言語政策学会
- 2814)柴公也(2013)「日本統治時代の台湾生活誌(IV)」『海外事情研究』第40巻第2号 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 2815)柴公也(2013)「日本統治時代の台湾生活誌(V)」『海外事情研究』第41巻第1号 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 2816)柴田幹夫(2013)「『日華学堂日誌』1898~1900年」『新潟大学国際センター紀要』第9号 新潟大学国際センター



- 2817)徐秀瑩(2013)「台湾省行政長官公署公報(1945-1947)からみる日本語を対象にした言語政策の実態」『人間社会環境研究』第26号 金沢大学大学院人間社会環境研究科
- 2818)白岩広行・平本美恵・朝日祥之(2013)「ハワイ日系人社会における方言接触と人称詞使用の様相—残されたオーラルヒストリーデータをもとに—」『阪大日本語研究』25 大阪大学大学院文学研究科日本語学講座
- 2819)白戸健一郎(2013)「満洲電信電話株式会社の多言語放送政策」『マス・コミュニケーション研究』82号 日本マス・コミュニケーション学会
- 2820)菅野正(2013)「北京の日本人教習と大阪の中国語教育」『奈良史学』30号 奈良大学史学会
- 2821)宋群(2013)「東亜同文書院院長根津一の満洲教育構想に見る日本軍政下の金州南金書院の「日本語教育」の実態(1904~1906年)」『指向』第10号 大東文化大学大学院外国語学研究科日本語文化学専攻
- 2822)孫曉英(2013)「日中国交正常化以降の中国における日本語教育と日中交流—大平学校(1980年~1985年)に焦点を当てて—」『アジア教育』第7巻 アジア教育学会
- 2823)代珂(2013)「満洲国」における学校放送とその機能」『人文学報』No.478 首都大学東京人文科学研究科
- 2824)田中寛(2013)「戦争が遺した日本語—「少国民綴り方」と「軍用支那語」—」『大東文化大学外国語学部日本語学科創設二十周年記念論集』 大東文化大学
- 2825)田中祐輔(2013)「中国における日本語教育論議の現代史—学術誌『日語学習と研究』(1979~2012)の分析から—」『日本語教育』156号 日本語教育学会
- 2826)田中祐輔(2013)「中国の大学専攻日本語教育における「国語教育」—教育委員会中国日本語教師派遣事業から見る国語科教諭の教育実践と求められた役割—」『国語科教育』第74集 全国大学国語教育学会
- 2827)田中祐輔(2013)「中国の大学専攻日本語教科書の現代史—国語志向と文学思想—」『言語文化教育研究』第11巻 早稲田大学日本語教育研究センター言語文化教育研究会
- 2828)田中里奈(2013)「日本語教育における「ネイティブ」／「ノンネイティブ」概念—言語学研究および言語教育における関連文献のレビューから—」『言語文化教育研究』第11巻 早稲田大学日本語教育研究センター言語文化教育研究会
- 2829)棚橋明美(2013)「日本語予備課程」の歩み」『聖学院大学総合研究所 newsletter』vol.23, No.1 聖学院大学総合研究所

- 2830)ダニエル・ロング、今村圭介(2013)「パラオで話されている日本語の実態—戦前日本語教育経験者と若年層日本滞在経験者の比較—」『人文学報』No.473 第 473 号 首都大学東京都市教養学部人文・社会系／首都大学東京人文科学研究科
- 2831)谷口龍子(2013)「日本語排除から日本語受け入れへ—戦後台湾における言語政策、社会的環境の変容と継承日本語との関わり—」『東京外国語大学論集』第 86 号 東京外国語大学
- 2832)段克勤・陳咏梅・崎原麗霞・劉笑非(2013)「中国の大学における日本語教育の変化—日本文化の導入—」『鳥取大学教育研究論集』第 3 卷 鳥取大学大学教育支援機構教育センター—教職教育部門
- 2833)張文環(2013)「公学校の思ひで」『東洋大学中国哲学文学科紀要』21 号 東洋大学文学部
- 2834)張泓明(2013)「中国山西省における日本語教育」『金沢大学文化資源学研究』12 号 金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センター
- 2835)崔誠姫(2013)「第二次朝鮮教育令施行期における中等教育機関への進学過程—高等普通学校・女子高等普通学校を中心に—」『朝鮮史研究会論文集』No.51 緑蔭書房
- 2836)崔眞善(2013)「植民地期朝鮮の「国語普及運動」の展開と朝鮮女性の反応」松田利彦・陳延媛編(2013)『地域社会から見る帝国日本と植民地—朝鮮・台湾・満洲—』思文閣出版
- 2837)張龍龍(2013)「蘇州大学における日本語教育」『花園大学文学部研究紀要』第 45 号 花園大学文学部
- 2838)荊建堂(2013)「嘉納治五郎の留学生教育と中国近代教育—中国教育視察中の言動を中心に—」『KGU 比較文化論集』5 号 関東学院大学文学部人文学会比較文化学部会
- 2839)荊建堂(2013)「「弘文学院」における嘉納治五郎の留学生教育思想」『神話と詩：日本聞一多学会報』第 11 号 日本聞一多学会事務局
- 2840)周一川、賈曦(2013)「「満州国」留学生予備校第 3 期卒業生をめぐって」『人文学研究所報』50 卷 神奈川大学人文学研究所
- 2841)陳虹彬(2013)「日本統治下台湾人用国語教科書と国定教科書の比較研究(その 2)—第二期読本を中心に—」『平安女学院大学研究年報』第 13 号 平安女学院大学
- 2842)陳虹彬(2013)「日本統治下台湾人用国語教科書と国定教科書の比較研究(その 3)—第三期読本を中心に—」『平安女学院大学研究年報』第 14 号 平安女学院大学

- 2843)寺戸尚隆(2013)「日本の仏教界による「満州国」宣撫工作」『龍谷史壇』第138号 龍谷大学史学会
- 2844)土肥秀行(2013)「下位春吉とゲラルド・マローネーナポリにおける文学的交歓—」『イタリア図書』n.48 イタリア書房
- 2845)中西直樹(2013)「朝鮮植民地化過程と日本仏教の布教活動—日清戦争から初期の朝鮮総督府治政まで—」『龍谷史壇』第137号 龍谷大学史学会
- 2846)長野真澄(2013)「日本語教師の資質—過去40年間における議論の変遷—」『環太平洋大学研究紀要』7巻 環太平洋大学
- 2847)野山広(2013)「地域日本語教育—その概念の誕生と展開—」『日本語学』第32巻第3号 明治書院
- 2848)韓立冬(2013)「「五校特約」下の一高特設予科—修了者の進路を中心に—」『アジア地域文化研究』第9号 東京大学大学院総合文化研究科・教養学部アジア地域文化研究会
- 2849)坂内泰子(2013)「「やさしい日本語」の普及をめぐる」『神奈川県立国際言語文化アカデミア紀要』第2号 神奈川県立国際言語文化アカデミア
- 2850)東出朋(2013)「ロシアにおける日本語教育のあけぼの—ロシアの東方政策から考える—」『比較社会文化研究』第34号 九州大学大学院比較社会文化学府
- 2851)聖田京子(2013)「ハワイにおける日本語教師養成について」『大学日本語教員養成課程研究協議会論集』第8号 大学日本語教員養成課程研究協議会
- 2852)平田諭治(2013)「嘉納治五郎の留学生教育を再考する—近代日中関係史のなかの教育・他者・逆説—」『教育学論集』第9集 筑波大学大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻
- 2853)平本美恵・朝日祥之(2013)「ハワイ日系移民の口語にみられる人称詞表現についての論考」『国立国語研究所論集』第6号 国立国語研究所
- 2854)藤岡寛己(2013)「下位春吉の行動と思想—昭和神聖会運動への参加—」『イタリア図書』n.48 イタリア書房
- 2855)包賀喜格図(2013)「日俄戦争前東亜同文会針對中国的日本語教育策略研究」『大阪大学中国文化フォーラム』No.2013-6 大阪大学〔中文〕
- 2856)本間美奈子(2013)「ブラウン『会話日本語』の助詞を伴わない人称詞について」『言語文化研究』第12号 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会

- 2857)前田均(2013)「軍事占領下の日本語教育—『興国日語学校経営要領』—」『外国語教育』第 39 号 天理大学言語教育研究センター
- 2858)松岡弘(2013)「J.A.コメニウス著『ATRIUM[広間]』の内容と意義—第二言語教育における上級学年用教科書の姿—」『日本語と日本語教育』第 41 号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 2859)松浦勉(2013)「海後宗臣の中国占領統治—植民地主義教育の政策構想—十五年戦争と日本の「講壇教育学」—」『八戸工業大学紀要』第 32 巻 八戸工業大学
- 2860)松橋俊輔(2013)「綴り方教授における「自己」への道—樋口勘次郎の「自発活動」から芦田恵之助の「発動的態度」へ—」『研究室紀要』第 39 号 東京大学大学院教育学研究科基礎教育学研究室
- 2861)三門準(2013)「浅野鶴子の問答法—亜細亜大学での講演を中心に—」『日本語教育研究』第 59 号 学校法人長沼スクール
- 2862)宮崎聖子(2013)「植民地期台湾における国語保育園」『南島史学』第 79・80 合併号 南島史学会
- 2803)宮田節子監 6(2013)「未公開資料 朝鮮総督府関係者録音記録(14) 朝鮮植民地教育—教育実態と政策—」『東洋文化研究』第 15 号 学習院大学東洋文化研究所
- 2864)村上和賀子(2013)「アメリカ日系移民二世の時代と言語問題—『北米年鑑』1936 年版の記録から—」『人文研紀要』第 75 号 中央大学人文科学研究所
- 2865)村田昌巳(2013)「アレッサンドロ・ヴァリニャーノとヴィンチェンツォ・チマッティ(Ⅲ)—ヴァリニャーノと日本語—」『サレジオ工業高等専門学校研究紀要』第 40 号 サレジオ工業高等専門学校
- 2866)村田昌巳(2013)「アレッサンドロ・ヴァリニャーノとヴィンチェンツォ・チマッティ(Ⅳ)—コミュニケーション論的観点から(ヴァリニャーノ篇)—」『サレジオ工業高等専門学校研究紀要』第 41 号 サレジオ工業高等専門学校
- 2867)茂木俊伸(2013)「ウェブを活用した日本語研究文献情報の収集」『日本語学』第 32 巻第 14 号 明治書院
- 2868)森勇樹・坂田浩(2013)「国立高等専門学校における日本語教育の現状と課題—阿南工業高等専門学校での取り組みを例に—」『語文と教育』第 27 号 鳴門教育大学国語教育学会
- 2869)森田健嗣(2013)「戦後台湾山地社会における言語政策の展開—日本語の排除から先住民族言語の排除へ—」『アジア経済』第 54 巻第 2 号 日本貿易振興機構アジア経済研究所

- 2870)八木正自(2013)「Bibliotheca Japonica(186)B.H.チェンバレンの蔵書票」『日本古書通信』  
78巻6号 日本古書通信社
- 2871)八木正自(2013)「Bibliotheca Japonica(187)日本研究家チェンバレン」『日本古書通信』  
78巻7号 日本古書通信社
- 2872)柳田利夫(2013)「ペルー日系二世の短歌と戦前期の日本語教育—里馬実科高等女学校と日  
系婦人会文芸部「椰子の実短歌会」—」『JICA横浜海外移住資料館研究紀要』第7号 国際  
協力機構横浜国際センター海外移住資料館
- 2873)矢放昭文(2013)「ケンブリッジ大学図書館所蔵 E・サトウ読書ノートについて」『あふひ：  
aoi：京都産業大学日本文化研究所報』第19号 京都産業大学
- 2874)山口隆正(2013)「日本語教育50周年を迎えて」『拓殖大学日本語紀要』第22号 拓殖大  
学留学生別科・拓殖大学日本語教育研究所
- 2875)山本忠行(2013)「日本語直接教授法再考」『通信教育部論集』第16号 創価大学通信教  
育部学会
- 2876)山脇野枝(2013)「H.E. Palmer の外国語教育—神戸女学院における Crew Method を一例  
として—」『摂大人文学』第20号 摂南大学外国語学部「摂大人文学」編集委員会
- 2877)吉岡英幸・古屋憲章・河住有希子(2013)「日本語をとおしてお互いに知り合う—吉岡英幸  
氏へのインタビュー—」『早稲田日本語教育実践研究』第1号 早稲田大学日本語教育研  
究センター
- 2878)吉岡英幸・細川英雄・蒲谷宏(2013)「鼎談 日本語教育学のこれまでとこれから—早稲田  
の日本語教育を機転として—」『早稲田日本語教育学』第13号 早稲田大学日本語教育研  
究センター
- 2879)李世暉(2013)「現代台湾における日本研究—現状と挑戦—」『Keio SFC Journal』  
Vol.13, No.1 慶應義塾大学湘南藤沢学会
- 2880)劉振生(2013)「口述史学による「満州国」留学生予備校への一考察」法政大学国際日本学  
研究センター・国際日本学研究所編(2013)『国際日本学—文部科学省21世紀COEプログ  
ラム採択日本発信の国際日本学の構築研究成果報告集—』10 法政大学国際日本学研究セ  
ンター
- 2881)林嘉純(2013)「台湾初期日本語教授法—「直接法」の背景について—一考察—」『拓殖大学  
大学院言語教育研究 2012年度』第13号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 2882)林嘉純(2013)「台湾植民地期初期の日本語教育—伊沢修二の教育政策をめぐって—」日本

植民地教育史研究会(2013)『植民地教育史研究年報第 15 号 1930 年代日本植民地の諸相』  
皓星社

2883)林初梅(2013)「学校という記憶の場—植民地台湾の時代からの連続性に注目して—」『言語文化研究』第 39 号 大阪大学大学院言語文化研究科

2884)揚村剛(2014)「伊沢修二の台湾教育構想—混和主義を中心に—」『東洋史訪』第 21 号 兵庫教育大学東洋史研究会

2885)浅川哲也、グリブ・ディーナ(2014)「ニコライ・レザノフ『日本語理解の手引き』(邦訳)」『人文学報』No.488 首都大学東京都市教養学部人文・社会系/首都大学東京人文科学研究科

2886)有松しづよ(2014)「日本統治下朝鮮における朝鮮人高等女学校生徒の「皇国臣民」化」日本植民地教育史研究会(2014)『植民地教育史研究年報第 16 号 植民地教育とジェンダー』皓星社

2887)生田美智子(2014)「百科全書的学者 H.A.ネフスキー—生誕 120 周年に寄せて—」『Japanese Slavic and East European Studies』vol.34 日本スラヴ・東欧学会〔露文〕

2888)池上悟(2014)「アーネスト・サトウの墓に詣でる」『日本考古学史研究』第 2 号 日本考古学史学会

2889)石田尾博夫・石田尾和奈(2014)「現代中国における日本語教育の歴史的基盤と展開」『福岡医療福祉大学紀要』第 11 号 福岡医療福祉大学

2890)泉史生(2014)「戦前台湾に見る日本語授業の教案の史的研究」『言語と交流』第 17 号 言語と交流研究会

2891)磯田一雄(2014)「日本統治期朝鮮と台湾における日本語俳句受容の比較研究序説」『東アジア研究』第 61 号 大阪経済法科大学アジア研究所

2892)磯田一雄(2014)「日本統治期台湾の書房と公学校—子どもの目線で見た実態—」『東アジア研究』第 62 号 大阪経済法科大学アジア研究所

2893)伊月知子(2014)「旧「満洲」における日本語学習者の日本観形成の一要因」『日本語教育方法研究会誌』vol.21, No.1 日本語教育方法研究会

2894)伊藤孝行(2014)「タイ日本語教育史一片—「埋もれた学者」泉虎一とことば—」『ことばと文字』2 号 日本のローマ字社

2895)今村圭介(2014)「旧南洋群島の日本語話者のスタイル変異—自称詞と文体に着目して—」

- 2896)占部匡美(2014)「日本語教育史における入門期教科書の基礎語彙Ⅱ—国際文化振興会の事業概要と『日本語基本語彙』及び情報局の三百語—」『福岡国際大学紀要』第31号 福岡国際大学
- 2897)占部匡美(2014)「日本語教育史における入門期教科書の基礎語彙Ⅲ—基礎語彙の必要性—」『福岡国際大学紀要』第32号 福岡国際大学
- 2898)江口泰生(2014)「A.タタリノフ『レクシコン』注釈1(A~B)」『岡山大学文学部紀要』第62号 岡山大学文学部
- 2899)大里浩秋(2014)「敗戦前後の留日学生受け入れ事情など—石田一郎氏に聞く—」『中国研究月報』800号 (社)中国研究所
- 2900)大澤広嗣(2014)「日泰文化会館の建設構想と仏教界」『武蔵野大学仏教文化研究所紀要』30号 武蔵野大学仏教文化研究所
- 2901)太田孝子(2014)「植民地朝鮮からの女子内地留学生(Ⅳ)」『岐阜大学留学生センター紀要2013』 岐阜大学留学生センター
- 2902)大谷渡(2014)「記憶の中の台湾と日本(8)—統治下に育った人びとの戦後の軌跡—」『關西大學文學論集』第63巻第4号 関西大学文学会
- 2903)岡田誠(2014)「現代受身文の分類と理論—松下文法から日本語記述文法へ—」『言語文化研究』第13号 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 2904)岡田誠(2014)「長沼直兄の受身記述について」『國學院大學日本語教育研究』第5号 国学院大学日本語教育研究会
- 2905)岡本輝彦(2014)「戦後台湾における日本語政策—脱日本語から日本語の受容へ—」『別府大学日本語教育研究』第4号 別府大学日本語教育研究センター
- 2906)岡本義輝(2014)「ルックイースト政策30年の功罪と今後の課題」『南山大学アジア・太平洋研究センター報』第9号 南山大学アジア・太平洋研究センター
- 2907)小川誉子美(2014)「漢字知識の活かし方—草創期来日外国人の漢字使用—」『総合学会誌』第13号 日本総合学会
- 2908)小川誉子美(2014)「新聞が報じた日本語教育—日露戦争前後の極東ロシア—」『ことばと文字』2号 日本のローマ字社

- 2909)小川譽子美(2014)「ラムステッドと日本語学者たち—フィンランド側の資料をもとに—」  
『ユーラシア都市文化叢書 2 沿バルト海の都市—ヘルシンキ、サンクト・ペテルブルグ、  
ベルリン—』 北斗書房
- 2910)沖田秀詞(2014)「戦前の日本タイ協会会報に見るタイ語と日本語教育(2014年7月19日  
大東文化会館)」『タイ国情報』 2014年7月号 日本タイ協会
- 2911)小澤康則(2014)「韓国の教育課程と日本語教科書」『アジア文化研究所研究年報』49号 東  
洋大学アジア文化研究所
- 2912)嘉数勝美(2014)「『日本語能力試験』の必然性—三〇年の節目にあたって—」『日本語学』  
33巻12号 明治書院
- 2913)加藤剛(2014)「アーミー・メソッド考—米構造言語学の経験—」『関西教育学会年報』38  
号 関西教育学会
- 2914)金沢朱美(2014)「W.H.メドハーストと著書『英和・和英語彙』をめぐる—考察—」『ことば  
と文字』2号 日本のローマ字社
- 2915)川上尚恵(2014)「日中戦争期中国華北の省・特別市公署における日本語学習奨励策につい  
て—青島特別市公署の一連の日本語試験を中心に—」『神戸大学留学生センター紀要』第  
20号 神戸大学留学生センター
- 2916)川口敦子(2014)「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同(3)—「マドリー本」をめぐつ  
て—」『三重大学日本語学文学』第25号 三重大学日本語日本文学研究室
- 2917)川崎真美(2014)「石田一郎氏所蔵文書にみる中国人留学生受け入れの実態—日華協会を中  
心に—」『中国研究月報』800号 (社)中国研究所
- 2918)河路由佳(2014)「学習者・教師の「語り」を聞くということ—「日本語教育学」が「学」  
であるために—」リテラシーズ研究会編『リテラシーズ』14 くろしお出版
- 2919)河路由佳(2014)「戦時下日本発信の「やさしい日本語」から学べること—国際文化振興会  
『日本のことば』と『NIPPONGO』—」『ことばと文字』2号 日本のローマ字社
- 2920)勘米良祐太(2014)「明治30年代における三土忠造『中等国文典』の歴史的位—教材上  
の工夫および文法論上の知見から—」『日本語と日本文学』57号 筑波大学日本語日本文  
学会



- 2921)北川健次(2014)「芦田恵之助「随意選題」論形成過程における『丙申水害実況』の意義に関する一考察」『臨床教育学論集』第6号 武庫川臨床教育学会
- 2922)北川健次(2014)「芦田恵之助における随意選題思想の基底—芦田の受けた綴方教育体験と『丙申水害実況』とに着目して—」『臨床教育学研究』第2巻 群青社
- 2923)熊谷明泰(2014)「朝鮮語の近代化と日本語語彙」『関西大学人権問題研究室紀要』第67号 関西大学人権問題研究室
- 2924)熊谷明泰(2014)「朝鮮語新聞「毎日新報」(朝鮮総監督府機関紙)に掲載された「国語」欄の歴史的変遷(一九三九年～一九四四年)」『関西大学人権問題研究室紀要』第68号 関西大学人権問題研究室
- 2925)黒岩康博(2014)「宮武正道宛軍事郵便—インドネシア派遣兵士と言語研究者—」『天理大学学報』第237輯 天理大学
- 2926)見城悌治(2014)「1940年における「中華民国留日学生会」の創設と日華学会」『中国研究月報』800号 (社)中国研究所
- 2927)國分建志(2014)「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷(四)—」『文學藝術』38 共立女子大学文芸学部
- 2928)小西潤子(2014)「パラオ日本語歌謡の歌詞とメロディの分析—「失恋の恨みごと」の表現をめぐって—」『ムーサ：沖縄県立芸術大学音楽学研究誌』第15号 沖縄県立芸術大学音楽学部音楽学専攻
- 2929)小林純子(2014)「第二次世界大戦中の強制収容所における日系アメリカ人の日本語による文学活動とその意義」『名古屋外国語大学外国語学部紀要』第47号 名古屋外国語大学
- 2930)小林春樹(2014)「ライデン大学における東アジア研究の歴史と現在—中国学と日本学を中心として—」『東洋研究』第192号 大東文化大学東洋研究所
- 2931)酒井順一郎(2014)「1930年代～1940年代初頭の上海に於ける日本語ブーム」『長崎外大論叢』第18号 長崎外国語大学
- 2932)酒井順一郎(2014)「戦前期上海に於ける日本語ブームの一考察—第一次上海事変前後を中心として—」『ことばと文字』2号 日本のローマ字社
- 2933)酒井順一郎(2014)「日中戦争期に於ける八路軍敵軍工作訓練隊の日本語教育」『2014年度日本語教育学会春季大会予稿集』日本語教育学会
- 2934)佐久間孝正(2014)「文部科学省の外国人児童生徒受け入れ施策の変化」『専修人間科学論

- 2935)塩入すみ(2014)「英国の大学における日本語教育の特徴と動向—短期交換留学プログラムの開発に向けて—」『海外事情研究』第41巻第2号 熊本学園大学附属海外事情研究所
- 2936)柴公也(2014)「日本統治時代の台湾生活誌(VI)」『海外事情研究』第41巻第2号 熊本学園大学附属海外事情研究所
- 2937)柴公也(2014)「日本統治時代の台湾生活誌(VII)」『海外事情研究』第42巻第1号 熊本学園大学附属海外事情研究所
- 2938)嶋津拓(2014)「三島由紀夫『豊饒の海』とタイの留学生—「シャムの王子」たちのモデルは誰か—」『埼玉大学日本語教育センター紀要』第8号 埼玉大学日本語教育センター
- 2939)下岡友加(2014)「日本語は誰のものか?—ポストコロニアル台湾の日本語作家・黄霊芝の方法—」『フェンスレス』第2号 占領開拓期文化研究会
- 2940)将垂東(2014)「从收词特征看《日本馆译语》的实用性」『言語と文化』第26号 文教大学〔中文〕
- 2941)徐雄彬(2014)「近代日本の中国東北地方朝鮮族に対する日本語教育(1908-1931)」『道歴研年報』第15号 北海道歴史研究者協議会
- 2942)徐敏民(2014)「中国の日本語教育の動向と日本語教育専門家の取り組み」『シリーズ新しい日本語教育を考える』2 立教大学日本語教育センター
- 2943)鄭琳(2014)「『日語学習與研究』からみる中国における日本語研究の変遷」『中国研究論叢』第14号 霞山会
- 2944)白井桂(2014)「インドにおける日本語教育史の断面—インドで日本語教育に携わった三人の日本人とその著作を中心に—」『日本言語文化研究会論集』第10号 政策研究大学院大学日本言語文化研究会
- 2945)経志江(2014)「陳信徳—中日国交断絶期北京大学の日本語教師—」『日本経大論集』第43巻第2号 日本経済大学経済研究会
- 2946)鈴木潤吉(2014)「長沼メソッドの源流をたどって」『日本語教育研究』第60号 一般社団法人長沼言語文化研究所
- 2947)鈴木武雄(2014)「元静岡大学教授鳥居次好の戦時体験」『静岡大学教育実践総合センタ

- 2948)鈴木一(2014)「松下大三郎博士の日本語教科書—『漢譯日本口語文典』と『漢譯日語階梯』—」『国語研究』第77号 國學院大學国語研究会
- 2949)鈴木恵理子(2014)「秋田県内の日本語教室が抱える問題点について—アンケート調査(1997年,2013年)から—」『秋田大学国際交流センター紀要』第3号 秋田大学国際交流センター
- 2950)宋群(2014)「関東州日本語教育研究会」に見る太平洋戦争期の「日本語の国語的教授」『ことばと文字』2号 日本のローマ字社
- 2951)孫曉英(2014)「大平学校における教師教育の研究—異文化間教育の観点から—」『早稲田教育評論』第28巻第1号 早稲田大学教育総合研究所
- 2952)孫曉英(2014)「中国改革開放時期における日中教育文化交流に関する一考察—大平学校の訪日研修に焦点をあてて—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第22号 早稲田大学大学院教育学研究科
- 2953)孫曉英(2014)「中国の外国語教育政策に関する一考察—大平学校における「文革世代」の学びに焦点をあてて—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第21号-2 早稲田大学大学院教育学研究科
- 2954)高橋良江(2014)「日本人教習の日本語教科書の編纂をめぐって」『佛教大学大学院紀要 文学研究科篇』第42号 佛教大学
- 2955)高山倫明・真田治子・小宮千鶴子・齋藤文俊・塩田雄大(2014)「“学術日本語”の歴史と未来—大学教育国際化時代を迎えて—」『日本語の研究』第10巻第4号 日本語学会
- 2956)竹本英代(2014)「Education for Nisei in the Japanese Language and Culture School of Tokyo YMCA」『福岡教育大学紀要』第63号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 2957)田尻英三(2014)「2014年度より始まる「特別の教育課程」としての日本語指導」『龍谷大学国際センター研究年報』第23号 龍谷大学国際センター
- 2958)田中智志・橋本美保・遠座知恵(2014)「研究状況報告 大正新教育思想を読みなおす—北澤種一、芦田恵之助、赤井米吉の教育思想—」『教育哲学研究』第109号 教育哲学会
- 2959)田中寛(2014)「『カナノヒカリ』にみる海外日本語進出論の展開—中国大陸から南方諸地域へ—」『大東文化大学大学院外国語学研究』第15号 大東文化大学大学院外国語学研究科
- 2960)田中寛(2014)「放送が果たした日本語普及・日本語政策論の一側面—雑誌『放送／放送研

究』にみる戦時下日本語論の展開―」日本植民地教育史研究会(2014)『植民地教育史研究年報第16号 植民地教育とジェンダー』皓星社

2961)田中寛(2014)「『満洲補充読本』にあらわれた帝国の言語思想と異文化認識」『東洋研究』第192号 大東文化大学東洋研究所

2962)田中祐輔(2014)「中国の大学における「日本語教育」ともう一つの「国語教育」―日中友好と相互理解に貢献した神奈川県教育委員会中国日本語教師派遣事業の発端・経緯・評価から―」『ことばと文字』2号 日本のローマ字社

2963)祝利(2014)「在満白系ロシア人に対する日本語教育―1938年建国大学の事例を中心に―」『ことばと文字』2号 日本のローマ字社

2964)祝利(2014)「満洲国政府語学検定試験の目的―1936年に実施された日本語試験と満洲語試験の比較分析を通して―」『比較文化研究』112号 日本比較文化学会

2965)喬穎(2014)「中国の日本語科教育における「人材育成」の系譜」『早稲田日本語教育学』第14-16号 早稲田大学大学院日本語教育研究科

2966)陳娟(2014)「清末における日本語の辞書―中国人学習者を対象として―」『東アジア文化交渉研究』第7号 関西大学

2967)ティル・フィリップ・コルターマン、坂井榮八郎(2014)「追悼 木間瀬精三先生 ミュンヘンにおける日本語教育・日本文化紹介のパイオニア―そのドイツ語著作の再評価のために―」『宗教と文化』No.30 聖心女子大学キリスト教文化研究所

2968)天理大学(2014)「前田均准教授略歴および研究業績」『天理大学学报』第235輯 天理大学学術研究会

2969)土井浩嗣(2014)「植民地期朝鮮における普通学校の農業科と勸農政策―一九一〇年代を中心に―」『熊本学園大学文学・言語学論集』第21巻第1号 熊本学園大学文学・言語学論集編集会議 ※「土井」の「土」は右中に「丶」のある異字体。

2970)段躍中(2014)「中国人日本語学習者の日本観の変遷―一〇年間の「日本語作文コンクール」応募作を通して―」『季刊中国』第119号 「季刊中国」刊行委員会

2971)東北大学大学院文学研究科(2014)「東北大学文学部の歴代研究者メモリアル(9)英語と日本語の言語の可視映像化にも取り組んだ英文学・比較文学研究者 土居光知博士」『考えるということ：東北大学文学部ブックレット』vol.9 東北大学大学院文学研究科

2972)中生勝美(2014)「アメリカにおける戦前の日本研究―ミシガン大学の陸軍日本語学校と日

本地域研究一」『社会情報研究』第11号 岡山理科大学総合情報学部社会情報学科

2973)中東靖恵(2014)「岡山県総社市に暮らすブラジル人住民の言語生活—外国人住民の日本語学習支援を考える—」『社会言語科学』第17巻第1号 社会言語科学会

2974)中東靖恵(2014)「日本語の攻防【他言語と日本語】 ブラジル語と日本語—日系人のことば—」『日本語学』第33巻第1号 2014年1月号 明治書院

2975)中村重穂(2014)「中華民国新民会と新民会中央指導部編『新民青年訓練所用日本語教本』—華北占領地日本語教育に於ける位置づけをめぐる—」『日本語教育』158号 日本語教育学会

2976)橋本和孝(2014)「ベトナムの中の日本—日本のグローバリゼーションの一例再論—」『関東学院大学文学部紀要』第129号 関東学院大学人文学会

2977)韓韓(2014)「清末における下田歌子著『新選家政学』の翻訳・出版について」『言葉と文化』第15号 名古屋大学大学院国際言語文化研究科日本言語文化専攻

2978)東博通(2014)「帝大撰科時代の岡倉由三郎」『日本英語教育史研究』29巻 日本英語教育史学会事務局

2979)日暮嘉子(2014)「北米の日本語教育の動向と日本語教育専門家の取り組み」『シリーズ新しい日本語教育を考える』2 立教大学日本語教育センター

2980)平田歩(2014)「日本語教育実習の概要と報告—2006年～2013年を中心に—」『梅光言語文化研究』5巻 梅光学院大学国際言語文化学会

2981)藤井桂子(2014)「留学生は何に困難を感じているか—2003年と2012年のアンケート調査結果から—」『ときわの杜論叢』1号 横浜国立大学国際戦略推進機構

2982)藤野陽平(2014)「旧日本植民地におけるキリスト教と日本語—台湾の日語教会から—」『宗教研究』第87巻別冊 日本宗教学会

2983)船越亮佑(2014)「芳賀矢一が編纂した布哇教育会初の尋常科用日本語教科書—復刻版『ハワイ日本語学校教科書集成』の補訂—」『全国大学国語教育学会発表要旨集』126 全国大学国語教育学会

2984)前田均(2014)「日本語教育史研究の現状と課題」『ことばと文字』2号 日本のローマ字社

2985)松岡弘(2014)「一橋大学における語学教育—日本語—」『言語文化』特別号 一橋大学語学研究室

- 2986)松岡弘(2014)「J.A. コメニウス原著『Vestibulum [前庭]』について—初級段階・第二言語教科書の構成と変容—」『一橋大学国際教育センター紀要』第5号 一橋大学国際教育センター
- 2987)松村真樹(2014)「10年目を迎えた長崎大学短期留学プログラム」『長崎大学留学生センター紀要』第21号22号合併号 長崎大学留学生センター
- 2988)丸山敬介(2014)「最近の日本語教育をめぐる動きと同志社女子大学における日本語教師養成」『同志社女子大学日本語日本文学』第26号 同志社女子大学日本語日本文学会
- 2989)村上和賀子(2014)「アメリカ日系移民二世のための日本語教育—『米國日系人百年史』から—」『人文研紀要』第78号 中央大学人文科学研究所
- 2990)村田昌巳(2014)「アレッサンドロ・ヴァリニャーノとヴィンチェンツォ・チマッティ(V) —コミュニケーション論的観点から(チマッティ篇)—」『サレジオ工業高等専門学校研究紀要』第42号 サレジオ工業高等専門学校
- 2991)八木正自(2014)「Bibliotheca Japonica(204)外国人が書き残した江戸口語 E.サトウ『会話篇』」『日本古書通信』79巻12号 日本古書通信社
- 2992)山田京子(2014)「言語の枠を超えた第二言語としての漢字教育の研究と連携 I : 日本語学習者に対する漢字教育研究の歴史を概観して—漢字圏学習者への漢字教育を中心に—」『JSL 漢字学習研究会誌』第6号 JSL 漢字学習研究会
- 2993)山田直之(2014)「自己表現指導としての作文教育に関する批判的考察—芦田恵之助の随意選題論における「自己表現」概念の分析を通じて—」『教育学研究紀要』第60号 中国四国教育学会
- 2994)山本一生・新保敦子(2014)「中華民国期山東省青島における日本語教育—「日支事変」を中心に—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』第24号 早稲田大学大学院教育学研究科
- 2995)袁莉萍(2014)「中国の大学における日本語教育の現状—中国南東部の一国立大学を事例に—」『愛知淑徳大学現代社会研究科研究報告』第10号 愛知淑徳大学現代社会研究科
- 2996)尹鎬淑(2014)「韓国における日本関連大学院の現況及び展望」『日本語・日本学研究』第4号 東京外国語大学国際日本研究センター
- 2997)横井和彦・高明珠(2014)「「五校特約留学」と「庚款留学」の比較研究—『日本留学中華民国人名調』と『清華同学録』にもとづく留学生群の特徴の比較—」『経済学論叢』第66巻第2号 同志社大学経済学会

- 2998)李雪(2014)「天津の清末期における日本語教育に関する一考察—『日出学館記事』の分析を中心として—」『日本語学研究と資料』第37号 日本語学研究と資料の会
- 2999)李雪(2014)「天津の日本租界における中国人教育に関する考察—日出学館を中心として—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第21号・2 早稲田大学大学院教育学研究科
- 3000)李長波(2014)「明治時代の東京語資料としての Clay MacCauley 著『日本語入門』」『同志社大学日本語・日本文化研究』第12号 同志社大学日本語・日本文化教育センター
- 3001)林楽青・西尾林太郎・孫蓮花(2014)「大連における日本語教育事情の一考察—中等教育を中心として—」『愛知淑徳大学現代社会研究科研究報告』第10号 愛知淑徳大学大学院現代社会研究科
- 3002)若本夏美・丸山敬介・今井由美子(2014)「同志社女子大学表象文化学部における英語教育・日本語教育副専攻設置の経緯と課題」『総合文化研究所紀要』第31巻 同志社女子大学総合文化研究所
- 3003)渡邊了好(2014)「日本語教育と国語教育の領域について」『二松学舎大学論集』第57号 二松学舎大学文学部
- 3004)渡邊澄子(2014)「戦時下雑誌『国民文学』の位相—「皇道精神の昂揚」を掲げた朝鮮文壇—」『大東文化大学紀要<人文科学>』第52号 大東文化大学
- 3005)赤木奈央(2015)「日本統治時代の台湾における「構成的話し方教授法」の課題—教育現場の声を中心として—」『拓殖大学大学院言語教育研究』第15号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 3006)浅川哲也(2015)「ニコライ・レザノフ著『日本語理解の手引き』にあるキリル文字で表記された日本語の特徴について」『日本語の研究』第11巻第2号 日本語学会
- 3007)浅川哲也(2015)「ニコライ・レザノフ『日本語理解の手引き』にあるキリル文字で表記された日本語の特徴について」近代語学会編(2015)『近代語研究 第十八集』武蔵野書院
- 3008)浅川哲也、グリブ・ディーナ(2015)「ニコライ・レザノフ『露日辞書』(邦訳)」『人文学報』No.503 首都大学東京都市教養学部人文・社会系/首都大学東京人文科学研究科
- 3009)鮎澤孝子(2015)「国際教養大学グローバル・コミュニケーション実践研究科日本語教育実践領域の7年」『国際教養大学専門職大学院グローバル・コミュニケーション実践研究科日本語教育実践領域実習報告論文集』6号 国際教養大学

- 3010)鮎澤孝子(2015)「日本語教育」のルーツを探る—小出詞子と日本語教育・日本語教員養成—『言語と文化』第12巻 鹿屋体育大学国際交流センター
- 3011)荒川友幸(2015)「モスクワ JF 日本語講座創成のころ」『ことばと文字』3号 日本のローマ字社
- 3012)荒川みどり(2015)「大出正篤著『効果的速成式標準日本語読本』にみる中国東北部の成人日本語学習者像」『杏林大学外国語学部紀要』第27号 杏林大学外国語学部
- 3013)安藤幸一(2015)「A Model Case of a Bilingual Education Program in the U.S. Public Education System—The Japanese Bilingual Bicultural Education Program, San Francisco in 1970's—」『大手前大学 IIE ジャーナル』第1号 大手前大学国際教育インスティテュート [英文]
- 3014)李昇燁(2015)「第二次朝鮮教育令成立過程の再検討」『人文学報』第107号 京都大学人文科学研究所
- 3015)伊月知子(2015)「満洲国における日本語教育とその目的に関する考察—日本語教育関係者の投稿文を手がかりにして—」『比較文化研究』115号 日本比較文化学会
- 3016)井上早央梨(2015)「第二次世界大戦期ブラジル日系移民」『異文化 [論文編]』第16号 法政大学国際文化学部 [西文]
- 3017)岩田一成(2015)「日本語教育初級文法シラバスの起源を追う—日本語の初級教材はなぜこんなに重いのか?—」『聖心女子大学論叢』第126集 聖心女子大学
- 3018)魏維(2015)「清末日本語教育に関する研究の必要性」『比較日本文化学研究』8 広島大学大学院文学研究科総合人間学講座
- 3019)浮田真弓(2015)「保科孝一の国語教育研究における国家主義と「国語」の民主化」『岡山大学大学院教育学研究科研究集録』第158号 岡山大学大学院教育学研究科
- 3020)エカテリーナ・レフチェンコ(2015)「ロシアにおける日本研究の歴史と現在」郭南燕編(2015)『世界の日本研究 2014 日本研究の隆盛』国際日本文化研究センター
- 3021)江口泰生(2015)「A.タタリノフ『レクシコン』注釈2(B~E)」『岡大國文論稿』第43号 岡山大学文学部言語国語国文学会
- 3022)江口泰生(2015)「A.タタリノフ『レクシコン』注釈3(Ж~И)」『岡山大学文学部紀要』第63号 岡山大学文学部



- 3023)江口泰生(2015)「タタリノフ著『レクシコン』からみた一八世紀下北佐井方言の四つ仮名」『国語と国文学』第92巻第9号 明治書院
- 3024)江口泰生(2015)「A.タタリノフ『レクシコン』注釈4(K~L)」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』第40号 岡山大学大学院社会文化科学研究科
- 3025)江口泰生(2015)「A.タタリノフ『レクシコン』注釈6(O~P)」『岡山大学文学部紀要』第64号 岡山大学文学部
- 3026)大岡玲(2015)「明治維新时期「国語」創成への歩みー「漢文」「漢字」をめぐる一断面ー」『人文自然科学論集』第137号 東京経済大学人文自然科学研究会
- 3027)大久保恵子(2015)「英文日本語文典の用語についてー活用語・構文法に関する記述を中心にー」近代語学会編(2015)『近代語研究 第十八集』武蔵野書院
- 3028)太田孝子(2015)「植民地化朝鮮における梨花女子高等女学校ー「光州学生運動」を中心にー」『岐阜大学留学生センター紀要 2014』 岐阜大学留学生センター
- 3029)大谷渡(2015)「記憶の中の台湾と日本(9)ー統治下に育った人びとの戦後の軌跡ー」『關西大學文學論集』第64巻第4号 関西大学文学会
- 3030)大塚萌(2015)「ドイツにおける日本サブカルチャー受容の変遷ー日本マンガ『新世紀エヴァンゲリオン』における呼称表現の翻訳ー」『千葉大学人文社会科学研究』30号 千葉大学大学院人文社会科学研究科
- 3031)岡本輝彦(2015)「台湾における「応用日本語学科」に関する一考察」『別府大学日本語教育研究』第5号 別府大学日本語教育研究センター
- 3032)沖田秀詞(2015)「戦時下の日本タイ協会と日本語教育記事ー「東西文化の融合」国際シンポジウムにおける講演内容ー」『タイ国情報』2015年11月号 日本タイ協会
- 3033)荻原廣(2015)「直接法と直接法的な方法の混同が教師にもたらす影響について」『日本語文化研究』第20号 龍谷大学日本語文化研究会
- 3034)小熊英二(2015)「崩壊する日本語ー台湾統治初期における日本語教育論議ー」小熊英二(2015)『アウトテイクスー小熊英二論文集ー』慶應義塾大学出版会
- 3035)奥山文幸(2015)「調査研究シリーズ(111)ドイツにおける日本研究および日本語教育について」『海外事情研究』第43巻第1号 熊本学園大学附属海外事情研究所
- 3036)小野憲一(2015)「日本統治時代の台湾における私立学校の歴史的経緯に関する研究(1)」

- 3037)小野美里(2015)「「事変」下の華北占領地支配—教育行政及び第三国系教育機関との相克をてがかりに—」『史学雑誌』第124編第3号 史学会
- 3038)Kind KANEMOTO KANTO、李恩子(2015)「ミクロネシアと日本—過去・現在・未来—」『国際学研究』4巻1号 関西学院大学国際学部・国際学研究科
- 3039)高明珠(2015)「中華民国期の高等教育分野における留学生政策—「庚款留学生」と「五校特約生」との比較研究—」『同志社政策科学研究』第17巻第1号 同志社大学政策学会
- 3040)加藤恭子(2015)「女子教員の中国派遣に関する報道の構築性—河原操子を一例として—」『比較日本学教育研究センター研究年報』第11号 お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター
- 3041)金澤奈央(2015)「日本統治時代の台湾における日本語教育に関する研究—「構成式話し方教授法」を中心に—」『日本語と日本語教育』第43号 慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
- 3042)川上尚恵(2015)「戦後の留学生受け入れと日本語教育」『2015年度日本語教育学会秋季大会予稿集』日本語教育学会
- 3043)川口敦子(2015)「コリヤード『羅西日辞書』諸本の異同(4)—活版印刷の技術的背景から—」『三重大学日本語学文学』第26号 三重大学日本語日本文学研究室
- 3044)河路由佳(2015)「ドナルド・キーンをみちびいた長沼直兄『標準日本語讀本』—同時期の教科書との比較を通じた考察—」『日本語教育研究』第61号 一般財団法人長沼言語文化研究所
- 3045)河路由佳(2015)「日本語教師・学習者そしてその経験者の「語り」を聞くということ—「日本語教育学」の探求をめぐるライフストーリー—」三代純平編(2015)『リテラシーズ叢書5 日本語教育学としてのライフストーリー—語りを聞き、書くということ—』くろしお出版
- 3046)木下昭(2015)「占領地日本語教育はなぜ「正当化」されたのか—派遣教員が記憶するフィリピン統治—」『東南アジア研究』52巻2号 京都大学
- 3047)金昴京(2015)「韓国高年層の残存日本語談話資料」『福岡大学研究部論集. A, 人文科学編』Vol.14 No.2 福岡大学
- 3048)葛茜(2015)「中国の大学日本語専攻における教育理念の意味づけと問題点—言語教育政策の分析を中心に—」『日本研究教育年報』19号 東京外国語大学日本専攻

- 3049)ゲエン・タイン・タム、ゲエン・チ・ツオン・バン、マイ・ゲエン・ゴック(2015)「ベトナムにおける日本語教育と日本研究の動き」劉建輝編(2015)『日越交流における歴史、社会、文化の諸課題』国際日本文化研究センター
- 3050)國弘保明(2015)「一日本語教員からみたりメディア教育ーこの4年間を振り返ってー」『リメディア教育研究』第10巻第1号 日本リメディア教育学会
- 3051)國弘保明(2015)「語学教育に於ける文法翻訳法と直接法」『日本橋学館大学紀要』第14号 日本橋学館大学リベラルアーツ学部
- 3052)Chris Belouad(2015)「日本における新しい宗教：それはいかにして創られるのか(1875年)ーレオン・ド・ロニーと島地黙雷の対談についてー」『仏蘭西学研究』第41号 日本仏学史学会
- 3053)國分建志(2015)「誤植の殿堂『説日語』ーその誕生と変遷(五)ー」『文學藝術』39 共立女子大学文芸学部
- 3054)小林孝郎(2015)「『日本語・日本人論』と日本語教育ー「同質同調論」持続の系譜ー」『拓殖大学日本語紀要』第25号 拓殖大学留学生別科・拓殖大学日本語教育研究所
- 3055)斎藤達哉・鈴木泰・氏原基余司(2015)「【資料紹介】釘本久春所持資料ー「第二回国語対策協議会速記録(第一日)」及び「日本語教科用図書調査会会議報告」ー」『専修大学人文科学研究所月報 特集号 一九三九～四一年の日本語普及状況』第279号 専修大学人文科学研究所
- 3056)斎藤達哉(2015)「一九四一年の日本語普及状況ー第二回国語対策協議会速記録(第一日)についてー」『専修大学人文科学研究所月報 特集号 一九三九～四一年の日本語普及状況』第279号 専修大学人文科学研究所
- 3057)坂田篤義(2015)「大出正篤の日本語教材と速成式教授法」『リテラシーズ』16号 くろしお出版
- 3058)桜井隆(2015)「近代日本にとっての国際共通語ーピジン中国語と日本語ー」『ことばと社会』17号 三元社
- 3059)佐藤尚子(2015)「千葉大学における日本語研修コース(日本語予備教育)の20年ー1993年度後期～2014年度前期ー」『国際教育』8号 千葉大学国際教育センター
- 3060)佐藤尚子(2015)「留学生の配偶者のための日本語クラス「特別日本語補講」の20年ー1994年度～2014年度ー」『国際教育』8号 千葉大学国際教育センター
- 3061)真田信治(2015)「宜蘭クレオールにおける sound substitution について」『奈良大学紀要』

- 3062)ジェニーン・ヒートン(2015)「伊沢修二のアメリカ留学と台湾における教育実践」『アジア文化研究 3-A』第 41 号 国際基督教大学
- 3063)尚真貴子・松田節子(2015)「沖縄国際大学英米言語文化学科の日本語教育—カリキュラムの変遷と日本語教育実習を中心に—」『沖縄国際大学外国語研究』第 19 巻第 1 号 沖縄国際大学外国語学会
- 3064)柴公也(2015)「日本統治時代の台湾生活誌(VIII)」『海外事情研究』第 42 巻第 2 号 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 3065)柴公也(2015)「日本統治時代の台湾生活誌(IX)」『海外事情研究』第 43 巻第 1 号 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 3066)嶋田彩司(2015)「明治学院における日本の朝鮮統治期留学生の活動に関する再評価プロジェクト」『synthesis : 明治学院大学教養教育センター付属研究所年報 2014』明治学院大学教養教育センター付属研究所
- 3067)島田徳子(2015)「日本語教育スタンダードの源流・現在・未来を探究する—誰のための、何のためのスタンダード?—」『日本語学』第 34 巻第 12 号 明治書院
- 3068)嶋津拓(2015)「オーストラリアの日本語教育を日本の新聞はどのように報道してきたか—その 100 年の変遷—」『オーストラリア研究』28 号 オーストラリア学会
- 3069)嶋津拓(2015)「海外への「日本語の普及」に関する日本人大学生の意識調査」『埼玉大学日本語教育センター紀要』第 9 号 埼玉大学日本語教育センター
- 3070)薛静(2015)「松本亀次郎編纂の日本語教科書における謙讓語の扱い」『国学院大学日本語教育研究』第 6 号 国学院大学日本語教育研究会
- 3071)白柳弘幸(2015)「植民地統治下台湾原住民子弟公学校の教育活動—瑞穂公学校『学校沿革誌』より—」『玉川大学教育博物館紀要』第 12 号 玉川大学教育博物館
- 3072)白雪花(2015)「留学生政策にみる日本の国際化」『東アジア日本語教育・日本文化研究』18 号 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 3073)経志江(2015)「大連日語専科学校の研究」『日本経大論集』第 44 巻第 2 号 日本経済大学アジアパシフィック経済研究所
- 3074)鈴木泰(2015)「日本語教育振興会刊『ハナシコトバ』における仮名遣—日本語教科用図書調査会における審議経過をめぐって—」『専修大学人文科学研究所月報 特集号 一九三九～四一年の日本語普及状況』第 279 号 専修大学人文科学研究所

- 3075)祖慶壽子(2015)「南洋群島国語讀本の分析」『2015年度日本語教育学会秋季大会予稿集』  
日本語教育学会
- 3076)孫曉英(2015)「戦後中国における日本語・日本語教育の普及に関する一考察—1978年、  
1979年の日本語教育短期巡回指導を中心に—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別  
冊』第22号-2 早稲田大学大学院教育学研究科
- 3077)孫曉英(2015)「戦後日中教育文化交流に関する一考察—大平学校の日本人講師に焦点を当  
てて—」『早稲田教育評論』第29巻第1号 早稲田大学教育総合研究所
- 3078)高木理久夫・森美由紀(2015)「早稲田の清国留学生—『早稲田大学中国留学生同窓録』の  
記録から—」『早稲田大学図書館紀要』第62号 早稲田大学図書館
- 3079)竹本英代(2015)「大正期日本語教師の生活史」『教育基礎学研究』第13号 九州大学大  
学院人間環境学府教育哲学・教育社会史研究室
- 3080)田中寛(2015)「戦時下帝国日本の国語・日本語政策の一断面—『教育週報』の掲載記事を  
例に—」『東洋研究』第196号 大東文化大学東洋研究所
- 3081)ダニエル・ロング、今村圭介(2015)「日本語が公用語として定められている世界唯一の憲  
法—パラオ共和国アンガウル州憲法—」『人文学報』No.503 首都大学東京都市教養学部  
人文・社会系／首都大学東京人文科学研究科
- 3082)ダニエル・ロング、斎藤敬太、Masaharu Tmodrang(2015)「パラオ語で使われている日  
本語起源借用語」『人文学報』No.503 首都大学東京都市教養学部人文・社会系／首都大  
学東京人文科学研究科
- 3083)ダニエル・ロング、長門正大(2015)「ハワイ英語で使われている日本語起源借用語」『日  
本語研究』第35号 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- 3084)趙時英(2015)「明治中期の渡日留学生—専修学校(専修大学)を中心として—」『専修大学  
史紀要』第7号 専修大学大学史資料課
- 3085)周曙光(2015)「日本滞在時期における章士釗—その活動を中心に—」王敏編著(2015)『百  
年後の考察 周恩来たちの日本留学』三和書房
- 3086)鄭亨奎(2015)「基調報告 新中国の草創期における日本留学と予備教育」『朝鮮族研究学会  
誌』5 龍谷大学社会学部李相哲研究室
- 3087)陳南澤(2015)「1895年刊『日本語独案内』について」『大学教育研究紀要』第11号 岡  
山大学グローバル・パートナーズ、岡山大学教育開発センター、岡山大学言語教育センタ

一、岡山大学キャリア開発センター

- 3088)陳莉婷・遠藤隆俊(2015)「日本占領時代の台湾における公学校「国語」教育の社会史的考察—第1期『台湾教科用書国民読本』を中心に—」『高知大学教育学部研究報告』第75号  
高知大学教育学部
- 3089)土肥秀行(2015)「下位春吉とは何者か／九三五年の現代日本詩撰—「ファシズム文学」とは—」『日伊文化研究』第53号 日伊協会
- 3090)苔米地示路(2015)「国士館の思い出 ジャカレイ日本語学校と日本語教師派遣事業」『国士館史研究年報 楓原』第7号 学校法人国士館
- 3091)寅丸真澄(2015)「日本語教育実践における教室観の歴史的変遷と課題—実践の学び・相互行為・教師の役割に着目して—」『早稲田日本語教育学』第17・18号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3092)鳥井俊祐(2015)「中国の大学における日本語教育実践—日本人教員の回顧と課題—」『北海学園大学日本語教育研究』第6・7合併号 北海学園大学日本語教育研究会
- 3093)中島利郎(2015)「台湾最初の児童文学者・西岡英夫研究序説—大正期・台湾における「お伽事業」の創始—」『岐阜聖徳学園大学紀要<外国語学部編>』第54集 岐阜聖徳学園大学外国語学部紀要委員会
- 3094)長友文子(2015)「本学の「日本語」教育—過去・現在・未来—」『国際教育研究センター年報』第11号 和歌山大学国際教育研究センター
- 3095)中村重穂(2015)「長谷川雄太郎研究序説—『日語入門』諸本校異に基づいて—」『北海道大学留学生センター紀要』第19号 北海道大学留学生センター
- 3096)西村美保(2015)「清泉女子大学日本語教員課程の現状と課題」『言語教育研究』第7号 清泉女子大学言語教育研究所
- 3097)根川幸夫(2015)「ブラジルにおける日系移民の母語・子弟教育研究の現状と課題」郭南燕編(2015)『世界の日本研究 2014 日本研究の隆盛』国際日本文化研究センター
- 3098)半澤典子(2015)「ブラジル・ノロエステ地方における日本語新聞の果たした役割」『立命館言語文化研究』26巻4号 立命館大学国際言語文化研究所
- 3099)板東智子(2015)「芦田恵之助の教材研究について—「源氏物語」(小学国語読本・巻十一)の場合—」『教育実践総合センター研究紀要』40巻 山口大学教育学部附属教育実践総合

センター

- 3100)ファン・ハイ・リン(2015)「新時代におけるベトナムの日本研究」郭南燕編(2015)『世界の日本研究 2014 日本研究の隆盛』国際日本文化研究センター
- 3101)福島青史・村田裕子(2015)「イングランドのカリキュラム改革と日本語教育—初等教育への外国語教育必修化を中心として—」『国際交流基金日本語教育紀要』第11号 国際交流基金
- 3102)福島青史(2015)「【実践報告】 海外を移動する日本語教師の変容—日本語教育に関する観念の変遷について—」『早稲田日本語教育学』第19号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3103)藤野陽平(2015)「台湾の日本語キリスト教徒—何故、旧宗主国の言葉で礼拝するのか？」『Field+』14 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所
- 3104)船越亮祐(2015)「沙港日本国語学校初の初等科用日本語教科書に関する一考察」『学校教育学論集』No.32 東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科
- 3105)包賀喜格図・包阿栄(2015)「河原操子の日本語教育活動についての一考察」『九州共立大学研究紀要』第5巻第2号 九州共立大学
- 3106)包賀喜格図・包阿栄(2015)「「満洲国」の日本語教育についての一考察—「満洲国語研究会」を中心に—」『九州共立大学研究紀要』第6巻第1号 九州共立大学
- 3107)堀内新(2015)「グラビア 台湾人学徒出陣」『中央評論』No.292 中央大学
- 3108)馬小力(2015)「もう一人の清末の女子日本留学生—崔可言の日本留学とその後の軌跡—」『日本言語文化研究 城西国際大学大学院紀要』第4号 城西国際大学大学院
- 3109)牧かずみ(2015)「医学系学部における『留学生専門教育教官』なる者として—20年を振り返って—」『信州医学雑誌』Vol.63, No.1 信州医学会
- 3110)松岡弘(2015)「J. A. コメニウス著『Janua [扉]』の初版・改訂版について—その形態と構成の観点からの考察—」『一橋大学国際教育センター紀要』第6号 一橋大学国際教育センター
- 3111)松岡昌和(2015)「「昭南島」における漫画家松下紀久雄—「文化人」の南方認識の一事例—」『史苑』第75巻第2号 立教大学史学会
- 3112)丸山敬介(2015)「「日本語教師は食べていけない」言説—その起こりと定着—」『同志社女子大学大学院文学研究科紀要』第15号 同志社女子大学大学院文学研究科

- 3113)水谷信子(2015)「見果てぬ夢—女高師から「言語文化」まで—」『言語文化と日本語教育』第50号 お茶の水女子大学日本言語文化学会
- 3114)三宅真由美(2015)「ポスト「留学生10万人計画」における留学生受入れに関する一考察—大学における留学生受入れ拡大に有効な方策とは何か—」『信州大学経済学論集』第66号 信州大学経済学部
- 3115)宮坂朋幸(2015)「伊澤修二」沖田行司編(2015)『人物で見る日本の教育(第二版)』ミネルヴァ書房
- 3116)宮原温子(2015)「Léon de Rosny“Eléments de la Grammaire Japonaise ( Language Vulgaire ) ”の一考察」『目白大学人文学研究』第11号 目白大学
- 3117)文部科学省文化庁国語課(2015)「文化庁における日本語教育施策」『国際人流』332号 入管協会
- 3118)安井裕司(2015)「日本への留学トレンドの変動—日越経済関係の変化とベトナム人留学生の増加—」『日本経大論集』第2号 日本経済大学アジアパシフィック経済研究所
- 3119)柳本大地・費曉東(2015)「日本語教育分野における近・現代日本文学のあり方—西原大輔「世界の中の近・現代日本文学」をもとに—」『学習システム研究』第2号 学習システム促進研究センター
- 3120)山下暁美(2015)「覚え書き 戦前の日本語通信教育について」『明海日本語』第20号 明海大学
- 3121)山下聖美(2015)「林芙美子が見た日本占領下インドネシアの日本語教育—スマトラ・パレンバンの瑞穂学園についての調査報告—」『日本大学芸術学部紀要』第62号 日本大学芸術学部
- 3122)山田泉(2015)「日本語教育の公教育への貢献—国内の日本語教育の新たな役割—」『大学日本語教員養成課程研究協議会論集』12 大学日本語教員養成課程研究協議会
- 3123)山田直之(2015)「芦田恵之助の随意選題論における自己概念の志向性—道徳性の形成を企図した「綴らせて導く」という思想に着目して—」『教育学研究紀要』第61巻第2部 中国四国教育学会
- 3124)楊海英(2015)「モンゴル騎兵に関する日本語の歌—軍人民族主義者たちの覚醒—」『アジア研究 別冊3』静岡大学人文社会科学部アジア研究センター



- 3125) 兪三善(2015)「アーネスト・サトウ『会話篇』における言いさし表現について」『実践國文學』88号 実践女子大学
- 3126) 吉海直人、カーロイ・オルショヤ(2015)「ハンガリーにおける日本語教育の現状」『同志社女子大学日本語日本文学』第27号 同志社女子大学日本語日本文学会
- 3127) 義永美央子(2015)「第二言語教育における言語運用能力の評価の変遷」『第二言語としての日本語の習得研究』第18号 第二言語習得研究会
- 3128) 李冠男(2015)「戦後の日本語教育史研究に関する一考察—大連における日本語専攻の成立とその発展—」『日本言語文化研究 城西国際大学大学院紀要』第4号 城西国際大学大学院
- 3129) 李雪(2015)「天津における日本語教育の展開—日中戦争期(1937-1945)を中心に—」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第22号-2 早稲田大学大学院教育学研究科
- 3130) 李雪(2015)「清末期の天津における新式学校と日本人教習の教育活動」『早稲田大学大学院教育学研究科紀要 別冊』第23号-1 早稲田大学大学院教育学研究科
- 3131) 李雪(2015)「1930～40年代の天津における日本人教育に関する一考察—天津中日学院の補給生を中心に—」『早稲田教育評論』第29巻第1号 早稲田大学教育総合研究所
- 3132) 李正連(2015)「植民地期朝鮮における私設学術講習所と不就学者の学び—「養正院」及び「明月塾」出身者のオーラル・ヒストリーをもとに—」『東京大学大学院教育学研究科紀要』54巻 東京大学大学院教育学研究科
- 3133) 李美善(2015)「大出正篤『日鮮対訳書翰文独習』の一考察—編纂趣旨および候文教授について—」『目白大学高等教育研究』第21号 目白大学教育研究所
- 3134) リチャード・パウエル(2015)「帝国日本の英字新聞から読める言語政策—昭南の例—」『研究紀要. 一般教育・外国語・保健体育』第77号 日本大学経済学部
- 3135) 龍谷大学国際センター(2015)「田尻英三教授研究業績略目録(1972～2014)」『龍谷大学国際センター研究年報』第24号 龍谷大学国際センター
- 3136) 鷺山恭彦(2015)「周恩来の日本留学と東亜学校校長の松本亀次郎」『アジア文化』32号 アジア文化編集委員会
- 3137) 渡邊俊彦(2015)「対訳日本語教材における伊沢修二の教育観とその台湾語の文体」『拓殖大学語学研究』第132号 拓殖大学言語文化研究所
- 3138) 王乃明(2015)「台湾における日本研究の現状と展望—政治大学を中心に—」王敏編著

(2015)『百年後の考察 周恩来たちの日本留学』三和書房

- 3139)赤木奈央(2016)「昭和10年代の台湾の公学校の「話し方教授」についての考察—公民学校改称前の時期を中心に—」『拓殖大学大学院言語教育研究 2015年度』第16号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 3140)浅川哲也、グリブ・ディーナ(2016)「ニコライ・レザノフ『露日辞書』註釈」『人文学報』No.512-7 首都大学東京人文科学研究科
- 3141)浅川哲也(2016)「ニコライ・レザノフ『露日辞書』にあるキリル文字で表記された日本語の特徴について」近代語学会編(2016)『近代語研究 第十九集』武蔵野書院
- 3142)浅川哲也(2016)「発表要旨：ニコライ・レザノフ『露日辞書』にあるキリル文字で表記された日本語の特徴について」『日本語の研究』第12巻第4号 日本語学会
- 3143)安達万里江(2016)「日本語音声表現の評価に関する実践報告—2011年度から2015年度までの成果と課題—」『国際言語文化学会日本学研究』第1号 京都外国語大学国際言語文化学会事務局
- 3144)荒このみ(2016)「エリセーエフ兄弟商会」『専修大学人文科学研究所月報』第280号 専修大学人文科学研究所
- 3145)有松しづよ(2016)「植民地朝鮮の大和塾における不修学学齢児童の「錬成」—「国語講習会」に注目して—」日本植民地教育史研究会(2016)『植民地教育史研究年報第18号 植民地教育支配とモラルの相克』 皓星社
- 3146)アレクサンドル B.フィリッポフ、荒川好子(2016)「サンクトペテルブルク国立大学東洋学部日本学科紹介」『専修大学人文科学研究所月報』第281号 専修大学人文科学研究所
- 3147)飯田耕二郎(2016)「星名謙一郎と天理外語の鹿野久市郎—大正期のブラジル日本語新聞にみる—」『アメリカス研究』第21号 天理大学アメリカス学会
- 3148)生田美智子(2016)「ニコライ・ネフスキー遺文抄(三)—ネフスキーへのロシア語・英語来簡集—」『ビブリア』No.145 天理大学出版部
- 3149)池田菜採子(2016)「バーナード・ブロックの Spoken Japanese 付属レコードに関する研究」『日本研究』第52集 国際日本文化研究センター
- 3150)石川恵子(2016)「草創の創価大学を語る—別科日本語研修課程の歴史—」『創価教育』第9号 創価大学創価教育研究所
- 3151)和泉司(2016)「〈国語〉と軍隊—日本統治期台湾における〈皇民文学〉を中心に—」『民衆

- 3152)市川克明・藤山あやか(2016)「海外日本語補習授業校の現状と展望ーハンブルク日本語補習授業校の歴史を概観してー」『愛媛大学教育学部紀要』第63巻 愛媛大学教育学部
- 3153)いぬかいいて(2016)「ゴンザの『新スラヴ日本語辞典日本版』(1985)の訳注の問題点」『日本方言研究会研究発表会発表原稿集』102 日本方言研究会
- 3154)Keisuke Imamura, Jonathan Masaichi(2016)「Phonological Change of Japanese Loanwords in Palauan: Toward the standardization of spelling of loanwords」『東京医科歯科大学教養部研究紀要』第46号 東京医科歯科大学教養部 [英文]
- 3155)今村泰也(2016)「インド・プネーにおける日本語教育の潮流ー日本語教育50周年記念セミナーに参加してー」『ことばと文字』5号 日本のローマ字社
- 3156)魏維(2016)「清末日本語教育における音声教育についての研究」『日本語教育』164号 日本語教育学会
- 3157)魏維(2016)「清末の日本語学習書からみる日本語教育ー『寄学速成法』を通してー」『国文学攷』第230号 広島大学国語国文学会
- 3158)江口泰生(2016)「A.タタリノフ『レクシコン』注釈5(M~H)」『岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要』第41号 岡山大学大学院社会文化科学研究科
- 3159)江口泰生(2016)「A.タタリノフ『レクシコン』注釈8(Y~X)ー付:ザ行とダ行の混同についてー」『岡山大学文学部紀要』第66号 岡山大学文学部
- 3160)江口泰生(2016)「18世紀下北方言の母音無声化:付 A.タタリノフ『レクシコン』注釈7(C~T)」『文化共生学研究』第15号 岡山大学大学院文化科学研究科
- 3161)エフィ・ルシアナ(2016)「インドネシアの中等教育における日本語教育の発展をふり返ってー非母語話者教師と母語話者教師の役割ー」『ことばと文字』5号 日本のローマ字社
- 3162)エフゲーニー・バクシェエフ(2016)「ニコライ・ネフスキー遺文抄(四)ーネフスキー自筆露文草稿“Брак(結婚)”ならびに“Роды(出産)”ー」『ビブリア』No.145 天理大学出版部
- 3163)大河内瞳(2016)「日本語学科新設に携わった教師の経験ータイの大学で教える日本人教師のストーリーー」『海外日本語教育研究』第3号 海外日本語教育学会
- 3164)太田亨(2016)「「ビジネス日本語」の変遷と今後」『専門日本語教育研究』第17号 専門日本語教育学会

- 3165)大原信正(2016)「日本留学試験(EJU)総合科目とその性質—2011年～2015年実施分を中心として—」『独立行政法人日本学生支援機構日本語教育センター紀要』第12号 日本学生支援機構
- 3166)岡崎恒夫(2016)「ワルシャワ大学の日本語教育史」『比較日本学教育研究センター研究年報』第12号 お茶の水女子大学比較日本学教育研究センター
- 3167)岡田こずえ(2016)「スリランカ史における日本という国—日本語教育的考察—」『環太平洋大学短期大学部紀要』第28号 環太平洋大学短期大学部
- 3168)岡田誠(2016)「日本語学者の近代日本語教科書の受身文」『言語文化研究』第15号 静岡県立大学短期大学部静岡言語文化学会
- 3169)岡本輝彦(2016)「台湾の後期中等教育における日本語教育の位置づけ」『別府大学日本語教育研究』第6号 別府大学日本語教育研究センター
- 3170)小川洋(2016)「懐かしい人々—日本語教師を目指した日系カナダ人2世たちの足跡—」『カナダ教育研究』第14号 カナダ教育研究会
- 3171)小野純子(2016)「台湾映画『KANO』の語り」『人間文化研究』25号 名古屋市立大学大学院人間文化研究科
- 3172)片桐準二、スレンドルゴル、ダワーオユンゲレル、中西玲子、浮田久美子、牧久美子(2016)「モンゴルにおける初中等教育機関向け日本語教科書の開発—プロフィシエンシー重視と自立学習支援への取り組み—」『国際交流基金日本語教育紀要』第12号 国際交流基金日本語国際センター
- 3173)片倉佳史(2016)「WEDGE REPORT 追悼企画 消えゆく台湾の「日本語世代」—台湾経済界の風雲児張栄発氏をしのぶ—」『WEDGE』2016年8月号 株式会社ウェッジ
- 3174)金子弘(2016)「研究史」『日本語の研究』第12巻3号 日本語学会
- 3175)川上尚恵(2016)「戦後の日本国内の外国人留学生—1950～60年代の「留学生教育問題」を中心として—」『神戸大学留学生センター紀要』第22号 神戸大学留学生センター
- 3176)川口敦子(2016)「フランシスコ会イベロ・オリエンタル文書館所蔵ディエゴ・デ・チョンチョン報告書の日本文字とローマ字書き日本語」『三重大学日本語学文学』第27号 三重大学日本語日本文学研究室
- 3177)河崎絵美(2016)「インドネシアにおける日本語教育の普及と課題」『日本語教育論集』第

- 3178)川崎みゆき(2016)「戦時下上海の日本語教科書—上海租界工部局発行『日本語教科書』—」『国学院大学日本語教育研究』第7号 国学院大学日本語教育研究会
- 3179)神崎杏美(2016)「ミクロネシアの言語に見られる日本語の影響—マーシャル語への借用語—」『東京女子大学言語文化研究』第25号 東京女子大学言語文化研究会
- 3180)北村淳子(2016)「日本語(口語)文法の成立に先行する諸研究」『マテシス・ユニヴェルサリス』第17巻第2号 獨協大学国際教養学部言語文化学科
- 3181)北村嘉恵・樋浦郷子・山本和行(2016)「新化公学校沿革誌」「新化農業補習学校沿革誌—植民地台湾の教育史—」『北海道大学大学院教育学研究院紀要』第126号 北海道大学大学院教育学研究院
- 3182)木村正則(2016)「常勤教員の公募状況からみた日本の大学の外国語教育の現状」『近畿大学教養・外国語教育センター紀要. 外国語編』第7巻第1号 近畿大学全学共通教育機構教養・外国語教育センター
- 3183)久保耕治(2016)「台湾の「公学校」と「創氏改名」」『四国学院大学論集』149号 四国学院大学文化学会
- 3184)窪祐一郎(2016)「シンガポールにおける日本語と日本の人気—20年間日本語教育に従事して—」『ことばと文字』6号 日本のローマ字社
- 3185)倉地曉美(2016)「大学のグローバル化が日本語教育プログラムと教員の立ち位置に及ぼす影響」『広島大学日本語教育研究』第26号 広島大学大学院教育学研究科日本語教育学講座
- 3186)桑原哲朗(2016)「芦田恵之助の読み方教授における問いの技芸(2)教壇記録「釈迦」の分析を中心に」『上越教育大学国語研究』第30号 上越教育大学国語教育学会
- 3187)國分建志(2016)「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷(六)—」『文學藝術』40 共立女子大学文芸学部
- 3188)高馬京子(2016)「リトアニアにおける日本研究—歴史・現状・課題—」郭南燕・白石恵理編(2016)『世界の日本研究 2015 「日本研究」を通じて人文科学を考える』国際日本文化研究センター
- 3189)小島優里(2016)「関西支部第24回研究大会 レオン・ド・ロニー研究—19世紀フランスにおける日本語教育の取り組み—」『日本英学史学会英学史研究』第49号 日本英学史学

会

- 3190)小島優里(2016)「レオン・ド・ロニー研究－ "Cours pratique de langue japonaise"(実用日本語講座)の構想をめぐって－」『言語コミュニケーション文化』Vol.13, No.1 関西学院大学大学院言語コミュニケーション文化学会
- 3191)コズィラ・アグニシェカ(2016)「講演 ポーランドのワルシャワ大学における日本学研究」『れにくさ=Реникса:現代文芸論研究室論集』第6号 東京大学大学院人文社会系研究科現代文芸論研究室
- 3192)小林裕美(2016)「【実践報告】 海外における日本語講座立ち上げの一事例－モロッコ、カディ・アヤド大学における実践－」『早稲田日本語教育学』第21号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3193)駒走昭二(2016)「ゴンザ資料の筆録者」『人文研究』No.190 神奈川大学人文学会
- 3194)近藤弘(2016)「コロンビア日系社会における日本語教育の歴史と現状について－指導法転換に向けた2年間の活動を通して－」『東海大学大学院日本語教育学論集』第3号 東海大学大学院文学研究科日本文学科日本語教育学コース
- 3195)坂田篤義「華北占領地における日本語教師間の主張のずれと山口喜一郎の教育観」『リテラシーズ』19 くろしお出版
- 3196)佐藤五郎、ナリサラ・トンミー(2016)「『国際交流基金バンコク日本文化センター日本語教育紀要』のあゆみ」『国際交流基金日本語教育紀要』12号 国際交流基金日本語国際センター
- 3197)佐藤守弘(2016)「日本統治期台湾の同化教育と台湾意識の形成と挫折」庄司興吉編著(2016)『歴史認識と民主主義深化の社会学』東信堂
- 3198)石剛(2016)「戦後日本言語計画一瞥」『成蹊大学文学部紀要』第51号 成蹊大学文学部学会
- 3199)柴公也(2016)「日本統治時代の台湾生活誌(X)」『海外事情研究』第43巻第2号 熊本学園大学附属海外事情研究所
- 3200)嶋津拓(2016)「海外への「日本語の普及」に対する日本国民の意識－インターネット調査の結果から－」『日本語教育』第163号 日本語教育学会
- 3201)嶋津拓(2016)「国際文化交流事業における「言語」と「文化」－海外日本語普及意識調査の結果から考える－」『埼玉大学紀要(教養学部)』第52巻第1号 埼玉大学教養学部

- 3202) 嶋原耕一(2016)「ニューージーランド中等教育機関のカリキュラム刷新がもたらした日本語教育現場の変化」『日本語教育実践研究』第3号 立教日本語教育実践学会
- 3203) 続三義(2016)「中国の日本語教科書研究—清末の日本語教科書に於ける音声教育—」『経済論集』42巻1号 東洋大学経済研究会
- 3204) 邢志強(2016)「中国における日本語教育の異変—海南省の大学を中心に—」『21世紀アジア学研究』第14号 国士舘大学21世紀アジア学会
- 3205) 鄒聖傑(2016)「中国の中学校における国際理解教育としての日本語実践—日本語教材『好朋友』の分析を通して—」『中央大学大学院論究 文学研究科篇』Vol.48, No.1 中央大学大学院生研究機関誌編集委員会
- 3206) 菅野敦志(2016)「『支配—被支配』から『台湾人の主体性』へ—日本における台湾教育史の回顧と展望—」『名桜大学総合研究』No.25 名桜大学総合研究所
- 3207) 鈴木茂(2016)「教育人物伝(28)伊澤修二」『月刊プリンシパル』2016年7月号 学事出版
- 3208) 鈴木潤吉(2016)「長沼メソッドの源流を辿って—ハロルド・E・パーマーのオーラル・メソッド(2)—」『日本語教育研究』第62号 一般社団法人長沼源吾文化研究所
- 3209) 鈴木万里子(2016)「台湾の言語政策について—『国語』教育を中心に—」『語学教育研究論叢』第33号 大東文化大学語学教育研究所
- 3210) ステラ・A・ブィーコヴァ(2016)「アジア・アフリカ諸国大学の日本語学科と日本語教育」『専修大学人文科学研究所月報』第280号 専修大学人文科学研究所
- 3211) 関正昭(2016)「日本語教育史インタビュー—柴田俊造氏に聞く—」『東海大学大学院日本語教育学論集』第3号 東海大学大学院文学研究科日本文学科日本語教育学コース
- 3212) 高橋強(2016)「マカオ・コレジオ所蔵の日本語学習書籍に関する—考察—」『創大中国論集』第19号 創価大学文学部人間学科中国語・中国社会文化専修
- 3213) 高橋亘(2016)「授業外日本語多読活動「日本語多読セッション」報告—3学期間にわたる活動実践を通して—」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』42 東京外国語大学留学生日本語教育センター
- 3214) 高畑幸(2016)「浜松市におけるフィリピン人コミュニティの現状と課題—日系人の増加を中心に—」『国際関係・比較文化研究』第14巻第2号 静岡県立大学国際関係学部
- 3215) 高屋敷真人・宮内俊慈(2016)「モジュール型教材による中級後期日本語教科書開発プロジェクト実践報告(2014~2017)」『関西外国語大学留学生別科日本語教育論集』26号 関

西外国語大学留学生別科

- 3216)竹本英代(2016)「1941 年全米日本語教科書の編纂に関する資料分析」『福岡教育大学紀要』第 65 号第 4 分冊教職科編 福岡教育大学
- 3217)立川京一(2016)「南方軍政における民心安定策」『戦史研究年報』第 19 号 防衛省防衛研究所戦史研究センター
- 3218)田中寛(2016)「資料：戦時下における日タイ言語文化の接触と摩擦—朝日新聞掲載記事(1937~1945)を中心に—」『大東文化大学紀要<人文科学>』第 54 号 大東文化大学
- 3219)田中寛(2016)「『満洲』という歴史体験と感情の記憶—「モラルの相克」から考える遺産の超克—」日本植民地教育史研究会(2016)『植民地教育史研究年報第 18 号 植民地教育支配とモラルの相克』 皓星社
- 3220)田中祐輔(2016)「日本語教育基礎文法の国際比較研究—日本語教科書の日中対照調査から—」『教科書フォーラム：中研紀要』No.17 中央教育研究所
- 3221)ダニエル・ロング、今村圭介(2016)「チューク語の日本語起源借用語に見られる音韻対応と意味変化」『人文学報』No.512-7 首都大学東京人文科学研究科
- 3222)ダニエル・ロング、今村圭介(2016)「パラオ国アンガウル島における日本語の使用」『日本語研究』第 36 号 首都大学・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- 3223)丹波真奈美(2016)「コンピュータの発達と今後の日本語教育の行方—要旨—」『同志社女子大学大学院文学研究科紀要』16 号 同志社女子大学大学院文学研究科
- 3224)智暁敏(2016)「日本語受身の先行研究についての研究—直接受身・間接受身及び利害受身という用語の起源—」『拓殖大学大学院言語教育研究 2015 年度』第 16 号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 3225)銭露露・宗海飛・銭孫強(2016)「近現代中国大学における日本語教育発展史に関する考察」『日本学論壇：新日本文化研究会会誌』2016-1 新日本文化研究会
- 3226)簡月真(2016)「宜蘭クレオール格表示」『国立国語研究所論集』第 10 号 国立国語研究所
- 3227)仇文俊(2016)「中国におけるビジネス日本語教育の体系化に関する—提案—先行研究概観に基づいて—」『地域社会統合科学研究』第 4 号 九州大学大学院地球社会統合科学府
- 3228)趙凌梅(2016)「日本語における差別語の言い換えに関する歴史的研究—『記者ハンドブッ



ク』への考察の考察を通して」『国際文化研究』第22号 東北大学国際文化学会

- 3229)陳虹彬(2016)「日本統治下台湾人用国語教科書にみる都市と農村」『平安女学院大学研究年報』16 平安女学院大学
- 3230)塚本善也(2016)「ニコライ・ネフスキー遺文抄(五)ーネフスキー「天の蛇としての虹の観念」草稿訳・ロシア語翻刻、および決定稿訳ー」『ビブリア』No.146 天理大学出版部
- 3231)蔦清行(2016)「日本語教育の文法体系と寺村秀夫ー活用の場合ー」『日本語・日本文化研究』26号 大阪大学大学院言語文化研究科日本語・日本文化専攻
- 3232)寺尾紗穂(2016)「あのころのパラオをさがして①ー七十五年後の南洋へー」『すばる』2016年5月号 集英社
- 3233)寺尾紗穂(2016)「あのころのパラオをさがして②ーマリヤンを知るひとー」『すばる』2016年6月号 集英社
- 3234)寺尾紗穂(2016)「あのころのパラオをさがして③ーニーナさんとの出会いー」『すばる』2016年7月号 集英社
- 3235)寺尾紗穂(2016)「あのころのパラオをさがして④ー不思議な符合：マルキヨクへー」『すばる』2016年8月号 集英社
- 3236)寺尾紗穂(2016)「あのころのパラオをさがして⑤ーMorikawa とある軍医ー」『すばる』2016年9月号 集英社
- 3237)寺尾紗穂(2016)「あのころのパラオをさがして⑥ーテレベエシール：パラオの日本語歌謡ー」『すばる』2016年10月号 集英社
- 3238)寺尾紗穂(2016)「あのころのパラオをさがして⑦パラオ再訪：ケルヴィンとの出会いー」『すばる』2016年11月号 集英社
- 3239)寺尾紗穂(2016)「あのころのパラオをさがして⑧(最終回)ーそれぞれのパラオでー」『すばる』2016年12月号 集英社
- 3240)照井悦幸(2016)「ヘンリー・F・アンガス『カナダ生まれの日本人へのメッセージ』ーカナダ日系人の"Hero(英雄)"としてー」『盛岡大学紀要』第33号 盛岡大学
- 3241)常盤智子(2016)「ブラウン著 *Colloquial Japanese* とその底本」近代語学会編(2016)『近代語研究 第十九集』武蔵野書院

- 3242)富田紘央(2016)「モンクット王ラカバンエ科大学・東海大学日本語教育ツイニングプログラムにおけるコースの現状と課題ー5年前との比較ー」『東海大学紀要. 国際教育センター』No.6 東海大学国際教育センター
- 3243)豊川浩一(2016)「日本とロシアの1736年ーソウザとゴンザに関する元老院史料が語るものー」『Slavistika』第31号 東京大学大学院人文社会系研究科スラヴ語スラヴ文学研究室
- 3244)鳥谷まゆみ(2016)「夏巧尊と日本ー宏文学院留学と小品文受容を中心にー」『立命館経済学』第64巻第4号 立命館大学経済学会
- 3245)中島利郎(2016)「台湾最初の児童文学家・西岡英夫研究序説二ー大正期より昭和期の活動ー」『岐阜聖徳学園大学紀要』第55集 岐阜聖徳学園大学
- 3246)中東靖恵(2016)「岡山県総社市における「生活者としての外国人」のための日本語教育事業の立ち上げと展開ー行政と取り組む地域日本語教育の仕組み作りー」『岡山大学文学部紀要』66巻 岡山大学文学部
- 3247)中村重穂(2016)「長谷川雄太郎研究ー『日語楷梯』と『日語入門』草稿の校合に基づいてー」『北海道大学国際教育研究センター紀要』第20号 北海道大学国際連携機構国際教育研究センター
- 3248)中山亜紀子(2016)「韓国人日本語教師の現状理解と日本語教育の課題」『佐賀大学全学教育機構紀要』第4号 佐賀大学
- 3249)野村由香里(2016)「フィリピンにおける日本語教育の歴史と現状」『日本語教育論集』第25号 姫路獨協大学大学院言語教育研究科日本語教育コース
- 3250)登里民子(2016)「「日本語パートナーズ」派遣事業の概況」『国際交流基金日本語教育紀要』12号 国際交流基金日本語国際センター
- 3251)八若壽美子・池田庸子(2016)「茨城大学日本語教育プログラムの軌跡と評価ー修了者のプログラム評価の分析からー」『茨城大学留学生センター紀要』第14号 茨城大学留学生センター
- 3252)林英一(2016)「ベトナム戦争の時代を生きた台湾人日本兵ー中村輝夫と莊百洋ー」『東アジア研究』第64号 大阪経済法科大学
- 3253)林伸一(2016)「日本語教員を取り巻く状況の変化ー日本語教育の38年間を振り返るー」『山口大学文学会志』66 山口大学文学会

- 3254)氷野嘉寛(2016)「19～20世紀の中国語教育史を研究するための資料—鱒澤彰夫氏寄贈図書目録編纂作業とその特徴—」『関西大学東西学術研究所紀要』49 関西大学東西学術研究所
- 3255)黄雲(2016)「〔平成27年度博士学位論文要旨〕韓国開化期における日本語教育に関する研究」『言語と文明』14巻 麗澤大学大学院言語教育研究科
- 3256)細川英雄(2016)「公共日本語教育という思想へ—早稲田日研のこれまでとこれから—」『早稲田日本語教育学』第20号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3257)牧瀬暁子(2016)「朴泰遠の児童文学と国語教科書—一九三〇～四〇年代を中心に—」『朝鮮学報』第239号 朝鮮学会
- 3258)榭谷祐一(2016)「甲午改革期渡日朝鮮人留学生の人脈形成と社会進出—申海永一派に着目して—」『近代日本研究』第33巻 慶應義塾福沢研究センター
- 3259)松浦康之・小森雄太・高田宗樹(2016)「日本留学に関する基礎的研究—タイ地方部における日本語教育と留学の現状を踏まえて—」『福井大学大学院工学研究科研究報告』第64巻 福井大学大学院工学研究科
- 3260)松崎正治(2016)「西尾実の国語教育思想における言語観—フィヒテの言語哲学を媒介として—」『同志社女子大学学術研究年報』第67巻 同志社女子大学
- 3261)松本久美子(2016)「地方国立大学(法人)における日本語教育の20年の変化—大学の国際化政策と留学生交流との関連において—」『ことばと文字』6号 日本のローマ字社8
- 3262)松本隆(2016)「日本語学習素材としての1881年刊『新約聖書 馬可傳 俗話』—明治初期に来日した外国人宣教師むけ専門日本語テキストの文体—」『日本研究センター教育研究年報』第5号 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター
- 3263)丸山彩・織田康孝(2016)「日本軍政下のジャワにおける歌—グラフ雑誌『ジャワ・バル Djawa Baroe』を素材に—」『立命館大学人文科学研究科紀要』No.107 立命館大学人文科学研究科
- 3264)丸山敬介(2016)「今後予想される国内の日本語教育の動きと課題」『同志社女子大学日本語日本文学』第28号 同志社女子大学日本語日本文学会
- 3265)丸山敬介(2016)「『日本語教師は食べていけない』言説—『月刊日本語』の分析から—」『同志社女子大学大学院文学研究科紀要』第16号 同志社女子大学大学院文学研究科

- 3266)水野剛也(2016)「メディア史料案内 アメリカ合衆国の日本語新聞—日本国内の主要所蔵機関を中心に—」メディア史研究会編『メディア史研究』40号 ぬまに書房
- 3267)三濱靖和(2016)「天理図書館とネフスキー」『ビブリア』No.145 天理大学出版部  
※「靖」の旁「青」は旧字体「青」
- 3268)宮崎克己(2016)「レオン・ド・ロニー『アントロジー・ジャポネーズ』からの波及：サン＝サーンス、ビュルティ、五姓田義松」『ジャポニスム研究』36号 ジャポニスム学会
- 3269)村井万里子(2016)「フォーラム 「国語・日本語教育史」から得られる「言語の基礎理論」」『日本教科教育学会誌』第39巻第3号 日本教科教育学会
- 3270)山岸宏明(2016)「日本語教育における会話教育概観—話者交替に着目して—」『明海日本語』21 明海大学日本語学会
- 3271)山田直之(2016)「初期綴方運動への評価に対する批判的考察—芦田恵之助の「自己」、「文話」、「想」に着目して—」『教育新世界』41-1 世界新教育学会
- 3272)山本和行(2016)「『芝山巖事件』の儀式化—『芝山巖祭』の開催に着目して—」『中国文化研究』第32号 天理大学中国文化研究会
- 3273)山本和行(2016)「芝山巖の「神社」化—台湾教育会による整備事業を中心に—」『日本の教育史学：教育史学会紀要』第59集 教育史学会
- 3274)山本和行・樋浦郷子・須永哲思(2016)「戦中戦後台湾における教育経験—宜蘭・李英茂氏への聞き取り調査から—」『天理大学学報』第241輯 天理大学学術研究会
- 3275)山本和行(2016)「日本「内地」における「芝山巖事件」の位置づけ」『奈良歴史研究』84号 奈良歴史研究会
- 3276)油井原均(2016)「スペンサー『教育論』と伊澤修二『教育学』の内容について—両者の「三育主義」と心理学的立場の異同を中心に—」『白百合女子大学研究紀要』第52号 白百合女子大学
- 3277)横井香織(2016)「教育の南方進出—昭和10年代台湾の学校教育の様相—」『東洋史訪』第23号 兵庫教育大学東洋史研究会
- 3278)吉岡英幸(2016)「早稲田大学における日本語教育史」『早稲田日本語教育学』第20号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3279)吉田孟史(2016)「複言語でのグローバル・ビジネス教育—台湾高等教育機関における応用日語教育の事例—」『青山経営論集』第51巻第1号 青山学院大学経営学会

- 3280)李冠男(2016)「中国の高等教育機関における日本語専攻のカリキュラム改革について—大連外国語大学の事例研究を通して—」『日本言語文化研究 城西国際大学大学院紀要』第5号 城西国際大学大学院
- 3281)李智(2016)「中国における大学日本語専攻の人材育成体制の変容と動向」『岩大語文』21号 岩手大学語文学会
- 3282)李雪(2016)「戦前期の天津における日本語教育—日本人の教育活動を中心に—」『アジア教育』第10号 アジア教育学会
- 3283)李炯喆(2016)「植民地支配下の朝鮮語」『国際社会学部研究紀要』第1巻 長崎県立大学
- 3284)李侑珍(2016)「植民地時代の二重言語使用の様相について」『埼玉女子短期大学紀要』第34号 埼玉女子短期大学
- 3285)劉建輝(2016)「戦前期対中留学生支援事業の一考察—日華学会主事高橋君平の活動を中心に—」『東アジア比較文化研究』15 東アジア比較文化国際会議日本支部
- 3286)和田敦彦(2016)「図書館蔵書から読書の歴史を探る—日本占領期インドネシアの日本語図書から—」『日本文学』vol.65-11 日本文学協会
- 3287)赤木奈央(2017)「日本統治時代の台湾の公学校における「聴き方」教授についての考察—大正後期から終戦にかけて—」『拓殖大学大学院言語教育研究 2016年度』第17号 拓殖大学大学院言語教育研究科
- 3288)荒川智(2017)「特別の支援を必要とする子どもの教育に関する政策動向—日本語指導を中心に—」『茨城大学教育実践研究』36 茨城大学全学教職センター
- 3289)荒巻久子・河野里奈・埴仁礼子(2017)「機関誌『AJALT』40年の軌跡」『AJALT』No.40 公益財団法人国際日本語普及協会
- 3290)イーゴリ・ボトーエフ(2017)「ロシア、ブリヤート国立大学における日本語・日本文化の教育の現状」『世界の日本研究 2017: 国際的視野からの日本研究』国際日本文化研究センター
- 3291)池田富見子(2017)「久留米大学の国際化を目指して—留学生別科の取り組み—」『久留米大学外国語教育研究所紀要』第24号 久留米大学外国語教育研究所
- 3292)石井正己(2017)「国語・日本語教育史における神話・昔話教材のイデオロギー」『宗教研究』第90巻別冊 日本宗教学会

- 3293)石井正己(2017)「ニコライ・ネフスキー遺文抄(六)ー [東北地方民間伝承ノート断片]ー」『ビブリア』No.147 天理大学出版部
- 3294)石川巧(2017)「戦後の東アジアにおける日本語文学ー移動・交流・支配ー」『立教大学日本文学』第117号 立教大学日本文学会
- 3295)泉文明・長江春子・横井幸子(2017)「日ロ言語教育交流小考」『国際文化研究』第21号 龍谷大学国際文化学会
- 3296)磯田一雄(2017)「戦後台湾俳句小史(1)戦前期台湾の国語教育と俳句・短歌ー生活表現の「日本化」・「近代化」ー」『成城文藝』第239号 成城大学文芸学部
- 3297)稲森雅子(2017)「銭稻孫の私設日本語図書室「泉寿東文書庫」」『中国文学論集』第46号 九州大学中国文学会
- 3298)井上史雄(2017)「日本語ハワイ方言の特徴」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第20輯 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 3299)今村圭介(2017)「日本統治を経験したパラオ人によるパラオ語の片仮名表記」『日本語研究』第37号 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会
- 3300)臼井直也(2017)「日本語教育におけるアニメーション研究のこれまでとこれから」『東京外国語大学日本研究教育年報(2016年度版)』21 東京外国語大学日本専攻
- 3301)占部匡美(2017)「土居光知の『基礎日本語』についての一考察」『福岡国際大学紀要』第37号 福岡国際大学
- 3302)占部匡美(2014)「日本語教育史における入門期教科書の基礎語彙IVー台湾での教育施策ー」『福岡国際大学紀要』第38号 福岡国際大学
- 3303)大場美和子・朴美貞(2017)「国際交流基金『世界の日本語教育』における会話データ分析論文の年代別動向の調査」『昭和女子大学大学院言語教育・コミュニケーション研究』第11集 昭和女子大学大学院文学研究科言語教育・コミュニケーション専攻
- 3304)岡田誠(2017)「日本語教育における湯澤幸吉郎と鈴木忍の受身の論」『教職課程センター紀要』第2号 大東文化大学教職課程センター事務室
- 3305)岡本輝彦(2017)「台湾の後期中等教育日本語専門課程における日本語教育について」『別府大学日本語教育研究』第7号 別府大学日本語教育研究センター
- 3306)小野憲一(2017)「日本統治時代の台湾における私立学校の歴史的経緯に関する研究(2)ー「台湾殖民政校」一覧を概観してー」『帝京平成大学紀要』第28巻 帝京平成大学

- 3307)影山太郎(2017)「国立国語研究所—グローバル化と日本語研究—」『東京外国語大学国際日本学研究報告』no.1 東京外国語大学大学院国際日本学研究院
- 3308)川上尚恵(2017)「技術研修生に対する日本語教育の目的と実践：1959年～1980年代前半までの AOTS の日本語研修を対象に」『国際文化学研究：神戸大学大学院国際文化学研究科紀要』49号 神戸大学大学院国際文化学研究科
- 3309)川上尚恵(2017)「戦後の留学生に対する日本語教育の展開—政策と教育実践から—」『神戸大学留学生教育研究』第1号 神戸大学国際連携推進機構国際教育総合センター留学生教育部門
- 3310)川口敦子(2017)「アビラ・ヒロン『日本王国記』諸本と日本語の表記—チンチョン報告書との比較を通して—」『三重大学日本語学文学』第28号 三重大学人文学部日本語日本文学研究室
- 3311)河路由佳(2017)「19世紀末「最初の日本語学校」を導いたグアン・メソッド—松田一橘(1906)『日本語教草』から松宮弥平(1936-38)『日本語会話』へ—」『専修国文』第101号 専修大学日本語日本文学文化学会
- 3312)河原栄・谷野由佳・埴仁礼子(2017)「AJALT 教師今昔物語」『AJALT』No.40 公益財団法人国際日本語普及協会
- 3313)木下哲生(2017)「戦前・戦中の国内及び日本の支配地域における国語教育及び日本語教育に関する一研究」『防衛大学校紀要. 人文科学分冊』第114輯 防衛大学校
- 3314)楠家重敏(2017)「<年譜>幕末在日外国人の日本研究史(1853年～1858年)」『杏林大学外国語学部紀要』第29号 杏林大学外国語学部
- 3315)久保田美子(2017)「ノンネイティブ日本語教師のビリーフと学習経験—2004・2005年度と2014・2015年度の量的調査結果の比較—」『国際交流基金日本語教育紀要』第13号 国際交流基金
- 3316)見城悌治(2017)「戦時下日本における「満州国」留学生たちの「修練」活動—『満州国留日学生会会報』から見る日本体験の一側面—」『人文研究』第46号 千葉大学文学部
- 3317)甲賀真広(2017)「旧満洲国在住者の言語接触史—文字資料とオーラルヒストリーのインターフェースを目指して—」『日本語研究』第37号 首都大学東京・東京都立大学日本語・日本語教育研究会

- 3318)國分建志(2017)「誤植の殿堂『説日語』－その誕生と変遷(七)－」『文學藝術』41 共立女子大学文芸学部
- 3319)コズィラ・アグネシカ(2017)「ワルシャワ大学日本学科の歴史と研究」『世界の日本研究2017：国際的視野からの日本研究』国際日本文化研究センター
- 3320)小橋玲治(2017)「織田作之助と南方派遣日本語教員－『旅への誘い』から『姉妹』へ－」『語文』第108輯 大阪大学国語国文学会
- 3321)小林茂子(2017)「1930年代後半南洋群島における公学校教育の果たす役割－「体験記」からみた日本人教員の教育活動を手がかりに－」『移民研究年報』第23号 東出版
- 3322)小林茂子(2017)「南洋群島の公学校教育における「文明化」「近代化」－その1 第四次『国語読本』編纂背景・「文明化」の変容を考える－」日本植民地教育史研究会(2017)『植民地教育史研究年報第19号 植民地の近代化・産業化と教育』 皓星社
- 3323)小林敏男(2017)「戦時下植民地に於ける日本語雑誌－田中英光の位置づけ－」『大東文化大学紀要<人文科学>』第55号 大東文化大学
- 3324)駒走昭二(2017)「ゴンザ資料におけるカス型動詞」『日本語の研究』第13巻4号
- 3325)宮琳(2017)「60年代中国大学日本語教科書『日語』の編纂方針と教育思想－中国国家的教育方針・政策との比較をもとに－」『言語文化教育研究』第15巻 言語文化教育研究会
- 3326)近藤健一郎(2017)「方言札の広がりにとまどい－「普通語ノ励行方法答申書」(一九一五年)を中心に－」『沖縄文化研究』44 法政大学沖縄文化研究所
- 3327)酒井順一郎(2017)「八路軍敵軍工作訓練隊に於ける日本語教育」『九州産業大学国際文化学部紀要』第68号 九州産業大学国際文化学会
- 3328)迫田久美子(2017)「AGORA 私が「日本語教師」だったころ－「相手あつての自分」という考え－」『イマ×ココ：言語教育実践』No.5 ココ出版
- 3329)佐藤尚子(2017)「日韓共同理工系学部留学生のフォローアップ調査－千葉大学に配置された第1次第1期生～第2次第6期生を対象に－」『国際教育』10号 千葉大学国際教育センター
- 3330)澤井充生(2017)「皇居遙拝した回民たち－日本の回教工作にみる異民族への眼差し－」『人文学報』No.513-2 首都大学東京人文科学研究科
- 3331)柴公也(2017)「日本統治時代の台湾生活誌(X I)」『海外事情研究』第44巻第1・2合併



- 3332)芝崎厚士(2017)「日本の国際交流政策の変遷―戦前と戦後―」『Peace and culture』第9巻第1号 青山学院大学国際交流共同研究センター
- 3333)島田顕(2017)「キム・ギウン―知られざる戦時中のモスクワ放送日本語番組の朝鮮人スタッフ―」『アジア太平洋討究』No.29 早稲田大学アジア太平洋研究センター
- 3334)島田めぐみ・高橋久子・本田正文(2017)「ハワイの共通語となった日本語語彙」『東アジア日本語教育・日本文化研究』第20輯 東アジア日本語教育・日本文化研究学会
- 3335)嶋津拓(2017)「中島敦の『山月記』と釘本久春―はたして釘本は「哀憐」だったのか―」『埼玉大学教養学部リベラル・アーツ叢書別冊2 仁科弘之教授退職記念論文集 言語をめぐるX章』 埼玉大学教養学部・人文社会科学研究所
- 3336)嶋津拓(2017)「日本語教育・日本語普及に関する言語政策の立案・実施過程における課題―日本語普及意識調査の結果から考える―」『埼玉大学日本語教育センター紀要』第11号 埼玉大学日本語教育センター
- 3337)清水知子(2017)「南洋群島の公学校教育における「文明化」「近代化」―その2 第四次『国語読本』編纂を中心に―」日本植民地教育史研究会(2017)『植民地教育史研究年報第19号 植民地の近代化・産業化と教育』 皓星社
- 3338)薛静(2017)「松本亀次郎編纂の日本語教科書における動詞の謙讓語の扱い―大正期の教科書を中心に―」『國學院大学大学院紀要―文学研究科―』第49輯 國學院大学大学院
- 3339)シュテファン・カイザー(2017)「S. R. Brown Colloquial Japanese の成立事情―Lexilogus との関連を中心に―」『國學院雑誌』第118巻第3号 國學院大學
- 3340)シュテファン・カイザー(2017)「日本語とラテン語、そして日本語教育」『國學院雑誌』第118巻第5号 國學院大學
- 3341)末延岑生(2017)「ニホン英語 (Open Japanese) の類型化研究―日本人の言語観・言語教育観：台湾統治時代の日本語普及政策から―」『人文論集』第52巻 兵庫県立大学神戸商科キャンパス学術研究会
- 3342)鈴木綾乃、伊藤奈津美、岩下智彦(2017)「日本語教育における動機づけ研究：学会誌『日本語教育』の分析から」『外国語教育研究』第20号 外国語教育学会
- 3343)鄒双双(2017)「日本占領期(1937-1945)の北京における日本文学の翻訳」『東アジア文化交

- 3344)園田博文(2017)「文求堂主人田中慶太郎訳『東語士商叢談便覧』の日本語—人称代名詞・当為表現・ワア行五段動詞連用形の音便を例として—」『山形大学教職・教育実践研究』第12号別刷 山形大学
- 3345)宋文源(2017)「なつかしい満州の平野」『scripta spring 2017』第11巻第3号 紀伊國屋書店
- 3346)高畑幸・水野かほる(2017)「南米系外国人学校における日本語教育—静岡県内の事例から(1)—」『国際関係・比較文化研究』第15巻第2号 静岡県立大学国際関係学部
- 3347)滝内ひろ子(2017)「大学教育における「ビジネス日本語」教育」『神戸医療福祉大学紀要』vol.18-1 神戸医療福祉大学
- 3348)田中寛(2017)「資料：戦時下における国語問題・海外日本語進出論—朝日新聞記事1937～1945年を中心に—」『大東文化大学紀要<人文科学>』第55号 大東文化大学
- 3349)田中寛(2017)「大東亜共栄圏下における異言語接触の一断面—“大東亜語学”と南方日本語普及工作の実態—」『東洋研究』第204号 大東文化大学東洋研究所
- 3350)田中祐輔(2017)「中国における日本の仏教文化と国際交流—日本語教育の視点から—」『親鸞の水脈 特別号』自照社出版
- 3351)俵山雄司・渡部真由美・田中真寿美(2017)「地域日本語教育における日本語ボランティアの養成・研修講座の内容の変遷—文化庁事業の平成20年度と平成25年度の取組の比較を通して—」『名古屋大学日本語・日本文化論集』第24号 名古屋大学国際言語センター
- 3352)簡月真(2017)「台湾に渡った日本語—痕跡と創生—」『日本語学』第36巻第2号 明治書院
- 3353)張傑・山本洋一・沙秀程・方如偉(2017)「上海海洋大学における日本語教育の現状と課題—基礎段階の教育実践を中心に—」『九州共立大学研究紀要』第8巻第1号 九州共立大学
- 3354)千仙永(2017)「日本語音声教育の変遷・課題・展望—日本国内における教師教育に着目して—」『早稲田日本語教育学』第22号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3355)陳南澤(2017)「1905年刊『韓語教科書』の韓国語について」『岡山大学全学教育・学生支援機構教育研究紀要』第2号 岡山大学全学教育・学生支援機構
- 3356)陳虹彪(2017)「日本統治下台湾人児童の日常生活について—国語教科書を手掛かりに—」

- 3357)坪田珠里(2017)「社会主義国家ベトナムの日本語教育政策の変遷とその目的(1945年～1991年)ー外国語教育政策の史的展開に位置づけてー」『日本語教育』168号 日本語教育学会
- 3358)寅丸真澄・饗場淳子・作田奈苗(2017)「ビジネス日本語教材にみるビジネス日本語教育観の変遷ー教材のパイロットスタディの調査結果からー」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』43 東京外国語大学留学生日本語教育センター
- 3359)中沢紀子(2017)「日本語教科書としての『天草版平家物語』ー格成分・格助詞を中心にー」『帝京大学文学部紀要. 日本文化学』第48号 帝京大学文学部日本文化学科
- 3360)長田洋史(2017)「1910年代における直観教授法を通して見た保科孝一の「言語教育」観ー国語教育と国語施策の関係にも着目してー」『国語教育史研究』第17号 国語教育史学会
- 3361)中東靖恵(2017)「岡山県総社市における多文化共生の現状と課題ー地域日本語教育の推進に向けた地域住民への実態調査ー」『岡山大学文学部紀要』第67号 岡山大学文学部
- 3362)中村香生里(2017)「「～するつもりだ」「～(よ)うと+思考動詞」の歴史的変遷ー意志表現の定着と相互比較ー」『同志社大学日本語・日本文化研究』第15号 同志社大学日本語・日本文化教育センター
- 3363)中村重穂(2017)「長谷川雄太郎研究・その2ー日本語史的観点からー」『北海道大学国際教育研究センター紀要』第21号 北海道大学国際連携機構国際教育研究センター
- 3364)西菜穂子(2017)「日本語ライティングセンターー2010年度からの活動を振り返ってー」『神田外語大学紀要』第29号 神田外語大学
- 3365)野田尚史(2017)「国立国語研究所の日本語教育研究ー日本語学習者の読解のための文法を中心にー」『東京外国語大学国際日本学研究報告』no.1 東京外国語大学大学院国際日本学研究院
- 3366)パンダ・ナビン・クマール(2017)「二〇世紀初頭のインドにおける日本語教育ー佐野甚之助の文献からー」『近代日本研究』第34巻 慶應義塾福沢研究センター
- 3367)日地谷=キルシュネライト・イルメラ(2017)「過去・現在・未来へのプロジェクト「和独大辞典」ー辞典編纂で知った日本研究の問題点ー」『日本研究』第55集 国際日本文化研究センター
- 3368)平岩佐江子(2017)「日系社会における継承語教育の課題と展望ー「継承語」概念の比較検

討を通して一」『JICA 横浜海外移住資料館研究紀要』11 国際協力機構横浜国際センター  
海外移住資料館

- 3369)平田諭治(2017)「岡倉由三郎の言語思想に関する一考察—『日本語学一斑』(1890年)における W.D.ホイトニー言語論の検討—」『筑波大学教育学系論集』第41巻第2号 筑波大学人間系教育学域
- 3370)黄永熙(2017)「在中朝鮮人の植民地日本語に関する社会言語学的考察」『横浜国大言語研究』第35号 横浜国立大学国語・日本語教育学会
- 3371)福嶋美佐子(2017)「「才能をめぐるグローバル競争」時代における日本の留学生政策」『公共政策志林』第5号 法政大学公共政策研究科『公共政策志林』編集委員会
- 3372)藤森智子(2017)「日本統治下台湾の「国語講習所」(一九三〇—四五)の講師に関する一考察—講師の履歴を中心に—」『法学研究』第90巻第1号 慶應義塾大学法学研究会
- 3373)プラット・アブラハム・ジョージ(2017)「インドにおける日本語教育の過去・現状・未来」『世界の日本研究2017：国際的視野からの日本研究』国際日本文化研究センター
- 3374)古川宣子(2017)「植民地期朝鮮の簡易学校—制度導入とその普及を中心に—」『大東文化大学紀要<社会科学>』第55号 大東文化大学
- 3375)古別府ひづる(2017)「「基礎演習Ⅱ」における地域とグローバルの視点構築の試み—アーネスト・サトウが注目した戦国山口とキリスト教の栄枯盛衰—」『国際文化学部紀要』第23号 山口県立大学
- 3376)何広梅(2017)「第二次世界大戦前におけるモンゴル人の留日教育活動—善隣協会のモンゴル人留学生支援事業を中心に—」『人間文化創成科学論叢』第19巻 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
- 3377)洪濤(2017)「清末の日本語教科書」『花園大学文学部研究紀要』第49号 花園大学文学部
- 3378)松岡昌和(2017)「自由論題報告要旨 メディア・イベントとしての日本語普及—日本占領下シンガポールにおけるメディア文化政策と日本化教育—」『史潮』第81号 歴史学会
- 3379)松園聡美(2017)「明治期の教育思想における唱歌と他教科との関わり—伊澤修二による唱歌と体育に対する考え方をもとに—」『福岡大学大学院論集』第49巻第3号 福岡大学大学院論集刊行委員会
- 3380)松本久美子(2017)「留学生交流から見た留学生センター設置後20年の変化—現状と今後の課題—」『長崎大学国際教育リエゾン機構紀要』第3号 長崎大学国際教育リエゾン機構

- 3381)松本隆(2017)「心学道話を素材にした明治前期の日本語学習資料—欧米人4名によるテキスト5種の紹介—」『日本研究センター教育研究年報』第6号 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター
- 3382)マラル・アンダソヴァ(2017)「カザフスタンにおける日本研究—現状と課題—」『世界の日本研究2017：国際的視野からの日本研究』国際日本文化研究センター
- 3383)三浦大明(2017)「<教育デザインフォーラム学生発表会>日本語教育史研究とその実践—湾生と日本語—」『教育デザイン研究』第8号 横浜国立大学大学院教育学研究科
- 3384)水野恵子(2017)「外国人留学生への日本語教育を担当して」『流通経済大学流通情報学部紀要』Vol.21, No.2 流通経済大学
- 3385)宮崎靖士(2017)「張文環の日本語文学作品における表象傾向の分有と深化—一九四〇～四三年を対象として—」『北星学園大学文学部北星論集』第54巻第2号 北星学園大学
- 3386)宮原温子(2017)「レオン・ド・ロニー『日本語文典初歩(口語)』第2部「語あるいは助詞の用法」の一考察」『目白大学人文学研究』第13号 目白大学
- 3387)宮脇弘幸(2017)「満洲の教育」『人文社会科学論叢』No.26 宮城学院女子大学
- 3388)村上呂里(2017)「沖縄県における<実感>の戦後国語教育史—1963年、そして2016年へ—」『国語教育史研究』第17号 国語教育史学会
- 3389)村上和賀子(2017)「アメリカ日系移民二世の教育—『米國加州教育局検定 日本語讀本』から見えてくること—」『人文研紀要』第86号 中央大学人文科学研究所
- 3390)八木恵子(2017)「埼玉大学で日本語教育を担当して」『埼玉大学日本語教育センター紀要』第11号 埼玉大学日本語教育センター
- 3391)八木正自(2017)「Bibliotheca Japonica(235)J.ホフマン編『蘭英和商用対話』について」『日本古書通信』82巻7号 日本古書通信社
- 3392)安田敏朗(2017)「植民地支配と日本語」『日本語学』第36巻第12号 明治書院
- 3393)柳沢美和子(2017)「日本の「グローバル化」はあり得るか?—留学生政策、移民政策、言語政策の視点から—」『キリストと世界』第27号 東京基督教大学教授会
- 3394)山崎佳代子(2017)「セルビアにおける日本研究—ベオグラード大学日本学事始め—」『世界の日本研究2017：国際的視野からの日本研究』国際日本文化研究センター

- 3395)山田直之(2017)「芦田恵之助の綴方教育を再考するー「人文一致主義」の流布とその射程からー」『教育新世界』42-1 世界新教育学会
- 3396)山本一生(2017)「生活指導における保育者の役割ー自由学園北京生活学校を事例にー」『紀要』第40号 上田女子短期大学
- 3397)山本和行(2017)「日本占領期香港の教育政策・教育活動に関する資料ー『香港日報』日本語版1942-1945ー」『中国文化研究』第33号 天理大学中国文化研究会
- 3398)山本公平(2017)「ベトナムにおける日本語学校の経営存続に関する一考察ードンズー日本語学校を中心にー」『広島経済大学経済研究論集』第40巻第2・3号 広島経済大学経済学会
- 3399)李思齊(2017)「研究ノート:満州国留学生予備校についての一研究ー第六期卒業生の証言及び資料に基づいてー」『言語社会』第11号 一橋大学大学院言語社会研究科
- 3400)劉小俊・徐鵬(2017)「日本経済小説がビジネス日本語教材としての可能性ー中国における上級総合教材の場合ー」『京都女子大学人文論叢』第65号 京都女子大学人文学会
- 3401)和賀井倫雄(2017)「「語りつぐ戦争」にみる日本人の戦争記憶ー「被害」の中の「加害」ー意識」『新世紀人文学論究』第1号 新世紀人文学研究会
- 3402)渡邊一弘(2017)「日本イタリア文化交流のかけ橋としてージュリアナ・ストラミジョーリの事績ー」『昭和のくらし研究』15号 昭和館
- 3403)渡邊俊彦(2017)「台湾語研究会活動報告」『拓殖大学台湾研究』創刊号 拓殖大学海外事情研究所附属台湾研究センター
- 3404)王宝平(2017)「「失われた20年」における中国の日本語教育と日本研究」『失われた20年と日本研究のこれから・失われた20年と日本研究の変容』国際日本文化研究センター
- 3405)王敏著、鈴木晶訳(2017)「日本へ留学の意義ー国境を越えた近代教育実践者の黄瀛母子ー」『別府大学紀要』第58号 別府大学
- 3406)荒まゆみ(2018)「入学時の日本語プレイスメントテスト結果から見る留学生の日本語能力の一考察ー2016~2018年度入学の留学生を対象にー」『尚美学園大学総合政策研究紀要』第32号 尚美学園大学総合政策学部
- 3407)荒川みどり(2018)「研究ノート:T. プレンダーガストによる「マスターリー・システム」の教則書ー近代的外国語教授法の先駆けー」『杏林大学外国語学部紀要』第30号 杏林大学外国語学部

- 3408)嵐洋子(2018)「研究ノート：日本語教育における媒介語の使用について—文法訳読法から  
コミュニケーション・アプローチまで—」『杏林大学外国語学部紀要』第30号 杏林大学外  
国語学部
- 3409)А.С.Дыбовский(2018)「Японоведение в Практической восточной академии при  
Императорском обществе востоковедения (1910–1917) [ロシア帝国王室東洋学会付属  
の東洋実践アカデミーにおける日本学 (1910–1917)]」『言語文化研究』44 大阪大学大  
学院言語文化研究科 [露文]
- 3410)葉倩瑋(2018)「パラオにみる「南洋」の過去と現在 4—ペリリュー島の戦跡と水戸—」  
『地理』2018年11月号 古今書院
- 3411)池田菜採子(2018)「Bernard Bloch の日本語研究を支えた日系人たち」『名古屋大学日本  
語・日本文化論集』第25号 名古屋大学国際言語センター
- 3412)市嶋典子(2018)「Policy Topics 海外における日本語普及政策の展望と課題」『総合政策研  
究』57号 関西学院大学総合政策学部研究会
- 3413)井出裕美(2018)「英語教育法 (10) —日本語教授法から見る日本の英語教授法と英語教  
育—」『太成学院大学紀要』20巻 太成学院大学
- 3414)伊藤孝行(2018)「テキストアナリシスによる明治期日本語教科書『日語指南』の検証」『國  
學院雑誌』第119巻第11号 國學院大學総合企画部
- 3415)伊藤みちる・工藤理恵・徳増紀子(2018)「長期的視座で捉える青年海外協力隊による日本  
語教育—ブルガリア・ジャマイカ・ベトナムの三学習者の事例研究—」『人間生活文化研究』  
No.28 大妻女子大学人間生活文化研究所
- 3416)犬飼崇人(2018)「フランスにおける日本研究—19世紀後半から第二次世界大戦前夜まで  
の日仏交流史の一側面—」『学習院大学国際研究教育機構研究年報』第4号 学習院大学  
国際研究教育機構
- 3417)今村志紀(2018)「アストン『口語文典』の改訂における内容の推移について」『上智大学  
文化交渉学研究』6号 上智大学大学院文学研究科文化交渉学専攻
- 3418)内山和也(2018)「台湾の日本語教育の変質から学べること—日本語教育の向かう先に何か  
があるのか—」『別府大学日本語教育研究』第8号 別府大学日本語教育研究センター
- 3419)大内泰夫(2018)「日本語教育と海外伝道：天理教の日本語教育のはじまりの頃①」『グロ  
ーカル天理』第19巻第8号 天理大学おやさと研究所

- 3420)大内泰夫(2018)「日本語教育と海外伝道(2) 天理教の日本語教育のはじまりの頃②」『グローバル天理』第19巻第9号 天理大学おやさと研究所
- 3421)大内泰夫(2018)「日本語教育と海外伝道(3) 日本語教育で使われる教科書について①」『グローバル天理』第19巻第10号 天理大学おやさと研究所
- 3422)大内泰夫(2018)「日本語教育と海外伝道(4) 日本語教育で使われる教科書について②」『グローバル天理』第19巻第11号 天理大学おやさと研究所
- 3423)大内泰夫(2018)「日本語教育と海外伝道(5) 日本語教育で使われる教科書について③」『グローバル天理』第19巻第12号 天理大学おやさと研究所
- 3424)大野眞男(2018)「バジル・ホール・チェンバレンー日本語研究に焦点を当ててー」『アジア遊学』219 勉誠出版
- 3425)大濱新悟(2018)「実例捜査セミナー Since 1988 日本語学校経営者らによる外国人留学生不法就労あっせん事件」『捜査研究』第67巻第6号 東京法令出版
- 3426)岡益巳(2018)「岡山大学留学生相談室の活動の歴史」『留学生教育』第23号 留学生教育学会
- 3427)岡本耕平(2018)「パラオにみる「南洋」の過去と現在1ー日本人にとってのパラオと南洋ー」『地理』2018年8月号 古今書院
- 3428)荻原まき(2018)「台湾原住民の日本語世代のライフストーリーー「インタビューの場」と語りの変容ー」『語りの地平：ライフストーリー研究』Vol.3 日本ライフストーリー研究所
- 3429)荻原眞子(2018)「S・エリセーエフと東京に学んだ日本学の創始者たち」『アジア遊学』219 勉誠出版
- 3430)小野憲一(2018)「日本統治時代の台湾における私立学校の歴史的経緯に関する研究(3)ー「私立台湾仏教中学林」の設立と内容について(1)ー」『帝京平成大学紀要』第29巻 帝京平成大学
- 3431)鯉澤千鶴(2018)「『日葡辞書』の日本語教育的価値ー複合動詞をめぐってー」『清泉女子大学キリスト教文化研究所年報』第26巻 清泉女子大学キリスト教文化研究所
- 3432)金子淳(2018)「シンガポール国立博物館における戦争の展示と「昭南博物館」の記憶」『桜美林論考.人文研究』第9号 桜美林大学
- 3433)加納千恵子(2018)「筑波大学における日本語漢字教育の理念と実践ーBASIC KANJI



BOOK シリーズによる漢字の授業―『筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター日本語教育論集』第33号 筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター

3434)川上尚恵(2018)「日中戦争期における少年達の日本留学」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会

3435)川口敦子(2018)「コリヤードのt入声表記とツ表記―スペイン系写本との比較から―」『三重大学日本語学文学』第29号 三重大学人文学部日本語日本文学研究室

3436)河路由佳(2018)「人とことば 呉建堂の〈台湾万葉集〉と〈国語〉教師、川見駒太郎／犬養孝―日本統治下台湾の短歌教育と戦後台湾の短歌―」『ことばと文字』10号 日本のローマ字社

3437)川幡愛恵美(2018)「東海大学における留学生教育の草創期―退職に際して振り返る―」『東海大学紀要 国際教育センター(留学背支援教育部門・国際教育部門)』第8号 東海大学

3438)北川健次(2018)「芦田恵之助の随意選題思想の変遷」『臨床人間関係論研究』4号 武庫川女子大学教育研究所生徒指導研究室

3439)金珽実(2018)「九州帝國大學醫學部で學んだ留學生―民国・満洲国・台湾からの留學生を中心に―」『九州大学留学生センター紀要』第26号 九州大学留学生センター

3440)金珽実(2018)「『満洲国』期における延辺地域の日本語教育」『東アジア日本語教育・日本文化研究』21輯 東アジア日本語教育・日本文化研究学会

3441)金ボイエ(2018)「1920年代朝鮮における日本語教授方針の転換―山口喜一郎と蘆田恵之助との教科書編纂方針の差異に着目して―」『読書科学』60巻1号 日本読書学会

3442)金禮坤、高甫炅(2018)「在日朝鮮人の日本語習得・ききがき―ある在日の戦前(直前)終戦(直後)の日本語習得の姿―」『対照言語学研究』26号 海山文化研究所

3443)郭徳玉(2018)「中国の大学における日本語教育モデルの変革について」『東京経済大学学術研究センター年報』特別号 東京経済大学学術研究センター運営委員会

3444)久保田優子(2018)「『国民学校令』期朝鮮の国語(日本語)教育における特殊性」『九州産業大学国際文化学部紀要』第69号 九州産業大学国際文化学会

3445)熊谷圭知(2018)「パラオにみる『南洋』の過去と現在3―日本統治がパラオにもたらしたもの―二人の女性の語りから―」『地理』2018年10月号 古今書院

3446)甲賀真広(2018)「日中戦争期の学校教育を通じた意識構築―旧満洲国引揚者への聞き取り

調査からー』『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会

- 3447)古賀万紀子(2018)「外国人大学生に対する就職支援の文脈における日本語教育の課題ー「ビジネス日本語教育」から「キャリア日本語教育」へー」『早稲田日本語教育』第25号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3448)小林和夫(2018)「大東亜共栄圏構想と国民のアジア語学習ー馬來語の事例ー」『社会学評論』第69巻第3号 日本社会学会
- 3449)古俣達郎(2018)「明治末の米国人留学生チャールズ・ジョナサン・アーネルー忘れられた日本学者の生涯ー」『日本研究』第58集 国際日本文化研究センター
- 3450)紺屋あかり(2018)「パラオにみる「南洋」の過去と現在5ーパラオの伝統文化とシューカンー」『地理』2018年12月号 古今書院
- 3451)西郷南海子(2018)「米国施政権下小笠原諸島の返還と初等教育ー「日本人」に「なる」ということをめぐってー」『小笠原研究年報』41 首都大学東京小笠原研究委員会
- 3452)斎藤泰雄(2018)「植民地教育論研究ノートー日本統治下台湾での教育政策をめぐってー」『国際基督教大学学報. I-A 教育研究』第60号 国際基督教大学
- 3453)斎藤泰雄(2018)「植民地経営と教育事業の展開ー日本統治下の台湾の場合ー」『国立教育政策研究所紀要』第147集 国立教育政策研究所
- 3454)酒井順一郎(2018)「八路軍の戦場に於ける日本語教育と日中相互文化交流」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3455)笹栗淳子(2018)「長崎純心大学日本語教員養成課程の概要と実績Ⅱ 2006年4月～2017年3月」『純心人文研究』第24号 長崎純心大学
- 3456)施京京(2018)「「新常态」下の中国の日本語教育と日本人教師」『北海商科大学論集』第7巻第1号 北海商科大学学術研究会
- 3457)柴公也(2018)「日本統治時代の台湾生活誌(X I I)」『海外事情研究』第45巻 熊本学園大学付属海外事情研究所
- 3458)賈鵬飛(2018)「張我軍の日本語教育観と植民地経験の関連ー抗日、社会改造のための日本語教育ー」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3459)賈鵬飛(2018)「張我軍の日本語教育実践ー1930、1940年代の中国大陸における「日本国籍」台湾人による日本語教育の一側面ー」『言語文化研究科紀要』No.4 文教大学大学院言語文化研究科

- 3460) 薛静(2018)「松本亀次郎編纂の日本語教科書における謙讓表現—文典型教科書を中心に—」『國學院大學日本語教育研究』第9号 國學院大學日本語教育研究会
- 3461) 白川博之(2018)「日本語研究から日本語教育研究への越境」『日本語の研究』第14巻2号 日本語学会
- 3462) 志浦啓・大木義徳(2018)「南米日系人の存在感の低下とこれからの外国人政策に関する展望」『関西学院大学国際学研究』Vol.7 No.1 関西学院大学国際学部・国際学研究科
- 3463) 嶋津拓(2018)「旧制浦和高等学校のアフガニスタン人留学生—どうして彼は浦和で学ぶことになったのか—」『埼玉大学紀要(教養学部)』第54巻第1号 埼玉大学教養学部
- 3464) 杉松香苗(2018)「インブリー『Handbook of English-Japanese Etymology』における動詞の分類」『國學院大學日本語教育研究』第9号 國學院大學日本語教育研究会
- 3465) 鈴木妙(2018)「Special Interview 私の日本語教授履歴とブラジルの日本語教育事情 鈴木妙さん(Ms. Tae SUZUKI: ブラジル) 言語博士 元サンパウロ大学日本語日本文学コース教授・日本文化研究所所長」『月刊アジアの友』第535号 (財)アジア学生文化協会
- 3466) Sudre Florence Yoko(2018)「レオン・ド・ロニー, フランスにおける日本研究のパイオニア」『人文科学』第33号 慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
- 3467) 関智英(2018)「華中占領地の日本語—『大陸新報』を手掛かりに—」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3468) 関正昭(2018)「日本語教育史インタビュー—蔡茂豊氏に聞く—」『東海大学大学院日本語教育学論集』第5号 東海大学大学院文学研究科日本文学科日本語教育学コース
- 3469) 関本保孝(2018)「日本語学習と夜間中学校—歴史と現状、国の動向を踏まえて—」『SNEジャーナル』第24巻第1号 日本特別ニーズ教育学会
- 3470) 孫長亮(2018)「清末中国における女子教育近代化過程の一断面—日本女性教習の活動及びその特色を中心に—」『文化共生学研究』第17号 岡山大学大学院文化科学研究科
- 3471) 高井曜子・中島由季子・陳秀茵・二宮いづみ・坂井ケイ・中島亜希子・福島一成(2018)「大学における日本語教育の可能性—日本経済大学の「これまで」と「これから」—」『日本経大論集』第48巻第1号 日本経済大学
- 3472) 高木彰彦(2018)「パラオにみる「南洋」の過去と現在 2—MIRAB型経済とパラオ共和国—」『地理』2018年9月号 古今書院
- 3473) 田中公一朗(2018)「戦前・戦中の比較プロパガンダ—ドイツ・満州・日本・アメリカ—」

- 3474)田中寛(2018)「戦時日本語教育史研究会のめざすもの—シンポジウムの開催に当たって—」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3475)田中寛(2018)「中国占領地における日本語普及の一考察—朝日新聞外地版(北支・中支)にみる日本語工作の実態—」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3476)田中寛(2018)「文学作品にみる日中戦争下の"言語接触"—戦場の中の言語と感情—」『教職課程センター紀要』第3号 大東文化大学教職課程センター事務室
- 3477)田中寛(2018)「文学で刻む日中戦争の記憶—“前線”と“銃後”で作家は何を見、何を感じたのか—」『大東文化大学紀要<人文科学>』第56号 大東文化大学
- 3478)田中祐輔(2018)「現代中国における日本語メディアのオーラルヒストリー研究—日中国交正常化以前の日本語教育に果たした北京放送の役割に着目して—」『言語文化教育研究』第16巻 言語文化教育研究学会
- 3479)田中祐輔・川端祐一郎(2018)「戦後の日本語教科書における掲載語彙選択の傾向とその要因に関する基礎的定量分析」『日本語教育』170号 日本語教育学会
- 3480)田中祐輔(2018)「第2章 日本語教材の分析」森篤嗣編(2018)『コーパスで学ぶ日本語 日本語教育への応用』朝倉書店
- 3481)谷口聡人(2018)「北欧における日本語教育ワークショップの活動を振り返る」『東海大学紀要. 国際教育センター留学生支援教育部門・国際教育部門』第8号 東海大学国際教育センター
- 3482)祝利(2018)「「満洲国」における日本語教員の養成」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3483)趙牧耘・高中公男(2018)「中国における日本語教育用テキストの特徴」『事業創造大学院大学紀要』第9巻第1号 事業創造大学院大学
- 3484)簡月真(2018)「日本語を上層とする宜蘭クレオールの人称代名詞」『日本語の研究』第14巻第4号 日本語学会
- 3485)恒木健太郎(2018)「日本学をめぐる「對獨文化工作」の動向—「全獨日本人文化事業関係者會議二關スル報告書」(1936年)について—」『人文科学年報』48号 専修大学人文科学研究

- 3486)常田槇子(2018)「十九世紀フランスにおける和歌集の編纂—レオン・ド・ロニーの実践—」『中古文学』第102号 中古文学会
- 3487)常盤智子(2018)「幕末明治期における日英対訳会話書の日本語—数量の多さを表す句との対応から—」『日本語の研究』第14巻2号 日本語学会
- 3488)富田広樹(2018)「放浪の王子の図書館—セビーリャ大学図書館所蔵、永川玲二コレクションとその日本語文献目録—」『北九州市立大学文学部紀要』第88号 北九州市立大学比較文化学科
- 3489)富谷玲子、門馬真帆(2018)「国内の日本語学校における留学生の変質」『神奈川大学言語研究』40巻 神奈川大学言語研究センター
- 3490)虎尾達哉(2018)「ケンブリッジ大学図書館蔵「アストン和書目録」について(12)」『人文学科論集』第85号 鹿児島大学法文学部
- 3491)永井智香子(2018)「上級日本語・日本文化コース (AJLC) の始まりから終わり」『長崎大学国際教育リエゾン機構紀要』第4号 長崎大学国際教育リエゾン機構
- 3492)中生勝美(2018)「インテリジェンスとナショナリズムの人類学—アメリカ・ミシガン大学日本研究の戦中・戦後—」『日本文化人類学会研究大会発表要旨集 2018』 日本文化人類学会
- 3493)中東靖恵、河原睦弘(2018)「あちこち日本語ご紹介 地域住民同士がつながる場へ—「顔の見える関係づくり」—」『Ja-Net』No.87 スリーエーネットワーク
- 3494)中東靖恵(2018)「人と人をつなぐ懸け橋として—地域日本語教育コーディネーターの役割—」『Ja-Net』No.87 スリーエーネットワーク
- 3495)橋本雄太(2018)「伊沢修二の教育と吃音矯正」『Core Ethics』Vol.14 立命館大学大学院先端総合学術研究科
- 3496)春名展生(2018)「国費学部留学生の専攻分野—2010年代の急転回をめぐって—」『東京外国語大学留学生日本語教育センター論集』44 東京外国語大学留学生日本語教育センター
- 3497)潘吉玲(2018)「「特選留学生」学費補給制度(1924-1940年)に関する研究」『次世代論集』vol.3 早稲田大学地域・地域間研究機構
- 3498)平田賢一(2018)「日中戦争前夜の植民地朝鮮で流通していた日本語書籍」『大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター年報』第15号 大阪経済法科大学アジア太平洋研究センター

- 3499)平田諭治(2018)「1901年度文部省外国留学生としての岡倉由三郎ーヨーロッパ留学の背景・経緯とその実際ー」『筑波大学教育学系論集』第42巻第2号 筑波大学人間系教育学域
- 3500)平高史也(2018)「【コメント】日中戦争勃発80周年シンポジウム「日本語教育史から見た日中戦争(1937-45)」に参加して」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3501)平野裕次(2018)「被爆した南方特別留学生と戦後の日本社会ー一九五〇年代半ばから一九六〇年代半ばまでの時期を中心としてー」『史学研究』299号 広島史学研究会
- 3502)平畑奈美(2018)「「日本語教師不足」問題に関する考察ー若年日本語教師供給増に向けた課題ー」『国際文化コミュニケーション研究』第1号 東洋大学文学部国際文化コミュニケーション学科
- 3503)福田えり・小松知子(2018)「受入交換留学生及び留学生別科留学生を対象としたニーズ及び実態調査の報告」『龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報』第27号 龍谷大学グローバル教育推進センター
- 3504)藤森智子(2018)「日中戦争期台湾における日本語普及ー戦時下の社会教化を中心にー」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3505)堀邦維(2018)「日本文学の海外への紹介ー国際文化振興会と角田柳作ー」『日本大学芸術学部紀要』68号 日本大学芸術学部
- 3506)松岡弘(2018)「J.A.コメニウス著『Linguarum Methodus Novissima (最新言語教授法)』に関する一考察」『一橋大学国際教育センター紀要』9号 一橋大学国際教育センター
- 3507)松本博明(2018)「折口信夫旧蔵受取書簡についてーニコライ・ネフスキーと彼を取り巻く人々ー」『岩手県立大学盛岡短期大学部研究論集』第20号 岩手県立大学盛岡短期大学部
- 3508)松本博之(2018)「パラオにみる「南洋」の過去と現在6ー出稼ぎ者による「南洋」の継承ーパラオのもう一つの顔ー」『地理』2019年1月号 古今書院
- 3509)三原龍志(2018)「JEP Kyotoープログラムの開発とその経緯ー」『龍谷大学グローバル教育推進センター研究年報』第27号 龍谷大学グローバル教育推進センター
- 3510)宮脇弘幸(2018)「日中戦争記の日本語・日本文化普及ー「満洲国」と大陸占領地における方策と実態ー」『新世紀人文学論究』第2号 新世紀人文学研究会
- 3511)守山恵子(2018)「福岡女学院大学の日本語教員養成コースーその歩みと現在ー」『福岡女学院大学紀要. 人文学部編』第28号 福岡女学院大学人文学部
- 3512)古川嘉子(2018)「日本語教育におけるコースデザイン論の展開とその課題」『国際交流基

- 3513)八木正自(2018)「Bibliotheca Japonica(242)『韻華帖』に見るアーネスト・サトウの自筆日本文字」『日本古書通信』83巻2号 日本古書通信社
- 3514)家根橋伸子(2018)「近年の言語教育・日本語教育における目的論—「平和」(peace)を中心に—」『東亜大学紀要』26号 東亜大学
- 3515)山根智恵、黄幸素、川村千絵(2018)「台湾・日治世代における日本語能力の維持要因—台湾中部・南部の調査結果をもとに—」『岡大國文論稿』46号 岡山大学言語国語国文学会
- 3516)山本一生(2018)「日本占領下北京大学における日本留学経験者の役割—銭稻孫と周作人を中心に—」『紀要』第41号 上田女子短期大学
- 3517)山本公平(2018)「ベトナムにおける日本語学校経営に関する一考察—KAIZEN 吉田スクールを中心に—」『広島経済大学経済研究論集』第41巻第2・3号 広島経済大学経済学会
- 3518)吉岡英幸、古屋憲章、古賀万紀子(2018)「インタビュー 今あることつながりを見ていく—吉岡英幸先生へのインタビュー—」『早稲田日本語教育実践研究』第6号 早稲田大学日本語教育研究センター
- 3519)頼錦雀(2018)「海外の高等教育機関における日本語教育の現状と課題—日本からは見えない文脈を検証する 台湾の大学における日本語教育の回顧と展望—」『早稲田日本語教育学』第24号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3520)李敏(2018)「中国における日本学研究者養成の変化—北京日本学研究中心—修了者を事例に—」『信州大学総合人間科学研究』第12号 信州大学総合人間科学系
- 3521)劉劍(2018)「ピジンとしての「協和語」の文法研究—ケースマーカーを中心に—」『紀要』第18巻第2号 中央学院大学社会システム研究所
- 3522)呂欧(2018)「「旧満州」日本語教育と植民地言語政策に関する一考察」『北陸大学紀要』第44号 北陸大学
- 3523)若井誠二(2018)「カーロリ・ガーシュパール・カルビン派大学と日本語教育—ボローニャプロセス導入による影響と、その後—」『早稲田日本語教育学』第24号 早稲田大学大学院日本語教育学研究科
- 3524)和田敦彦(2018)「日本占領下インドネシアの日本語文庫構築と翻訳事業」『アジア遊学』216 勉誠出版

- 3525)阿久津智(2019)「日本語史における日本語の普及」『拓殖大学日本語教育研究』第4号 拓殖大学日本語教育研究所
- 3526)有田佳代子(2019)「日仏共同支配期ベトナムにおける日本語教育の一側面—日本プロパガンダ誌『Tan A(新アジア)』の日本語解説を中心に—」『敬和学園大学研究紀要』第28号 敬和学園大学
- 3527)飯島和彦(2019)「始まりの終わり—獨協大学大学院外国語学研究科日本語教育専攻の廃止を目前にして—」『獨協大学日本語教育紀要』第13号 獨協大学大学院外国語学研究科日本語教育専攻
- 3528)伊ヶ崎泰枝(2019)「二人の独学者レオン・ド・ロニーと村上英俊—日本語教育とフランス語教育の源流—」『広島大学フランス文学研究』第38号 広島大学フランス文学研究会
- 3529)池口明子(2019)「パラオにみる「南洋」の過去と現在7—高瀬貝とツキガイ—南洋の沿岸資源管理とパラオ—」『地理』2019年2月号 古今書院
- 3530)井沢元彦(2019)「ウソと誤解に満ちた「通説」を正す! 逆説の日本史(第1212回)近現代編(第6話)明治の文化大変革I 日本語改造計画の悲喜劇(その9)「新しい日本語」の歌で日本人に西洋音階を取得させた文部官僚伊沢修二」『週刊ポスト』第51巻第3号 小学館
- 3531)石川守(2019)「拓殖大学の思い出」『拓殖大学日本語教育研究』第4号 拓殖大学日本語教育研究所
- 3532)和泉徹彦(2019)「日本における外国人労働者に関する研究の動向と展開」『嘉悦大学研究論集』62号 嘉悦大学
- 3533)伊東祐郎(2019)「日本語と日本社会をめぐる言語政策・言語計画—言語政策から日本語教育を問う—」『社会言語科学』第22巻第1号 社会言語科学会
- 3534)上田和子(2019)「日本語教員養成プログラムの検証—教育実習記述の分析から—」『武庫川女子大学紀要(人文・社会科学編)』66巻 武庫川女子大学
- 3535)上田崇仁(2019)「朝鮮総督府編纂教科書の通時的研究—違いを視覚化する試み—」『新世紀人文学論究』第3号 新世紀人文学研究会
- 3536)宇賀神一(2019)「石森延男と第5期国定国語教科書—第二次世界大戦期における文部省への招聘理由と執筆教材—」『国語科教育』第85集 全国大学国語教育学会



- 3537)梅木陽子(2019)「ビジネス日本語教科書における人物イラスト—男性と女性の描かれ方の違い—」『言語と文化：愛知大学語学教育研究室紀要』第41号 愛知大学語学教育研究室
- 3538)浦田葉子(2019)「第二次世界大戦前のバンクーバー日本語学校—佐藤伝の二世教育—」『カナダ教育研究』No.17 カナダ教育研究会
- 3539)遠藤織枝(2019)「『ことば』40号のあゆみ」『ことば』40号 現代日本語研究会
- 3540)大池公紀(2019)「都立高等学校における外国籍生徒対象入学選抜と入学後の日本語指導の現状」『明海大学教職課程センター研究紀要』第2号 明海大学教職課程センター研究紀要編集委員会
- 3541)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(6)国内での日本語教育と海外での日本語教育①」『グローバル天理』第20巻第1号 天理大学おやさと研究所
- 3542)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(7)国内での日本語教育と海外での日本語教育②」『グローバル天理』第20巻第2号 天理大学おやさと研究所
- 3543)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(8)国内での日本語教育と海外での日本語教育③」『グローバル天理』第20巻第3号 天理大学おやさと研究所
- 3544)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(9)国内での日本語教育と海外での日本語教育④」『グローバル天理』第20巻第4号 天理大学おやさと研究所
- 3545)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(10)国内での日本語教育と海外での日本語教育⑤」『グローバル天理』第20巻第5号 天理大学おやさと研究所
- 3546)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(11)侵略的日本語教育と国際交流のための日本語①」『グローバル天理』第20巻第6号 天理大学おやさと研究所
- 3547)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(12)侵略的日本語教育と国際交流のための日本語②」『グローバル天理』第20巻第7号 天理大学おやさと研究所
- 3548)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(13)侵略的日本語教育と国際交流のための日本語③」『グローバル天理』第20巻第8号 天理大学おやさと研究所
- 3549)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(14)日本語教育での教授法について①」『グローバル天理』第20巻第9号 天理大学おやさと研究所
- 3550)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(15)日本語教育での教授法について②」『グローバル天理』第20巻第10号 天理大学おやさと研究所

- 3551)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(16)日本語教育での教授法について③」『グローバル天理』第20巻第11号 天理大学おやさと研究所
- 3552)大内泰夫(2019)「日本語教育と海外伝道(17)日本語教育での教授法について④」『グローバル天理』第20巻第12号 天理大学おやさと研究所
- 3553)大澤広嗣(2019)「昭南興亜訓練所と南方特別留学生に関与した仏教者—浄土真宗本願寺派僧侶の金谷哲麿—」『武蔵野大学仏教文化研究所紀要』No.35 武蔵野大学仏教文化研究所
- 3554)小川誉子美(2019)「イタリアの日本語教育と日本人教師の活動—1930年代から1950年代の日伊交流を中心に—」『新世紀人文学論究』第3号 新世紀人文学研究会
- 3555)奥田浩司(2019)「満州国」及び旧植民地における高齢日本語話者へのインタビュー(1)日本語・日本文化の記憶に関する報告」『愛知教育大学大学院国語研究』第27号 愛知教育大学大学院国語教育専攻
- 3556)奥村恵介(2019)「インドネシア近代化と元賠償留学生のライフヒストリー」『国際教育』第25号 日本国際教育学会
- 3557)奥村恵介(2019)「インドネシア賠償留学制度の構想と実態—賠償留学生の日本語学習が国際学友会に与えた影響を中心に—」『アジア教育』第13巻 アジア教育学会
- 3558)小野憲一(2019)「日本統治時代の台湾における私立学校の歴史的経緯に関する研究(4)—富樫清玄の回想録「耕耘」を読み解いて—」『帝京平成大学紀要』第30巻 帝京平成大学
- 3559)海外日本語教育学会学会誌編集委員会編(2019)「これまでの海外日本語教育学会研究例会内容一覧(2016年-2019年)」『海外日本語教育研究』第9号 海外日本語教育学会学会
- 3560)垣内哲(2019)「留学生受け入れ上位校の分類と分析—留学生の総数と比率から見た大学学部の実態—」『大学アドミニストレーション研究』No.9 桜美林大学
- 3561)柿木重宜(2019)「言語学者藤岡勝二とローマ字化国語国字運動—社会言語学的観点からのアプローチ—」『関西外国語大学研究論集』第110号 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部
- 3562)鯉澤千鶴(2019)「モラエスと日本語文法書」『清泉女子大学キリスト教文化研究所年報』第27巻 清泉女子大学
- 3563)梶村光郎(2019)「沖縄における方言札の出現に関する研究—1911年度以前を中心に—」『地域研究』23 沖縄大学地域研究所
- 3564)片山章郎(2019)「科目等履修生(外国人留学生)に対する日本語教育の展開」『吉備国際

- 3565)加藤恵美(2019)「東アジア知のプラットフォーム」の背景—戦後留日学生の史的考察—  
『ワセダアジアレビュー』No.21 早稲田大学地域・地域間研究機構
- 3566)川口敦子(2019)「布教聖省文書館所蔵日本関係文書について」『三重大学日本語学文学』  
第30号 三重大学人文学部日本語日本文学研究室
- 3567)川邊雄大(2019)「実藤恵秀「支那留学生教育に就いて」」『国士舘大学経済研紀要』31巻  
国士舘大学政経学部附属経済研究所
- 3568)河路由佳(2019)「戦中・戦後の文部官僚、釘本久春のライフストーリー—他者の記憶から  
その人生を辿る試み—」『専修国文』第104号 専修大学日本語日本文学文化学会
- 3569)河路由佳(2019)「人とことば 日本語教師、阿部正直の戦前・戦中・戦後」『ことばと文字』  
11号 日本のローマ字社
- 3570)木下奈津紀(2019)「韓国における大学構造改革と日本語教育—光州広域市を中心として  
—」『愛知淑徳大学論集. 交流文化学部篇』第9号 愛知淑徳大学交流文化学部
- 3571)楠家重敏(2019)「アーネスト・サトウ"A Diplomat in Japan"の史料学的研究」『杏林大学  
外国語学部紀要』第31号 杏林大学外国語学部
- 3572)熊谷圭知(2019)「パラオにみる「南洋」の過去と現在 8(最終回)—「南洋」の新しい  
地誌を描くために—」『地理』2019年4月号 古今書院
- 3573)クリストファー・ヘネシー(2019)「競争」と「文化」—米国における日本語ブームの考  
察—」『JALT 日本語教育論集/JALT Journal of Japanese Language Education』15 全  
国語学教育学会日本語教育研究部会
- 3574)國分建志(2019)「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷(八)—」『文學藝術』42 共立  
女子大学文芸学部
- 3575)國分建志(2019)「誤植の殿堂『説日語』—その誕生と変遷(九)—」『文學藝術』43 共立  
女子大学文芸学部
- 3576)孔穎(2019)「明治期の東京警監学校と清国留学生」『東アジア文化交渉研究』第12号 関  
西大学大学院東アジア文化研究科
- 3577)齋藤潔(2019)「ポスト留学生30万人計画を見据えた留学生政策について」『IDE 現代の  
高等教育』613号 IDE 大学協会

- 3578) 斎藤達哉・王伸子・高田智和(2019)「ハワイ教育会『にっぽんごのほん』の編纂事情—国語教育と日本語教育とのほざま—」『専修国文』第105号 専修大学日本語日本文学文化学会
- 3579) 齊藤良子(2019)「1904年から1906年に刊行された金島苔水の韓語学習書について—例言と目次からみられる学習書としての特徴と諺文の説明を中心に—」『外国語外国文化研究』29号 国士舘大学外国語外国文化研究会
- 3580) 酒井順一郎(2019)「「蒙疆政権」における日本語人材育成と近代化」『新世紀人文学論究』第3号 新世紀人文学研究会
- 3581) 酒井たか子(2019)「筑波大学における日本語プレースメントテストの変遷—日本語力測定のためのテスト開発と利用—」『筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター日本語教育論集』第34号 筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター
- 3582) 坂田篤義(2019)「『華北日本語』における華系日本語教師をめぐる議論」『専修大学外国語教育論集』第47号 専修大学外国語教育研究室
- 3583) 佐々木類(2019)「福田康夫元首相 「留学生三十万人計画」という時限爆弾」『月刊 Will』2019年9月号 ワック株式会社
- 3584) 佐藤正則、三代純平(2019)「「職業として確立していない」言説に抵抗する語り—1980年代後半にキャリアを始めた日本語学校教師のライフストーリーから—」『語りの地平：ライフストーリー研究』Vol.4 日本ライフストーリー研究所
- 3585) 澤田次郎(2019)「アフガニスタンをめぐる日本の諜報工作活動—1934-1945年を中心に—」『政治・経済・法律研究』vol.22, No.1 拓殖大学政治経済研究所
- 3586) 澤邊裕子(2019)「宮城学院女子大学における日本語教員養成課程の10年を振り返る—日本語教師としてのアイデンティティの構築と「日本語教育実践コミュニティ」の形成へ—」『日本文学ノート』第54号 宮城学院女子大学日本文学会
- 3587) 篠崎摂子(2019)「中国大学日本語教師研修の25年間を振り返る—中国の大学日本語教師を取り巻く状況の変化—」『国際交流基金日本語教育紀要』第15号 国際交流基金日本語国際センター
- 3588) 柴公也(2019)「日本統治時代の台湾生活誌(XIII)」『海外事情研究』第46巻 熊本学園大学付属海外事情研究所

- 3589)柴公也(2019)「日本統治時代の朝鮮生活誌」『축배=祝杯』第13号 宮塚コリア研究所
- 3590)賈鵬飛(2019)「『日文與日語』からみた張我軍の日本語教授観—1930年代の中国大陸における日本語教育の一側面—」『言語文化研究科紀要』No.5 文教大学大学院
- 3591)賈鵬飛(2019)「北京近代科学図書館編日本語教科書の作成について—張我軍の影響を中心に—」『新世紀人文学論究』第3号 新世紀人文学研究会
- 3592)薛静(2019)「松本亀次郎編纂の日本語教科書における謙讓表現—語法型教科書を中心に—」『國學院大學日本語教育研究』第10号 國學院大學日本語教育研究会
- 3593)白石勝己(2019)「ポスト留学生30万人計画の行方—留学生30万人計画の総括と将来見通し—」『アジアの友』第540号 (財)アジア学生文化協会
- 3594)新内康子(2019)「鹿児島で、日本語教師養成30年」『Ja-Net』90号 スリーエーネットワーク
- 3595)末永サンドラ輝美(2019)「南米日系移民と日本語—ブラジルの日本語教育を中心に—」『早稲田日本語教育学』第26号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3596)鈴木茂(2019)「この人に学ぶ: ドナルド・キーン—日本文化を世界に紹介した日本学者—」『月刊プリンシパル』2019年6月号 学事出版
- 3597)祖慶壽子(2019)「南洋群島國語讀本の分析」『国際文化学部論集』第20巻第1号 鹿児島国際大学国際文化学部
- 3598)孫曉英(2019)「1980年代中国国費留日大学院生予備教育に関する一考察—大連外国語学院出国留学人員培訓部の事例を中心に—」『アジア教育』第13巻 アジア教育学会
- 3599)高井昌史・田代康則(2019)「高井昌史の教育改革対談(第10回)創価大学 日本初の中国人留学生受け入れから始まった真のグローバル教育」『衆知』2019年5月号 PHP 研究所
- 3600)高崎哲郎(2019)「文は橘、武は桜、嘉納治五郎—その詩と真実(第10話)高等師範隆盛、軍隊式教育の廃止、中国人留学生—」『全建ジャーナル』2020年2月号 全国建設業協会
- 3601)高橋恵美子(2019)「大学における日本語教員養成課程の現状と課題—養成課程の変遷から—」『武蔵野短期大学研究紀要』第33輯 武蔵野短期大学
- 3602)田尻英三(2019)「外国人労働者の受け入れに係る日本語教育施策—「日本語教育推進に関する法律」成立までの経過—」『社会言語学』第19号 「社会言語学」刊行会
- 3603)田尻英三(2019)「「日本語教育の推進に関する法律」の成立と今後の課題」『ことばと社会』

編集委員会編『ことばと社会』21号 三元社

- 3604)田中寛(2019)「決戦期台湾における「国語問題」の一断面—皇民化運動、志願兵、徴兵制度の再検証から—」『新世紀人文学論究』第3号 新世紀人文学研究会
- 3605)田中寛(2019)「日中友好と日本語教育—回顧と展望のきざはしに立ちて—」『研究会報告』第44号 日本語文法研究会
- 3606)谷脇茂樹(2019)「北海道東川町に見る小規模都市の地方創生」『富山国際大学紀要 現代社会学部』第11巻第2号 富山国際大学
- 3607)田畑千秋・包芳(2019)「中国山東省・曲阜師範大学翻訳学院日本語科」『広島大学留学生教育』23 広島大学森戸国際教育学院
- 3608)簡月真(2019)「借用されないことば—日本語とアミ語との接触を考える—」『日本語学』第38巻第12号 明治書院
- 3609)齊海娟(2019)「日軍占領下秦皇島港における語学講習会用日本語教科書の考察—『日本語読本』と『効果的速成式標準日本語読本』に着目して—」『言語と文化』第31号 文教大学大学院言語文化研究科附属言語文化研究所
- 3610)趙牧耘・高中公男(2019)「中国人学生に対する日本語教育の問題点」『事業創造大学院大学紀要』第10巻第1号 事業創造大学院大学
- 3611)陳秀茵(2019)「モンゴル国における日本語教育の史的変遷」『日本経大論集』第48巻第2号 日本経済大学
- 3612)陳虹彬(2019)「日本統治下台湾人児童の日常生活について(その3)—教科書から見る台湾の産業発展—」『平安女学院大学研究年報』第19号 平安女学院大学
- 3613)中川健司(2019)「『専門日本語教育研究』の投稿論文はどのような専門日本語を扱ってきたか」『ときわの杜論叢』6号 横浜国立大学国際戦略推進機構
- 3614)中川 柳田 郷子(2019)「カエルプロジェクト—日本からブラジルへの帰国子弟のサポート10年間の報告—」『早稲田日本語教育学』第26号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3615)中東靖恵(2019)「海を渡った広島方言—海外日系移民社会における方言の継承と変容—」『岡山大学文学部紀要』第72号 岡山大学文学部
- 3616)南部広孝(2019)「中国における留学生政策の変遷と近年の動向」『IDE 現代の高等教育』613号 IDE 大学協会

- 3617)任菲(2019)「上海話教材《瀛滬雙舌》的假名注音」『語学教育研究論叢』第36号 大東文化大学語学教育研究所
- 3618)布尾勝一郎(2019)「在留資格「特定技能」創設をめぐる国会での議論」『佐賀大学全学教育機構紀要』第7号 佐賀大学全学教育機構
- 3619)野中モニカ「ブラジル日系社会の日本語情報媒体『サンパウロ新聞』の廃刊に思う」『Clear Sky』17号 天理大学言語教育研究センター
- 3620)橋内武(2019)「「学びと労働」の狭間で一奄美にも日本語学校生一」『桃山学院大学総合研究所紀要』45巻2号 桃山学院大学総合研究所
- 3621)橋本雄太(2019)「日本における吃音観の歴史と伊沢修二一不治の疾患から悪癖へ一」『Core Ethics』第15号 立命館大学大学院先端総合学術研究科
- 3622)林正次(2019)「変わりゆく大連の日本語教育」『研究会報告』45 日本語文法研究会
- 3623)平野裕次(2019)「戦後の留学生政策の形成一国費外国人留学生制度の創設をめぐって一」『史学研究』302号 広島史学研究会
- 3624)平野裕次(2019)「被爆した南方特別留学生に関する記憶と表象の史的展開について」『原爆文学研究』18 花書院
- 3625)藩世聖(2019)「弘文学院留学期の魯迅における日本受容一新発見の『宏文学院講義録』を手掛かりに一」『中国：社会と文化』第34号 中国社会文化学会
- 3626)福島青史(2019)「【特集】移民とことば一ブラジル日系人と日本語教育を例に一 緒言 日本の未来を映すブラジルの日本語教育」『早稲田日本語教育学』第26号 早稲田大学大学院日本語教育研究科
- 3627)福元美和子・小嶋栄子(2019)「日本語教科書におけるローマ字綴りに注目して一明治初期のある3冊について一」『長崎短期大学研究紀要』第31号 長崎短期大学
- 3628)二子石優(2019)「「1990年体制」成立を境にした日本国内の日本語学校の変移」『一橋大学国際教育交流センター紀要』1号 一橋大学国際教育交流センター
- 3629)ベネディクト・ファブル=ミュラー、フィリップ・ロスシュタイン、クリス・ベルアド、寺尾佳子訳(2019)「鼎談 人文学諸学の草分けレオン・ド・ロニーの再評価一ベネディクト・ファブル=ミュラーとフィリップ・ロスシュタインとの鼎談一」『仏蘭西学研究』第45号 日本仏学史学会
- 3630)細部新一郎(2019)「北支那の唐山における日本語教育」『新世紀人文学論究』第3号 新世紀人文学研究会

- 3631)包賀喜格図(2019)「“満洲国”“新学制”制定前后的日語教育政策分析」『新世紀人文学論究』第3号 新世紀人文学研究会〔中文〕
- 3632)本間美奈子(2019)「フィンランドで編纂された日本語教科書の名詞—『Elavaa jania』を中心に—」『国語研究』82号 國學院大學国語研究会
- 3633)松岡弘(2019)「一橋大学日本語教育事始め」『一橋大学創立150年史準備室ニューズレター』No.5 一橋大学創立150年史準備室
- 3634)松田有為子・山形美保子(2019)「東京杉並区民による日本語ボランティア活動—25年の歩みから—」『月刊社会教育』2019年4月号 国土社
- 3635)松本和也(2019)「軍政下昭南市における文化工作(日本語教育)一面—陸軍報道班員・井伏鱒二『花の町』を手がかりに—」『立教大学日本文学』第122号 立教大学日本文学会
- 3636)嶺岸玲子「これからの日本語教育人材とその養成—盛岡大学日本語教員養成課程の現在と今後—」『比較文化研究』29 盛岡大学社会文化学会
- 3637)宮武利江(2019)「キリシタン資料に見る日本語教育—規範意識と教育理念—」『文教大学国文』48号 文教大学国文学会
- 3638)宮脇弘幸(2019)「日本侵佔期華北・蒙疆傀儡政權の文教政策—日本語普及政策を中心に—」『東アジア日本学研究』創刊号 東アジア日本学研究学会
- 3639)山内一宏(2019)「学習言語としての日本語とそれを学ぶ人々—我が国内外での日本語学習の現状—」『立法と調査』414号 参議院事務局
- 3640)山崎恵(2019)「日本語教師の仕事と役割再考—日本語教員養成のこれまでとこれから—」『姫路獨協大学外国語学部紀要』第32号 姫路獨協大学外国語学部
- 3641)山田直之(2019)「芦田恵之助における「修養」概念の再検討」『教育諸学研究』第32巻 神戸女子大学文学部教育学科
- 3642)山本一生(2019)「華北占領期の公立小学校における学生の属性—青島特別市を事例として—」『日本の教育史学』62集 教育史学会
- 3643)兪三善(2019)「日本語の教材としてのアーネスト・サトウ『会話篇』」『実践國文學』96号 実践国文学会
- 3644)横山博信(2019)「朝日大学留学生別科における留学生の国別人数の推移と日本語能力の取



得に関する課題」『朝日大学留学生別科紀要』第16巻 朝日大学留学生別科

- 3645)李岸(2019)「中国の大学で使われる日本語聴解教科書の特徴と問題点—中級聴解教科書の分析を中心に—」『地域社会統合科学研究』11号 九州大学大学院地球社会統合科学府
- 3646)劉柯(2019)「清末の福建省留日学生に関する研究—『清国留学生会館報告』と『官報』を中心に—」『人文研究』No.198 神奈川大学人文学会
- 3647)呂欧(2019)「旧「満州」における初級日本語教科書の分析—植民地言語政策との関連から—」『日本言語文化研究 城西国際大学大学院紀要』第8号 城西国際大学大学院
- 3648)王曉雨・陳其松(2019)「清国人日本留学生の見た「世界」とその言説」『北東アジア研究』第30号 島根県立大学北東アジア地域研究センター
- 3649)赤木奈央(2020)「台湾公学校の低学年における国語教授を中心とした「合科的取り扱い」—台北及び台南師範学校附属公学校での取り組みを中心に—」日本植民地教育史研究会(2020)『植民地教育史研究年報第22号 戦後台湾の政治・文学と植民地認識』 皓星社
- 3650)池田誠司(2020)「日本統治下朝鮮の『普通学校国語読本』にみる敬語学習についての一考察」『日本海域研究』第51号 金沢大学環日本海域環境研究センター
- 3651)池田匡史、黒川麻実(2020)「旧満洲国における国語教育營為—郷土教育の視点から—」『教育学研究ジャーナル』第25号 中国四国教育学会
- 3652)稲賀繁美(2020)「Unique or Universal? 日本とその世界文明への貢献—ワルシャワ大学日本研究創設百周年事業、招聘報告—」『日文研』no.64 国際日本文化研究センター
- 3653)井上徹、倉田良樹(2020)「移民政策なき外国人労働者政策を擁護する知識人たち(1)—多文化共生論—」『一橋社会科学』第12巻 一橋大学大学院社会学研究科
- 3654)井上徹、倉田良樹(2020)「移民政策なき外国人労働者政策を擁護する知識人たち(2)—やさしい日本語・日本語学校—」『一橋社会科学』第12巻 一橋大学大学院社会学研究科
- 3655)今井智絵(2020)「モンゴル人の日本留学動機と日本語学習—1990-2000年代の留学に焦点を当てて—」『教育デザイン研究』第11号 横浜国立大学大学院教育学研究科
- 3656)今村志紀(2020)「アストン『口語文典』改訂への影響—サトウ『会話篇』例文との一致から—」『上智大学文化交渉学研究』8号 上智大学大学院文学研究科文化交渉学専攻
- 3657)大内泰夫(2020)「日本語教育と海外伝道(18)日本語教育でのコンピューター利用について①」『グローバル天理』第21巻第1号 天理大学おやさと研究所

- 3658)大内泰夫(2020)「日本語教育と海外伝道(19)日本語教育でのコンピューター利用について②」『グローバル天理』第21巻第2号 天理大学おやさと研究所
- 3659)大内泰夫(2020)「日本語教育と海外伝道(20)日本語教育でのコンピューター利用について③」『グローバル天理』第21巻第3号 天理大学おやさと研究所
- 3660)大内泰夫(2020)「日本語教育と海外伝道(21)日本語教育でのコンピューター利用について④」『グローバル天理』第21巻第4号 天理大学おやさと研究所
- 3661)大内泰夫(2020)「日本語教育と海外伝道(22)歴史の中の留学生①」『グローバル天理』第21巻第5号 天理大学おやさと研究所
- 3662)大澤希余子(2020)「「簡約日本語」不自然な日本語の受容をめぐって」『金城学院大学大学院文学研究科論集』26号 金城学院大学大学院文学研究科
- 3663)小野憲一(2020)「日本統治時代の台湾における私立学校の歴史的経緯に関する研究(5) —「私立台湾仏教中学林」が合併した「私立臨済宗鎮南学林」と「私立国学院」について—」『帝京平成大学紀要』第31巻 帝京平成大学
- 3664)楠家重敏(2020)「B.H.チェンバレンの手紙」『東日本英学史研究：日本英学史学会東日本支部紀要』第19号 日本英学史学会東日本支部事務局
- 3665)合津美穂(2020)「台湾公学校用国語教科書に於ける原住民像—「植民地教育」再考の手がかりとして—」日本植民地教育史研究会(2020)『植民地教育史研究年報第22号 戦後台湾の政治・文学と植民地認識』 皓星社
- 3666)駒走昭二(2020)「漂流民ゴンザと日本語学—ゴンザ資料の日本語学的研究—」『ユーラシア研究』61号 ユーラシア研究所
- 3667)酒井恵美子、中田敏夫(2020)「明治期教科書編纂者杉山文悟と『台湾教科用書国民読本』の仮名遣いについて」『社会科学研究』第40巻第2号 中京大学先端共同研究機構社会科学研究所
- 3668)薛静(2020)「近代読本教科書における謙讓表現について—松本亀次郎と宏文学院の日本語教師編纂の教科書を中心に—」『國學院大學大学院文学研究科論集』第47号 國學院大學大学院文学研究科学生会
- 3669)肅幸君(2020)「「日本語教育年報」終刊号に寄せて」『東京外国語大学日本研究教育年報』24 東京外国語大学日本専攻
- 3670)園田博文(2020)「昭和初期台湾刊『新国語教本教授書』における仮名導入前の日本語指導について」『山形大学紀要. 人文科学』第19巻第3号 山形大学

- 3671)園田博文(2020)「戦前の規範としての女性語—昭和15年台湾刊『潮州郡国語講習所用 話方読方教授細目』「男子教材」「女子教材」を資料として—」『山形大学紀要. 教育科学』第17巻第3号 山形大学
- 3672)工一仁(2020)「満洲の開拓と拓殖大学」『拓殖大学論集. 政治・経済・法律研究』第22巻第2号 拓殖大学政治経済研究所
- 3673)竹本英代(2020)「東京日本語学校の設立にみる戦後の日本語教育」『福岡教育大学紀要』第69号第4分冊教職科編 福岡教育大学
- 3674)田中寛(2020)「東アジアにおける多文化多言語共生の課題—延辺大学国際シンポジウムに参加して—」『東方』No.469 東方書店
- 3675)チン・ティ・ソアン(2020)「ベトナムにおける日本語教育—最近の状況と民間日本語学校に関する問題」『國學院大學大学院文学研究科論集—』第47号 國學院大學大学院文学研究科学生会
- 3676)陳虹彬(2020)「日本統治下における台湾南部の日本人教員に関する研究—公学校校長黒川亀吉のライフヒストリーを手掛かりに—」『平安女学院大学研究年報』第20号 平安女学院大学
- 3677)富田紘央(2020)「タイの労働市場が望む人材育成に資するタイの日本語教育改革の方向性と日タイ大学間連携への提言—モンクット王ラカバン工科大学教養学部日本語専攻課程を事例に—」『東海大学紀要. 国際教育センター』Vol.2, No.1 東海大学
- 3678)永田高志(2020)「日本語教育文法と日本語学的文法と国文法との境」『文学・芸術・文化：近畿大学文芸学部論集』第31巻第2号 近畿大学
- 3679)八田直美・菊岡由夏(2020)「「特定課題研究」で取り上げられた海外の日本語教育の課題—日本語教育指導者養成プログラム(修士課程)18年間の成果—」『国際交流基金日本語教育紀要』16号 国際交流基金日本語国際センター
- 3680)村嶋英治(2020)「タイ国における第2次世界大戦終結迄の日本語教育の歴史—未利用資料を中心に—」『アジア太平洋討究』No.39 早稲田大学アジア太平洋研究センター
- 3681)柳沢美和子(2020)「日本の大学の国際化と、英語による学位プログラムにおける日本語教育の展開」『キリストと世界』第30号 東京基督教大学教授会
- 3682)山田直之(2020)「国語科作文教育における訓育的教授の探求—芦田恵之助の綴方教育を手がかりに—」『国語科教育』第87集 全国大学国語教育学会

3683)山西弘朗(2020)「日本統治下パラオにおける天理教の布教活動」『天理大学おやさと研究所年報』第26号 天理大学おやさと研究所

3684)ルート・ヴァンバーレン、ケード・コンラン・ブッシュネル(2020)「10年間の英語プログラム日本語科目」『筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター日本語教育論集』第35号 筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター 日本語教育部門